SHARP®

見楽る
ミラクルプリント

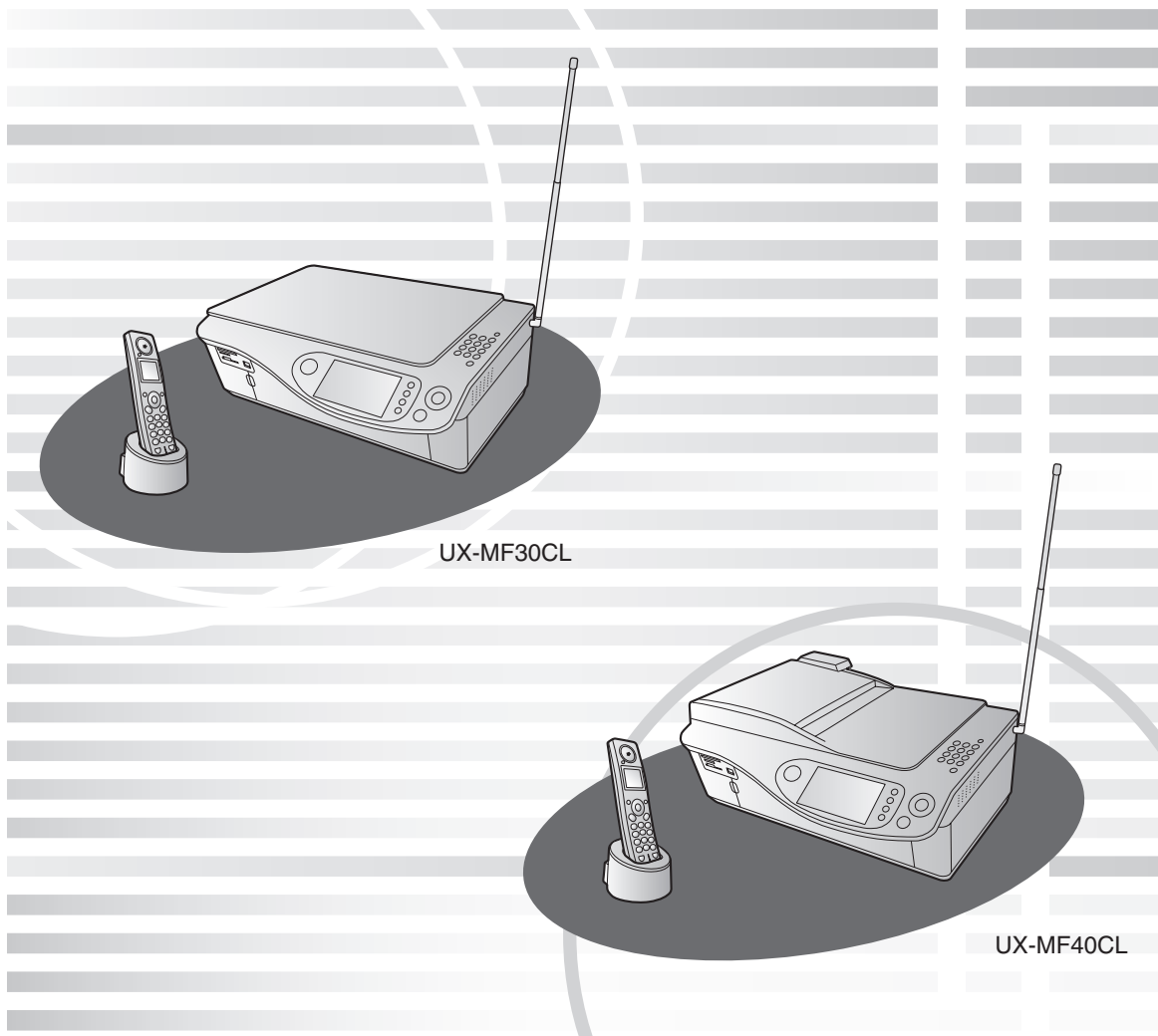
カラー液晶ファクシミリ複合機

取扱説明書

ユーエックス エム エフ シーエル　ユーエックス エム エフ シーエル

形名 UX-MF30CL／UX-MF40CL

ユーエックス エム エフ シー ダブル　ユーエックス エム エフ シー ダブル

UX-MF30CW／UX-MF40CW

UX-MF30CL

UX-MF40CL

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。
この取扱説明書は保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

※ 本書内の親機のイラストは、おもにUX-MF30シリーズのものを使用しています。

ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください。

技術基準適合品

もくじ

ご使用の前に

<取　付>

<設　定>

<インストール>

電話

＜電話帳＞

コピー／ファクス

フォトプリント

ケータイリンク

スキャン

便利な機能

ナンバー・ディスプレイ

こまったときは

ご参考に

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

図記号について

⚠危険 人が死亡または重傷を負うおそれが高い内容を示しています。

⚠警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

⚠注意 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

上の記号は、気をつける必要があることを表しています。

上の記号は、してはいけないことを表しています。

上の記号は、しなければならないことを表しています。

⚠危険

子機充電池の取り扱いについては、必ず次のことを守ってください。正しく使用しないと、充電池の液漏れ・発熱・破裂により、やけどやけがの原因となります。

■充電池をネックレス・ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。

■充電池を水や火の中に捨てたり、加熱したりしないでください。

■充電池ふたを取り付けるときは、充電池のコードをはさまないようにしてください。

■充電池の⊕⊖端子を金属などで接触させないでください。

■充電池は、当社推奨品を使用してください。

■充電池の液が目に入ったときは、こすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

失明のおそれがあります。

⚠警告

■水や薬品などの液体をこぼさないでください。ペットのいるご家庭では、ペットの尿にもご注意ください。

火災・感電の原因になります。液体をこぼした場合は、差し込みプラグを抜いて販売店へご相談ください。

■浴そうなど、湿気の多い場所では絶対に使用しないでください。

絶縁が悪くなり火災・感電の原因になります。

■ご自身での分解や修理・改造は絶対にしないでください。

火災・感電の原因になります。修理は販売店へご相談ください。

■充電池のビニールカバーを、はがしたりしないでください。

充電池の液が漏れたり、発熱・破裂させる原因になります。

■電源コード・差し込みプラグを破損するようなことはしないでください。

次のようなことはしないでください。

- 傷つける
- 無理に曲げる
- 加工する
- 無理にねじる
- 熱器具に近づける
- 重い物を載せる
- 無理に引っ張る
- 束ねる

傷んだまま使用すると、感電や火災の原因になります。コードやプラグの修理は、販売店へご相談ください。

■差し込みプラグは根元まで確実に差し込んでください。

感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

■雷が鳴り始めたら、安全のため早めに差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

火災・感電・故障の原因になります。

■内部に金属物を入れないでください。

火災・感電の原因になります。金属物が入った場合は、差し込みプラグを抜いて販売店へご相談ください。

■煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したりした場合は使用を中止してください。

火災・感電の原因になります。差し込みプラグを抜いて販売店へご相談ください。

■この製品を持ち運ぶときは、落としたり、衝撃を与えたりしないようにしてください。

けがの原因になります。
万一、この製品を落としたり、キャビネットを破損した場合は販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

■差し込みプラグを抜き差しするときは本体（金属でない部分）を持ってください。

感電の原因になります。

■ぬれた手で差し込みプラグの抜き差しはしないでください。

感電の原因になります。

■この製品は国内電源仕様です。必ず家庭用電源電圧（交流100V）に接続してください。

海外や交流100V以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。

■子機を充電するときは、専用の充電器を使用してください。

指定以外のものを使用すると、充電池の液漏れ・発熱・破裂により、やけどやけがの原因になります。

■医療用電気機器の近くでは使用しないでください。

本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

⚠注意

■水平でない場所や振動の激しい場所には置かないでください。
落下により破損・けがの原因になることがあります。

■表示部（画面）へ物を落としたり、強く押さえたり、爪や硬いものや先のとがったもので押さないでください。
破損・けがの原因になることがあります。

■風通しの悪いところや、じゅうたんなどの上に置かないでください。
通気孔をふさぎ本体の放熱が悪くなり、じゅうたんなどの変色、火災の原因になることがあります。

■充電器の上に、コインやクリップなどの金属物を置かないでください。また、磁力線がでていますので、磁気に弱い物（キャッシュカード、テレホンカード、自動改札定期券、カセットテープ、フロッピーディスクなど）を近づけないでください。
やけど、けがの原因となります。また、磁気に弱い物は使えなくなることがあります。

■暑い場所や直射日光のあたるところ、冷暖房機の近くには置かないでください。
35℃以上、5℃以下では、誤動作・変形・故障の原因になります。

■万一漏電した場合の感電事故防止のため、アース線を取り付けてください。
○アース線を取り付けられるところ
電源コンセントのアース端子
銅片などを65cm以上、地中に埋めたもの
設置工事（D種）が行われている接地端子
○アース線を取り付けてはいけないところ
ガス管
電話専用アース
避雷針
水道管や蛇口

■操作パネルを閉めるときは、手などをはさまないように注意して操作パネルを最後まで持って閉めてください。
けがの原因になることがあります。

■充電池は、幼児の手の届かない所に保管してください。

■火気や熱器具に近づけないでください。
変形や故障、火災の原因になることがあります。

■充電器を布や布団でおおったり、つつんだりしないでください。
熱がこもり、火災の原因になることがあります。

■湿気や湯気・油煙・ほこりの多い場所では使用しないでください。
火災・感電・故障の原因になることがあります。

■この製品を移動するときは、アンテナをたたんで、差し込みプラグ・電話機コードを抜いてください。
事故の原因になることがあります。

■点検・清掃（お手入れ）は、必ず差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。
感電やけがの原因になることがあります。

■原稿台（ガラス面）を強く押さえたり、上から物を落としたりしないでください。
破損やけがの原因になることがあります。

■コピーやスキャン時に、読み取り部の光源を直視しないでください。
目を痛めるおそれがあります。

■インクキャリッジが移動しているときは、手を触れないでください。
けがの原因になることがあります。

■インクカートリッジを取り扱う際は、インクが目や皮膚に付着しないように注意してください。
付着した場合は、すぐに水で洗い流してください。万が一異常が残る場合は、直ちに医師に相談してください。失明のおそれがあります。

■インクカートリッジを強く振ったり、分解したりしないでください。
インクが漏れて衣服や周囲を汚す原因となることがあります。

■インクカートリッジは小さなお子様の手の届かないところに保管してください。
けがの原因となることがあります。

特長

大きな 4.3 型カラー液晶画面

大きな4.3型ASV液晶なので、写真も文字も大きく見やすく表示できます。

パソコンからのプリント・スキャン（☞「UX-MF30／UX-MF40 シリーズ パソコン活用マニュアル」）

お使いのパソコンに接続して、プリンタやスキャナとしてご利用になれます。
USB接続に加えて、LAN接続にも標準対応していて、複数のパソコンからネットワークプリンタとしてご利用になれます。
くわしくは、付属のCD-ROM内の「UX-MF30／UX-MF40シリーズ　パソコン活用マニュアル」をご覧ください。

メモリーカードスロット採用

メモリーカード対応のデジタルカメラや携帯電話で撮影した写真を、メモリーカードを利用して大きな画面で見ることができます。
また、メモリーカード対応携帯電話の電話帳をこの製品に取り込むこともできます。
※メモリーカードは付属していません。

見てからプリント機能（☞ 103 ～ 106 ページ）

カラーもモノクロも受信ファクスを大きな画面で確認してから必要なものだけ印刷できるので経済的です。

かんたんフォトプリント

メモリーカードを挿入して「かんたんフォトプリント」ボタンを押せば、液晶画面に撮った写真画像を一覧表示。後はカーソルで写真を選んで「プリント」するだけです。

いろいろフォトプリント

欲しい写真を欲しい枚数だけ自由にプリントしたり、指定範囲をまとめてプリントすることが可能。また、シールやアルバム、ハガキへの印刷もパソコンを使わずにできます。

カラー液晶操作ガイド（☞ 47 ページ）

基本的な操作や、エラーが起こったときの操作方法などを文字とアニメーションでガイドします。

ケータイリンク（☞ 126～130ページ）

お手持ちのメモリーカードを使って、本機でスキャンしたデータを、各社携帯電話で利用できるPDFデータや写真データとして保存することができます。携帯電話の写真のプリント、電話帳の取り込みもできます。

カラー・モノクロファクス

カラーでもモノクロでもファクス送受信ができます。

コードレス電話

金属端子がないのでお手入れがカンタンな無接点充電方式を採用したコードレス子機で電話もできます。

ナンバー・ディスプレイ／キャッチホン・ディスプレイ／ネーム・ディスプレイ対応（☞ 153 ～ 170 ページ）

電話に出る前やキャッチホンでかかってきた相手の方の番号を確認できます。また、親機はネーム・ディスプレイ対応ですので、番号と同時に相手の名前も確認できます。
NTTとの契約が必要です。（有料）

カラー・モノクロコピー

カラーでもモノクロでもコピーができます。
また、25%～400%の間で、1%刻みの拡大・縮小コピーもできます。

※本商品には、当社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントを搭載しています。ただし、絵記号など、一部LCフォントでないものもあります。 FONT LC®

※CD-ROM内のドライバソフトの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

この商品で使えるインクカートリッジについて

この商品には、インクカートリッジの黒（hp131）と、カラー（hp135）が１個ずつ付属しています。

形名	製品番号	希望小売価格	メーカー
インクカートリッジ 黒			
hp130 プリントカートリッジ 黒（増量）	C8767HJ	オープン価格	日本ヒューレット・パッカード㈱
hp131 プリントカートリッジ　黒	C8765HJ	オープン価格	日本ヒューレット・パッカード㈱
インクカートリッジ カラー			
hp134 プリントカートリッジ カラー（増量）	C9363HJ	オープン価格	日本ヒューレット・パッカード㈱
hp135 プリントカートリッジ カラー	C8766HJ	オープン価格	日本ヒューレット・パッカード㈱
インクカートリッジ フォト			
hp138 プリントカートリッジ フォトカラー	C9369HJ	オープン価格	日本ヒューレット・パッカード㈱

インクカートリッジのセットのしかたや使い分けについては、30ページをご覧ください。

この商品で使える増設子機について

増設子機と付属の子機を合わせて４台まで増設できます。
増設子機は、UX-MF30CL／UX-MF40CLをお使いのときは３台まで、UX-MF30CW／UX-MF40CWをお使いのときは2台までとなります。

形名	希望小売価格
CJ-KS60	15,750円（税抜価格15,000円）
CJ-KS50	15,750円（税抜価格15,000円）
CJ-KS80	18,900円（税抜価格18,000円）
CJ-KS7	18,900円（税抜価格18,000円）

それぞれの機能の比較表は142ページをご覧ください。
機種によっては、生産が完了している場合もあります、あらかじめ在庫等を販売店にお確かめのうえ、お買い求めください。
付属の子機と同等のものを増設されたい場合は、CJ-KS60をお買い求めください。

その他の別売品／消耗品については、193～194ページをご覧ください。
別売品／消耗品のご注文は、お買い上げの販売店にお申し付けください。もし、お近くでご購入できない場合は、シャープドキュメントシステム㈱通信販売センター（ 0120-478-120 月～金 9:00～17:00）でもご購入いただけます。
希望小売価格は、2005年10月現在のものです。

取扱説明書の見かた

タイトル
項目の大まかな内容を表しています。

中見出し
説明している操作などの具体的な内容を表しています。

機能説明
機能の内容を説明しています。

操作手順
基本的な操作を説明しています。

インデックス
操作したい項目を簡単に検索できます。

追加説明
操作の途中や、こまったときのアドバイスなど追加操作について説明しています。

お知らせ
制約事項や便利で役立つ内容を説明しています。

補足説明
操作に関する補足事項を説明しています。

親機でファクスを送る

ダイヤルしてファクスを送る

親機でファクスを送るときは、相手の方にダイヤルし、お話ししないでファクスを送ります。相手の方とお話ししてからファクスを送りたいときは、子機で電話をかけてから、親機の操作でファクスを送ります。

1 原稿をセットする（☞88ページ）

2 待受画面で ◎ を押し､「ファクス」を選ぶ
・このあとダイヤルボタンでダイヤルして、読み込み（手順5）に進むこともできます。

3 決定 を押し、◎ で「送る」を選ぶ

4 決定 を押し、ダイヤルボタンでダイヤルする
・番号をまちがえたときは、◯（取消）を押して消去したあと入力し直します。

5 ◯（カラー／モノクロ）を押して設定を切り替えたあと、決定 を押す
・カラーファクスするときは設定を「カラー」（カラーの花の画像を表示）に、モノクロファクスするときは設定を「モノクロ」（モノクロの花の画像を表示）に切り替えてください。
・モノクロ送信時の画質を選ぶときは、◯（画質）を押します。くわしくは、「ファクス送信時の画質について」（☞94ページ）をご覧ください。
・複数の原稿があるときは、読み込みが終了したあと、次の原稿をセットしてもう一度 決定 を押す、という操作をくり返します。
・読み込みを途中でやめるときは、◯（読込み中止）を押します。

6 読み込みが終了したら、プリント/スタート を押す
・送信が始まります。
・送信中に途中でやめるときは、停止 を押します。このとき、FAX自動再ダイヤルの設定（☞95ページ）が「する」になっていると、FAX送信待ちの状態になります。送信を取り消すには◯（送信待ちリスト）を押してから、決定 を2回押します。
・ファクス送信が終わると終了音が聞こえ、自動的に回線が切れます。

■ 送信前に途中でやめるときは
停止 を押します。

■ 1つ前に戻るときは
◯（戻る）を押します。番号入力時は ◯（取消）を押します。

■ 子機で通話中にファクスを送るときは
子機で通話中に、親機で下記の操作をします。
① 親機に原稿をセットする
② 親機の待受画面で ◎ を押し、「ファクス」を選ぶ
③ 決定 を押し、◎ で「ファクスを送る」を選ぶ
④ 決定 を押す
原稿をセット後、「決定」を押してください。と表示されています。
⑤ ◯（カラー／モノクロ）を押して設定を切り替える
モノクロ送信時の画質を選ぶときは、◯（画質）を押します。
⑥ 決定 を押す
⑦ 続けて送るときは 決定 を、送らないときは プリント/スタート を押す

■「通信エラーがありました。」と聞こえたら（☞187ページ）

お知らせ
●読み込み中にメモリーがいっぱいになると（当社標準原稿で99枚まで）、読み込みの終了した分の原稿を送信します。
●相手側のファクスがカラープリント対応機（ITU-T準拠カラーファクシミリ）でないときは、カラー送信をすると通信エラーになり、「相手機にカラー通信機能がありません」と表示されます。
●ファクスを送ったとき、相手側の用紙に日付と時刻、曜日をプリントするので、日付・時刻は正しく設定してください（☞25ページ）。

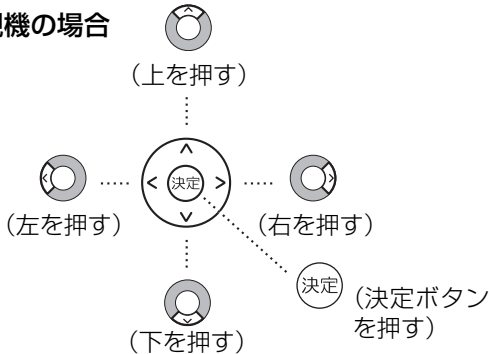
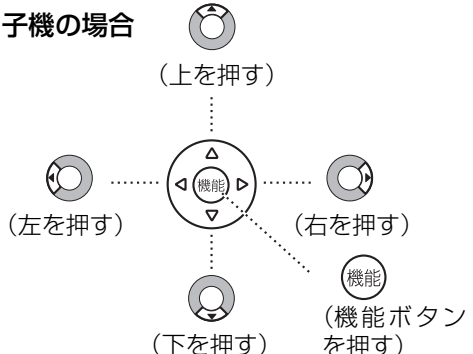
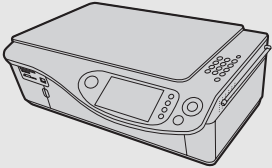
コピー／ファクス　親機でファクスを送る

93

操作手順でのボタンやマークの意味

取扱説明書内では次のように表記しています。

■ ◯（登録 / 機能）などの表記は、ソフトボタン（ ◯ ）を押す操作です。
ソフトボタンは、操作によって画面に表示される機能名が切り替わりますので、（登録 / 機能）や（戻る）のように機能名をつけて表記しています。

■ マルチファンクションボタンの4方向（左・右・上・下）を押す操作を、下図のように示しています。
決定 は親機の決定ボタン、機能 は子機の機能ボタンを押す操作を示しています。

また、本書内の親機のイラストは、おもにUX-MF30CL／UX-MF30CWのものを使用しています。

付属品の確認

このたびは、「カラー液晶ファクシミリ複合機」をお買いあげいただき、まことにありがとうございました。まず、次のものがすべてそろっているか、確認してください。もし足りない場合やちがうものが入っているときは、お買いあげの販売店にご連絡ください。

親機 1台	インクカートリッジカバー 1個	インクカートリッジ（黒・カラー） 各1個
	※使い切っていないインクカートリッジの保管用に使います（☞34ページ）。	
子機 UX-MF30CL／UX-MF40CL：1台 UX-MF30CW／UX-MF40CW：2台	充電器（子機用） UX-MF30CL／UX-MF40CL：1個 UX-MF30CW／UX-MF40CW：2個	充電池ふた UX-MF30CL／UX-MF40CL：1個 UX-MF30CW／UX-MF40CW：2個
充電池（子機用） UX-MF30CL／UX-MF40CL：1個 UX-MF30CW／UX-MF40CW：2個	電話機コード（約2m） 1本	

取扱説明書 …… 1冊
かんたんセットアップガイド …… 1部
保証書 …… 1部
CD-ROM（「UX-MF30／UX-MF40シリーズ　パソコン活用マニュアル」・プリンタドライバ・スキャナドライバなど） …… 1枚

※パソコンとUSB接続でお使いになるとき（☞49～50ページ）は、USBケーブルが必要です。USBケーブルは付属していませんので、市販のノーマル（ABタイプ）で長さ5m以内のものをお買い求めください。
※パソコンとLAN接続でお使いになるとき（☞51～56ページ）は、LANケーブルが必要です。LANケーブルは付属していませんので、市販の10BASE-T／100BASE-TX対応のストレートケーブルをお買い求めください。

お知らせ

- この製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください（☞223～224ページ）。
- お客様または第三者がこの製品の使用を誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- この製品は使用誤りや静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき、また故障・修理のときは記憶内容が変化・消失する場合があります。

ご使用の前に知っていただきたいこと

ご使用にあたってのお願い

この製品のご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、**「機器使用料」は、不要**となります。
詳しくは、**局番なしの116番（無料）**へお問い合わせください。

この製品を使用できるのは、日本国内のみです。規格などが異なるため海外では使用できません。
This facsimile is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

この装置について

- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ASV カラー液晶パネルについて

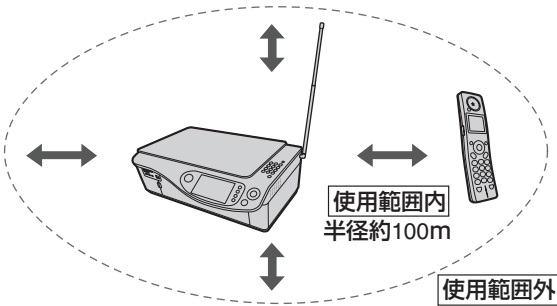
- ASV カラー液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素がある場合があります。また、見る角度によって色むらや明るさむらが見える場合があります。これらは、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

Windows® Me/98SE をご利用の方へ

Windows® Me/98SE をご利用の方は、次の機能はご利用になれませんので、あらかじめご了承ください。
●LAN接続
●付属のCD-ROM内の「UX-MF30／UX-MF40シリーズ パソコン活用マニュアル」で説明されている「本機をパソコンのリムーバブルディスクとして使用する」の機能

子機について

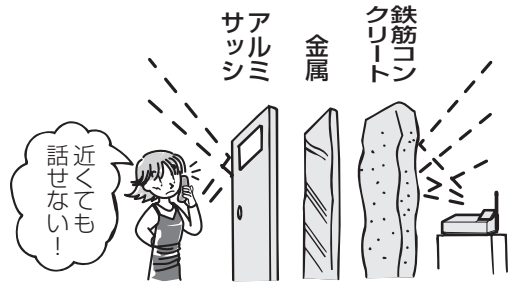
■ **使用範囲を確かめる**

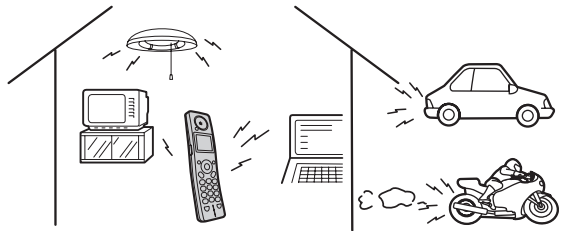
子機と親機間の電波の届く距離は、周囲の環境によっても異なりますが、直線見通し距離で半径約100mです。

子機間でのトランシーバー方式内線通話は親機を経由して行います。子機と子機が近くても、親機から離れすぎると通話できなくなります。

■ **子機はいつも充電器に戻しておく**

子機は使わないときも、充電器に戻しておいてください。充電のしすぎによって、故障することはありません。正常に充電されるよう子機を充電器に確実に戻してください。

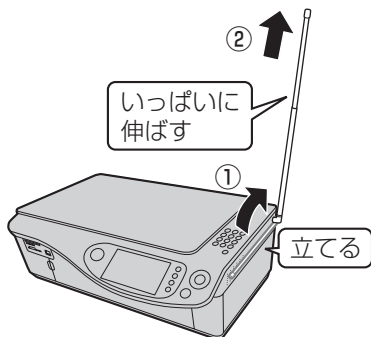
■ **親機と子機の間に障害物のある場所で使わない**

マンションなど鉄筋コンクリートの建物内や構造に金属が使われている住宅や大型の金属製家具の近くなどは、電波の届く距離が短くなることがあります。

■ **雑音が入ることがあります**

自動車やオートバイが近くを通ったときや、蛍光灯のスイッチを「入」「切」したときなど、雑音が入ることがあります。

■ **"傍受"にご注意ください**

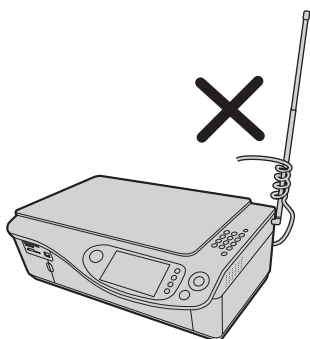
この商品は盗聴防止スクランブル機能を搭載していません。
コードレス子機を使っての通話は、電波を利用していますので第三者が故意または偶然に受信することも考えられます。
傍受（ぼうじゅ）とは、無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

■ **親機のアンテナは立てて伸ばす**

電波の届く距離が短かったり、雑音が入ることがありますので、親機のアンテナは必ず立てて伸ばしてください。

■ **子機の着信音は、遅れて鳴ります**

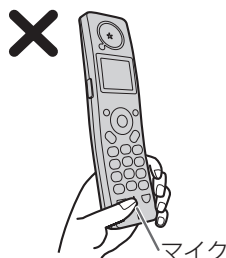
電話がかかってくると､はじめに親機の着信音が鳴って、そのあと、少し遅れて子機の着信音も鳴ります。

■ **アンテナにコードを巻き付けない**

親機の電源コード、電話機コード、充電器の電源コード、USBケーブル、LANケーブルなどをアンテナに巻き付けないでください。
着信時に子機の着信音が鳴らなくなったり、通話時に雑音が入ったりすることがあります。また、アンテナが破損する原因となります。

■ **子機の受話口やスピーカーの穴をふさがない**

受話口やスピーカーの穴をふさぐと音が聞こえにくくなります。

■ **子機のマイクをふさがない**

こちらの声が相手の方に聞こえにくくなります。

■ **子機や充電器を設置するときは**

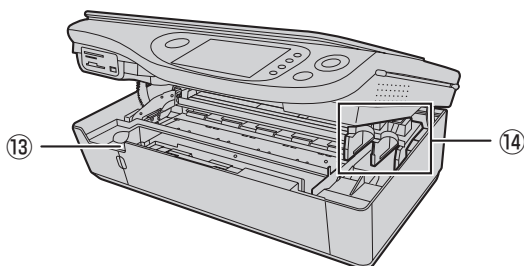
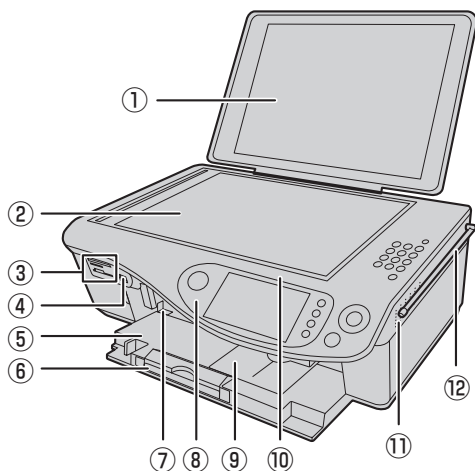
親機や他の増設子機、PHS／携帯電話の充電器、その他の電気製品などと一緒に置かないでください。（できるだけ離してください。）
子機の着信音が鳴らなくなることがあります。

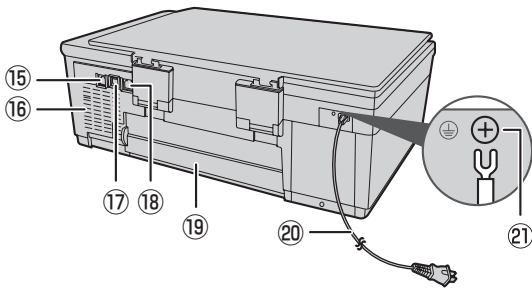
■ **クイック通話は設定されていません**

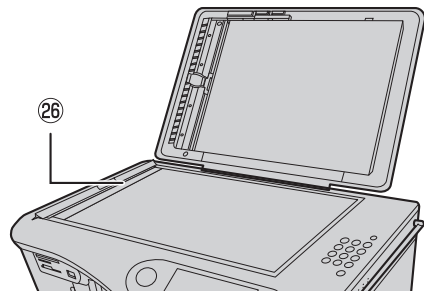
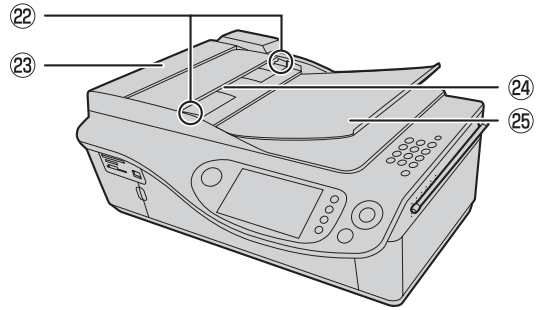
クイック通話とは、子機を充電器から取り上げるだけで、通話ボタンを押さなくても電話を受けることができる機能です。
お買いあげ時には、クイック通話は設定されていません。設定のしかたは138ページをごらんください。

親機各部の名前とはたらき

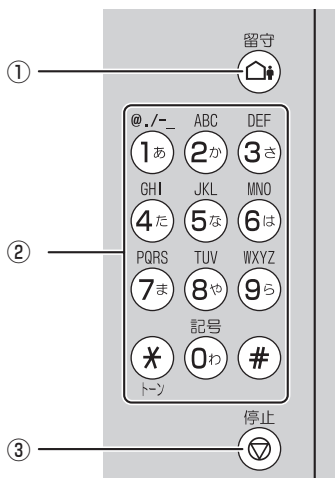
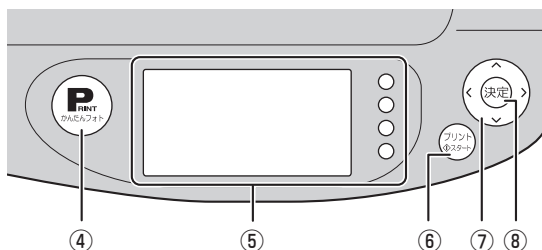
各部の名前

MF30CL／MF30CW／MF40CL／MF40CW 共通部

番号	名称・説明
①	**原稿カバー（保護マット付き）** 原稿をセットするときに開きます。
②	**原稿台** ここに原稿をセットします。
③	**メモリーカードスロット** 市販のメモリーカードを取り付けます。メモリーカードの種類によって差し込むスロットが異なります（☞111ページ）。
④	**デジタルカメラ／外部メモリー接続端子** デジタルカメラ（PictBridge対応のもの）またはUSBメモリーを接続することができます。
⑤	**用紙トレイ（フロントカバー兼用）** プリント用紙をセットします。 用紙をセットしていないときは閉じてお使いください。
⑥	**用紙補助トレイ** プリント用紙をセットしたときに引き出します。
⑦	**用紙ガイド** セットするプリント用紙の幅に合わせます。
⑧	**このカラー液晶ファクシミリ複合機の形名**
⑨	**L判 ／ ハガキ用紙トレイ** L判（写真サイズ）の用紙とハガキをセットします。
⑩	**操作パネル（本体上面）** インクカートリッジを交換するときに開きます。
⑪	**スピーカー** キータッチ音やエラー音、録音再生時の音声などは、ここから聞こえます。
⑫	**アンテナ**
⑬	**予備インク入れ** 交換用のインクカートリッジを収納できます。
⑭	**インクキャリッジ** 左側にカラーインク、右側に黒インクまたはフォトインクをセットします。操作パネルを開けると、自動的に右端へ移動します。

背面

⑮	**回線接続端子（回線差込口）**
	電話機コードを差し込みます。
⑯	**通気孔**
⑰	**USB接続端子**
	USBケーブルを差し込んで、パソコンと接続します。
⑱	**LAN接続端子**
	LANケーブルを差し込んで、ネットワークに接続します。
⑲	**Uターンユニット**
	紙詰まりが起きたときは、この部分を取り外して、詰まった紙を取り除きます。
⑳	**電源コード・差し込みプラグ**
㉑	**アース端子**
	電源コード接続部のとなりにあります。

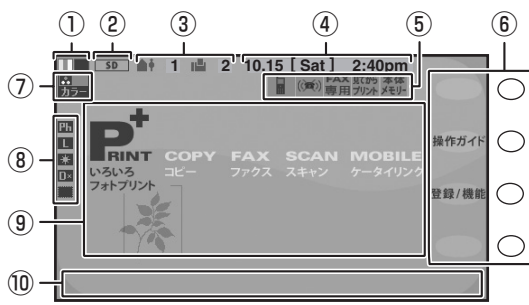
MF40CL／MF40CW のみ

㉒	**原稿ガイド**
	セットした原稿の幅に合わせます。
㉓	**ADF（自動原稿送り装置）**
	原稿詰まりが起きたときは、この部分のカバーを開けて、詰まった原稿を取り除きます。
㉔	**原稿挿入口**
	ここに原稿をセットします。
㉕	**原稿トレイ**
	ADFに原稿をセットするときは、ここを開けます。
㉖	**原稿読み取り部**
	ADFに原稿をセットしたときは、この部分で読み取ります。

操作パネル

上面ボタン

前面ボタン

①	留守 留守ボタン（表示ランプ兼用）(☞82、84ページ)
	外出時、留守番電話にするときに使います。 留守設定時に点灯しています。
②	ダイヤルボタン
	ダイヤルするときや、文字入力、登録操作を行うときに使います。 ＊(トーン) はダイヤル回線で、プッシュホンサービスを利用するときに使います。
③	停止 停止ボタン
	操作や送信を途中で止めるときに使います。

④	かんたんフォトプリントボタン (☞114ページ)
	「かんたんフォトプリント」機能を使用するときに使います。
⑤	カラー液晶ディスプレイ・ソフトボタン (☞19ページ)
⑥	プリント／スタートボタン
	プリントやファクス送信をするときに使います。
⑦	マルチファンクションボタン
	各種の項目を選ぶときや、ディスプレイに表示した画像をスクロールさせるときに使います。 また、 は電話番号の登録時に待ち時間（ポーズ）を入れるときに使います。
⑧	決定 決定ボタン
	選択や入力した内容の決定に使います。

ディスプレイ表示

待受画面（通話や操作などをしていないとき）では下記のように表示します。
節電のため、ディスプレイのバックライトは一定時間で自動的に消えますが、いずれかのボタンを押すと点灯します。

①	**インクカートリッジ状態表示エリア**
	セットしているインクカートリッジの種類や、インクの残量を表示します。 ※表示するインクの残量は目安です。

②	**外部メモリー表示エリア**
	セットしている外部メモリーの種類を表示します。 CF ：コンパクトフラッシュ MS ：メモリースティック SD ：SDカード SM ：スマートメディア USB ：USBメモリー

③	**メモリー表示エリア**
	（留守録音件数表示） 留守録音の件数を表示します。 **（ファクス受信件数表示）** ファクスを受信している件数を表示します。

④	**日付・時間表示エリア**
	日付・時刻を表示します。

⑤	**設定状態表示エリア**
	 携帯とくとくダイヤル（☞147～148ページ）設定時に表示します。 親機の着信音を鳴らさない設定にしているときに表示します（☞42ページ）。 FAX優先 または FAX専用 FAX優先またはFAX専用に設定されているときに表示します（☞199ページ）。 見てからプリント または 受信後プリント ファクス受信方法の設定（☞103～108ページ）を表示します。 本体メモリー または 外部メモリー 受信ファクスの保存先を表示します。外部メモリー のときは、本機に取り付けているメモリーカードに保存されます。

⑥	**ソフトボタン名表示エリア／ソフトボタン**
	ディスプレイの右にあるソフトボタン（◯）に割り当てられ ている機能名が表示されます。 ◯ を押すと、ディスプレイに表示されている機能を実行します。

⑦	**カラー／モノクロ設定表示エリア**
	コピー・ファクス時のカラー／モノクロ設定を表示します。 モノクロ ：モノクロ カラー ：カラー

⑧	**用紙設定表示エリア**
	設定されている用紙のサイズやタイプを表示します。

⑨	**機能選択エリア**
	フォトプリント・コピー・ファクス・スキャン・ケータイリンクの、各機能の入り口を表示します。

⑩	**ガイドメッセージ表示エリア**
	各種メッセージを表示します。

■ **通常モード時のバックライトの明るさを調整する**

通常モード時の液晶ディスプレイのバックライトの明るさを調整することができます（8段階）。

① ◯（登録/機能）を押し、 で「画面設定」を選ぶ

② 決定 を押し、 で「バックライト明るさ調整」を選ぶ

③ 決定 を押し、 で「通常モード」を選ぶ

④ 決定 を押し、 で明るさを調整する

⑤ 決定 を押す

⑥ 停止 を押す

■ **省電力モード時のバックライトの明るさを調整する**

省電力モード時の液晶ディスプレイのバックライトの明るさを調整することができます（8段階、消灯）。

① ◯（登録/機能）を押し、 で「画面設定」を選ぶ

② 決定 を押し、 で「バックライト明るさ調整」を選ぶ

③ 決定 を押し、 で「省電力モード」を選ぶ

④ 決定 を押し、 で明るさを調整する

⑤ 決定 を押す

⑥ 停止 を押す

■ **省電力モードへの移行時間を変更する**

節電のため、省電力モードに移行するまでの時間を変更することができます。

① ◯（登録/機能）を押し、 で「画面設定」を選ぶ

② 決定 を押し、 で「省電力モード移行時間」を選ぶ

③ 決定 を押し、ダイヤルボタンで点灯時間（1分～5分）を入力する

④ 決定 を押す

⑤ 停止 を押す

■ **画面の配色を変更する**

画面の配色を変更することができます（オレンジ・ブルー・グリーンの3種類）。

① ◯（登録/機能）を押し、 で「画面設定」を選ぶ

② 決定 を押し、 で「配色設定」を選ぶ

③ 決定 を押し、 で変更したい色を「オレンジ」、「ブルー」、「グリーン」の3種類から選ぶ

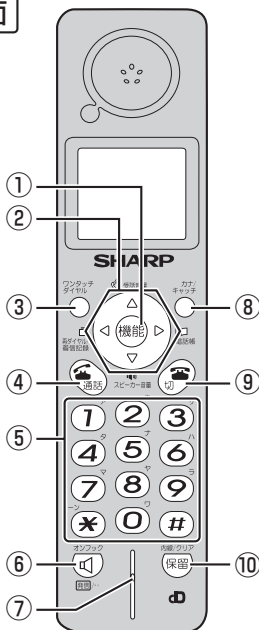
④ 決定 を押す

お知らせ

- ガイドメッセージ表示エリアに長いメッセージを表示するときは、文字を流して表示するため、にじんで見えることがありますが、故障ではありません。
- 省電力モード時のバックライトの明るさは、工場出荷時は「明るさ：消灯」に設定されています。
- ガイドメッセージ表示エリアにメッセージが表示されている場合は、省電力モードに移行時、「明るさ：消灯」に設定されている場合でも、「明るさ：1」で点灯してメッセージを表示します。
- 通常モードのバックライトの「明るさ：1」と省電力モードのバックライトの「明るさ：8」は同じ明るさとなります。
- 操作パネルが開いているときは、「省電力モード移行時間」の設定に関わらず5分で省電力モードへ移行します。
- FAX 送信待ち中は省電力モードには移行しません。

子機各部の名前とはたらき

各部の名前

前面

点灯するボタンは 通話 と 切 のみです。

①	**機能（ファクス）ボタン（☞102、138 ページ）**
	登録操作や、ファクスを受信するときに使います。

②	**マルチファンクションボタン**
	電話帳で相手の方を選ぶときや、登録操作をするときに使います。 また、押す方向によって、次の機能を兼用しています。 **：（受話音量）（☞44ページ）** お話し中に、受話音量を変えるときに使います。 **：（スピーカー音量）（☞44ページ）** スピーカーから音声が出ているときに、スピーカー音量を変えることができます。 **：（再ダイヤル／着信記録）／ポーズ（☞60、73、163〜164ページ）** 同じ相手の方にもう一度、電話をかけ直すときに使います。（再ダイヤル） ナンバー・ディスプレイをご利用時は、着信した相手の方の番号や名前を表示できます。 また、電話番号の登録や発信の途中で、待ち時間を入れるときに使います。（ポーズ） **：（電話帳）（☞73ページ）** 電話帳に登録するときなどに使います。

③	**ワンタッチダイヤルボタン（☞81 ページ）**
	ワンタッチダイヤルを使って電話をかけるときに使います。

④	**通話ボタン（表示ランプ兼用）（☞57 ページ）**
	外へ電話をかけるときや受けるときに使います。

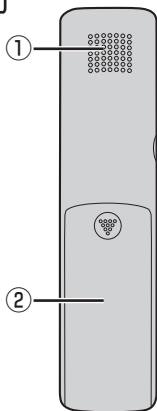
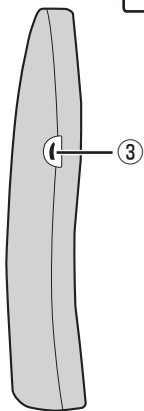
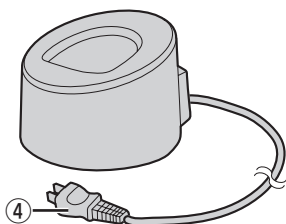
⑤	**ダイヤルボタン**
	電話をかけるときや、文字を入力するときに使います。また、次の機能を兼用しています。 **5(ナ)：戻し（☞86ページ）** 再生中に録音内容を聞き直したり、１つ前の録音を聞いたりするときに使います。 **6(ハ)：送り（☞86ページ）** 再生中に次の録音内容を聞くときに使います。 **9(ラ)：早聞き（☞86ページ）** 録音内容を早く（約1.5倍速）聞くときに使います。 **＊(トーン)：トーン（☞145ページ）** ダイヤル回線で、プッシュホンサービスを利用するときに使います。 ※ダイヤルボタンは点灯しません。

⑥	**オンフックボタン**
	子機を置いたままダイヤルするときに使います。

⑦	**マイク**
	相手の方とお話しするときに使います。

⑧	**カナ／キャッチボタン（☞75 〜 77、146 ページ）**
	文字を入力するとき、入力モード（カナ、英字、数字）の切り替えに使います。 また、キャッチホンを利用するときに使います。

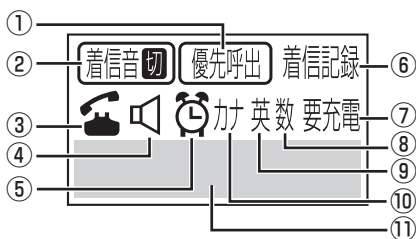
⑨	**切ボタン（表示ランプ兼用）**
	通話をやめるとき、また、登録操作を途中でまちがえたときや、やめるときに使います。

⑩	**保留 / 内線 / クリアボタン（☞59、77 ページ）**
	通話中に、相手の方をお待たせするときに使います。 また、入力した文字を消すときにも使います。

①	スピーカー 留守録音の再生などがここから聞こえます。

②	充電池ふた

③	トランシーバーボタン (☞61 ～ 64 ページ) 子機間内線通話（トランシーバー方式）をするときに使います。

④	電源プラグ コンセントに差し込みます。

ディスプレイ表示

①	優先呼出を設定しているときに表示します。

②	着信音を「キリ」に設定しているときに表示します。

③	通話ボタンを押すと表示します。

※ 上の図は説明用です。すべて一度に表示されることはありません。

④	スピーカーから音が出ているときに表示します。 ※スピーカーホンとしてはご利用になれません。

⑤	アラームを設定しているときに表示します。

⑥	着信記録の確認中に表示します。

⑦	充電池の残量が不足しているときに表示します。

⑧	数字入力モードに設定しているときに表示します。

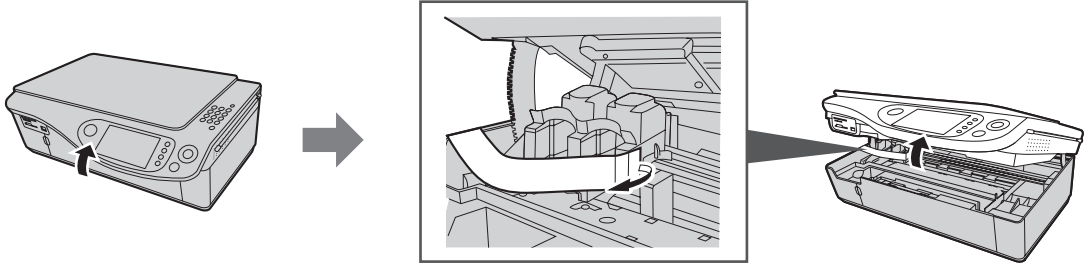
⑨	英字入力モードに設定しているときに表示します。

⑩	カナ入力モードに設定しているときに表示します。

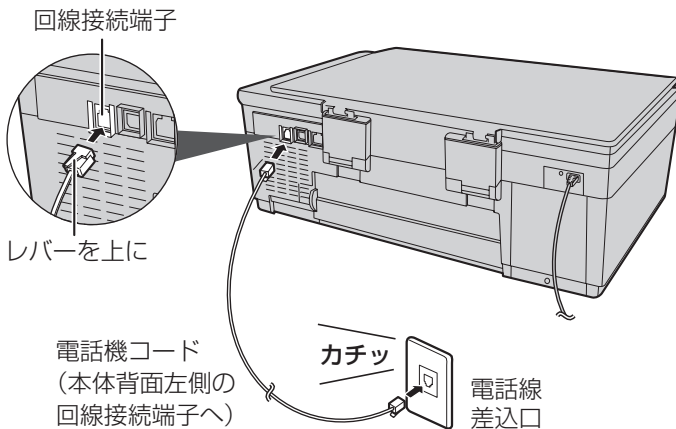
⑪	電話番号、現在時刻、電話帳、通信時間などを表示します。

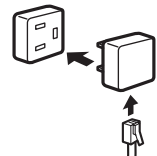
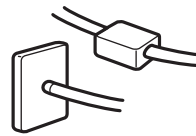
親機を接続する

＜電源を入れる前に＞

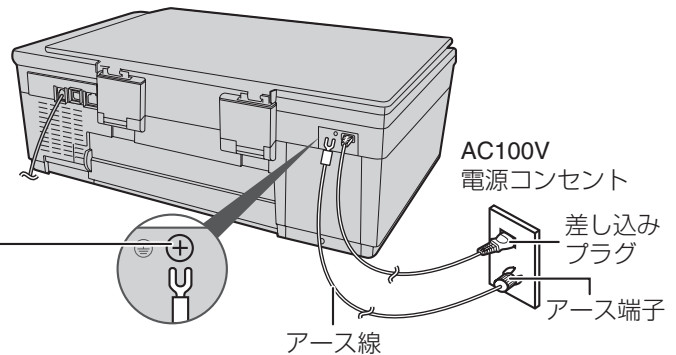
お買いあげ時は、本体内部のインクキャリッジが、テープで仮止めされています。電源を入れる前に、操作パネルを開けて必ず取り除いてください。
テープを取り除いたあとは、操作パネルを閉じてください。

ADSL回線、ISDN回線、IP電話、光回線（光電話）をお使いのときは、26～27ページをご覧ください。

電話回線に接続する／日付・時刻を設定する

1 電話機コードを、回線接続端子とご家庭の電話線差込口に差し込む

コンセントのタイプについて

直接配線（ローゼット／プレート）の場合、資格者の工事が必要です。	３ピンプラグ式コンセントの場合、市販のアダプターをお買い求めいただくか、資格者の工事が必要です。

資格者の工事については、最寄りのNTTにご相談ください。

2 差し込みプラグを電源コンセントに差し込む

万一、漏電した場合の感電事故防止のため、アース線をアース端子へネジ止めします。アース端子は電源コード接続部のとなりにあります。
アース線は付属しておりませんので、市販のものをご購入ください。

次ページへ→

→つづき

3 電源が入り、下記の画面が表示されたら (決定) を押す

日付・時刻を
設定してください。
[決定]で設定に
入ります。

4 ダイヤルボタンで日付を入れる

例：0 5 1 0 1 5
２００５年 １０月 １５日

・数字を入れまちがえたときは、◯(取消) を押して、もう一度入れ直します。
・年は西暦年の下２桁を入れます。
【年入力】 ２００５年⇒０５ 〜 ２０４８年⇒４８
・ファクスを送ったとき、相手側の用紙に日付と時刻、曜日をプリントするので日付・時刻は正しく設定します。

5 ダイヤルボタンで時刻を入れる

例：1 4 4 0
午後２時 ４０分

・時刻は24時間制で入れます。待受画面での表示は12時間制（AM／PM）になります。

6 (決定) を押す

・０秒から時計がスタートします

7 電話回線が自動的に設定される

・10PPSの回線を使われているときは、手動で設定してください。

回線種別とは…

電話回線の種類にはダイヤル回線（20PPS、10PPS）とプッシュホン回線（トーン）とがあります。
回線の種類が正しく合っていないと、電話やファクスを使用できません。
（利用している回線の種類は、NTTとの契約によります。）

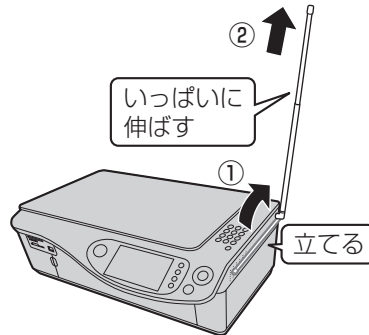
「回線種別選択」と表示されたときは

回線種別自動設定ができませんでした。回線の状態によって自動的に設定できないことがあります。
回線種別が合っていないと、電話やファクスを使用できなかったり、ちがう相手にかかったりすることがあります。
こんなときは (1) 〜 (3) で回線を選んでください。

20PPS	▶ (1)
トーン（プッシュホン）	▶ (2)
10PPS	▶ (3)

次ページへ→

→つづき

8 アンテナを立てて伸ばす

・親機のアンテナは必ず立てて伸ばしてください。電波の届く距離が短くなったり、雑音が入ることがあります。

■ 回線の種類がわからないときは（☞29ページ）

■ 回線を手動で設定するときは（☞29ページ）

■ 日付・時刻を設定し直すときは

① 待受画面で ◯（登録/機能）を押す
② で「初期登録」を選ぶ
③ 決定 を押し、 で「日付・時刻」を選ぶ
④ 決定 を押し、「電話回線に接続する／日付・時刻を設定する」の手順４～６（☞24ページ）の操作を行う
⑤ 停止 を押す

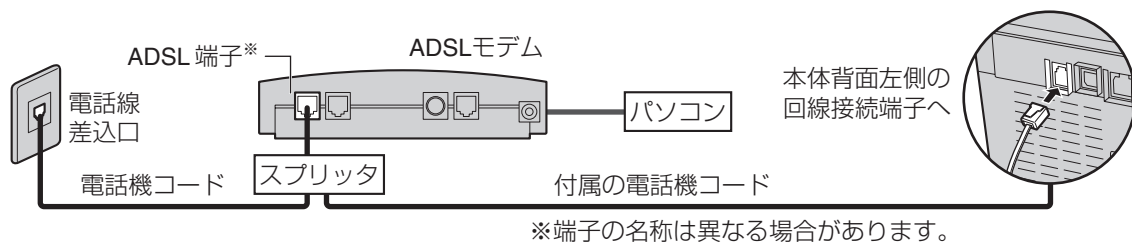
■ パソコンに接続せずにお使いになるときは

「パソコン接続設定をする」（☞55ページ）の操作で「接続しない」に設定してください。
パソコンに接続してお使いになるときは、48ページをご覧ください。

お知らせ

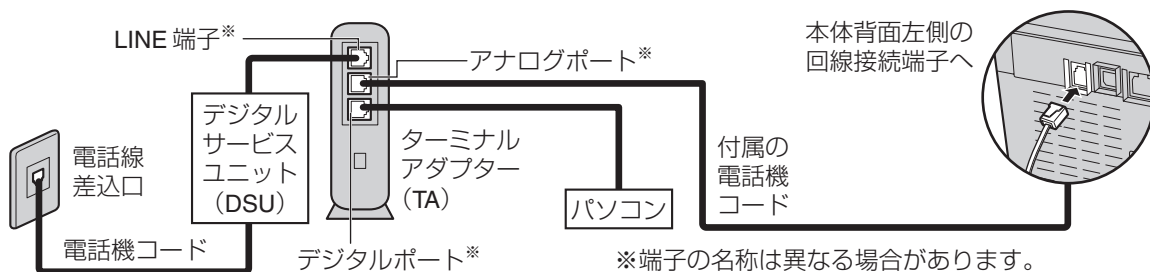
●電源コードを抜いたり、停電などで電源が切れると、日付・時刻の設定は保持されません。また、日付・時刻を設定中に設定を中断したり、操作の途中で約3分間何もしないでいると、日付・時刻は設定されずに待受画面に戻ります。
「日付・時刻を設定し直すときは」（☞左記）をご覧になって日付・時刻を合わせてください。
●時刻表示は、めやすとしてご利用ください。なお、誤差が生じた場合は設定をやり直してください。（時計精度：平均月差±60秒以内）
●日付が入れば、曜日は自動的に設定されます。年は送信したファクスにプリントされます。
●構内交換機（PBX）、ビジネスホン、ホームテレホンなどに接続されている場合は、回線種別が正しく合わないことがあります。
●IP電話（インターネットを使った電話）サービスをご利用のときは、回線種別が正しく合わないことがあります。ご契約されている回線種別をご確認の上、手動で回線種別を設定してください。（☞29ページ）
●電源を入れると、親機の側面等が部分的にあたたかくなりますが、故障ではありません。
●電源コードと電話機コードはできるだけ離して設置してください。雑音が入ることがあります。
●この商品のプラスチック部分には、光の具合によってキズのように見える箇所があります。これはプラスチックの成形過程で生じるもので、構造上および機能上の問題はありません。

いろいろな接続

ADSL回線に接続するとき

ADSLを利用するには、ADSL各サービス会社への申し込みが必要です。

●ADSLには加入電話と共有するタイプ（タイプ1）と共有しないタイプ（タイプ2）があります。
タイプ2のときは、基本的には本機をお使いになれませんが、IP電話のサービスによってはお使いになれる場合もあります。

●本商品の回線種別はご契約の回線種別に設定してください。

ISDN回線に接続するとき

■接続後は、回線種別を「トーン」に設定してください。（☞29ページ）

ISDN回線を利用するには、NTTへの申し込みが必要です。

●ターミナルアダプターとISDN回線間の接続には、デジタルサービスユニット（DSU）が必要です。なお、ターミナルアダプターによっては、DSUが内蔵されている機種もあります。詳しくはターミナルアダプターの説明書をご覧ください。

●ナンバー・ディスプレイやネーム・ディスプレイを利用するときは、ナンバー・ディスプレイまたはネーム・ディスプレイ対応のターミナルアダプターを使用してください。対応状況は、お使いのTAメーカーにお問い合わせください。

●ナンバー・ディスプレイに対応していないターミナルアダプターをお使いのときは、本商品のナンバー・ディスプレイの利用設定を「使用しない」に設定してください（☞ 153ページ）。

●ターミナルアダプターによって電話の音量が大きくなりすぎる場合があります。こんなときは「回線調整」の設定を変更してください（☞ 200ページ）。

お知らせ

一般回線やISDNからADSLに変更した場合、サービス会社や接続条件によっては、次のようになります。

●FAXが送受信できなくなったり、電話にノイズが入ったりすること等があります。その場合は、各ADSLサービス会社にご相談ください。また、NTTを選択して送信するとエラーにならないことがあります。

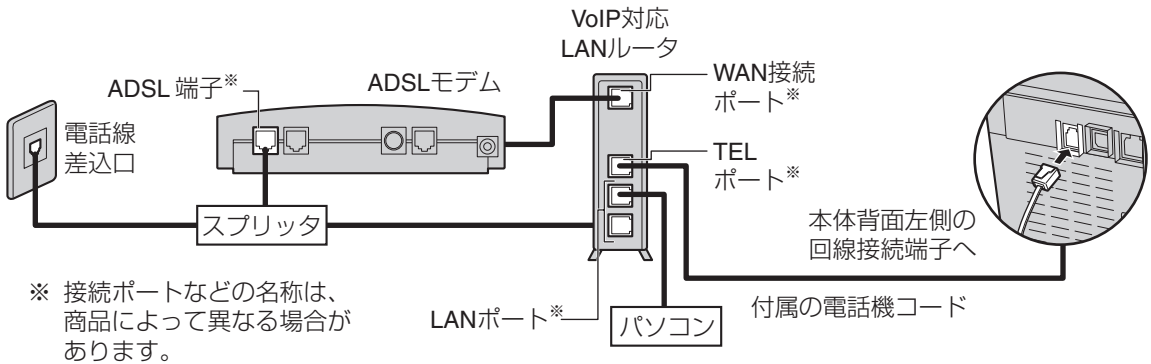
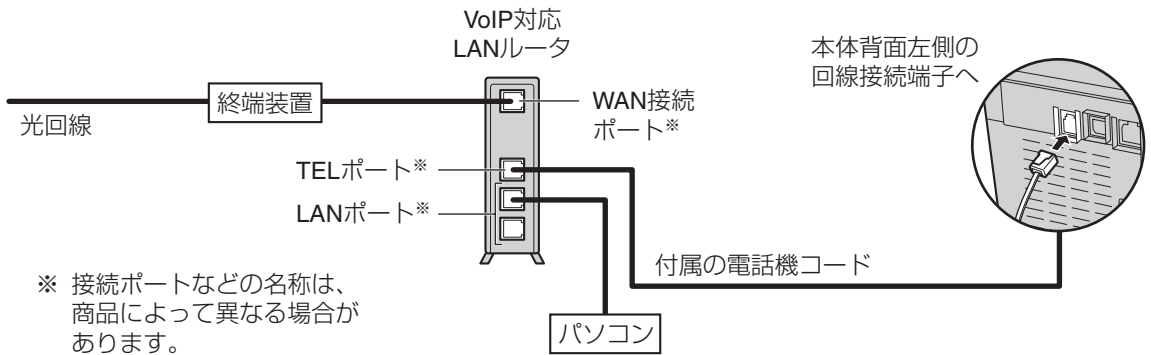
●電話番号を通知するように選択されていても、携帯電話、PHSに発信した場合は、非通知になることがあります。
通知したいときは、NTTを選択して発信してください。（NTT網で発信する方法はADSLのサービス提供会社にご確認ください。）

●発信時、局番の頭に0000、0120、0570、0990等をつけた場合、また110、119、177、117、186、184、122等の番号にかけたとき、かからない（つながらない）などといった現象が発生することがあります。このときは、契約されている回線種別と機器の回線設定を確認し、手動で設定しなおしてください（☞29ページ）。

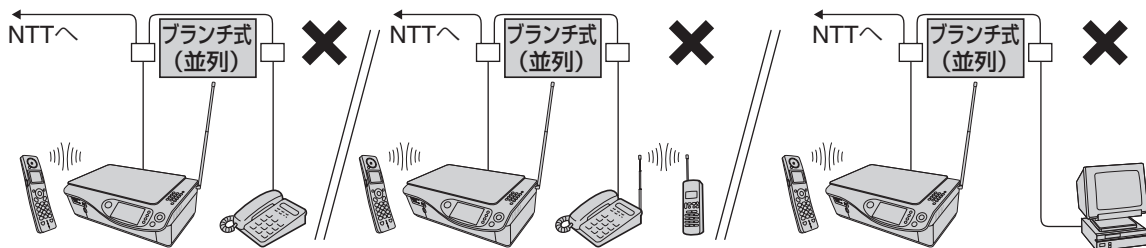
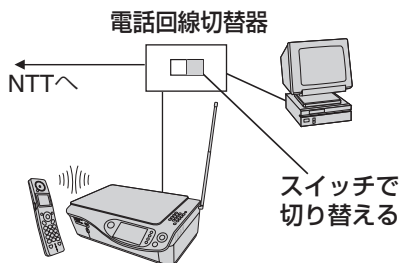
●ADSLをご利用のときは、電話の音量が大きくなりすぎる場合があります。こんなときは「回線調整」の設定を変更してください（☞200ページ）。

ADSL回線でIP電話をご利用のとき

基本的には、IP電話会社から提供される「IP電話対応モデム」や「アダプタ」（会社によって名称は異なります）に設けられている「電話機用」の差込口に接続すればお使いになれます。ただし、本機はIP電話に接続してお使いになることを前提として設計したものではありませんので、完全な動作を保証するものではありません。

接続のしかたやファクスをつないだときの動作などについて、くわしくは、IP電話サービスを提供している会社のパンフレットやホームページなどをご確認ください。

光回線（光・IP電話）をご利用のとき

その他の接続について

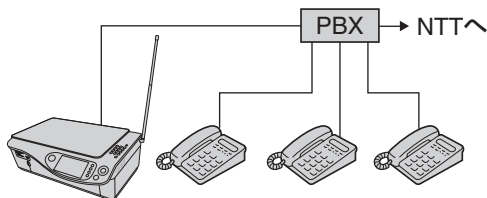
■ ブランチ式（並列）に接続しない

● 下図のように、一つの電話回線を２つ以上に分けて並列に接続しないでください。共鳴したり、正常に機能が動作しなくなったりすることがあります。また、他のコードレス電話機と並列に接続すると、電波が干渉し合って子機の着信音が鳴らないことがあります。同様にパソコン等を並列に接続しないでください。パソコンを並列に接続すると、パソコンでメールやインターネットをお使いのとき伝送速度が遅くなることがあります。

● パソコン等を接続する場合は、市販の電話回線切替器を接続すれば、一つの電話回線を切り替えて使用できます。ただし、スイッチがパソコンなどの外部機器側に切り替えられている場合、電話の発着信、ファクスの送受信はできません。

■ 構内交換機（PBX）やビジネスホン、ホームテレホンへの接続について

● お使いになるホームテレホンや構内交換機（PBX）などの機種によって接続方法が異なりますので、工事が必要です。

● 構内交換機（PBX）やビジネスホン、ホームテレホンに接続した場合、機種によってはナンバー・ディスプレイをご利用になれない場合があります。ご利用になれない場合は、ナンバー・ディスプレイの設定を「使用しない」にしてお使いください。（☞153ページ）

● 構内交換機（PBX）やビジネスホン、ホームテレホンに接続した場合、本商品以外の電話機で受けたあとファクスに切り替えることができないことがあります。

構内交換機（PBX）の場合

●ホームテレホンとは
電話回線１本で複数の電話機を設置できて、内線通話などもできる家庭用の簡易交換機です。

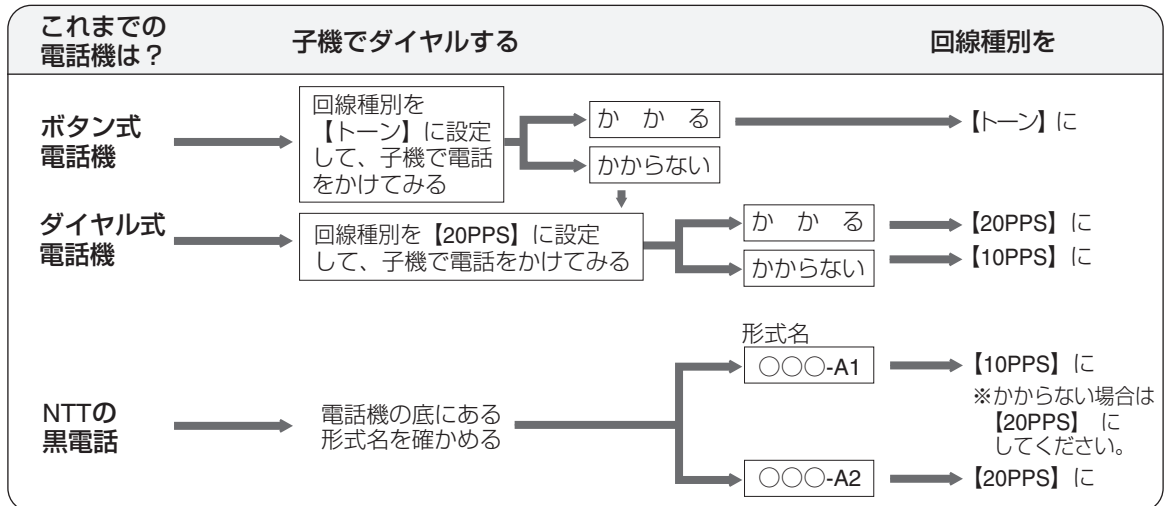
●ビジネスホンとは
電話回線を２本以上持っていて、その回線を多くの電話機で共有できる、内線通話なども可能な簡易交換機です。

■ 回線を接続せずに使用するとき

● 回線種別自動設定機能を解除するために、回線種別を設定してください（例：トーン）。
回線種別を設定していないと、回線種別自動設定機能が常に働き、この機能の動作中はボタンが効かないことがあります。（設定のしかた ☞29ページ）

回線種別を合わせる（変える）ときは

回線種別を親機が自動的に設定できなかったときや、電話やファクスを使用できないときは、回線種別が正しく設定されていないことがあります。もう一度、回線種別を設定し直してください。
また、10PPS回線をご利用の方も、この設定で10PPSに設定を変えてからお使いください。

●回線の種類がわからないときは
回線の種類は、子機で電話をかけて調べることができます。わからないときは、最寄りのNTT支店、営業所にお問い合わせください。

インクカートリッジを取り付ける

インクカートリッジの種類と使い分け

インクカートリッジには次の3種類の色があります。
この商品には、インクカートリッジの黒（hp131）と、カラー（hp135）が1個ずつ付属しています。

形名	製品番号	希望小売価格	メーカー
インクカートリッジ 黒			
hp130 プリントカートリッジ 黒（増量）	C8767HJ	オープン価格	日本ヒューレット・パッカード㈱
hp131 プリントカートリッジ　黒	C8765HJ	オープン価格	日本ヒューレット・パッカード㈱
インクカートリッジ カラー			
hp134 プリントカートリッジ カラー（増量）	C9363HJ	オープン価格	日本ヒューレット・パッカード㈱
hp135 プリントカートリッジ カラー	C8766HJ	オープン価格	日本ヒューレット・パッカード㈱
インクカートリッジ フォト			
hp138 プリントカートリッジ フォトカラー	C9369HJ	オープン価格	日本ヒューレット・パッカード㈱

プリントしたいものによって、次のように使い分けてください。

■ 写真以外のカラーのプリントや、モノクロでプリントすることが多い場合
インクキャリッジの左側：　カラーインクカートリッジ
インクキャリッジの右側：　黒インクカートリッジ

■ 写真など、カラーの画像を鮮明にプリントしたい場合
インクキャリッジの左側：　カラーインクカートリッジ
インクキャリッジの右側：　フォトインクカートリッジ

フォトインクカートリッジはこの商品には付属していません。
上記の推奨品をお買い求めください。

お知らせ

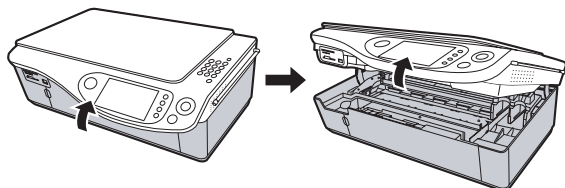
●インクカートリッジを１種類だけ取り付けているときは、下記の条件でプリントできます。
ただし、最適な印刷品位を得るため、２種類とも取り付けた状態でお使いいただくことをお勧めします。
カラーインクカートリッジのみ取り付けている場合：
フォトプリント、カラーコピー、モノクロコピーができます。
黒インクカートリッジ、またはフォトインクカートリッジを１個だけ取り付けている場合：
モノクロプリント（モノクロのファクスのプリント、モノクロのコピー）はできますが、フォトプリント、カラーコピーはできません。

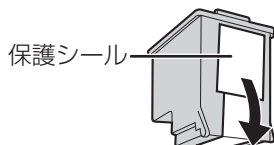
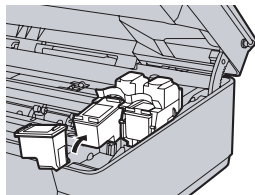
●インクカートリッジ２種類のうち片方のインクが切れた場合、正しくプリントできないことがあります。
なお、片方がインク切れになっても、プリント前およびプリント中に自動的に停止することはありません。早めにインクカートリッジを交換してください。

インクカートリッジを取り付ける

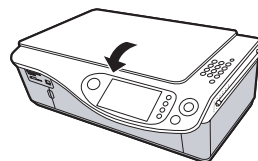
はじめてお使いになるときは、下記の操作でインクカートリッジを取り付けてください。
新しいインクカートリッジを取り付けたときは、「プリンタ位置調整」の操作が必要です。A4サイズの普通紙をご用意ください。プリント用紙は付属していませんので、当社推奨品をお買い求めください（☞30ページ）。

壁などに当たらないように、操作パネルを開けるときは、アンテナを前に倒しておいてください。

1 操作パネルを開く

・「ガチッ」という音がして、操作パネルが固定されるまで動かしてください。
・インクキャリッジが右端まで移動します。右端で止まるまでさわらないでください。

2 インクカートリッジを袋から取り出し、保護シールをはがす

3 インクカートリッジを取り付ける

左側にカラーインク、右側に黒インクまたはフォトインクをセットします。

・「カチッ」と音がして、カートリッジが動かなくなるまで押し込んでください。
・カートリッジをまちがえていると、正しく取り付けられません。

4 操作パネルを閉じる

・ディスプレイに「プリンタ位置調整が必要です ➡操作ガイド 」と表示されます。

5 ◯（操作ガイド）を押し、画面のメッセージにしたがって、A4サイズの普通紙をセットする（☞37ページ）

6 ◯（プリンタ位置調整）を押す

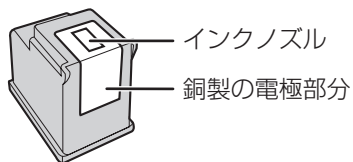
・プリンタ位置調整が始まります。プリント中は操作パネルを絶対に開けないでください。

⚠注意

●インクキャリッジが移動しているときは、手を触れないでください。けがの原因となるおそれがあります。
●操作パネルを閉めるときは、手をはさまないように注意して、最後まで操作パネルを持って閉めてください。けがの原因となるおそれがあります。

お知らせ

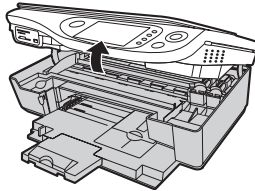
●操作パネルを開けたままにしておくとインクキャリッジが左端へ戻ります。その場合は、一度操作パネルを閉めて、もう一度開けてください。

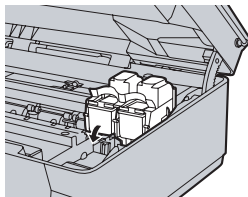
■ **インクカートリッジを取り扱うときは**

インクカートリッジのインクノズルや、銅製の電極部分には手を触れないでください。インク詰まり、損傷、電気の接触不良の原因となります。また、銅板の部分をはがさないでください。この部分はインクカートリッジが動作するために必要な部分です。

インクカートリッジを交換する

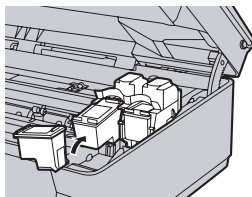
インクが残り少なくなると、親機のディスプレイにメッセージを表示してお知らせします。
インク残量が少ないまま印刷を行うと、かすれなどが発生しやすくなりますので、メッセージが表示されたら、早めにインクカートリッジの交換を行ってください。
新しいインクカートリッジを取り付けたときは、「プリンタ位置調整」の操作が必要です。A4サイズの普通紙をご用意ください。プリント用紙は付属していませんので、当社推奨品をお買い求めください(☞193ページ)。

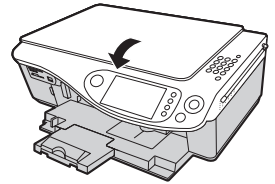
壁などに当たらないように、操作パネルを開けるときは、アンテナを前に倒しておいてください。

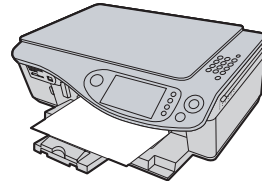
1 操作パネルを開く

・インクキャリッジが右端まで移動します。右端で止まるまでさわらないでください。

2 古いインクカートリッジを取り外す

・インクカートリッジを押し下げて、インクキャリッジから取り外します。

3 新しいインクカートリッジを袋から取り出し、保護シールをはがす

4 新しいインクカートリッジを取り付ける

・「カチッ」と音がして、カートリッジが動かなくなるまで押し込んでください。
・左側にカラーインク、右側にフォトインクまたは黒インクをセットします。カートリッジをまちがえていると、正しく取り付けられません。

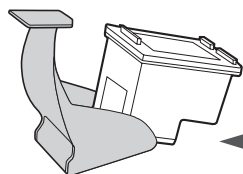
5 操作パネルを閉じる

6 ◯(操作ガイド)を押す

7 画面のメッセージにしたがって、A4サイズの普通紙をセットし(☞37ページ)、プリンタ位置調整をする

・プリンタ位置調整が始まります。プリント中は操作パネルを絶対に開けないでください。

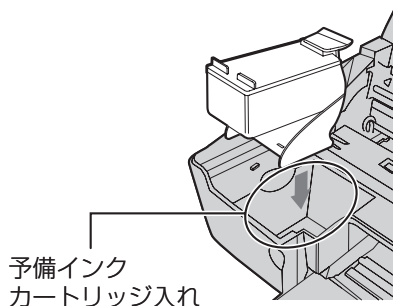
お知らせ

●操作パネルを開けたままにしておくとインクキャリッジが左端へ戻ります。その場合は、一度操作パネルを閉めて、もう一度開けてください。

■ 使い切っていないインクカートリッジの保管について

インクカートリッジを親機から取り外したときは、インクカートリッジを安全に保護し、インクノズルの乾燥を防ぐために、付属のインクカートリッジカバーに取り付けて保管してください。

また、操作パネルを開けると、左側に予備インクカートリッジ入れがあります。使いかけのインクカートリッジは、ここに収納しておくと便利です。

お知らせ

●インクカートリッジは必ず当社推奨品をお使いください（☞30ページ）。当社推奨品以外のインクカートリッジをご使用になると、故障や印刷かすれの原因になることがあります。

■ 使用済みインクカートリッジの取り扱いについて

ご使用済みのインクカートリッジは、再資源化処理を行って再利用するため、店頭に設置されている日本ヒューレット・パッカード社（HP社）の回収ボックスにて回収しております。

※ご使用済みインクカートリッジの回収および回収ボックスの設置店舗リストにつきましては、HP社のホームページにてご確認ください。
http://www.hp.com/jp/supply_recycle/

回収ボックスのない地域で、使用済みのインクカートリッジを廃棄するときは、インクが飛び散らないように注意し、お住まいの地域の規則にしたがって、「プラスチック製容器包装」として廃棄してください。

プリント用紙をセットする

お使いの用途に合わせた用紙をセットします。

プリント用紙は付属していませんので当社推奨品をお買い求めください。(☞193ページ)
推奨品以外の用紙を使用するとプリントがかすれたり、濃く、または薄くプリントされることがあります。

セットできる用紙の枚数

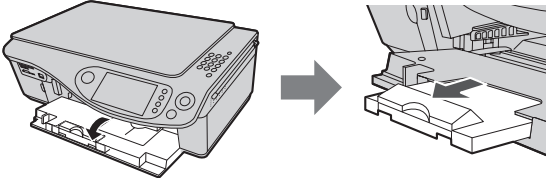
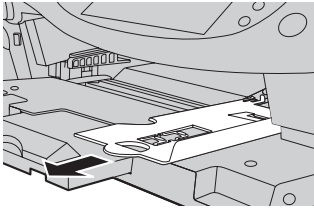
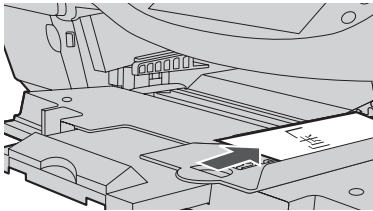
用　　紙	一度にセットできる枚数	用　　紙	一度にセットできる枚数
フォト用紙・光沢紙 ※1	30枚まで	コート紙、マット紙 ※1	30枚まで
はがき ※2	30枚まで	普通紙 ※3	100枚まで
OHPフィルム ※1	30枚まで	封筒 ※4	10枚まで
シール用紙（ラベル紙）※1	1枚ずつ		

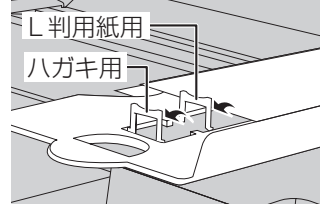
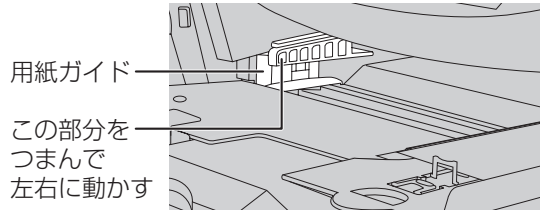
※1 当社推奨品をご使用ください（☞ 193ページ）。
※2 官製はがき、インクジェット官製はがき、当社推奨品（はがき）をご使用ください。
※3 坪量60～90g/㎡、厚み86～106μmの用紙をご使用ください。
※4 長形3号（120×135mm）／長形4号（90×205mm）かつ坪量75～90g/㎡の封筒をご使用ください。光沢紙を使った封筒、エンボス加工された封筒、留め具付きの封筒、窓付き封筒は使用しないでください。

お知らせ

- 一度にセットできる枚数は、用紙の種類によって異なります。
- 厚めの用紙をセットしたり、用紙のさばき方によっては、上記の枚数でもうまく給紙できない場合があります。そのときは、枚数を減らしてセットするなどの調整をしてみてください（シール紙の場合を除く）。

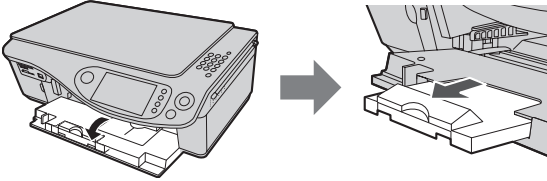
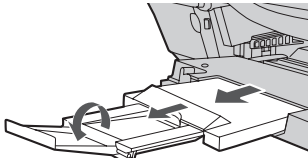
Ｌ判／ハガキサイズの用紙のセットのしかた

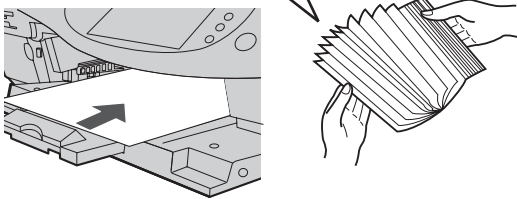
1 用紙トレイを開き、用紙補助トレイを引き出す

2 Ｌ判／ハガキ用紙トレイを引き出す

3 印刷する面を**下向き**にし、縦向きにＬ判用紙またはハガキをセットする

例：Ｌ判の用紙をセットするとき

4 Ｌ判用紙をセットしたときは奥のストッパーを起こす、ハガキをセットしたときは手前のストッパーを起こす

5 用紙ガイドをスライドさせて、セットする用紙サイズに合わせる

・用紙ガイドは、用紙の幅より少し余裕をもたせて合わせてください。

6 Ｌ判／ハガキ用紙トレイを元の位置に戻す

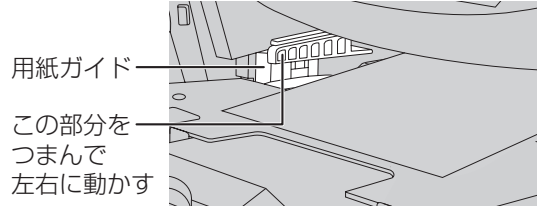
その他の用紙のセットのしかた

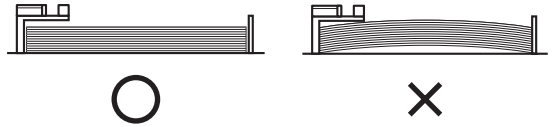
1 用紙トレイを開き、用紙補助トレイを引き出す

・用紙がA4より大きいときは、2段目を引き出し、ストッパーを起こす

2 印刷する面を**下向き**にし、用紙トレイにセットする

用紙をよくさばいて紙の先端をそろえてから、用紙の先端が奥にあたるまで挿入してください。
さばかずにセットすると、紙の先端がそろわずに用紙が正常に送られないことがあります。

・用紙はトレイの右側に合わせます。
・用紙を強く差し込まないでください。

■ **用紙を追加するときは**

いったん用紙を全部抜き取ってから、再度セットしてください。
プリント中は、用紙を追加しないでください。

3 用紙ガイドをスライドさせて、セットする用紙サイズに合わせる

・用紙ガイドは、用紙の幅より少し余裕をもたせて合わせてください。

○　×

■ **排紙される普通紙の枚数について**

プリント後の普通紙は、用紙トレイに30枚以上溜まらないようにしてください（枚数に関係なく、できるだけこまめに取り除いてください）。

■ **おもな用紙の用途について**

本機で使用できるおもな用紙は、それぞれ下記のような用途に適しています。

・フォト用紙／光沢紙：
　写真などのカラー印刷全般に適しています。
・コート紙：
　厚手でこしがあり、カラーのレポートやプレゼンテーション資料などに適しています。
・普通紙：
　モノクロでのコピーや、受信したファクスのモノクロ出力に適しています。

■ **用紙が詰まったときは**（☞ 175ページ）

お知らせ

●しわや折り目のあるもの、反っているもの、また破れている用紙はセットしないでください。紙詰まりの原因になります。
●長期間、用紙トレイに用紙をセットしたままにしないでください。用紙が湿気などを含み、劣化する原因になります。劣化した用紙をそのままお使いになると、給紙不良や紙詰まりなどの原因になることがあります。
●用紙トレイや用紙補助トレイは、使用しないときは元通りに戻しておいてください。

子機を充電する

充電池をセットして子機を充電する

はじめてお使いになるときは、

必ず10時間以上充電 してください。

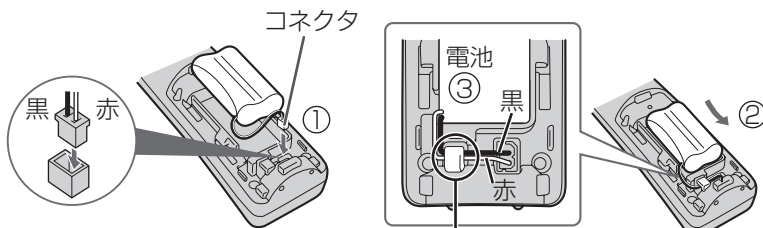
充電池の寿命

●充電池にも寿命があります。古くなると充電しても使えなくなります。
●使用頻度にもよりますが、約2年程度で使用できなくなります。長時間充電してもすぐに充電池の容量がなくなるときは新しい別売の充電池に交換してください。（別売品／消耗品 ☞ 193〜194ページ）

通話時間について

いっぱいに充電した状態（10時間以上）で通話できる時間は
●通話状態で **約6時間** です。
●通話中や登録操作中に、充電容量がなくなると、“ピッピッ…”と警報音が鳴り、約１分後に通話が切れます。（子機のディスプレイに“要充電”が表示されます。）このときは、いったん電話を切って充電してください。

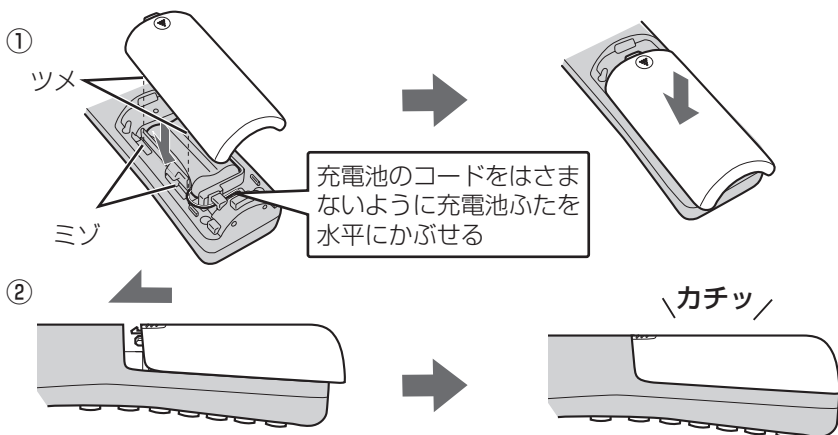
1 充電池のコネクタを接続して充電池を入れる

・充電池のコネクタが正しく接続されていないと、充電器に置いたとき、「ポッ…ポッ…」と鳴って充電できません。

●コネクタはしっかり差し込んでください。

充電池のコードをミゾに通して、内側に寄せる。

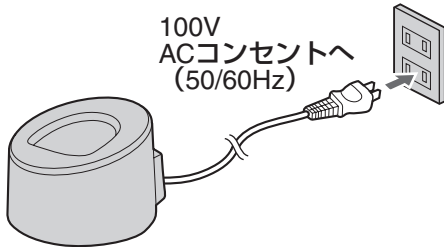
⚠警告

充電池のビニールカバーをはがしたり、キズをつけないでください。
充電池の液が漏れたり、発熱・破裂させる原因となります。

2 充電池ふたを取り付ける

「カチッ」と音がするまで充電池ふたをスライドさせて閉める

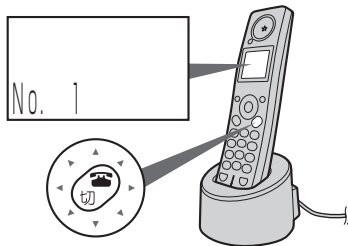
次ページへ→

→つづき

3 電源コードをコンセントに差し込む

⚠注 意

- 充電器の上にコインやクリップなどの金属物を置かないでください。金属物が熱くなることがあり、やけど、けがの原因となります。
- 磁力線がでていますので、磁気に弱い物を近づけないでください。キャッシュカード、テレホンカード、自動改札定期券、カセットテープ、フロッピーディスクなど使えなくなることがあります。

4 子機を充電器に置く

- はじめてお使いになるときは、切ボタンが点灯してから **１０時間以上充電** してください。

子機を充電器に置くだけで、自動的に電源が入り（切ボタン点灯）、充電が始まります。充電が完了しても切ボタンは点灯したままです。

- 子機を使わないときは、いつも充電器に戻してください。
- ディスプレイに表示される“No.1”などの番号は、子機の内線番号です。内線通話やとりつぎ転送するときに使います。はじめて子機を充電するときは、表示されるまで時間がかかることがあります。

■ **内線通話や通話転送をするときは**
（☞61～64ページ）

お知らせ

●旅行や長期不在により子機を使用されないときは、充電池のコネクタを外しておくことをおすすめします。
●充電中は子機や充電器があたたかくなりますが、異常ではありません。
●子機や充電器を設置するときは、親機やPHS／携帯電話の充電器、その他の電気製品などと一緒に置かないでください。（できるだけ離してください。）子機の着信音が鳴らなくなることがあります。
●電磁誘導による無接点充電方式をとっています。AMラジオなどが近くにあると雑音が聞こえることがありますので、向きを変えるか、離してご使用ください。また親機で通信中のときも雑音やノイズが入ることがありますので、親機と充電器とを50cm以上離してください。

親機と充電器とを**50cm以上**離してご使用ください

充電池を交換する

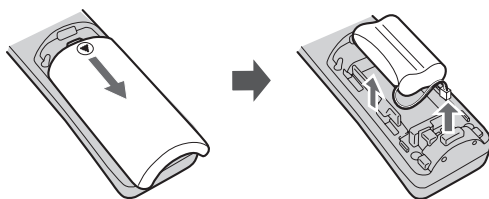
長時間充電しても通話できる時間が短いときは、新しい別売りの充電池と交換してください。

充電池を交換すると次の項目データが消えたり、初期状態に戻ったりします。これ以外の内容は変わりません。

●時刻、アラーム設定、着信音量、受話音量、再ダイヤル、優先呼出の表示、着信音の種類、着信鳴り分けの設定、ワンタッチダイヤルの設定、スピーカー音量

約2年程度で交換してください

子機に内蔵している専用の充電池は消耗品です。使用頻度にもよりますが、約2年程度で充電池の容量が減少していきます。
そのときは、いっぱいに充電された状態でも、続けて使用できる時間が、短くなってきます。長時間充電してもすぐに充電池の容量がなくなるときには、新しい別売りの充電池（☞193ページ）に交換してください。

1 充電池ふたを外して、充電池を取り外す

充電池ふたの Ⓥ を押さえながら、ずらします。

充電池のコネクタを外します。

2 新しい充電池を入れる

・「充電池をセットして子機を充電する」（☞38〜39ページ）をご覧ください

■ **充電池について**

●充電池は使わないで放置しておいても自己放電します。
このため、新しい充電池でもはじめから容量が少なくなっていたり、全くないことがあります。
これは、充電池の不良ではありません。

●充電池をはじめて使うときや、長時間使わなかったときは、必ず充電してください。

●充電池が自己放電したときは、充電しても通常の使用時間より短いことがあります。
このようなときは、充電と通話（充電・放電）を何回か繰り返すと通常の状態に戻ります。

■ **充電式電池のリサイクルご協力のお願い**

この商品には、ニッケル水素電池を使用しています。
この電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。
電池の交換、廃棄に際しては、リサイクルにご協力ください。

ニッケル水素電池の
リサイクルにご協力ください。

●交換後不要になった電池、及び使用済み製品から取外した電池のリサイクルに際しては、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。

●リサイクル協力店へのお問い合わせは、下記へお願いします。

- この商品またはニッケル水素電池をお買い求めいただいた販売店または「当店は充電式電池のリサイクルに協力しています。」のステッカーを貼ったシャープ商品取り扱い店
- （社）電池工業会小型二次電池再資源化推進センタ、および充電式電池リサイクル協力店くらぶ事務局
詳しくは、（社）電池工業会ホームページ「http://www.baj.or.jp/」をご覧ください。

●電池を分別廃棄している市町村がありますので、その場合は市町村の条例に基づいて廃棄してください。

●リサイクル時のご注意

- 電池はショートしないようにしてください。火災・感電の原因となります。
- 外装カバー（被覆・チューブなど）をはがさないでください。
- 電池を分解しないでください。

子機の時刻を合わせる

子機の時刻を合わせるとディスプレイに時刻を表示します（親機の日付・時刻とは別に設定が必要です）。

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 （機能）を押し、（十字キー）で「トケイトウロク」を選ぶ

トケイトウロク

2 （機能）を押す

00:00

3 ダイヤルボタンで時刻を入れる

15:00

・時刻は24時間制で入れます。（表示も24時間制です。）

例：1 5 0 0
午後3時　00分

・１ケタのときは、最初に「0」をつけて入れます。

例：0 9 0 8
午前9時　8分

・数字を入れまちがえたときは、でまちがえた数字を選んで、もう一度、入力し直します。

4 （機能）を押す

15:00

↓

No. 1　15:00

・「ピー」と鳴ったあと待受画面に戻り、０秒から時計がスタートします。

■ **途中でやめるときは**

（切）を押します。

■ **「ピピピピ」と鳴ったときは**

時刻として入力できる範囲を超えた数字が入力されています。はじめから入力をやり直してください。

お知らせ

●時計の精度は、１ヵ月に±60秒ほどの誤差があります（25℃の常温の場合）。
●充電池のコネクタが外れたり、充電池の容量がなくなると、設定した時刻は消えてしまいます。再度、登録してください。
●操作の途中で約２分間何もしないでいると、待受画面に戻ります。そのときは、はじめからやり直してください。

着信音量や着信音の種類を変える

親機の着信音量を変える／鳴らさないようにする

ファクスや電話を着信したときの着信音の大きさを変えることができます。5段階の音量と、「切」（鳴らさない）の中から選ぶことができます。

1 ◯（登録/機能）を押し、
　で「音の設定」を選ぶ

2 決定 を押し、
　で「親機着信音」を選ぶ

3 決定 を押し、
　で「親機着信音量」を選ぶ

4 決定 を押し、 で音量を調整する

親機着信音量
小 ▮▮▮　大

・ をくり返し押して、音量の目盛りが表示されていない状態にすると、「音量：切」（鳴らさない設定）になります。
・◯（音量確認）を押すと、現在の音量が確認できます。

5 決定 を押す

6 停止 を押す

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**
◯（戻る）を押します。

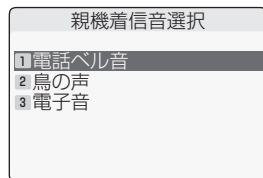
親機の着信音の種類を変える

ファクスや電話を着信したときの着信音の種類を変えることができます。
3種類の着信音が内蔵されています。

1 ◯（登録/機能）を押し、
　で「音の設定」を選ぶ

2 決定 を押し、
　で「親機着信音」を選ぶ

3 決定 を押し、
　で「親機着信音選択」を選ぶ

4 決定 を押し、 で着信音を選ぶ

・「電話ベル音」「鳥の声」「電子音」のいずれかを選べます。

5 決定 を押す

6 停止 を押す

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**
◯（戻る）を押します。

お知らせ
●受信モードの設定（☞ 199ページ）を「FAX優先」にすると親機の着信音は「電話ベル音」になります。

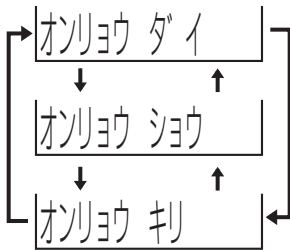
子機の着信音量を変える／鳴らさないようにする

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 (機能) **を押し、**(十字キー) **で「チャクシンオンリョウ」を選ぶ**

チャクシンオンリョウ

2 (機能) **を押す**

3 (十字キー) **で音量を選ぶ**

・「オンリョウ　ダイ」「オンリョウ　ショウ」「オンリョウ キリ」のいずれかを選びます。着信音を鳴らさないようにするときは、「オンリョウ キリ」を選びます。

・「キリ」に設定すると 着信切 が表示されます。このとき電話がかかってくると、着信ランプが点滅し、「チャクシン」と表示されて着信がわかります。

4 (機能) **を押す**

・「ピー」と鳴って待受画面に戻ります。

子機の着信音の種類を変える

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 (機能) **を押し、**
(十字キー) **で「チャクシンネイロ」を選ぶ**

チャクシンネイロ

2 (機能) **を押す**

▲▼：ネイロセンタク

・現在設定されている着信音が鳴ります。

3 (十字キー) **で着信音の種類を選ぶ**

・選ぶたびに、着信音（確認音）が鳴ります。
・着信音の種類は表示されません。

01	「プルルル　プルルル」
02	「ポロロロ　ポロロロ」
03	「ピロン　ピロン」
04	「ショートメロディー①」
05	「ショートメロディー②」
06	「展覧会の絵」
07	「エリーゼのために」
08	「のばら」
09	「春」
10	「森のくまさん」

4 (機能) **を押す**

・「ピー」と鳴って待受画面に戻ります。

■ **途中でやめるときは**
(切) を押します。

お知らせ

●UX-MF30CW／UX-MF40CWをご利用時や子機増設時に、他の子機から呼び出しを受けた場合、着信音を「キリ」にしていても、着信音が「ショウ」の大きさで鳴ります。
●優先呼出（☞58ページ）を設定した子機の着信音を「キリ」にしているときは、外から電話がかかってきても、親機、子機ともに着信音は鳴りません。
●親機、子機ともに着信音を鳴らさない設定にしているときは、外から電話がかかってきても着信音は鳴りません。
●内線からの着信音は、常に「プルルル、プルルル」です。
●UX-MF30CW／UX-MF40CWをご利用時や子機増設時に、他の子機から呼び出しを受けた場合の着信音は変わりません。

子機の受話音量やスピーカーの音量を変える

受話音量を変える

通話中に受話口から聞こえる相手の方の声の大きさを変えることができます。

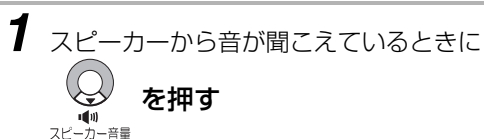
1 通話中に
受話音量 を押す

・はじめは「標準」になっています。
標準・大・特大の3段階に設定できます。（押すたびに切り替わります。音を聞きながら設定してください。）

スピーカー音量を変える

録音再生時などに、スピーカーから聞こえる音声の大きさを変えることができます。

1 スピーカーから音が聞こえているときに

スピーカー音量 を押す

・はじめは「標準」になっています。
標準 ⟷ 大の２段階に設定できます。（押すたびに切り替わります。音を聞きながら設定してください。）

■ **相手の方に聞こえるこちらの声の大きさを変えたいときは（子機送話音量を調整する ☞171ページ）**

■ **子機の受話音量を全体的にさらに大きくしたいときは（子機受話音量を調整する ☞171ページ）**

■ **子機のボタンを押したときに鳴る「ピッ」という音を鳴らさないようにするときは（キータッチ音 ☞138ページ）**

お知らせ

●受話音量を「特大」にしているとき、音が歪む場合があります。
このときは、音量を「標準」にしてください。

あなたの電話番号や名前を登録する

あなたの電話番号を登録する

登録した電話番号は、ファクスを送ったとき、相手の方の用紙にプリントされます。

1 ◯(登録/機能)を押し、
　で「初期登録」を選ぶ

2 決定 を押し、
　で「発信元番号」を選ぶ

3 決定 を押し、　で「登録」を選ぶ

4 決定 を押す

5 ダイヤルボタンで電話番号を入れる（最大20ケタ）

発信元番号
NO.=0312345678

・番号を入れまちがえたときは ◯(取消) を押して、もう一度入れ直します。
・スペース(空白)を入れるときは # を押します。
　プラス（＋）を入れるときは ＊(トーン) を押します。

6 決定 を押す

7 停止 を押す

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

■ **１つ前に戻るときは**
◯(戻る) を押します。

■ **登録した電話番号を消すときは**
① 左記手順１～２の操作を行う
② 決定 を押し、　で「消去」を選ぶ
③ 決定 を押し、　で「する」を選ぶ
④ 決定 を押す
⑤ 停止 を押す

■ **登録した電話番号を変えるときは**
一度消してから、もう一度登録します。

お知らせ
●電話番号や名前は、LAN 接続されたパソコンからも登録できます。くわしくは、付属のCD-ROM内の「UX-MF30／UX-MF40シリーズ　パソコン活用マニュアル」の「機器基本情報ページについて」をご覧ください。

あなたの名前を登録する

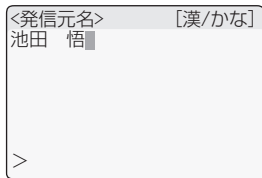
登録した名前は、電話番号と同じく相手の方の用紙にプリントされます。

1 ◯（登録/機能）を押し、
で「初期登録」を選ぶ

2 (決定) を押し、
で「発信元名」を選ぶ

3 (決定) を押し、
で「登録」を選ぶ

4 (決定) を押す

5 名前を入れる
（最大全角12文字／半角24文字）

・文字の入力方法は 69 ～ 72 ページをご覧ください。

6 (決定) を押す

7 停止 を押す

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

■ **１つ前に戻るときは**
◯（戻る）を押します。

■ **登録した名前を消すときは**
① 左記手順１～２の操作を行う
② (決定) を押し、 で「消去」を選ぶ
③ (決定) を押し、 で「する」を選ぶ
④ (決定) を押す
⑤ 停止 を押す

■ **登録した名前を変えるときは**
一度消してから、もう一度登録します。

操作ガイドを使う

待受画面で ◯（操作ガイド）を押すと、液晶操作ガイドを表示することができます。
操作ガイドでは、基本的な操作やエラーの対処方法などをご案内します。

■ 操作ガイドで使用するボタン

ボタン	用途
（十字キー）	項目の選択やページ送りに使用します。
決定	選んだ項目の表示に使います。
停止	操作ガイドを終了し、待受画面に戻るときに使います。
◯（目次へ）	下記の「操作ガイドのもくじ」に戻るときに使います。
◯（前ページ）	ひとつ前の画面を表示するときに使います。
◯（次ページ）	次の画面を表示するときに使います。
◯（残量確認）	「インクカートリッジの交換」で、インクの残量を確認するときに使います。
◯（受信FAX一覧）	「受信／録音メモリー不足」で、受信FAX一覧を表示するときに使います。
◯（留守録再生）	「受信／録音メモリー不足」で、留守録を再生するときに使います。
◯（戻る）	「目次」で、待受画面に戻るときに使います。
◯（子機増設）	「子機を増設するには」で、子機増設を行うときに使います。
◯（プリンタ位置調整）	「プリンタ位置調整」で、プリンタ位置調整を行うときに使います。
◯（プリンタリセット）	「プリンタエラーの時」で、プリンタリセットを行うときに使います。

■ 操作ガイドのもくじ

操作ガイド

1 インクカートリッジの交換
2 用紙のセット
3 用紙が詰まったとき
4 子機でファクスを受ける
5 通信ｴﾗｰ1～15のとき
6 応答がありません
7 受信/録音メモリー不足
8 子機を増設するには
9 プリンタ位置調整
0 プリンタエラーのとき

お知らせ

●操作ガイドを表示しているときは、子機で電話をかけることはできません。

インストールする前に

パソコン側で必要な動作環境

本機を接続して正しくお使いになるには、パソコン側に下記の動作環境が必要です。

対応OS
USB接続の場合： Windows® 98SE／Me／2000／XP プレインストールモデル **LAN接続の場合：** Windows® 2000 SP4以降／XP プレインストールモデル
必要インターフェース
USBインターフェース（USB1.1とUSB2.0（フルスピード）に対応）または LANインターフェース（10BASE-T/100BASE-TX）
必要CPU
Pentium®Ⅱプロセッサ 300MHz以上（Pentium®Ⅲ以上推奨）
必要メモリ
128MB以上（256MB以上推奨）
必要ハードディスク空き容量
300MB以上
CD-ROMドライブ
必要

接続方法を確認する

本機をパソコンやネットワークに接続してお使いになるには、2通りの方法があります。接続方法が異なりますので、下記の内容をお読みのうえ、それぞれの説明ページをご覧ください。

本機を直接パソコンと接続してお使いになるとき ▶ **USB接続**（☞49ページへ）

ブロードバンドルータなどを使用して、本機を含めた複数の機器を、ネットワーク環境に接続してお使いになるとき ▶ **LAN接続**（☞51ページへ）

USB接続でお使いになるとき

本機とパソコンを、USBケーブルで接続する操作です。対応OSなど、必要な環境については48ページをご覧ください。
付属のCD-ROMからドライバやソフトウェアをインストールし、最後にUSBケーブルで本機とパソコンを接続します。ドライバとは、本機のプリンタやスキャナの機能を、パソコンから使用できるようにするためのソフトウェアです。
インストール後の操作については、付属のCD-ROM内の「UX-MF30／UX-MF40シリーズ　パソコン活用マニュアル」（Manualフォルダ内の「UXMF30_40_online_Verxx.pdf」ファイル）をご覧ください。
CD-ROM内のマニュアルは、ドライバインストール画面の「電子マニュアル」をクリックしてご覧ください。

接続する前に

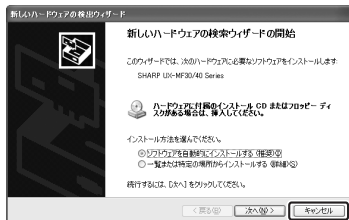
●USBケーブルは付属していませんので、市販のUSBケーブル（ABタイプで長さ5m以内のもの）をお買い求めください。
●パソコン上で動作しているソフトウェア（ウィルスチェックなどの常駐ソフト含む）は、すべて終了しておいてください。
●本機とパソコンとは直接接続してください。ハブなどを中継しての接続はしないでください。
●パソコンに接続している他のUSB機器は、取り外しておいてください。

ドライバをインストールして接続する

下記の手順で、お使いのパソコンにドライバをインストールします。
操作方法や画面例は、OSがWindows® XPの場合のものです。その他のOSをお使いのときは、項目名などが異なる場合がありますが、そのときは画面表示に従って操作してください。

本機とパソコンは、まだ接続しないでください。
本機の電源が入っていることを確認してください。

1 パソコンを起動する

もし次のような画面が表示されたら

USBケーブルが接続されています。
以下の操作を行ってください。

1. **USBケーブルを抜く**
2. **[キャンセル]をクリックする**
3. **手順の 2 から操作する**

2 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする

・自動的にインストーラが起動します。
・インストーラが起動しないときは、下記の操作で起動してください。

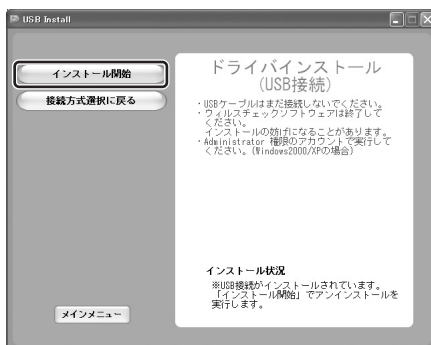
[スタート] ボタンをクリックして [マイコンピュータ] （ ）をクリックし、[CD-ROM]アイコン（ ）をダブルクリックする
Windows®98SE/Me/2000の場合は、[マイコンピュータ]→[CD-ROM]アイコン→[Launch]アイコンの順にダブルクリックする

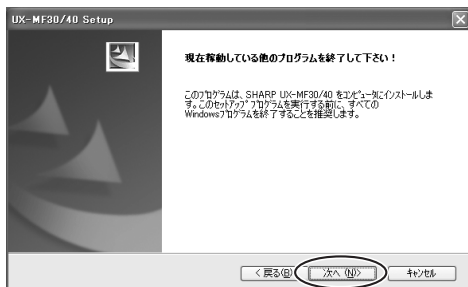
3 「ドライバインストール」をクリックする

次ページへ→

→つづき

4 「USB接続で使用する」をクリックする

5 「インストール開始」をクリックする

6 「次へ」をクリックする

7 インストーラ以外のプログラムを終了し、「次へ」をクリックする

8 本機とパソコンがUSBケーブルで接続されていないことを確認し、「次へ」をクリックする

・ドライバのインストールが始まります。

9 「完了」をクリックする

・「USBケーブル接続を待っています」というメッセージが表示されます。

10 USBケーブルでパソコンに接続する

・ドライバのインストールが始まり、すべてのドライバのインストールが完了します。
・「インストール結果確認」をクリックしてインストール結果を確認してください。

プリンタ・スキャナの機能を使うには

本機のプリンタ・スキャナ機能をパソコンから利用するときは、付属のCD-ROM内の「UX-MF30／UX-MF40シリーズ　パソコン活用マニュアル」をご覧ください。
スキャナ機能については、131～134ページもご覧ください。

ドライバをアンインストールするときは

パソコン側の「プログラムの追加と削除」で、「SHARP UX-MF30／40」をアンインストールしてください。

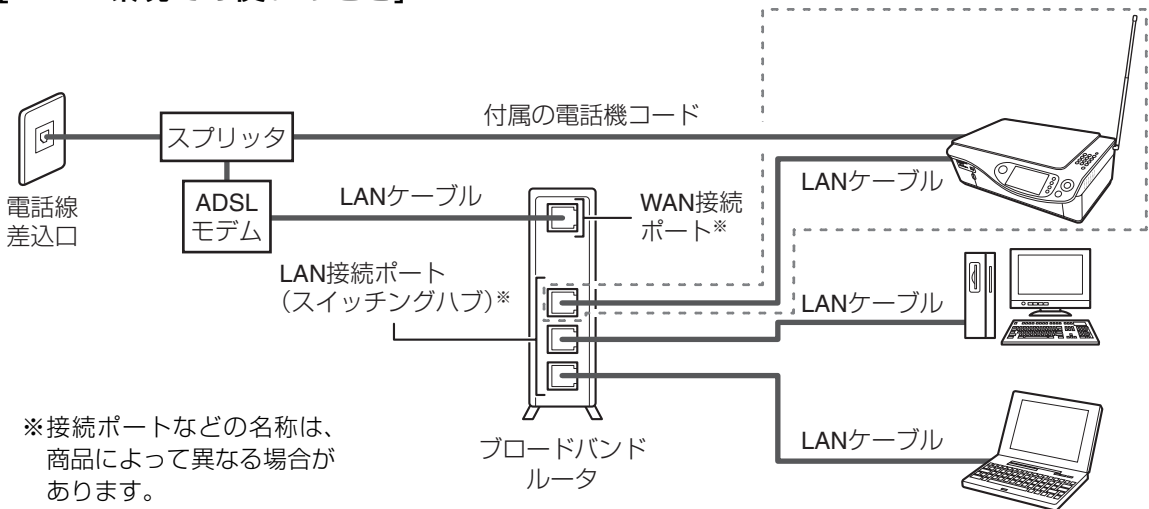
お知らせ

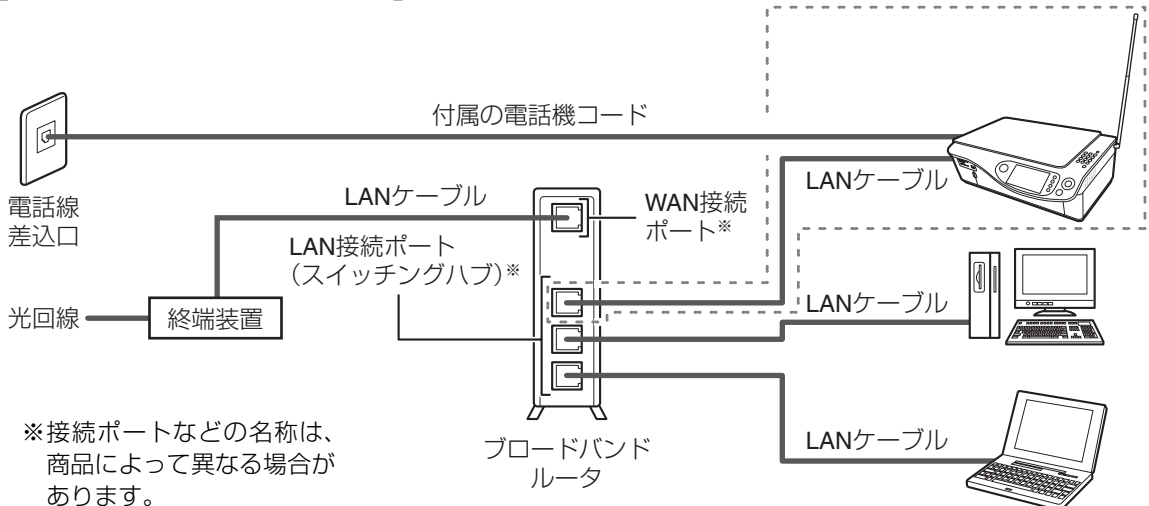
●Windows® 98SE／Me／2000 SP1・SP2では本体に挿入したメモリーカードをパソコンのリムーバブルディスクとして使用することはできません。

LAN接続でお使いになるとき

本機をLANケーブルでネットワーク環境に接続する操作です。対応OSなど、必要な環境については48ページをご覧ください。
LANケーブルで本機をネットワーク環境に接続し、付属のCD-ROMからプリンタドライバやソフトウェアをインストールします。プリンタドライバとは、本機のプリンタの機能を、パソコンから使用できるようにするためのソフトウェアです。
ここでは、すでにお使いになっているネットワーク環境に、本機を追加する形で説明しています。
LAN接続でお使いになるときは、本機のスキャンの機能をパソコン側から操作することはできません。本機の「スキャン」メニュー内の操作は可能です（☞132、134ページ）。
インストール後の操作については、付属のCD-ROM内の「UX-MF30／UX-MF40シリーズ　パソコン活用マニュアル」をご覧ください。
CD-ROM内のマニュアルは、ドライバインストール画面の「電子マニュアル」をクリックしてご覧ください。

接続例

本機をLANケーブルでネットワーク環境に接続する場合の例です。接続にはブロードバンドルータやスイッチングハブを使用します（例はブロードバンドルータ使用時のものです）。お使いの接続機器の取扱説明書もご覧下さい。

[ADSL環境でお使いのとき]

[光回線環境でお使いのとき]

プリンタドライバをインストールして接続する

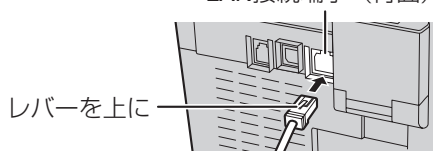
下記の手順で、お使いのパソコンにプリンタドライバをインストールします。複数のパソコンから本機の機能をお使いになるときは、すべてのパソコンにインストールしてください。

●LANケーブルは付属していませんので、市販のLANケーブル（10BASE-T／100BASE-TXのストレートケーブル）をお買い求めください。

●パソコン上で動作しているソフトウェア（ウィルスチェックなどの常駐ソフト含む）は、すべて終了しておいてください。

工場出荷時の設定では、インストールに必要なIPアドレスなどの設定を、本機が自動的に行うようになっています。各設定を個別に行うときは、「手動で設定するときは」（☞54ページ）をご覧ください。

操作方法や画面例は、OSがWindows® XPの場合のものです。その他のOSをお使いのときは、項目名などが異なる場合がありますが、そのときは画面表示に従って操作してください。

1 接続するブロードバンドルータやスイッチングハブが正しく動作していることを確認し、背面のLAN接続端子と、ブロードバンドルータやスイッチングハブのLANポートをLANケーブルで接続する（☞51ページ）

2 本機の 停止 を押して待受画面にする

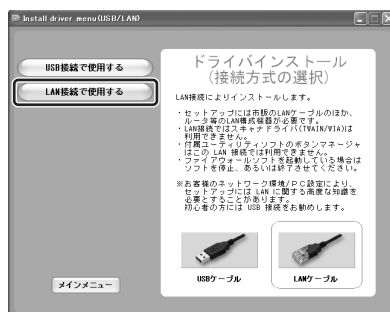
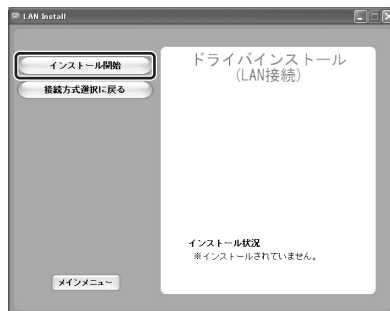
3 パソコンを起動し、Administrator権限でログオンする

4 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする

・自動的にインストーラが起動します。
・インストーラが起動しないときは、下記の操作で起動してください。

[スタート] ボタンをクリックして [マイコンピュータ]（ ）をクリックし、[CD-ROM]アイコン（ ）をダブルクリックする
Windows®2000の場合は、[マイコンピュータ]→[CD-ROM]アイコン→[Launch]アイコンの順にダブルクリックする

5 「ドライバインストール」をクリックする

6 「LAN接続で使用する」をクリックする

7 「インストール開始」をクリックする

次ページへ→

→つづき

8 「次へ」をクリックする

9 「次へ」をクリックする

10 「検出に成功しました」と表示されたら本機が選択されていることを確認し、「次へ」をクリックする

・この画面が表示されないときは、「本機の検出に失敗したときは」（☞下記）の内容をご確認ください。

プリンタの機能を使うには

本機のプリンタ機能をパソコンから利用するときは、付属の CD-ROM 内の「UX-MF30 ／ UX-MF40シリーズ　パソコン活用マニュアル」をご覧ください。

ドライバをアンインストールするときは

パソコン側の「プログラムの追加と削除」で、「SHARP UX-MF30／40（LAN）」をアンインストールしてください。

11 「完了」をクリックする

・ドライバのインストールが始まります。

12 「完了」をクリックする

・「インストール結果確認」をクリックしてインストール結果を確認してください。

■ 本機の検出に失敗したときは

本機の検出に失敗した場合は、「ネットワーク上にUX-MF30/40が検出できませんでした。」という画面が表示されます。その場合は、画面上に表示されている各項目や以下の内容を確認し、「再開」をクリックしてください。

●パソコンのファイアウォールソフトを一時的に停止してみてください。

●Windows® XP SP2をお使いのときは、Windows® XP SP2のファイアウォール設定で、「例外」タブの「ファイルとプリンタの共有」にチェックを入れて「OK」をクリックしてください。
ファイアウォール設定は、「スタート」→「コントロールパネル」とクリックし、「セキュリティセンター」をダブルクリックしたあと、「Windowsファイアウォール」をクリックすると開きます。
インストール後も、チェックを入れた状態でご使用ください。

また、「設定したネットワーク情報を確認する」（☞55ページ）の操作でネットワーク情報を確認してください。

●IPアドレス欄に「DHCP取得失敗」と表示されているときは、LANケーブルを抜き差しして、「再開」をクリックしてください。また、ネットワーク内部でDHCPサーバー機能を使用していない場合は、「手動で設定するときは」（☞54ページ）の操作でIPアドレスなどを設定したあと、「再開」をクリックしてください。

●「継続」をクリックすると、本機のホスト名またはIPアドレスを直接入力してインストールすることができます。

お知らせ

●インストール中は本機の操作をしないでください。

●Windows® XP SP2をお使いのとき、インストール中に「Windowsセキュリティの重要な警告」が表示された場合は「ブロックを解除する」をクリックしてインストールを継続してください。

手動で設定するときは

DHCPサーバー機能をお使いでない場合は、下記の設定を、ネットワークを管理されている方が個別に行ってください。必要な設定を行ってから、プリンタドライバをインストールしてください。
DHCPサーバー機能とは、LANに接続されている機器に対して、自動的にIPアドレスなどを提供する機能です。

IPアドレスの設定	下記の「IPアドレスを入力する」をご覧ください。
サブネットマスク／デフォルトゲートウェイの設定	「サブネットマスクの設定をする」および「デフォルトゲートウェイの設定をする」（☞54ページ）の操作で、番号を入力してください。
DNSの設定	DNSサーバーをお使いの場合のみ、「DNSの設定をする」（☞54ページ）の操作でアドレスを入力してください。

※入力時の注意
IPアドレス・サブネットマスク・デフォルトゲートウェイ・DNSの各数値の入力画面では、3ケタごとに「.」で区切られています。数値のケタ数が足りないときは、「0」を頭に入力し、3ケタにして入力してください。
例：（実際の数値）172.16.3.100 → （入力する数値）172.016.003.100

■ IPアドレスを入力する

IPアドレスは、同一ネットワーク上の機器に割り当てられている他のIPアドレスと重複しないようにしてください。
あらかじめ「000.000.000.000」が入力されています。

① ◯（登録/機能）を押し、◎で「パソコン関連設定」を選ぶ
② (決定)を押し、◎で「ネットワーク設定」を選ぶ
③ (決定)を押し、◎で「IPアドレス」を選ぶ
④ (決定)を押し、ダイヤルボタンでIPアドレスを入力する
⑤ (決定)を押す

■ サブネットマスクの設定をする

サブネットマスクの番号を入力します。

① ◯（登録/機能）を押し、◎で「パソコン関連設定」を選ぶ
② (決定)を押し、◎で「ネットワーク設定」を選ぶ
③ (決定)を押し、◎で「サブネットマスク」を選ぶ
④ (決定)を押し、ダイヤルボタンでサブネットマスクの番号を入力する
⑤ (決定)を押す

■ デフォルトゲートウェイの設定をする

デフォルトゲートウェイの番号を入力します。

① ◯（登録/機能）を押し、◎で「パソコン関連設定」を選ぶ
② (決定)を押し、◎で「ネットワーク設定」を選ぶ
③ (決定)を押し、◎で「デフォルトゲートウェイ」を選ぶ
④ (決定)を押し、ダイヤルボタンでデフォルトゲートウェイの番号を入力する
⑤ (決定)を押す

■ DNSの設定をする

DNSサーバーをお使いの場合のみ、アドレスを入力します。「プライマリ」および「セカンダリ」の2種類があります。

① ◯（登録/機能）を押し、◎で「パソコン関連設定」を選ぶ
② (決定)を押し、◎で「ネットワーク設定」を選ぶ
③ (決定)を押し、◎で「DNS（プライマリ）」または「DNS（セカンダリ）」を選ぶ
④ (決定)を押し、ダイヤルボタンでDNSのアドレスを入力する
⑤ (決定)を押す

■ IPアドレスなどを自動取得しない設定にする

IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSの設定を個別に行ったときは、各設定の完了後、この設定を「しない」にしておいてください。

① ◯（登録/機能）を押し、 で「パソコン関連設定」を選ぶ
② 決定 を押し、 で「ネットワーク設定」を選ぶ
③ 決定 を押し、 で「DHCPによる自動取得」を選ぶ
④ 決定 を押し、 で「しない」を選ぶ
⑤ 決定 を押す
⑥ 停止 を押す

■ 設定したネットワーク情報を確認する

① ◯（登録/機能）を押し、 で「パソコン関連設定」を選ぶ
② 決定 を押し、 で「ネットワーク情報表示」を選ぶ
③ 決定 を押す
④ 確認したら 停止 を押す

その他のパソコン設定

■ 設定したネットワーク情報を消去する

① ◯（登録/機能）を押し、 で「パソコン関連設定」を選ぶ
② 決定 を押し、 で「ネットワーク設定初期化」を選ぶ
③ 決定 を押し、 で「する」を選ぶ
④ 決定 を押す
⑤ 停止 を押す

■ パソコン接続設定をする

パソコンに接続せずにお使いになるときは、この設定を「接続しない」にしてください。
「接続しない」にしておくと、待機時の消費電力を下げることができます（省電力モードでバックライトが消灯しているとき）。
「接続しない」の設定でパソコンやデジタルカメラ、USBメモリーを接続する場合は、その前にいずれかのボタンを押して、通常モードで動作していることを確認ください。
通常モードで動作時にパソコンを接続すると「接続する」に自動的に切り替わります。

① ◯（登録/機能）を押し、 で「パソコン関連設定」を選ぶ
② 決定 を押し、 で「パソコン接続設定」を選ぶ
③ 決定 を押し、 で「接続しない」を選ぶ
④ 決定 を押す
⑤ 停止 を押す

■ 外部メモリーの書き込み設定を変更する

本機に取り付けているメモリーカードに、パソコンからのデータ書き込みを許可する・しないの設定ができます。この設定にかかわらず、本機からの操作では、メモリーカードにデータを書き込むことができます。
メモリーカードの書き込み禁止スイッチでロックされている場合は、「許可する」に設定しても書き込みはできません（☞112ページ）。
また、カードを取り付けている状態では設定できません。取り外してから設定してください。

① ◯（登録/機能）を押し、◎ で「パソコン関連設定」を選ぶ
② 決定 を押し、◎ で「外部メモリー書き込み設定」を選ぶ
③ 決定 を押し、◎ でどちらかの項目を選ぶ
④ 決定 を押す
⑤ 停止 を押す

■ 外部メモリーのアクセス方法を設定する

本機に取り付けているメモリーカードなどを、USB接続のパソコンからのみ読み込めるようにするか、LAN接続のパソコンからのみ読み込めるようにするかの設定ができます。

① ◯（登録/機能）を押し、◎ で「パソコン関連設定」を選ぶ
② 決定 を押し、◎ で「外部メモリーアクセス設定」を選ぶ
③ 決定 を押し、◎ で「USB接続PCのみ許可」または「ネットワーク接続PCのみ許可」のいずれかを選ぶ
④ 決定 を押す
⑤ 停止 を押す

■ アクセス制限の設定をする（LAN接続でお使いのときのみ）

本機に取り付けているメモリーカードなどを、本機のドライバをインストールしたパソコンからのみ読み込めるようにするか、ネットワーク上のすべてのパソコンから読み込めるようにするかを設定できます。
また、この設定の内容は、Web画面の表示についても適用されます。

① ◯（登録/機能）を押し、◎ で「パソコン関連設定」を選ぶ
② 決定 を押し、◎ で「ネットワークアクセス制限」を選ぶ
③ 決定 を押し、◎ で「インストールPCのみ許可」または「制限なし」のいずれかを選ぶ
④ 決定 を押す
⑤ 停止 を押す

電話する（子機のみ）

電話をかける

子機で電話をかけるときの操作です。

1 充電器から取って

ダイヤルする

2 （通話）**を押す**

・通話ボタンが点灯します。
・通話ボタンを押してからダイヤルして電話をかけることもできます。
まちがい電話を防ぐために、通話ボタンを押したあと、「ツー」音を確かめてから正しくダイヤルしてください。

3 相手の方とお話しする

・ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

4 通話が終わったら

充電器に戻す

・通話ボタンが消灯します。
・充電器に戻さないときは、切ボタンを押します。
・通話時間の表示は、約5秒後に消え、待受画面に戻ります。

■ **子機を取らずに電話をかけるときは**

（オンフック 発信/＊◦）を押してからダイヤルします。
スピーカーから相手の声が聞こえますので、天気予報や時報を聞くときに便利です（オンフックダイヤル）。
通話するときは子機を取ってお話しください。

■ **途中でやめるときは**

（切）を押します。

■ **「ピーッピーッ」という音が聞こえるときは（☞190ページ）**

■ **着信音の大きさを変えるときは（☞43ページ）**

■ **通話中や相手の方が保留中に突然ファクス受信に切り替わるときは**

声などに反応して、まれにおまかせ受信が働くことがあります。
頻繁におこるときは、おまかせ受信を「なし」にします。（☞198ページ）

電話を受ける

子機で電話を受けるときの操作です。
電話がかかってくると、最初に親機の着信音が鳴って、少し遅れて子機の着信音が鳴ります。

1 着信音が鳴ったら

充電器から取って **を押す**

・通話ボタンが点灯します。

2 相手の方とお話しする

・ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

3 通話が終わったら

充電器に戻す

・通話ボタンが消灯します。
・充電器に戻さないときは、切ボタンを押します。
・通話時間の表示は、約5秒後に消え、待受画面に戻ります。

お知らせ

●親機のアンテナは必ず立てて伸ばしてください。電波の届く距離が短くなったり、雑音が入ったりすることがあります。
●ご使用環境によっては子機から電話がかからないことがあります。少し場所を移動してみてください。
●親機や他の子機が使用中のときは、子機で電話をかけることはできません。
●クイック通話の設定（☞138ページ）を「ON」にしているときは、子機を充電器から取るだけで、通話ボタンを押さなくても電話を受けることができます。
●子機や充電器を設置するときは、親機やPHS／携帯電話の充電器、その他の電気製品などからできるだけ離してください。子機の着信音が鳴らなくなることがあります。
●ナンバー・ディスプレイを契約すると、電話がかかってきたとき、相手の方の電話番号などがディスプレイに表示されます（☞155ページ）。

特定の子機に優先呼出を設定する

UX-MF30CW／UX-MF40CWをご利用時や、子機を増設してお使いのときは、優先呼出を設定すると、電話がかかってきたとき、設定された子機だけに着信音が鳴ります。

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 **を押し、**
 で「ユウセンヨビダシ」を選ぶ

ユウセンヨビダシ

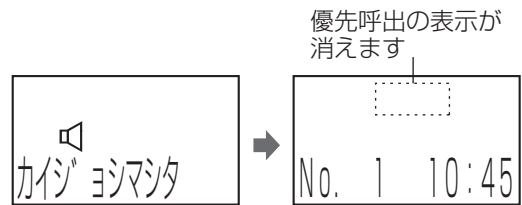
2 機能 **を押す**

- 「ピー」と鳴り、ディスプレイに 優先呼出 が表示されて、優先呼出が設定されます。
- 「優先呼出を設定しました」と音声メッセージが流れます。

■ **途中でやめるときは**

 を押します。

■ **優先呼出を解除するときは**

ディスプレイに 優先呼出 が表示されているときに、もう一度左記の操作をします。
「ピピッ」と鳴り、ディスプレイの 優先呼出 が消えます。
「優先呼出を解除しました」と音声メッセージが流れます。

お知らせ

- 設定後、9時間経過したときは優先呼出が自動的に解除されます。
- 優先呼出を設定できる子機は、1台のみです。子機増設時に、すでに他の子機が優先呼出に設定されていると、「ピピピピ」とアラームが鳴り、優先呼出を設定することはできません。
- 優先呼出を設定したあとで、子機の充電池を交換すると、優先呼出 の表示は消えますが優先呼出は設定されたままになります。優先呼出 を表示させるときは、解除してもう一度設定し直してください。
- 優先呼出を設定しているときは、他の子機（子機増設時）で電話を受けることはできません。
- 優先呼出を設定していても、留守設定時は留守機能が働き、親機で自動応答します。

子機で通話中にお待たせする

子機で通話中、相手の方をお待たせする（保留）ときに、メロディーを流します。
保留メロディーの曲名：「ビューティフルドリーマー」

1 通話中に

内線/クリア 保留 **を押す**

・保留メロディーが流れ、お互いの声が聞こえなくなります。
・通話ボタンが点滅します。

2 再び通話するときは

通話 **または** 内線/クリア 保留 **を押す**

・保留メロディーが止まり、お話しできるようになります。
・通話ボタンが点灯します。

■ **保留中に他の子機で電話に出るときは**
（ひとり転送 **☞64ページ）**

子機の再ダイヤルを使う

相手の方がお話し中などで、もう一度電話をかけ直すときは、再ダイヤルボタンを使って簡単に電話をかけ直すことができます。
子機では、再ダイヤルは最大３件記憶されています。また、再ダイヤルの記憶を電話帳に登録することもできます。

子機で電話をかけ直す

1 子機を充電器から取って

 を押す

0312345678

・最後にかけた相手の方が表示されます。

2 **で選び、** **を押す**

・通話ボタンが点灯し、選んだ電話番号にダイヤルされます。
・子機で再ダイヤルできる番号は最大24ケタまでです。

3 相手の方とお話しする

4 通話が終わったら

充電器に戻す

・充電器に戻さないときは、切ボタンを押します。

■ **途中でやめるときは**

 を押します。

■ **子機の再ダイヤルの記憶をすべて消去するときは**

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

① (機能) を押し、(◇) で「サイダイヤルクリア」を選ぶ

② (機能) を押す

③ もう一度、(機能) を押す

「ピー」と鳴ったあと、すべての再ダイヤルの記憶を消去し、待受画面に戻ります。

再ダイヤルの記憶を電話帳に登録する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 **を押す**

・最後にかけた相手の方を表示します。

2 (◇) **で登録する電話番号を選んだあと、** (機能) **を押す**

ナマエ?

3 名前を入れる（最大12文字）

・名前の入力を省略するときは手順４へ進みます。

4 (機能) **を押す**

ノコリ　95

・「ピー」と鳴り、残りの登録可能件数を表示して登録を完了します。

■ **文字を入力するときは**
(☞75〜77ページ)

お知らせ

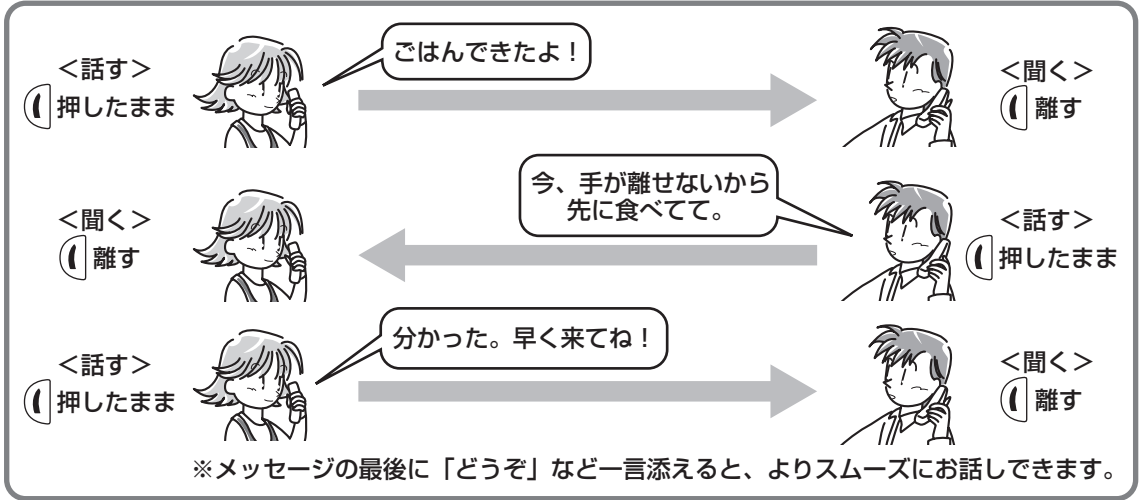
●呼び出し中や通話中に誤ってダイヤルボタンを押すと、次に再ダイヤルしたとき、ちがうところに電話がかかることがあります。このときは、ダイヤルボタンを押してかけ直してください。
●再ダイヤルの番号は、親機と子機で別々に記憶しています。親機でかけた番号を子機で再ダイヤルすることや、子機でかけた番号を親機や他の子機で再ダイヤルすることはできません。
●子機の再ダイヤルの記録を、１件ずつ消去することはできません。
●親機では、再ダイヤルの記憶を電話帳に登録することはできません。

子機間でトランシーバー方式内線通話をする

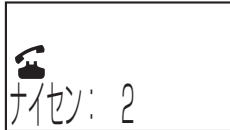
トランシーバー方式の内線通話に対応している子機（CJ-KS50／CJ-KS60／CJ-KS80）を増設してお使いのときや、UX-MF30CW／UX-MF40CWをお使いのときは、子機と子機で通話をすることができます。

トランシーバー方式とは、一人ずつ交互に通話する方式です。同時にはお話しできません（一方で話している間は、相手の声は聞こえません）。相手側にメッセージを伝えるときは、側面の を押したまま話し、伝え終わったら を離します。下図のように、交互にこの操作をくり返して通話します。

※メッセージの最後に「どうぞ」など一言添えると、よりスムーズにお話しできます。

1 子機

子機を充電器から取って 内線/クリア 保留 を押し、「ナイセン：」と表示されたら呼び出したい子機の内線番号を押す

例：子機２を呼び出したとき

※画面表示はCJ-KS60のものです。

■呼び出された子機の操作■

着信音が鳴ったら
充電器から取って
通話 を押す

●「プップッ　プップッ」と鳴ります。

2 子機

呼び出した子機の方が電話に出たら
（「プップッ プップッ」と鳴る）

**側面の を押し続けながら
メッセージを伝える**

・「ピポッ」と鳴り、押し続けている間、メッセージを伝えることができます。
・相手の方の声は聞こえません。

次ページへ→

→つづき

3 子機

メッセージが終わったら

を離す

・「ピポッ」と鳴ったあと、「プップッ プップッ」と鳴ります。

4 子機

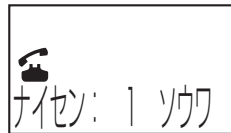
相手の方が を押したら
（「プップッ プップッ」と鳴らなくなります）

お話しを聞く

ナイセン： 2 ジュウ

・こちらの声は相手の方へは聞こえません。

■呼び出された子機の操作■

相手の方がお話しを終えて を離したら
（「プップッ プップッ」と鳴る）

側面の を押し続けながらメッセージを伝える

●「ピポッ」と鳴り、押し続けている間、メッセージを伝えることができます。
●相手の方の声は聞こえません。

■呼び出された子機の操作■

メッセージが終わったら

を離す

●「ピポッ」と鳴ったあと、「プップッ プップッ」と鳴ります。

5 手順2～4をくり返してお話しする

6 子機

通話をやめるときは

子機を充電器に戻す

・どちらの子機からでも通話をやめることができます。
・充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

お知らせ

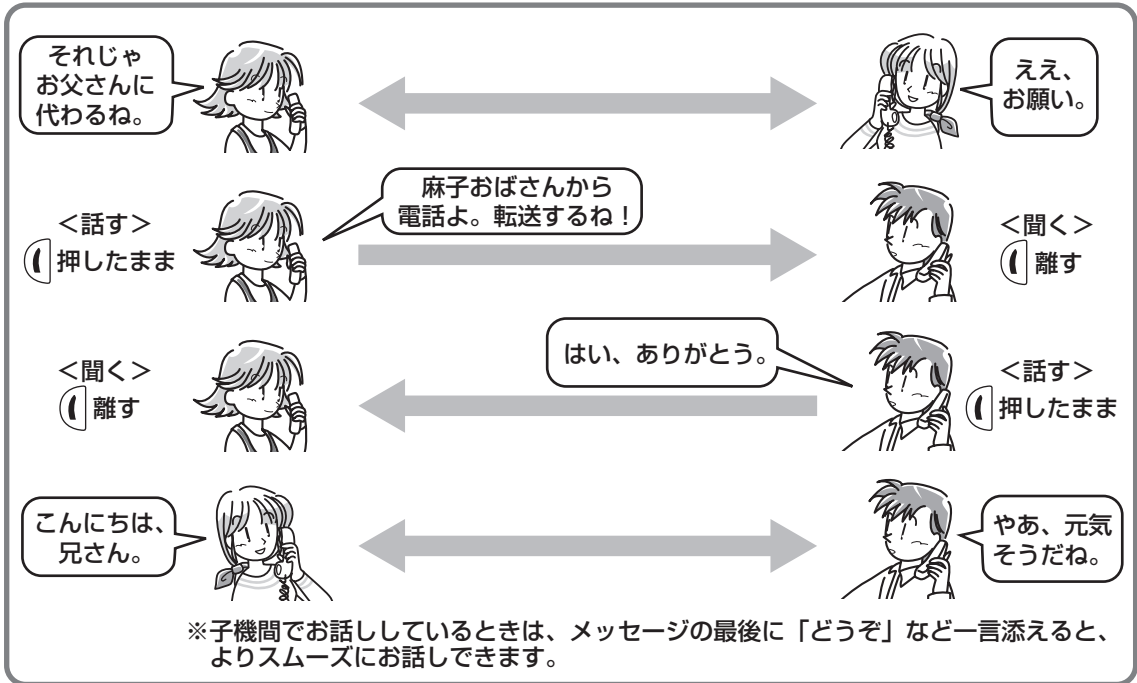
●相手の方のお話しを聞いているときは、トランシーバーボタンを押さないでください。通話が切れることがあります。
●子機間でのトランシーバー方式内線通話は親機を経由して行います。子機と子機が近くても、親機から離れすぎると通話できなくなります。
●お話し中に電話がかかってきたときは
呼び出し中や両者がトランシーバーボタンを押していないとき
…内線通話が切れ、外線着信状態になります。
通話ボタンを押すと電話に出ることができます。
どちらかがトランシーバーボタンを押してお話しているとき
…お話を聞いている方の受話口から着信音が聞こえます。
相手がメッセージを伝え終えてトランシーバーボタンを離したあと、切ボタンを押し、外線着信状態になってから通話ボタンを押すと、電話に出ることができます。
●増設子機CJ-KS7をご使用のときは、子機間ひと声通知ができます（☞144ページ）。

子機間でトランシーバー方式転送をする

トランシーバー方式の内線通話に対応している子機（CJ-KS50／CJ-KS60／CJ-KS80）を増設してお使いのときや、UX-MF30CW／UX-MF40CWをお使いのときは、子機にかかってきた電話を他の子機へトランシーバー方式でお話ししてから転送することができます。

トランシーバー方式とは、一人ずつ交互に通話する方式です。同時にはお話しできません（一方で話している間は、相手の声は聞こえません）。相手側にメッセージを伝えるときは、側面の を押したまま話し、伝え終わったら を離します。下図のように、交互にこの操作をくり返して通話します。

※子機間でお話ししているときは、メッセージの最後に「どうぞ」など一言添えると、よりスムーズにお話しできます。

1 子機

子機で外線通話中に 内線/クリア 保留 を押し、呼び出したい子機の内線番号を押す

- 通話ボタンが点滅します。
- 呼び出した子機が応答するまで「ププププ…」と鳴ります。
- 外線通話中の相手の方には保留メロディーが流れます。

■呼び出された子機の操作■

着信音が鳴ったら
充電器から取って 通話 を押す

●「プップッ　プップッ」と鳴ります。

次ページへ→

→つづき

2 子機

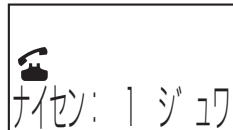
※画面表示はCJ-KS60のものです。

呼び出した子機の方が電話に出たら
（「プップッ プップッ」と鳴る）

側面の (を押し続けながら
電話をとりつぐことを伝える

・「ピポッ」と鳴り、押し続けている間、メッセージを伝えることができます。
・相手の方の声は聞こえません。

■呼び出された子機の操作■

メッセージが聞こえる

●こちらの声は相手の方へは聞こえません。

3 子機

メッセージが終わったら

(を離す

・「ピポッ」と鳴ったあと、「プップッ プップッ」と鳴ります。

■呼び出された子機の操作■

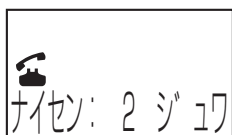
相手の方がお話しを終えて (を離したら
（「プップッ プップッ」と鳴る）

側面の (を押し続けながら
メッセージを伝える

●「ピポッ」と鳴り、押し続けている間、メッセージを伝えることができます。
●相手の方の声は聞こえません。

4 子機

相手の方が (を押したら
（「プップッ プップッ」と鳴らなくなります）

お話しを聞く

・こちらの声は相手の方へは聞こえません。

■呼び出された子機の操作■

メッセージが終わったら **(を離す**

●「ピポッ」と鳴ったあと、「プップッ プップッ」と鳴ります。

5 **さらに、子機間でお話しするときは、手順2～4をくり返す**

6 子機

子機を充電器に戻す

・充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

■呼び出された子機の操作■

保留メロディーが聞こえたら

通話 または 内線/クリア 保留 を押す

●外線の相手の方と通話できます。

■ 呼び出している子機が出ないときは

内線/クリア 保留 を押すと、呼び出しをやめて保留になります。このあと 内線/クリア 保留 または 通話 を押すと外線の相手の方との通話に戻ります。

■ 電話をひとりでとりつぐには（ひとり転送）

① 通話中に 内線/クリア 保留 を押し、充電器に戻す
② とりつぎ先の子機を取って、通話 を押す

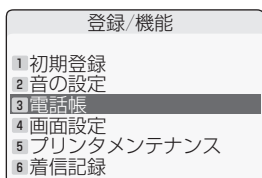
お知らせ

●子機間でお話し中に、相手の方のお話しを聞いているときは、トランシーバーボタンを押さないでください。通話が切れることがあります。
●子機間でのトランシーバー方式内線通話は親機を経由して行います。子機と子機が近くても、親機から離れすぎると通話できなくなります。
●増設子機CJ-KS7をご使用のときは、子機間ひと声転送ができます（☞144ページ）。

親機の電話帳に登録する

電話帳に登録する

よく利用する番号を、電話帳に登録しておくことができます。親機には最大200人分の番号を登録できます。

1 ◯（登録/機能）を押し、
◎ で「電話帳」を選ぶ

2 （決定）を押し、
◎ で「新規登録」を選ぶ

3 （決定）を押す

4 名前を入れる
（最大全角10文字／半角20文字）

・文字の入力方法は 69 ～ 72 ページをご覧ください。
・名前の入力を省略するときは、決定ボタンを押して手順7に進みます。
名前を入力しないで電話番号を登録すると、名前のところに電話番号が表示されます。また、メールアドレスのみ登録すると、名前のところにメールアドレスが表示されます。

5 （決定）を押す

・「読み」に変更があれば修正します。
「読み」は半角文字で最大20文字まで入力できます。
・名前に「。」や「、」があるときは自動的に「読み」は半角のスペースに変わっています。

6 「読み」が正しければ
（決定）を押す

7 電話番号を入れる（最大32ケタ）

・番号を入れまちがえたときは、◯（取消）を押すと、1つ前の番号が消えるので、もう一度入れ直します。
・メールアドレスを登録する場合は、電話番号の入力は省略できます。
省略するときは手順8に進んでください。（メールアドレスを入れない場合、電話番号の入力は省略できません。）
・ナンバー・ディスプレイご利用時に、電話帳に登録した相手先を登録した名前で表示させるとき（☞155ページ）や、着信鳴り分けをさせるとき（☞165ページ）は、同じ市内でも必ず市外局番から登録してください。

8 （決定）を押す

9 メールアドレスを入れる
（最大半角50文字）

・電話番号を登録している場合、メールアドレスの入力は省略できます。
省略するときは、この手順をとばして手順10に進んでください。（メールアドレスを入れない場合、電話番号の入力は省略できません。）

10 （決定）を押す

・続けて登録するときは手順3～10をくり返し行ってください。

11 （停止）を押す

■ **途中でやめるときは**
（停止）を押します。

■ **1つ前に戻るときは**
◯（戻る）を押します。文字入力時は ◯（取消）を押します。

■ 登録した内容の一覧を表示するときは

① ◯（登録/機能）を押し、 で「電話帳」を選ぶ
② 決定 を押し、 で「一覧表示」を選ぶ
③ 決定 を押す
登録した内容が一覧表示されます。
④ 確認後、停止 を押す

■ 電話帳の一覧画面から登録するときは

① ◯（登録/機能）を押し、 で「電話帳」を選ぶ
② 決定 を押し、 で「一覧表示」を選ぶ
③ 決定 を押す
④ ◯（新規登録）を押す
⑤「電話帳に登録する」の手順４以降の操作で登録する（☞65ページ）

■ 親機の電話帳の内容をプリントするときは

① ◯（登録/機能）を押し、 で「詳細設定」を選ぶ
② 決定 を押し、 で「リストプリント」を選ぶ
③ 決定 を押し、 で「電話帳リスト」を選ぶ
④ 決定 を押し、 で「する」を選ぶ
⑤ 決定 を押す

■ 登録メニューから操作するときは

「外部メモリーへの一括保存」で保存したデータを読み込む専用のメニューです。
① メモリーカードを親機に取り付ける
② ◯（登録/機能）を押し、 で「電話帳」を選ぶ
③ 決定 を押し、 で「外部メモリーから一括読込」を選ぶ
④ 決定 を2回押す
⑤ 停止 を押す

■ 親機の電話帳をメモリーカードに保存するときは

親機からメモリーカードへ、電話帳データを一括で保存することができます。
① メモリーカードを親機に取り付ける
② ◯（登録/機能）を押し、 で「電話帳」を選ぶ
③ 決定 を押し、 で「外部メモリーへの一括保存」を選ぶ
④ 決定 を2回押す
⑤ 停止 を押す

■ 親機の電話帳の内容を子機にも登録するときは（☞79ページ）

■ ポーズについて

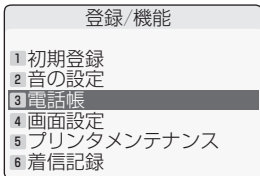
番号の入力中に を押すと、約３秒間の待ち時間（ポーズ）が入力できます。続けて入力することもできます。
ポーズを入力するのは、構内交換機から０発信するときだけにしてください。
それ以外のときにポーズを入力すると、正しく電話やファクスを使用できないことがあります。また、子機に電話帳を転送したとき、子機でナンバー・ディスプレイを利用していても番号が表示されません。
ディスプレイには－（ハイフン）で表示されます。

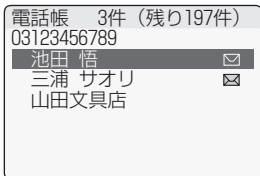
お知らせ

- 着信記録から電話番号を選び、電話帳に登録することができます（☞162ページ）。
- 電話帳に番号を登録するときは、ディスプレイ表示を見ながら正しく登録してください。また、登録後は電話番号の一覧を表示して確認してください。
- メモリーカードから電話帳データを取り込むこともできます（☞130ページ）。
- 親機の電話帳は、LAN 接続されたパソコンからも登録できます。くわしくは、付属のCD-ROM内の「パソコン活用マニュアル」の「電話帳リストページについて」をご覧ください。

電話帳を修正する

登録した電話帳の番号や名前を修正することができます。

1 ◯（登録/機能）を押し、◎で「電話帳」を選ぶ

2 決定 を押し、◎で「一覧表示」を選ぶ

3 決定 を押し、◎で修正する相手の方を選ぶ

4 ◯（ボタン切替）を押す

5 ◯（修正）を押す

6 名前を入れ直す

・文字の入力方法は 69 ～ 72 ページをご覧ください。
・名前を修正しないときは手順７に進んでください。

7 決定 を押す

8 「読み」を入れ直す

・「読み」を修正しないときは手順９に進んでください。

9 決定 を押す

10 電話番号を入れ直す

・◯（取消）を押すたびに、表示されている最後の数字から順に消えます。そのあと、ダイヤルボタンで入れ直します。
・電話番号を修正しないときは手順 11 に進んでください。

11 決定 を押す

12 メールアドレスを入れ直す

・メールアドレスを修正しないときは手順 13 に進んでください。

13 決定 を押す

14 停止 を押す

■ 途中でやめるときは

停止 を押します。

■ １つ前に戻るときは

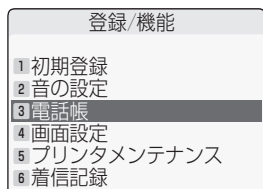
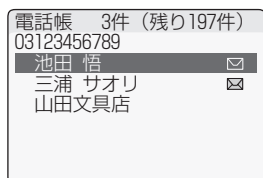
◯（戻る）を押します。文字入力時は ◯（取消）を押します。

電話帳を消去する

登録した電話帳の内容を１件ずつ消去することができます。

1 ◯（登録/機能）を押し、
◎ で「電話帳」を選ぶ

2 決定 を押し、◎ で「一覧表示」を選ぶ

3 決定 を押す

4 ◎ で消去する相手の方を選ぶ

5 ◯（ボタン切替）を押す

6 ◯（消去）を押す

7 もう一度 ◯（消去）を押す

8 停止 を押す

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **１つ前に戻るときは**

◯（戻る）を押します。

■ **親機の電話帳をすべて消去するときは**

① 待受画面で ◯（登録/機能）を押す

② ◎ で「詳細設定」を選ぶ

③ 決定 を押し、◎ で「全消去メニュー」を選ぶ

④ 決定 を押し、◎ で「電話帳」を選ぶ

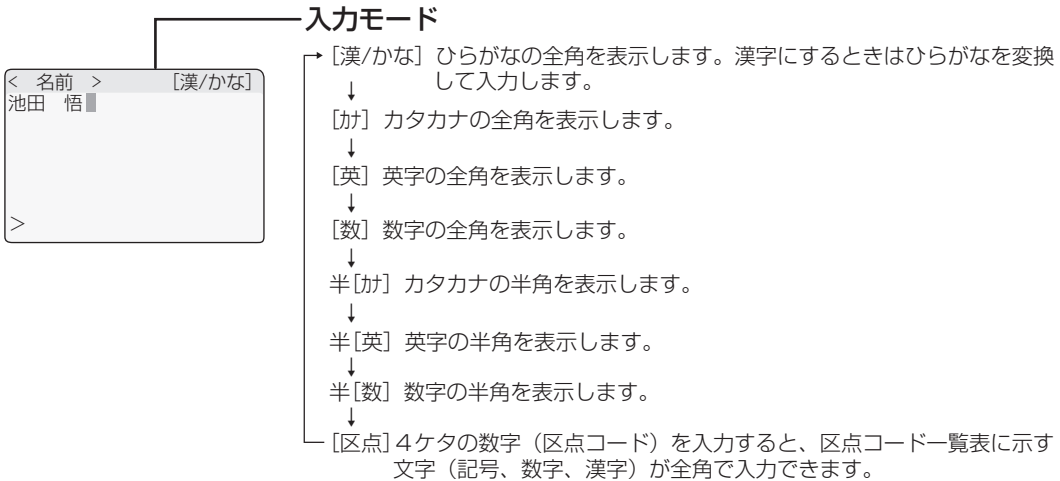
⑤ 決定 を押し、◎ で「全消去する」を選ぶ

⑥ 決定 を押す

親機で文字を入力する

電話帳に名前を登録するとき（☞65ページ）など、文字を入力する場合は、ダイヤルボタンを使って入力します。

文字の種類（入力モード）を選ぶ

1 ◯（文字切替）を押して入力モードを切り替える

2 入力モードを選んだあと、ダイヤルボタンを押して文字を選ぶ

[漢／かな] モード

ダイヤルボタンを押した回数により、文字入力一覧表（☞70ページ）のひらがなが全角表示されます。漢字にするときは、ひらがなを変換して入力します。

（例）1ぁ（@./-_）を押したとき

押すたびに表示される文字が切り替わります。

あ→い→う→え→お→ぁ→ぃ→ぅ→ぇ→ぉ

[カナ]、[英]、半 [カナ]、半 [英] モード

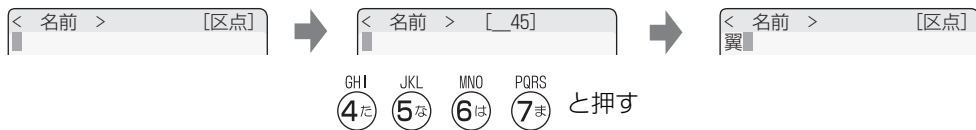
ダイヤルボタンを押した回数により、文字入力一覧表の文字が全角または半角で入力できます。

[数]、半 [数] モード

ダイヤルボタンに表示されている数字が全角または半角で入力できます。

[区点] モード

区点コード一覧表(☞206～211ページ)を見ながら、ダイヤルボタンで4ケタの数字を入れます。
(例)区点コード：4567の「翼」を入れるとき

4た 5な 6は 7ま と押す

■ 漢字を入力するときは（☞71ページ）

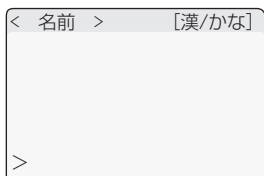
文字入力一覧表

入力モード／入力ボタン	全角				半角			全角
	ひらがな[漢／かな]	カタカナ[カナ]	英字[英]	数字[数]	カタカナ半[ｶﾅ]	英字半[英]（※1）	数字半[数]	区点コード[区点]
@./-_ 1あ	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ	＠．／－＿	1	ｱｲｳｴｵ ｧｨｩｪｫ	@./-_	1	「区点コード一覧表」参照（※2）
ABC 2か	かきくけこ	カキクケコ	ＡＢＣ ａｂｃ	2	ｶｷｸｹｺ	ABC abc	2	
DEF 3さ	さしすせそ	サシスセソ	ＤＥＦ ｄｅｆ	3	ｻｼｽｾｿ	DEF def	3	
GHI 4た	たちつてと っ	タチツテト ッ	ＧＨＩ ｇｈｉ	4	ﾀﾁﾂﾃﾄ ｯ	GHI ghi	4	
JKL 5な	なにぬねの	ナニヌネノ	ＪＫＬ ｊｋｌ	5	ﾅﾆﾇﾈﾉ	JKL jkl	5	
MNO 6は	はひふへほ	ハヒフヘホ	ＭＮＯ ｍｎｏ	6	ﾊﾋﾌﾍﾎ	MNO mno	6	
PQRS 7ま	まみむめも	マミムメモ	ＰＱＲＳ ｐｑｒｓ	7	ﾏﾐﾑﾒﾓ	PQRS pqrs	7	
TUV 8や	やゆよ ゃゅょ	ヤユヨ ャュョ	ＴＵＶ ｔｕｖ	8	ﾔﾕﾖ ｬｭｮ	TUV tuv	8	
WXYZ 9ら	らりるれろ	ラリルレロ	ＷＸＹＺ ｗｘｙｚ	9	ﾗﾘﾙﾚﾛ	WXYZ wxyz	9	
記号 0わ	わ を ん ー □（スペース） 。 、	ワヲン ー □（スペース） 。 、	， ： ！ ？ ＆ ／ （ ） ［ ］ □（スペース）	0	ﾜ ｦ ﾝ ｰ □（スペース）	（※3）	0	
＊ トーン	濁点/半濁点		無効	＊	濁点/半濁点	（※4）	＊	無効
＃	無効			＃	無効		＃	無効
（左右キー）	カーソル左右移動							
（変換）	かな漢字変換（［漢／かな］モード時のみ表示）							
（取消）	カーソル上、または前の１文字を消去／かな漢字変換の取り消し							
（文字切替）	文字の種類の切り替え							

(※1)半角英字の小文字は、メールアドレスの登録・編集とスキャナ名称変更のときに変換できます。
(※2)区点コードについては206～211ページをごらんください。
(※3)電話帳や名前を登録・編集するとき…「,」「:」「!」「?」「&」「/」「(」「)」「[」「]」□(スペース)
メールアドレスを登録・編集するとき…「,」「:」「;」「!」「?」「&」「¥」「$」「%」「+」「=」「/」「｜」「~」「"」「'」「^」「(」「)」「<」「>」「[」「]」「{」「}」□(スペース)
(※4)定型文が入力できます。「.co.jp」「.ne.jp」「.or.jp」「.com」を選んだあと、(決定)を押して入力します。

ひらがな／漢字を入力する

「池田」と入力するときは次のように入力します。

1 ◯(文字切替) で
文字の種類［漢／かな］を選ぶ

・はじめ、電話帳に登録するときや発信元名を登録するときは、[漢／かな] になっています。(かなは一度に9文字まで入力できます。)

2 1(@./-_ あ) を2回押す
(「い」を入力)

・くり返して押すと
あ→い→う→え→お→ぁ→ぃ→ぅ→ぇ→ぉ
の順に切り替わります。

3 2(ABC か) を4回押す
(「け」を入力)

■ **文字の種類を選ぶときは**（☞69ページ）

■ **変換の区切りを変えたいときは**
ひらがなを入力したあと、◯ を押して変換する部分を変更します。

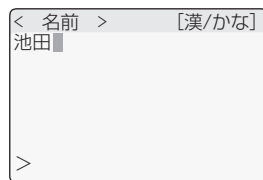
■ **ひらがなを入力するときは**
[漢／かな」モードでひらがなを入力したあと、漢字に変換せずに (決定) を押します。

4 4(GHI た) を1回押す
(「た」を入力)

5 ＊(トーン) を押す
(「た」に「゛」を付ける)

6 ◯(変換) を押して
「池田」を選ぶ

・ボタンを押すたびに切り替わります。
・◯ を押して選ぶこともできます。

7 ◯(採用) を押す

・文字を採用します。
・続けて文字を入力するときは手順1～7をくり返し操作します。
・◯ を押してカーソルを移動して文字を入力すると、その間に半角スペースが入ります。

カタカナ／英字／数字を入力する

「イケダ」と入力するときは次のように入力します。

1 ◯（文字切替）で
文字の種類［カナ］を選ぶ

・はじめ、電話帳に登録するときや発信元名を登録するときは、［漢／かな］になっています。

2 1 を2回押す
（「イ」を入力）

・くり返して押すと
ア→イ→ウ→エ→オ→ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ
の順に切り替わります。

3 2 を4回押す
（「ケ」を入力）

4 4 を1回押す
（「タ」を入力）

5 ＊ を押す
（「タ」に「゛」を付ける）

■ 文字の種類を選ぶときは（☞69ページ）

■ カタカナ（半角）、英字（全角／半角）、数字（全角／半角）を入力するときは

◯（文字切替）で入力する文字の種類に切り替えたあと、ダイヤルボタンで入力してください。

文字を修正する

■ 文字を消すには

◯（取消）を押すと、カーソルの１つ前が消えます。（カーソルが文字の上にあるときは、その文字が消えます。）
すべての文字を一度に消すことはできません。

■ 文字を入れ直すには

訂正したい文字を ◯ で選んだあと、◯（取消）を押して消去します。そのあとダイヤルボタンで正しい文字を入力してください。

子機の電話帳に登録する

電話帳に登録する

よく利用する電話番号を、電話帳に登録しておくことができます。
子機では、１台につき最大100人分の番号を登録できます。

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 電話帳 **を押す**

ナマエ?

2 名前を入れる（最大12文字）

イケダ゛ サトシ

・名前の入力を省略するときは、機能ボタンを押して手順４に進みます。
名前を入力しないで登録すると、名前のところに電話番号が表示されます（12ケタまで）。
・内線/クリア/保留ボタンを２秒以上押すと、すべての文字が消えます。

3 機能 **を押す**

バ゛ンゴ゛ウ?

4 電話番号を入れる（最大24ケタ）

・番号を入力せずに、電話帳に登録することはできません。
・番号を入れまちがえたときは内線／クリア／保留ボタンを押して番号を消したあと、もう一度、入れ直します。
・内線/クリア/保留ボタンを２秒以上押すと、すべての番号が消えます。
・「ハイフン(－)」や「スペース」は入力できません。

5 機能 **を押す**

・「ピー」と鳴って残りの登録可能件数が表示され、待受画面に戻ります。
・続けて登録するときは手順１～５をくり返し行ってください。

■ 途中でやめるときは

切 を押します。

■ 文字を入力するときは（☞75～77ページ）

■ 子機で登録した電話帳の内容を親機にも登録するときは（☞80ページ）

■ ポーズについて

番号の入力中に 再ダイヤル/着信記録 を押すと、約３秒間の待ち時間（ポーズ）ができます。続けて入力することもできます。
ポーズを入力するのは、構内交換機から０発信するときだけにしてください。
それ以外のときにポーズを入力すると、正しく電話がかからないことがあります。
ディスプレイには_（アンダーバー）で表示されます。

お知らせ

●着信記録から電話番号を選び、電話帳に登録することができます（☞164ページ）。
●子機の電話帳には、あらかじめ次の３人分の電話番号が登録されています。あらたに登録できるのは97人分です。100人分登録したいときは、この内容を消してください。
「≫ジホウ117」
「≫テンキヨホウ177」
「≫バンゴウアンナイ104」
●まちがい電話を防ぐため、電話帳に番号を登録するときは、ディスプレイ表示を見ながら正しく登録してください。
●ナンバー・ディスプレイをご利用の方で、電話帳に登録した相手の方を名前で表示させるとき（☞155ページ）や着信鳴り分けをさせているとき（☞167ページ）は、同じ市内の番号でも必ず市外局番から登録してください。
●市外局番の前に「184」「186」などの番号を登録すると、ナンバー・ディスプレイご利用時の名前表示（☞155ページ）や着信鳴り分け（☞167ページ）が働かなくなります。

電話帳を修正する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 で相手の方を選ぶ

イケダ゛ サトシ

2 機能 を２回押す

0312345678

・現在登録されている番号が表示されます。

3 電話番号を入れ直す

0387654321

・内線/クリア/保留ボタンを押すたびに、表示されている最後の数字から順に消えます。そのあと、ダイヤルボタンで入れ直します。
・内線 / クリア / 保留ボタンを２秒以上押し続けると、表示されている数字をすべて消すことができます。

4 機能 を押す

ノコリ　95

・「ピー」と鳴って残りの登録可能件数が表示され、待受画面に戻ります。

■ **途中でやめるときは**

を押します。

お知らせ

●子機に登録した名前を修正することはできません。名前をまちがえて登録したときは、電話帳から消去したあと、もう一度登録し直してください。

電話帳を消去する

登録した電話帳の内容を１件ずつ消去することができます。電話帳の内容を一度にすべて消去することはできません。

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 で相手の方を選ぶ

2 機能 を押し、 で「ショウキョ」を選ぶ

ショウキョ

3 機能 を２回押す

・「ピー」と鳴り消去が完了します。残りの登録可能件数が表示され、待受画面に戻ります。

■ **途中でやめるときは**

を押します。

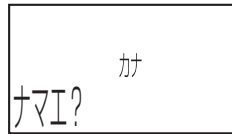
子機で文字を入力する

子機ではカナ/キャッチボタンで文字の種類を替えてダイヤルボタンで入力します。

文字の種類（入力モード）を選ぶ

1 カナ/キャッチボタンを押すたびに文字の種類が切り替わる

カナ/キャッチ ○ を押す

はじめは、カナ入力モードになっています。
ボタンを押すごとに、下記のように切り替わります。

［カナ］カタカナを表示します。
↓
［英］英字を表示します。
↓
［数］数字を表示します。

2 文字の種類を選んだあと、ダイヤルボタンを押して文字を選ぶ

［カナ］モード
ダイヤルボタンを押した回数により、文字入力一覧表のカタカナが表示されます。

［英］モード
ダイヤルボタンを押した回数により、文字入力一覧表の英字が表示されます。

［数］モード
ダイヤルボタンに表示されている数字が入力できます。

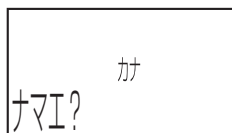
■ 子機の文字一覧表を見る（☞76ページ）

文字入力一覧表

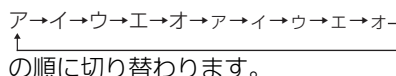
入力モード／入力ボタン	カタカナ[カナ]	英字[英]	数字[数]
1 (ア)	ｱｲｳｴｵ ｧｨｩｪｫ	無効	1
2 (カ)	ｶｷｸｹｺ	ABC abc	2
3 (サ)	ｻｼｽｾｿ	DEF def	3
4 (タ)	ﾀﾁﾂﾃﾄ ｯ	GHI ghi	4
5 (ナ)	ﾅﾆﾇﾈﾉ	JKL jkl	5
6 (ハ)	ﾊﾋﾌﾍﾎ	MNO mno	6
7 (マ)	ﾏﾐﾑﾒﾓ	PQRS pqrs	7
8 (ヤ)	ﾔﾕﾖ ｬｭｮ	TUV tuv	8
9 (ラ)	ﾗﾘﾙﾚﾛ	WXYZ wxyz	9
0 (ワ)	ﾜ ｦ ﾝ ｰ □ (ｽﾍﾟｰｽ)	ｰ □ (ｽﾍﾟｰｽ) / [ ] : , . ! ( ) & ? @	0
トーン *	無効		*
#	無効		#
オンフック 発信/゛゜	濁点/半濁点	無効	
◀▶	カーソル左右移動		
内線/クリア 保留	カーソルの１文字を消去（２秒以上押し続けると、すべての文字を消去）		
カナ/キャッチ ○	文字の種類の切り替え		

文字を入力する

「イケダ」と入力するときは次のように入力します。
ディスプレイは電話帳に登録する（☞73ページ）ときのものです。

1 カナ/キャッチ で文字の種類を選ぶ

・はじめは「カナ入力モード」になっています。

2 ①（ア） を2回押す

・くり返して押すと
ア→イ→ウ→エ→オ→ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ
の順に切り替わります。

3 ②（カ） を4回押す

・同じボタンを使って入力する文字（例：「ア」と「エ」、「ワ」と「ー（長音）」など）を続けて入力するときは1文字目を入力したあと、◯ を押して、カーソルを移動してから2文字目を入力します。

4 ④（タ） を押す

イケタ

・◯ を押してカーソルを移動して、文字を入力すると、その間にスペースが入ります。

5 オンフック（発信/゛゜） を押す

イケダ

・濁点（゛）や半濁点（゜）をつけるときは、文字を入力したあと、オンフックボタンを押します。オンフックボタンを続けて押すと、濁点・半濁点が切り替わります。

6 機能 を押す

・文字入力が終了します。

■ **文字の種類を選ぶときは**（☞75ページ）

■ **英字、数字を入力するときは**

手順1で入力したい文字の種類を選んで、手順2以降の操作をしてください。

■ **入力した文字を消すときは**

① 消したい文字を ◯ で選ぶ
② 内線/クリア 保留 を押す

■ **入力した文字を訂正したいときは**

① 訂正したい文字を ◯ で選ぶ
② 内線/クリア 保留 を押して文字を消す
③ 正しい文字を入力する

子機の電話帳で電話をかける

電話帳に登録すると、マルチファンクションボタンの操作だけで相手の方を選ぶことができます。
電話帳は、次の順に自動的に並べ換えられます。
数字（0→9）→英字（A→Z）→50音順

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 で相手の方を選ぶ

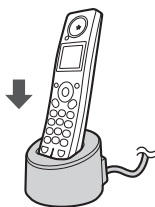
イケダ　サトシ

・相手の方を選んだあと、 を押すと電話番号を表示して確認することができます。

2 を押す

・通話ボタンが点灯します。
・ダイヤルを始めます。

3 相手の方とお話しする

4 通話が終わったら

充電器に戻す

・充電器に戻さないときは、切ボタンを押します。

■ **途中でやめるときは**

 を押します。

■ **25ケタ以上の番号をダイヤルするときは**

電話帳には、電話番号を最大24ケタまでしか登録できません。25ケタ以上の電話番号のときは、番号を分けて登録しておけば続けて使えます。
（チェーンダイヤル機能）

① で最初の番号を選ぶ
② を押す
③ を押す
④ で次の番号を選ぶ
⑤ を押す

■ **電話帳から相手先を検索して電話をかけるときは**

電話帳からダイヤルボタンで相手先を検索して電話をかけることができます。検索は、電話帳に登録されている「名前」の頭文字をダイヤルボタンで入力して行います。入力した文字で始まる相手先のうち、最も上にあるものを表示します。

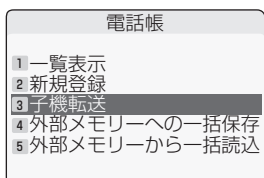
① を押す
② 相手先の「名前」の頭文字をダイヤルボタンで入力する
③ を押す
④ 目的の相手先が選ばれていないときは、 で選ぶ
⑤ を押す
⑥ 相手の方とお話しする
⑦ 通話が終わったら充電器に戻す

親機と子機の間で電話帳を転送する

親機の電話帳を子機に転送する

親機で登録した電話帳を子機に転送することができます。
親機から子機へ転送すると、電話帳の内容（「読み」と電話番号）が子機に追加されます。

1 ◯（登録/機能）を押し、
◎で「電話帳」を選ぶ

2 決定 を押し、
◎で「子機転送」を選ぶ

3 決定 を押す

すべて転送するときは

4 ◎で「全件転送」を選ぶ

1件ずつ転送するときは

4 ◎で「1件毎転送」を選ぶ
↓
決定 を押し、
◎で転送したい電話帳データを選ぶ

5 決定 を押し、
◎で転送先の子機を選ぶ

6 決定 を押す

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**
◯（戻る）を押します。

■ **「転送できないデータがあります　操作を続けますか？」と表示されたときは**
この表示は、親機に25ケタ以上の番号で登録しているときに表示されます。（子機を増設した場合は、増設した子機によって変わります。）
決定 を押すと、その相手の方以外のデータを転送します。

お知らせ
- 転送する件数を確認して、子機の電話帳が 100件を超えないようにしてください。100件を超えた電話帳の内容は転送されません。
- 100件登録された時点で「ピピピピ」と鳴り、画面に「件数が一杯です」と表示されます。
- 同じ名前、同じ電話番号で登録している電話帳の内容は転送されません。
ただし、1か所でも修正した電話帳の内容は別のデータとして扱われて転送されます。
- 親機の電話帳を転送しても、子機に登録されていた電話帳の内容は上書きされません。
- 転送を行っても、登録されていた電話帳の内容は消えません。

子機の電話帳を すべて親機に転送する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 を押し、 で「デンワチョウテンソウ」を選ぶ

ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳﾃﾝｿｳ

2 を押す

ｶﾝﾘｮｳｼﾏｼﾀ

・親機が使用中などで転送できないときは、「ピーピー」と鳴って転送できません。
・転送が完了すると、「ピー」と鳴って、「カンリョウシマシタ」と約30秒間表示されたあと、待受画面に戻ります。(切ボタンを押しても、待受画面に戻ります。)

■ **途中でやめるときは**

を押します。

子機の電話帳を １件ずつ親機に転送する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 で転送したい相手の方を選んだあと、 を押す

ﾊﾞﾝｺﾞｳﾍﾝｺｳ

2 で「デンワチョウテンソウ」を選んだあと、 を押す

ｶﾝﾘｮｳｼﾏｼﾀ

・親機が使用中などで転送できないときは、「ピーピー」と鳴って転送できません。
・転送が完了すると、「ピー」と鳴って、「カンリョウシマシタ」と約30秒間表示されたあと、待受画面に戻ります。(切ボタンを押しても、待受画面に戻ります。)

■ **途中でやめるときは**

を押します。

お知らせ

●転送するときはできるだけ、まわりに他の子機や電気製品などがない場所で行ってください。電波障害などで転送できないことがあります。
●電源コードを子機や充電器の近くにたばねて置くと、転送できないことがあります。
この場合、コードを伸ばすなどしてコードの位置を変えてください。
●転送中は、子機に衝撃を与えないようにしてください。転送できないことがあります。
●名前の先頭が"》"ではじまっているもの(工場出荷時にあらかじめ登録されている天気予報、時報、番号案内を含む)は、転送動作は完了しますが、親機の電話帳には登録されません。
●転送中に電話がかかってくると、転送を中断し、電話の着信音が鳴ります。
●子機から他の子機へ転送することはできません。
●転送する件数と登録できる件数を確認して、親機の電話帳が200件、子機の電話帳が100件を超えないようにしてください。件数を超えた電話帳の内容は転送されません。
●同じ名前、同じ電話番号で登録している電話帳の内容は転送されません。
ただし、１か所でも修正した電話帳の内容は別のデータとして扱われて転送されます。
●子機の電話帳を転送しても、親機に登録されていた電話帳の内容は上書きされません。
●転送を行っても登録されていた電話帳の内容は消えません。

子機のワンタッチダイヤルを利用する

よく電話をかける相手の方をワンタッチダイヤル（1件）に登録しておくと、簡単な操作で電話をかけることができます。
ワンタッチダイヤルを登録するにはあらかじめ子機の電話帳に登録（☞73ページ）しておく必要があります。

ワンタッチダイヤルに番号を登録する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 **で登録したい相手の方を電話帳から選ぶ**

イケダ　サトシ

2 ワンタッチダイヤル **を押す**

・「ピー」と鳴り、選んだ相手の方の電話番号を登録します。

3 切 **を押す**

■ ワンタッチダイヤルの登録を変更するときは

あらためて番号を登録します。
先に登録されていた内容は消去されます。

■ ワンタッチダイヤルの登録を消すときは

ワンタッチダイヤル を2秒以上押します。
（「ピー」と鳴ったあと、ワンタッチダイヤルの登録は自動的に解除されます。）

ワンタッチダイヤルで電話をかける

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 ワンタッチダイヤル **を押す**

・オンフックダイヤルで電話をかけます。
・通話ボタンが点灯し、ディスプレイの マークが表示されて、自動的にダイヤルを始めます。

2 相手の方が電話に出たら
オンフック 発信 **を押して相手の方とお話しする**

3 通話が終わったら
切 **を押す**

■ 途中でやめるときは

切 を押します。

お知らせ

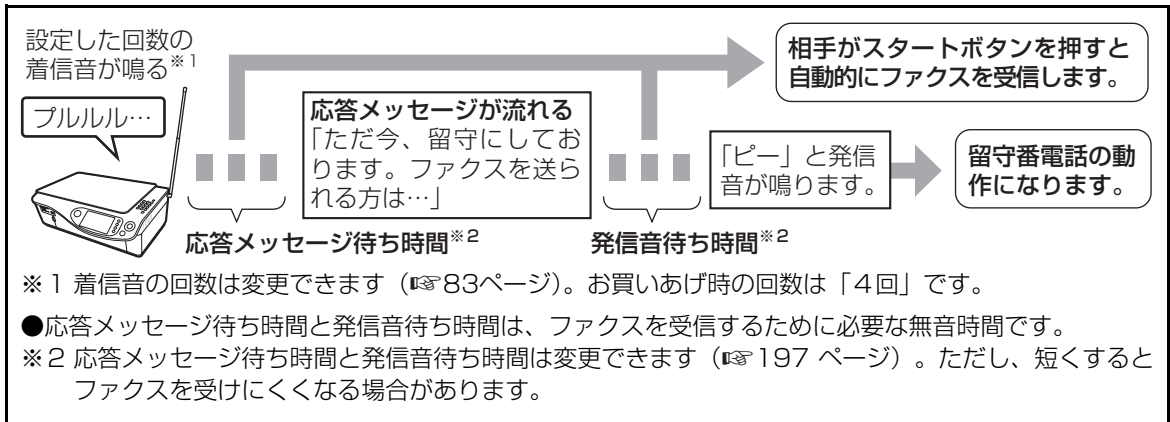
●ワンタッチダイヤルの登録は、それぞれの子機に1つです。親機には登録できません。
●通話ボタンを押したあと、ワンタッチダイヤルボタンを押しても、電話をかけることができます。
●ワンタッチダイヤルに登録した、元の電話帳の内容を変更・消去すると、ワンタッチダイヤルの内容も変更・消去されます。

留守に設定する

留守設定をしておくと、外出中に相手の方の伝言を録音したり、ファクスを自動受信することができます。

※1 着信音の回数は変更できます（☞83ページ）。お買いあげ時の回数は「４回」です。

●応答メッセージ待ち時間と発信音待ち時間は、ファクスを受信するために必要な無音時間です。

※2 応答メッセージ待ち時間と発信音待ち時間は変更できます（☞197 ページ）。ただし、短くするとファクスを受けにくくなる場合があります。

相手の方の用件は、１件につき最大約３分間録音できます。すべての録音を合わせて、最大約21分間、または30件まで録音できます。

1 留守 を押して点灯させる

固定応答メッセージ
「ただ今、留守にしております。ピーッと鳴りましたらお名前とご用件をお話しください。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。」

・留守ボタンが点灯し、固定応答メッセージが流れます
・録音できる残り時間が５分以下のときは、「残り約○分、録音できます。」と流れます。

固定応答メッセージの内容は、本機の状態によって変わります。

状態	メッセージ
ファクス受信できるが、録音できないとき	「ただ今留守にしております。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。電話の方は、恐れ入りますが、後程おかけ直しください。」
録音はできるが、ファクス受信できないとき	「ただ今留守にしております。ピーと鳴りましたらお名前とご用件をお話しください。」
ファクス受信も録音もできないとき	着信音が鳴り（25回）、「ただ今留守にしております。恐れ入りますが後程おかけ直しください。」（3回流れます。） ※ ただし、リモート操作（☞139～141ページ）するための暗証番号が登録されていないと応答しません。

■ **固定応答メッセージが流れたあと「ピー」と鳴るまでの時間を変えるときは**

はじめは２秒に設定されています。１秒または４秒に変更することができます。
（発信音待ち時間 ☞197ページ）

お知らせ

●留守設定したときに「メモリーがもうすぐいっぱいです。」と音声でお知らせしたときは、不要な録音を消してください。（☞87ページ）
●ファクスの受信データがあると、録音できる時間が少なくなります。
●留守設定中は、他の受信モード（FAX優先/FAX専用）は働きません。留守設定が優先されます。

■ **応答メッセージが流れるまでの着信音の回数を変えるときは（留守モード時のコール回数）**

応答メッセージが流れるまでの着信音の回数を設定します。

① ◯（登録/機能）を押し、◎で「音の設定」を選ぶ
② 決定 を押し、◎で「親機着信音」を選ぶ
③ 決定 を押し、◎で「留守時コール回数」を選ぶ
④ 決定 を押し、◎で「回数選択」を選ぶ
⑤ 決定 を押し、ダイヤルボタンでコール回数を入力する（01回～25回）
⑥ 決定 を押す
⑦ 停止 を押す

■ **相手の方が自動送信でファクスを送っているときは**

「ポー・ポー…」という音を検出すると、自動的にファクス受信に切り替わります。（ファクス受信可能な場合のみ）

■ **留守設定中に相手の方の録音中の声を聞くときは（お声拝聴）（☞197ページ）**

お声拝聴の設定を「あり」にすると留守録音中に相手の方の録音中の声と応答メッセージがスピーカーから聞こえます。（工場出荷時は「あり」に設定されています。）
「なし」に設定すると録音中の声と応答メッセージは聞こえません。

着信音の回数とトールセーバー

留守モードでは、着信音の回数を設定するか、「トールセーバー」という機能を選択できます。
トールセーバーを選択すると、外出先から留守番電話のメッセージが入っているかどうかを確認できます。

<外出先からメッセージの有無を確認する（トールセーバーのとき）>

外出先から自宅に電話をかけて、留守番メッセージが再生されるまでの着信回数を確認します。

メッセージがあるとき…着信音2回で着信
メッセージがないとき…着信音5回で着信

着信音が３回鳴った時点で、メッセージが録音されていないことがわかります。３回鳴った時点で電話を切れば通話料はかかりません。２回鳴って電話がつながったときは、リモート操作（☞139～141ページ）によって音声メッセージを確認するなど、親機を操作することができます。

■ **留守モード時のコール回数を「トールセーバー」にするときは**

① ◯（登録/機能）を押し、◎で「音の設定」を選ぶ
② 決定 を押し、◎で「親機着信音」を選ぶ
③ 決定 を押し、◎で「留守時コール回数」を選ぶ
④ 決定 を押し、◎で「トールセーバー」を選ぶ
⑤ 決定 を押す
⑥ 停止 を押す

お知らせ

- 応答メッセージが流れている間や録音している間でも、子機で電話に出ることができます。
- メモリー容量がないとき（メモリーがいっぱいのとき）は、ファクス受信や録音ができませんので、応答メッセージが自動的に切り替わります。もとの応答メッセージに戻すときは、受信データまたは不要な録音を消去してください。（☞87、109ページ）
- 録音とファクス受信には同じメモリーを使用しています。受信データがあると録音できる時間が少なくなります。

留守設定を解除する

帰宅したあと留守設定を解除するだけで、留守中に録音されたメッセージを聞くことができます。

1 留守設定中に 留守 を押す（留守設定中に録音があると点滅しています）

ディスプレイ上部に録音されている件数が表示されます（この例では3件）。

留守設定以降の再生について

・留守ボタンが消灯します。
・留守を解除すると、留守設定中にかかってきた録音内容を自動的に１回再生します。
・再生中は「早聞き」「遅聞き」「次の録音にとばす」「１つ前の録音に戻す」ことができます。
・録音内容を１件再生するごとに、録音された日時を音声でお知らせします。

■ **留守設定を解除せずに留守録を聞くには**
（☞85ページ）

■ **再生中の操作について**（☞85ページ）

■ **再生を途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **留守ボタンが点滅しているときは**

●留守設定中に１回点滅しているときは、新しく入った録音があります。
●留守を解除したあとでも、２回点滅しているときは、まだ再生していない（未再生）録音があります。約３秒以上再生すると再生済みになります。全て再生済みになると消灯します。
●まだ再生していない録音を聞くときや、録音をもう一度聞き直すときは、「録音されている内容を再生する」（☞85ページ）の操作をします。

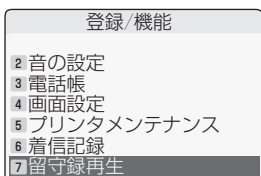
お知らせ

●一度聞いた不要な用件は消去してください（☞87ページ）。録音されている用件が多いと、メモリー容量が少なくなり、新しく録音することやファクスを受けることができなくなることがあります。
●消去しない限り、新しく録音される用件は、前の用件の最後に続けて録音されます。
●親機の日付と時刻の設定がまちがっていると、まちがった日付と時刻が記録されます。正しく合わせてください（☞24〜25ページ）。

録音されている内容を再生する

親機で留守中に録音されたメッセージを再生するときの操作です。

親機で録音内容を再生する

1 ◯（登録/機能）を押し、
◯ で「留守録再生」を選ぶ

2 (決定) を押す

・約３秒以上再生した内容は、再生スミになります。

再生中は次のような操作ができます。

次の録音にとばすときは

再生中に、◯ を押す

早聞きや遅聞きするときは

再生中に、◯（速度変更）を押す（速い）

↓

もう一度、◯（速度変更）を押す（遅い）

↓

もう一度、◯（速度変更）を押す（標準）

今聞いている録音を聞き直すときは

再生中に、◯ を押す

１つ前の録音に戻すときは

再生中に、◯ を２回続けて押す

今聞いている録音の１件前から再生します。
聞きたい録音まで戻すときは、更にくり返して ◯ を押します。（１回押すごとに１件ずつ）

３秒以上再生したあと、◯ を２回続けて押すと

１件目 再生スミ	２件目 未再生	３件目 未再生	４件目 再生スミ	５件目 未再生	**６件目 未再生**

１つ前の録音に戻る

聞きたい録音まで戻すときは、さらに ◯ をくり返し押してディスプレイで件数を確認する

■ **再生を途中でやめるときは**
停止 ◯ を押します。

■ **再生中に電話がかかってきたら**
再生が止まります。このあと子機を取ると、通話できます。

子機で録音内容を再生する

留守設定中に録音された内容は、子機でも再生することができます。

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 (機能) **を２回押す**

🔈
〈サイセイチュウ〉

留守設定しているとき

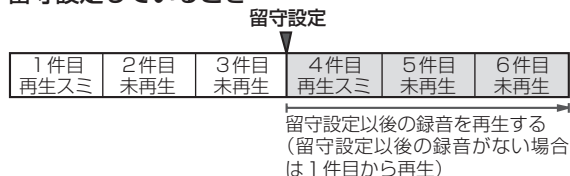
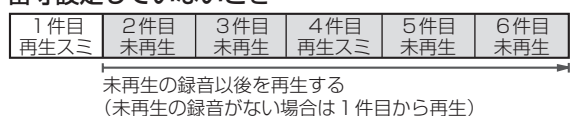
留守設定

1件目 再生スミ	2件目 未再生	3件目 未再生	4件目 再生スミ	5件目 未再生	6件目 未再生

留守設定以後の録音を再生する
（留守設定以後の録音がない場合は１件目から再生）

留守設定していないとき

1件目 再生スミ	2件目 未再生	3件目 未再生	4件目 再生スミ	5件目 未再生	6件目 未再生

未再生の録音以後を再生する
（未再生の録音がない場合は１件目から再生）

・録音された内容がスピーカーから聞こえます。
・「留守」に設定しているときと、していないときでは再生する内容が変わります。
（約３秒以上再生した内容は再生スミになります。）
・子機で録音内容を再生しても、留守設定は解除されません。

再生中は次のような操作ができます。

次の録音にとばすときは

再生中に、⑥（ハ） を押す

早聞きするときは

再生中に、⑨（ラ） を押す

もとに戻すときは、もう一度、⑨（ラ） を押す

今聞いている録音を聞き直すときは

再生中に、⑤（ナ） を押す

１つ前の録音に戻すときは

再生中に、⑤（ナ） を２回続けて押す

今聞いている録音の１件前から再生します。
聞きたい録音まで戻すときは、更にくり返して⑤（ナ）を押します。（１回押すごとに１件ずつ）

３秒以上再生したあと、⑤（ナ）を２回続けて押すと

1件目 再生スミ	2件目 未再生	3件目 未再生	4件目 再生スミ	5件目 未再生	6件目 未再生

聞きたい録音まで戻すときは、さらに ⑤（ナ） をくり返し押す　　１つ前の録音に戻る

■ **再生を途中でやめるときは**

(切) を押します。

■ **再生中に電話がかかってきたら**

再生が止まってから着信音が聞こえます。このあと (通話) を押すと通話できます。

お知らせ

●一度聞いた不要な用件は消去してください（☞87ページ）。録音されている用件が多いと、メモリー容量が少なくなり、新しく録音することやファクスを受けることができなくなることがあります。
●消去しない限り、新しく録音される用件は、前の用件の最後に続けて録音されます。
●親機の日付と時刻の設定がまちがっていると、まちがった日付と時刻が記録されます。正しく合わせてください（☞24〜25ページ）。

録音されている内容を消去する

留守中に録音されたメッセージを消去します。

録音を1件消去する

消したい録音の再生中に操作します。

1 ◯（消去）を2回押す

■ **親機の録音メモリーの残量を確認するときは（メモリー残量表示）**

① ◯（登録/機能）を押し、◎ で「詳細設定」を選ぶ

② (決定) を押し、◎ で「メモリー残量表示」を選ぶ

③ (決定) を押す
受信FAXの件数、留守録音メッセージの件数、メモリー残量（%）が約5秒間表示されます。

④ 停止(▽) を押す（待受画面に戻ります）

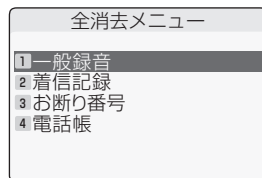
録音をすべて消去する

1 ◯（登録/機能）を押し、◎ で「詳細設定」を選ぶ

2 (決定) を押し、◎ で「全消去メニュー」を選ぶ

3 (決定) を押し、◎ で「一般録音」を選ぶ

4 (決定) を押し、◎ で「全消去する」を選ぶ

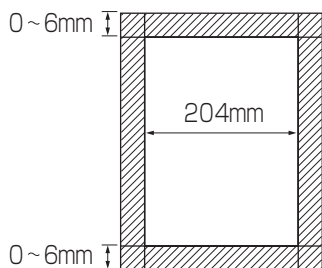
5 (決定) を押す

お知らせ

●子機で録音を消去することはできません。

コピー／ファクスをする前に

原稿を読み取れる範囲

原稿を読み取るときは、実際に読み取れる範囲が決まっています。原稿の端の部分は読み取れないことがありますので、ご注意ください。
原稿台またはADFにA4サイズの原稿をセットした場合は、下記のようになります。

●最大読み取り幅　204mm
●最大読み取り長　送信原稿長 (297mm) から上下とも0～6mm を引いた長さ※

※ パソコンのアプリケーションでスキャナとして使用しているときは、上下とも紙の端まで読み取りが可能です。

ADFにセットできる原稿

UX-MF40CL／UX-MF40CWをお使いのとき、ADFにセットできる原稿の種類は以下のとおりです。

● 最小 148 × 148mm ～最大 210 × 297mm の普通紙（坪量 52 ～ 80g / ㎡、厚み 0.06mm ～ 0.1mm）
● 一度にセットできる枚数：最大 10 枚まで

<注意>
● コート紙、マット紙、フォト紙、光沢紙など、普通紙以外のものは使用しないでください。

お知らせ
●薄い原稿をきれいにコピー／ファクスしたいときは、原稿台を使用してください。
●カールしていたり、めくれていたり、傷んでいる原稿は、正しく給紙できずに故障の原因になることがありますので、原稿台を使用してください。
●ADFを使用した場合、先端部に色ムラがでる場合があります。よりきれいにコピー／ファクスするには、原稿台を使用してください。

コピーの禁止について

本商品で原稿をコピーする場合、コピーしたものを所有するだけで法律で罰せられるものがあります。
ご注意ください。

■ 法律で禁止されているもの

● 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券をコピー（複製）する事は禁止されています。
たとえ、見本の印が押してあっても、複製してはいけません。
（通貨及証券模造取締法、紙幣類似証券取締法）
● 外国において流通する紙幣、貨幣、証券類のコピー（複製）もできません。
（外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律）
● 未使用の郵便切手、官製はがきなどは政府の許可を受けないでコピー（複製）することは禁じられています。
（郵便切手類模造等取締法）
● 政府発行の印紙および酒税法や物品税法などで規定されている証紙などもコピー（複製）できません。
（印紙等模造取締法）

■ コピー（複製）する場合に注意を要するもの

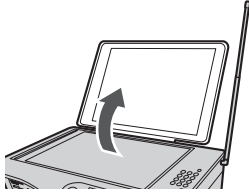
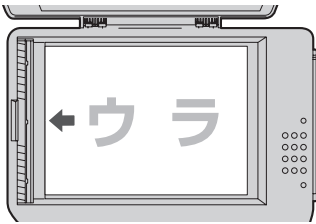
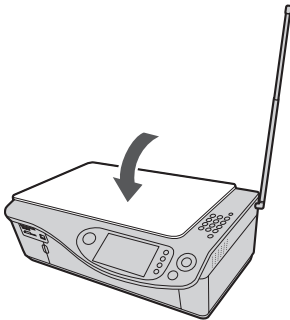
● 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券などは、事業会社が業務用に最低必要部数をコピー（複製）する以外は、政府の指導によって注意が呼びかけられています。
● 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、身分証明書や通行券、食券などの切符類も勝手にコピーしないほうがよいと考えられています。

■ 著作権に注意するもの

● 著作権の目的となっている書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画、および写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用するため以外は、コピー（複製）を禁止されています。

原稿台に原稿をセットする

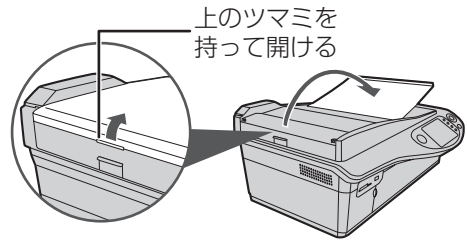
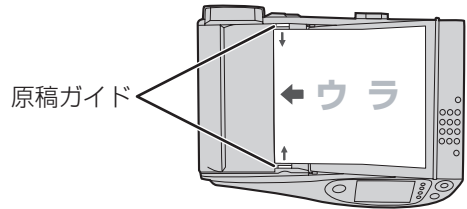
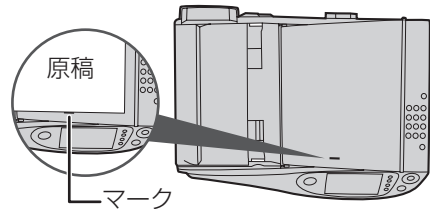
コピーや送信する面をウラ向きにして、原稿台にセットしてください。

1 原稿カバーを開ける

2 原稿台の左中央に合わせて、原稿をセットする

3 原稿カバーを閉じる

お知らせ

●原稿に糊や修正液、ボールペンのインクなどが付いているときは、よく乾かしてからセットしてください。原稿台が汚れたときは174ページをご覧ください。
●本や雑誌などをコピーするときは、原稿台に密着していない部分は読み取れません。
●厚みのある本や雑誌などをコピーするときは、原稿カバーを開けたままでお使いください。厚みのある本や雑誌を原稿カバーで押さえつけると、故障や破損の原因になることがあります。

ADFに原稿をセットする（UX-MF40CL／UX-MF40CWのみ）

ADF（自動原稿送り装置）をお使いになるときは、コピーや送信する面をウラ向きにしてセットしてください。

1 原稿トレイを開ける

2 原稿をセットし（一度に10枚まで）、原稿ガイドを合わせる

・ディスプレイに「原稿をセットしました」と表示されます。
・A4 サイズの原稿をセットするときは、原稿トレイ上のマークの内側に原稿の端を合わせて、まっすぐにセットしてください。

お知らせ

ADFをお使いになるときのご注意

●ADF に原稿がセットされているときは、原稿台でのコピーはできません。
●コピーやファクスが終わった原稿は、早めにADFから取り出してください。
●読み取り終えた原稿は、きれいに整頓されないことがあります。また、セットした順番どおりには排出されません。
●ローラーが紙の粉などで汚れていると、原稿を送り込めないことがあります。そのときは、ローラーを清掃してください（☞174ページ）。

コピーのしかた

コピー設定メニューを利用する

コピーをするときは、あらかじめ「コピー設定メニュー」で、倍率や画質などをくわしく設定しておくことができます。

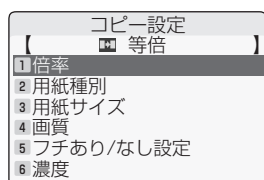
1 待受画面で ◯ を押し、「コピー」を選ぶ

2 決定 を押す

3 必要に応じて ◯（カラー /モノクロ）を押してコピーの種類を選ぶ

・カラーコピーするときは設定を「カラー」（カラーの花の画像を表示）に、モノクロコピーするときは設定を「モノクロ」（モノクロの花の画像を表示）に切り替えてください。

4 ◯（設定変更）を押す

5 ◯ で項目を選び、決定 を押して決定する

・項目の内容については、「設定できる項目について」（☞91ページ）をご覧ください。

6 設定が終わったら、◯（設定完了）を押す

・コピーをするときに、設定した内容が適用されます。

■ **途中でやめるときは**

停止 ◯ を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

◯（戻る）を押します。

■ **設定の内容を初期値に戻すときは**

① 待受画面で ◯ を押し、「コピー」を選ぶ
② 決定 を押す
③ ◯（初期値に戻す）を押す
④ 停止 ◯ を押す

コピー／ファクス
コピー
ファクス
コピーのしかた

■ 設定できる項目について

コピー設定メニューでは、「倍率」「用紙種別」「用紙サイズ」「画質」「フチあり/なし設定」「濃度」「原稿種類」の各項目を設定することができます。
コピー設定メニューを表示してから、下記の表を参照して設定してください。

操作に使用するボタン
… 項目を選ぶ　決定 … 項目を決定する　ダイヤルボタン … 任意倍率の入力
◯（設定完了）… 変更した内容を適用して、設定を終了する

項目名と内容	選択できる項目
倍率 原稿に対するコピー後の倍率を設定します。	**等倍**：サイズを変更せずにコピーします。 **A4⇒ハガキ**：約47%に縮小コピーします。 **A4⇒B5**：約86%に縮小コピーします。 **L判⇒ハガキ**：約112%に拡大コピーします（ADF使用時は不可）。 **B5⇒A4**：約115%に拡大コピーします。 **ハガキ⇒A4**：約200%に拡大コピーします（ADF使用時は不可）。 **任意倍率**： 25%から400%まで（1%単位で指定）の倍率を指定してコピーします。 「任意倍率」を選択して 決定 を押し、ダイヤルボタンで倍率を入力したあと、もう一度 決定 を押して決定します。
用紙種別 印刷する用紙のタイプに合わせて設定します。	PL **普通紙**：普通紙をセットするときに選びます。 Ph **フォト用紙**：フォト用紙をセットするときに選びます。 GL **光沢紙**：光沢紙をセットするときに選びます。 CO **コート紙**：コート紙をセットするときに選びます。 AT **自動**：用紙タイプを自動で判別させるときに使います。
用紙サイズ※1 印刷する用紙のサイズに合わせて設定します。	A4 A4：210mm×297mm　B5 B5：182mm×257mm　L L判：89mm×127mm 2L 2L判：127mm×178mm　PC ハガキ：100mm×148mm
画質 コピーの画質を設定します。	**ふつう**：標準的な画質でコピーするときに選びます。 **きれい**：写真などを高画質でコピーするときに選びます。 **はやい**：コピー速度を優先するときに選びます。用紙種別を「フォト用紙」および「光沢紙」に設定していると表示されません。
フチあり/なし設定※2 用紙の端の部分に印刷しない領域（フチ）を設けるかどうかを設定します。	**フチあり**：用紙の上下左右の辺から、内側に約3mmずつフチを設けます。 **フチなし**：フチを設けません。
濃度 コピーの濃度を設定します。	で濃度を変更（5段階）したあと、決定 で決定します。
原稿種類 読み込ませる原稿の種類に合わせて設定します。	モノクロコピーのときだけ設定できます。カラーコピーのときは表示されません。 T **文字**：細かい図などのない、文字原稿のときに選びます。 Ph **写真**：濃淡のある原稿（カラーの原稿）や、写真のときに選びます。

※1 ハガキについては、当社推奨品もしくは官製ハガキをお使いください。DPEショップ等で販売されている写真貼り合わせハガキや喪中ハガキなど、厚みのあるものは給紙できない場合があります。
※2 用紙種別が「光沢紙」または「フォト用紙」の場合に設定できます。ただし、用紙サイズが「ハガキ」の場合は、「自動」以外であればフチなし印刷を設定できます。
ハガキサイズで、はやい（画質）を選ぶと、フチなしには設定できません。

コピーする

1 **原稿をセットする（☞89ページ）**

2 **待受画面で ⓞ を押し、「コピー」を選ぶ**

・このあとダイヤルボタンを押して、枚数入力（手順4）に進むこともできます。

3 **決定 を押す**

4 **ダイヤルボタンまたは ⓞ でコピー枚数（1〜99枚）を入力する**

・◯（設定変更）を押すと、コピー設定メニュー（☞90〜91ページ）を表示することができます。

5 **◯（カラー／モノクロ）を押して設定を切り替えたあと、プリントスタート を押す**

・カラーコピーをするときは設定を「カラー」に、モノクロコピーするときは設定を「モノクロ」に切り替えてください

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

◯（戻る）を押します。

■ **1枚だけコピーするときは**

待受画面で「コピー」が選択されている状態で、プリントスタート を押すと、1枚だけコピーすることができます。

コピーの設定は、前回のコピー時に設定されていた内容になります。

お知らせ

●「フチなし」の設定にしているときは、モノクロコピーはできません。

親機でファクスを送る

ダイヤルしてファクスを送る

親機でファクスを送るときは、相手の方にダイヤルし、お話ししないでファクスを送ります。相手の方とお話ししてからファクスを送りたいときは、子機で電話をかけてから、親機の操作でファクスを送ります。

1 原稿をセットする（☞89ページ）

・送信する面を下にしてセットします。

2 待受画面で ◯ を押し､「ファクス」を選ぶ

・このあとダイヤルボタンでダイヤルして、読み込み（手順5）に進むこともできます。

3 決定 を押し、◯ で「送る」を選ぶ

4 決定 を押し、ダイヤルボタンでダイヤルする

・番号をまちがえたときは、◯（取消）を押して消去したあと入力し直します。

5 ◯（カラー /モノクロ）を押して設定を切り替えたあと、決定 を押す

UX-MF40CL／UX-MF40CWでADFをお使いのとき
→続いて手順7へ

・「カラー」にするとカラーの花の画像が、「モノクロ」にすると白黒の花の画像が表示されます。
・モノクロ送信時の画質を選ぶときは、◯（画質）を押します（☞94ページ）。
・原稿台使用時に、複数の原稿があるときは、読み込みが終了したあと、次の原稿をセットしてもう一度 決定 を押す、という操作をくり返します。
・読み込みを途中でやめるときは、◯（読込み中止）を押します。

6 原稿台使用時は、読み込みが終了したら、プリント/スタート を押す

7 送信が始まる

・送信中に途中でやめるときは、停止 を押します。このとき、FAX自動再ダイヤルの設定（☞95ページ）が「する」になっていると、FAX送信待ちの状態になります。送信を取り消すには ◯（送信待ちリスト）を押してから、決定 を2回押します。
・ファクス送信が終わると終了音が聞こえ、自動的に回線が切れます。

■ **送信前に途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

◯（戻る）を押します。番号入力時は ◯（取消）を押します。

■ **子機で通話中にファクスを送るときは**

子機で通話中に、親機で下記の操作をします。

① 親機に原稿をセットする
② 親機の待受画面で ◯ を押し、「ファクス」を選ぶ
③ 決定 を押し、◯ で「ファクスを送る」を選ぶ
④ 決定 を押す
原稿をセット後、「決定」を押してください。と表示されています。
⑤ ◯（カラー /モノクロ） を押して設定を切り替える
モノクロ送信時の画質を選ぶときは、◯（画質）を押します。
⑥ 決定 を押す
⑦ 原稿台使用時は、続けて送るときは 決定 を、送らないときは プリント/スタート を押す

■ **「通信エラーがありました。」と聞こえたら（☞187ページ）**

お知らせ

●読み込み中にメモリーがいっぱいになると（当社標準原稿で99枚まで）、読み込みの終了した分の原稿を送信します。
●相手側のファクスがカラープリント対応機（ITU-T準拠カラーファクシミリ）でないときは、カラー送信をすると通信エラーになり、「相手機にカラー通信機能がありません」と表示されます。
●ファクスを送ったとき、相手側の用紙に日付と時刻、曜日をプリントするので、日付・時刻は正しく設定してください（☞24〜25ページ）。
●UX-MF40CL／UX-MF40CWでADFをお使いのときは、原稿１枚ごとに画質を変更することはできません。

■ **ファクス送信時の画質について**

ダイヤル中の画面で ◯（画質）を押すと、モノクロ送信時の画質を8種類から選ぶことができます（右のように切り替わります）。
原稿の文字などが薄いときは、「FAX 濃く」の付いている設定を選びます。
カラー送信時には、画質の設定は無効となります。

「T 普通字」「T 普通字　FAX 濃く」:

原稿の文字が大きくはっきりと見えるときに選びます。

「T 小さな字」「T 小さな字　FAX 濃く」:

「T 普通字」の2倍の密度で読み取ります。原稿の文字が小さいときに選びます。文字が小さくなることはありません。

「▦ 精細」「▦ 精細　FAX 濃く」:

「T 普通字」の4倍の密度で読み取ります。原稿に非常に小さい文字や、細い線を使った図面などがあるときに選びます。

「Ph 写真」「Ph 写真　FAX 濃く」:
濃淡のある原稿（カラーの原稿）や、写真を送信するときに選びます。
Ph は Photo (写真) の略です。

※選択されている画質は、ディスプレイ左に表示されます。

■ **ファクスを送信したときの終了音を切り替えるときは**

「終了音」（☞136ページ）で切り替えます。

■ **海外へファクスを送るときは**

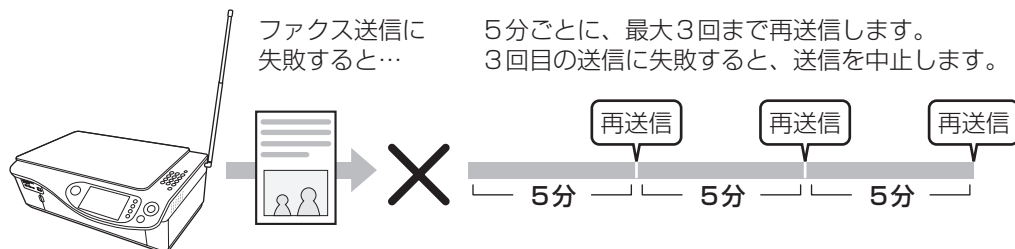
ダイヤルするとき、「電話会社の識別番号」「010」「国番号」「市外局番」「ファクス番号」の順にダイヤルします。

■ **通信結果表をプリントするときは**

ファクス送信の結果（新しいものから30件まで）を、プリントして確認することができます。

① ◯（登録/機能）を押し、◇ で「詳細設定」を選ぶ
② (決定) を押し、◇ で「リストプリント」を選ぶ
③ (決定) を押し、◇ で「通信結果リスト」を選ぶ
④ (決定) を押し、◇ で「する」を選ぶ
⑤ (決定) を押す

FAX自動再ダイヤルについて

本機には、相手先が通話中などでファクスが正しく送信できなかったときに、自動的に再ダイヤルでファクスを送り直す機能があります。

■ FAX自動再ダイヤルで送信待ちのファクスを取り消すには

ディスプレイに「FAX送信待ち中」と表示されているあいだに、下記の操作をします。

① ◯（送信待ちリスト）を押す
　送信待ちリストが表示されます。

② ◯ で送信を中止したいファクスの相手先を選び、決定 を押す

③ もう一度、決定 を押す

■ FAX自動再ダイヤルの設定を変更するときは

工場出荷時は「する」に設定されています。「しない」に設定すると、FAX自動再ダイヤルでの再送信は行いません。

① ◯（登録/機能）を押し、◯ で「FAX設定」を選ぶ

② 決定 を押し、◯ で「FAX自動再ダイヤル」を選ぶ

③ 決定 を押し、◯ で「する」または「しない」を選ぶ

④ 決定 を押す

⑤ 停止 を押す

お知らせ

- 通話中にファクス送信を行ったときは、正しく通信できなくても自動再ダイヤルはしません。
- FAX 自動再ダイヤルで、同時に送信待ちにできるファクスは3件までです。3件の送信待ちファクスがある場合でも、通話中のファクス送信と、同報送信(1件)は可能です。
- 送信待ちのファクスがある状態で、FAX 自動再ダイヤルの設定を変更することはできません。
- FAX 送信待ち中は、ファクス送受信以外の他の機能(コピー、フォトプリント等)を使用することはできません。また、受信したファクスを画面で見たり、受信したファクスを自動的にプリントすることもできません。
- 相手先に発信中、または応答待ち中に ◯（停止）を押したときは、FAX送信待ち中になり、FAX自動再ダイヤルを行います。
- ファクス通信中に ◯（停止）を押したときは、FAX自動再ダイヤルを行いません。
- 複数枚のファクス送信をしている途中で通信エラーが発生した場合、自動再ダイヤルでの再送は、通信エラーしたページから送信を行います。
- ファクスを正しく送信できなかったときは、FAX自動再ダイヤルの送信待ち中でも、「FAX送信待ち中」ではなく、「応答がありません」のようにエラーの原因が表示されます。停止ボタンを押すと、エラー表示が消え、「FAX送信待ち中」が表示されます。

電話帳や再ダイヤルでファクスを送る

電話帳に番号を登録（☞65ページ）しておくと、電話帳から相手の方を選んでファクスを送ることができます。また、直前にダイヤルした番号にかけ直す再ダイヤルを使って、簡単にファクスを送ることもできます。

1 原稿をセットする（☞89ページ）

・送信する面を下にしてセットします。

2 待受画面で ◯ を押し､「ファクス」を選ぶ

3 決定 を押す

電話帳でファクスを送るとき

4 ◯（電話帳）を押し、◯ で相手の方を選んだあと、決定 を押す

再ダイヤルでファクスを送るとき

4 ◯（再ダイヤル）を押し、◯ で相手の方を選んだあと、決定 を押す

5 ◯（カラー /モノクロ）を押して設定を切り替えたあと、決定 を押す

UX-MF40CL／UX-MF40CWでADFをお使いのとき
→続いて手順7へ

・「カラー」にするとカラーの花の画像が、「モノクロ」にすると白黒の花の画像が表示されます。
・モノクロ送信時の画質を選ぶときは、◯（画質）を押します（☞94ページ）。
・原稿台使用時に、複数の原稿があるときは、読み込みが終了したあと、次の原稿をセットしてもう一度 決定 を押す、という操作をくり返します。
・読み込みを途中でやめるときは、◯（読込み中止）を押します。

6 原稿台使用時は、読み込みが終了したら、プリント/スタート を押す

7 送信が始まる

・送信中に途中でやめるときは、停止 を押します。このとき、FAX自動再ダイヤルの設定（☞95ページ）が「する」になっていると、FAX送信待ちの状態になります。送信を取り消すには◯（送信待ちリスト）を押してから、決定 を2回押します。

■ **送信前に途中でやめるときは**
停止 を押します。

■ **「通信エラーがありました」と聞こえたら**
（☞187ページ）

■ **電話帳から相手先を検索してファクスを送るときは**
電話帳の一覧表示画面から、相手先を検索してファクスを送ることができます。
検索は、電話帳に登録されている「読み」を入力して行います。
① 原稿をセットする
② 待受画面で ◯ を押し、「ファクス」を選ぶ
③ 決定 を押し、◯ で「送る」を選ぶ
④ ◯（電話帳）を押す
⑤ ◯（検索）を押す
⑥ 相手先の名前の「読み」を入力する
⑦ ◯ を押す
入力された「読み」に最も近い相手先が選択されます。
⑧ 目的の相手先が選ばれていないときは、で選ぶ
⑨ 決定 を押す
⑩ ◯（カラー /モノクロ） を押して設定を切り替える
モノクロ送信時の画質を選ぶときは ◯（画質）を押します。
⑪ 決定 を押す
⑫ 原稿台使用時は、読み込みが終了したら、を押す

お知らせ
●ナンバー・ディスプレイをご利用のときは、着信記録からファクスを送ることもできます（☞161ページ）。
●相手側のファクスがカラープリント対応機（ITU-T準拠カラーファクシミリ）でないときは、カラー送信をすると通信エラーになり、「相手機にカラー通信機能がありません」と表示されます。
●ファクス通信中に停止ボタンを押すと、FAX自動再ダイヤルをせずに終了します。

複数の相手の方にまとめてファクスを送る（同報送信）

ファクスを送るときに、複数の相手の方（最大30件まで）を指定して、一度に送ることができます。

1 原稿をセットする（☞89ページ）

・送信する面を下にしてセットします。

2 待受画面で ◯ を押し、「ファクス」を選ぶ

3 決定 を押し、◯ で「同報送信」を選ぶ

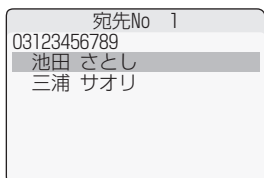
4 決定 を押す

5 相手の方を指定する

・相手の方の指定には、電話帳から選ぶ方法と、直接ダイヤルする方法があります。

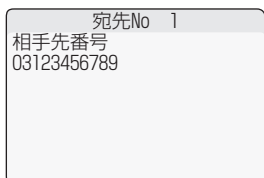
電話帳に登録されている相手の方を指定するとき

◯ で相手の方を選び、◯（次宛先）を押す

```
宛先No 1
03123456789
池田 さとし
三浦 サオリ
```

・◯（サブメニュー）を押し、◯ で「検索」を選んで 決定 を押すと、電話帳から相手の方を検索できます。「電話帳から相手先を検索してファクスを送るときは」（☞96ページ）の手順⑦～⑧数字の操作をしてください。
・◯（サブメニュー）を押し、◯ で「詳細表示」を選んで 決定 を押すと、選んだ相手の方を詳細表示できます。

相手の方の番号をダイヤルするとき

◯（直接入力）を押したあと、ファクス番号をダイヤルし、◯（次宛先）を押す

```
宛先No 1
相手先番号
03123456789
```

・◯（電話帳）を押すと、電話帳から選ぶ画面に戻ります。

6 相手の方を全て指定したら、決定 を押す

・◯ で相手の方を選んで ◯（消去）を押すと、送信先から取り消します。

7 ◯（カラー / モノクロ）を押して設定を切り替えたあと、決定 を押す

UX-MF40CL／UX-MF40CWでADFをお使いのとき
→続いて手順9へ

・カラーファクスをするときは設定を「カラー」に、モノクロファクスをするときは設定を「モノクロ」に切り替えてください。
・モノクロ送信時の画質を選ぶときは、◯（画質）を押します。くわしくは、「ファクス送信時の画質について」（☞94ページ）をご覧ください。
・原稿台使用時に、複数の原稿があるときは、読み込みが終了したあと、次の原稿をセットして、もう一度 決定 を押す操作をくり返します。
・読み込みを途中でやめるときは、◯（読込み中止）を押します。

8 原稿台使用時は、読み込みが終了したら、プリント/スタート を押す

9 送信が始まる

・送信中、途中でやめるときは 停止 を押します（送信リストがプリントされます）。
・ファクス送信が終わると終了音が聞こえ、自動的に回線が切れます。

■ **送信前に途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

◯（戻る）を押します。

■ 同報送信結果表をプリントするときは

前回の同報送信の結果を、プリントして確認することができます。新たに同報送信を行うと、前回の結果は消えてしまいます。

① ◯（登録/機能）を押し、◯ で「詳細設定」を選ぶ

② 決定 を押し、◯ で「リストプリント」を選ぶ

③ 決定 を押し、◯ で「同報送信結果リスト」を選ぶ

④ 決定 を押し、◯ で「する」を選ぶ

⑤ 決定 を押す

■ 同報送信を途中で中止するには

◯（送信待ちリスト）を押してから、◯ で「同報送信」を選択し、決定 を2回押します。

お知らせ

- 同報送信では１つの相手先への通信が終了してから、次の相手先への通信を開始するまで、1分間の待ち時間が入ります。
- 同報送信で入力した相手先番号は、再ダイヤルには保存されません。
- 話し中や通信エラーで正しく通信できなかったときは、その相手先にのみFAX自動再ダイヤルします（５分間隔で最大３回）。
- すべての通信が終了する前に中止したり、通信エラーがあったときは「同報送信エラーがありました」と表示します。◯（同報結果プリント）を押して、結果表をプリントし、詳細を確認してください。
- 同報送信中に、別の同報送信をすることはできません。

通信結果リストの結果一覧

- OK：送受信が正常に終了した。
- 通信エラー 1〜15：回線の状態などにより、送受信中の手順信号や画像信号が乱れて、送受信が正常に行われなかった。
- キャンセル：通信中に停止ボタンを押した。
  FAX送信待ち中の一覧から選択して中止した。
- 停電：ダイヤル中、通信中、FAX送信待ち中に電源が切れた。
- ビジー：相手が通話中で送信できなかった。
- 応答なし：相手がファクス通信に切り替わらなかった。
- メモリーフル：受信中にメモリーがいっぱいになった。
- 発信音検出できず：発信音が検出できなかった。
- カラー機能なし：相手機にカラー通信機能がないため送信できなかった。
- 原稿詰まり：読み込み中に原稿が詰まって送信できなかった（子機で通話中にファクスを送ったとき）。

お知らせ

- 自動再ダイヤルを行った時は、最後に行った通信結果が記載されます。
- 通信結果リストでは、同報送信の詳細な内容は記載しません。同報送信結果リストをプリントして確認してください。
- OK(1) やキャンセル (2) など、結果の後ろに括弧付きの数字が記載されている場合、その数字は通信エラーによるFAX自動再ダイヤルを行った回数を示します。

親機でのファクスの受けかた

ファクスの受けかた

ファクスを使う頻度や目的に応じて、受信方法を設定できます。

①手動でファクスを受信したいとき

着信音が鳴っている間に子機を取って、受信の操作をします（☞102ページ）。
「在宅時コール回数」を「無制限」にしていると、子機を取らない限り、受信はできません。
お買いあげ時は、この設定になっています。

■ 子機で通話中に親機でファクスを受けるときは

子機で通話中に、親機で下記の操作をします。

① 親機の待受画面で ◁▷ を押し、「ファクス」を選ぶ

② 決定 を押し、△▽ で「ファクスを受ける」を選ぶ

③ 決定 を押す

④ プリント スタート を押す

②自動的にファクスを受信したいとき

着信音が一定の回数鳴ったあと、自動的にファクスを受信するように設定します。
「在宅時コール回数」を設定してください（☞101ページ）。
ただし、相手の方が「ポー・ポー…」という音を出さずに送信するファクスをお使いのときや、スタートボタンを押さなかったときは、自動的に受信できません。子機を取って受信してください。

③留守設定にして、自動的にファクスを受信したいとき

外出中、相手の方のメッセージを録音したり、自動的にファクスを受信するように設定します。
「留守モード時コール回数」（☞83ページ）を設定して、留守 を押して点灯させます（☞82ページ）。

お知らせ

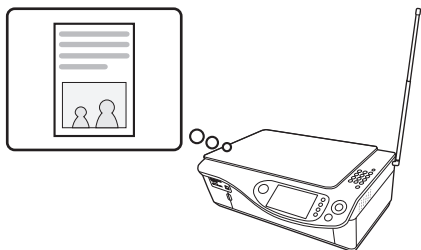
●お買いあげ時、着信音の回数が「無制限呼出」になっていますので、ご不在のときは自動でFAXを受信することはできません。ご不在のときは「留守モード」にしておくことをお勧めします。

いろいろな使いかた

●着信音の回数を1回に設定すると、すぐに応答メッセージが流れてファクス受信になります。また、応答メッセージを流さないように設定することはできません。
●ファクスか電話かを判断し、ファクスの場合、自動受信することができます（**FAX優先**　☞199ページ）。
●着信音を鳴らさずに自動でファクス受信することができます（**FAX専用**　☞199ページ）。

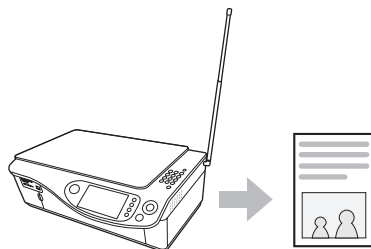
「見てからFAX受信プリント」と「受信後自動プリント」

見てからFAX受信プリント

受信したファクスはメモリーに保存され、自動的にプリントされません。
内容を確認してからプリントしたり消したりできます（☞103ページ）。

メモリーに保存

受信後自動プリント

受信したファクスは自動的にプリントされます（☞107ページ）。
プリントが終わったあと、受信した内容をメモリーから消す、消さないの設定ができます。

消す　　：プリントが終わったページを自動的に消去します。インク残量が少ないときは、自動プリントしません。
消さない：プリントが終わっても自動的に消去しません。インク残量が少ないときも自動的にプリントします。

自動的にプリント

■ **受信ファクスを保存する場所を変えるには**
メモリーカードを接続してお使いのときは、ファクスの保存先をメモリーカードにすることもできます（「受信メモリー選択」 ☞137ページ）。

お知らせ

- ●保存先を外部メモリーにした場合は、受信後自動プリントしてもデータは消去されず、外部メモリーに残ったままになります。保存先を外部メモリーにした場合、最大99件、1件あたり99ページまで受信できます。
- ●保存先を外部メモリーにした場合は、パソコンから外部メモリーが見えなくなります。受信ファクスを保存する場所を本体メモリーに変更し、その外部メモリーを一度本機に取り付け直すと、再度パソコンから見えるようになります。
- ●本体メモリー内部にあるデータは、パソコンから追加、削除、編集することはできません。

送られてきた原稿は、プリントするとき、全体を約95%に縮小します。

受信したファクスをプリントするときに、受信日付や相手の方のファクスに登録されている電話番号をプリントするため、全体を約95%に縮小します。
縮小しないでプリントしたいときは、**縮小受信**の設定（☞198ページ）を「なし」にします。
※ただし、「なし」に設定しても相手の方の機械や回線、こちら側の機械や用紙の状態によって、正確に１対１にならない場合があります。

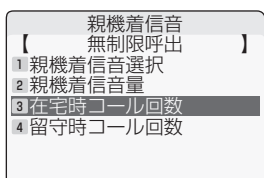
着信音の回数を変える

1 ◯（登録/機能）を押し、
◎ で「音の設定」を選ぶ

2 (決定) を押し、◎ で「親機着信音」を選ぶ

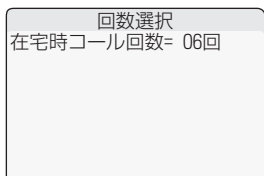
3 (決定) を押し、◎ で「在宅時コール回数」を選ぶ

4 (決定) を押し、◎ で「回数選択」を選ぶ

5 (決定) を押す

6 ダイヤルボタンで着信音の回数を入力する（01～25回）　例：6回 (0わ)(6は)

回数選択
在宅時コール回数= 06回

7 (決定) を押す

8 (停止) を押す

■ **途中でやめるときは**
(停止) を押します。

■ **1つ前に戻るときは**
◯（戻る）を押します。

■ **「無制限呼出」に設定するときは**
① ◯（登録/機能）を押し、◎ で「音の設定」を選ぶ
② (決定) を押し、◎ で「親機着信音」を選ぶ
③ (決定) を押し、◎ で「在宅時コール回数」を選ぶ
④ (決定) を押し、◎ で「無制限呼出」を選ぶ
⑤ (決定) を押す
⑥ (停止) を押す

「無制限呼出」に設定していると、着信音が鳴り続けて、応答しません。
（お買いあげ時は「無制限呼出」になっています。）

■ **受信メモリーがなくなって受信できないときは**
着信音が鳴り続けて、応答しません。

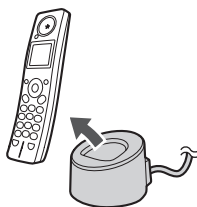
■ **着信音の種類を変えるときは**
（☞42ページ）

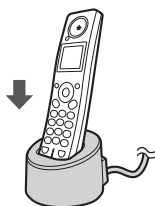
お知らせ

●着信音の回数を7回以上に設定すると、相手の方が自動送信やダイヤルしたあと、すぐにスタートボタンを押されたときに、ファクスに切り替わらないことがあります。こんなときは着信音の回数を6回以下に設定してください。

子機の操作でファクスを受信する

子機では電話に出たあと、ファクス受信に切り替えることができます。

1 着信音が鳴ったら、
充電器から取って
 を押す

・通話ボタンが点灯します。

2 相手の方にファクスに切り替えることを伝えて
(機能) **を押して、**
充電器に戻す

■ おまかせ受信について

電話を受けたとき「ポー・ポー…」という音が聞こえると「ファクスを受信します。」とメッセージが流れて自動的にファクスを受けます。
(「おまかせ受信」を解除するには ☞198ページ)

※回線の状態でおまかせ受信が働かないことがあります。そのときは「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたら (機能) を押してください。

お知らせ

- ●子機からの送信はできません。
- ●キャッチホンをご利用のときは、ファクス通信中に回線からの信号で通信ができなかったり、画像に線が入ったりすることがあります。
- ●プリント中はファクスを受けることはできません（パソコンからのプリントを除く）。
- ●相手の方がファクスを手動送信で送ってきたとき、子機で電話を受けても無音の場合がありますので、呼びかけて応答がないことを再度確認してから、機能ボタンを押してください。

受信したファクスを画面で見る（見てからプリント機能）

見てからFAX受信プリントに設定する

ファクスの受信方法を「見てからFAX受信プリント」に設定しておくと、受信したファクスをメモリーに保存したあと、プリントする前に画面で確認することができます。必要なファクスのみプリントできるので経済的です。
工場出荷時は「見てからFAX受信プリント」で受信する設定になっています。
また、ファクスを受信すると、メモリーに保存してから自動的にプリントする「受信後自動プリント」（☞107ページ）に設定することもできます。

1 ◯（登録/機能）を押し、
◎ で「FAX設定」を選ぶ

2 決定 を押し、◎ で
「FAX受信方法」を選ぶ

3 決定 を押し、◎ で「見てからFAX受信プリント」を選ぶ

4 決定 を押す

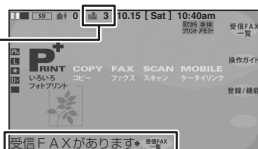
5 停止 を押す

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**
◯（戻る）を押します。

受信したファクスを画面に表示する

ファクスを受信すると、受信内容を画面に表示して確認することができます。

1 「受信FAXがあります」と表示される

・待受画面に受信件数が表示されます。

2 (十字キー) を押し、「ファクス」を選ぶ

3 (決定) を押し、(十字キー) で「見る」を選ぶ

4 (決定) を押す

・受信FAX一覧が表示されます。
・6件目以降は (十字キー) でカーソルを移動して表示させます。

5 (十字キー) で表示したい受信データを選び、(決定) を押す

・受信したデータを表示します。
・表示している受信データの操作については、106ページをご覧ください。

6 停止 (停止) を押す

・待受画面に戻ります。

■ **途中でやめるときは**

停止 (停止) を押します。

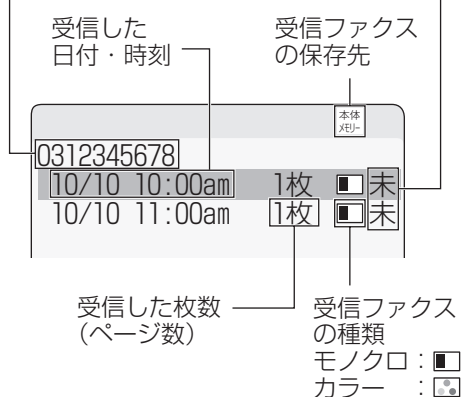
■ **受信枚数・受信件数について**

A4サイズの当社標準原稿（英字で文字数が700字程度の原稿）を「普通字」で約60枚まで受信できます。カラーの場合、A4サイズの当社標準原稿を約6枚まで受信できます。ただし、原稿の内容によって、受信できる枚数は変わります。

受信メモリーと録音用のメモリーは同じメモリーを使用しています。録音などが残っていると、受信できない場合があります。

■ **「データがありません」と表示したときは**

受信されているデータはありません。

■ **受信FAX一覧について**

受信FAX一覧の表示中に ◯（サブメニュー）を押すと、下記の操作ができます。

全て外部メモリーに保存する：
本体メモリーに受信しているファクスを、すべてメモリーカードなどにコピーします。

本体⇔外部メモリー切替：
表示中の保存先を切り替えます。

(十字キー) で項目を選んで (決定) を押してください。どちらもメモリーカードなどを取り付けているときのみ有効です。

お知らせ

●A4サイズの長さを超える受信データは、A4サイズまでしか表示できません。送信元の原稿の内容が、A4サイズより長くなるときは、2ページに分けての送信などを依頼してください。

●受信したデータによっては表示されるまでに時間がかかる場合もあります。

■ **受信情報を確認したいときは**

「受信メモリー選択」（☞137ページ）で保存先が「外部メモリー」に設定されているときは、外部メモリーの残量も表示します。

① ◯（登録/機能）を押し、◎で「詳細設定」を選ぶ

② (決定)を押し、◎で「メモリー残量表示」を選ぶ

③ (決定)を押す

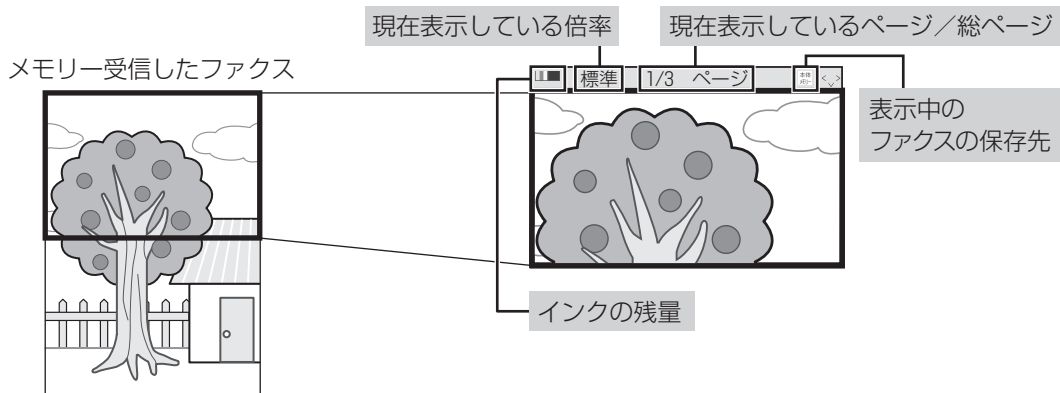
受信FAXの件数、留守録音メッセージの件数、メモリー残量（%）が約５秒間表示されます。

④ 停止 を押す

■ **メモリーがいっぱいになったときは**

受信の途中でメモリーがいっぱいになると、受信が止まり通信エラーになります（「メモリーフルです」と表示されます）。受信した内容や、不要な録音メッセージを消去してください（☞87、109ページ）。

表示したファクスの見かた

受信したファクスは、下記のように表示されます。受信内容が複数ページあるときは、1ページ目が表示されます。
データの表示部分を上下左右に動かしたり（スクロール）、拡大、縮小したりすることができます。

■ データの表示部分を上下左右に動かす（スクロールする）ときは

を押します。押したボタンの方向へ、表示部分が移動します。

データの端まで表示すると、それ以上同じ方向へは動かなくなります。

■ 表示ページを変えるときは

複数ページを受信しているデータのときは、◯（次ページ）を押すたびに次のページを表示します。最後のページで ◯（次ページ）を押すと、1ページ目に戻ります。

■ 表示中のデータをプリントするときは

① 表示中に ◯（プリント）を押す

② で「表示中のページをプリント」または「全てのページをプリント」を選ぶ

◯（設定変更）を押すと、用紙種別と画質を変更することができます（☞108ページ）。

③ 決定 を押す
表示中のページ、またはすべてのページをプリントします。（プリントしたあとは、待受画面に戻ります。）

■ データの表示部分の倍率を切り替えるときは

① ◯（ボタン切替）を押す

② ◯（倍率切替）を押す
押すたびに表示倍率が拡大→縮小→標準→拡大…と切り替わります。

■ データの表示部分を回転させるときは

① ◯（ボタン切替）を押す

② ◯（回転）を押す
押すたびに、表示部分が右回りに90度ずつ回転します。

■ 表示中のデータを消去するときは

① ◯（ボタン切替）を押す

② ◯（消去）を押す

③ で「表示中のページを消去」または「全てのページを消去」を選ぶ

④ 決定 を押す

⑤ ◯（消去）を押す
「全てのページを消去」を選んだときは、表示していないデータも消去されます。

■ 受信したデータを1件ずつ消去するときは（☞109ページ）

お知らせ

- 写真原稿や文字の多い原稿を受信したときは、表示に時間がかかることがあります。
- 拡大／縮小表示中にプリントしても等倍でプリントします。
- A4サイズの長さを超えるデータは、A4サイズまでしか表示できません。送信元の原稿の内容が、A4サイズより長くなるときは、2ページに分けての送信などを依頼してください。

受信したファクスをプリントする

受信後自動プリントに設定する

ファクスの受信方法を「受信後自動プリント」に設定しておくと、受信したファクスを自動的にプリントします。
また、ファクスを受信すると、メモリーに保存してプリント前に確認できる「見てからFAX受信プリント」（☞103ページ）に設定することもできます。

1 ◯（登録/機能）を押し、◯で「FAX設定」を選ぶ

2 決定を押し、◯で「FAX受信方法」を選ぶ

3 決定を押し、◯で「受信後自動プリント設定」を選ぶ

4 決定を押す

5 停止を押す

■ **途中でやめるときは**

停止を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

◯（戻る）を押します。

■ **プリントしたファクスをメモリーから消去する設定にするには**

「受信後自動プリント」でプリントしたあと、メモリーからデータを消去するように設定できます。

・「しない」のとき
インク残量が無くてもプリントします。

・「する」のとき
インク残量が無いときはプリントしません。

外部メモリーに受信したデータを自動的に消去することはできません。

① ◯（登録/機能）を押し、◯で「FAX設定」を選ぶ
② 決定を押し、◯で「受信後自動プリント設定」を選ぶ
③ 決定を押し、◯で「プリント後本体メモリー自動消去」を選ぶ
④ 決定を押し、◯で「する」を選ぶ
⑤ 決定を押す
⑥ 停止を押す

■ **受信後自動プリントで使用する用紙を設定するには**

セットする用紙の種類に合わせて設定してください。

① ◯（登録/機能）を押し、◯で「FAX設定」を選ぶ
② 決定を押し、◯で「受信後自動プリント設定」を選ぶ
③ 決定を押し、◯で「用紙種別」を選ぶ
④ 決定を押し、◯で選ぶ

普通紙	普通紙をセットするときに選びます。
フォト用紙	フォト用紙をセットするときに選びます。
光沢紙	光沢紙をセットするときに選びます。
コート紙	コート紙をセットするときに選びます。
自動	用紙タイプを自動で判別させるときに選びます。

⑤ 決定を押す
⑥ 停止を押す

■ **受信後自動プリントのプリント画質を設定するには**

標準的な画質でプリントする「ふつう」、またはプリント速度を優先する「はやい」のいずれかに設定できます。

① ◯（登録/機能）を押し、◯で「FAX設定」を選ぶ
② 決定を押し、◯で「受信後自動プリント設定」を選ぶ
③ 決定を押し、◯で「プリント画質」を選ぶ
④ 決定を押し、◯で「ふつう」または「はやい」のいずれかを選ぶ
⑤ 決定を押す
⑥ 停止を押す

メモリーに保存されているファクスをプリントする

メモリーに保存されている受信ファクスをプリントする操作です。下記の2通りの方法があります。
●受信FAX一覧から選んでプリントする（選択した受信FAXをプリント）
●まだディスプレイで確認していないファクスをまとめてプリントする（未確認の受信FAXをプリント）

プリント用紙をセット（☞37ページ）してから操作します。

1 待受画面で ◯ を押し、「ファクス」を選ぶ

2 決定 を押し、◯ で「見る」を選ぶ

3 決定 を押し、◯ で プリントしたい受信ファクスを選ぶ

4 ◯（プリント）を押す

5 ◯ で「選択した受信FAXをプリント」または「未確認の受信FAXをプリント」を選ぶ

6 決定 を押す

・◯（設定変更）を押すと、用紙種別と画質を変更することができます。（☞右記「用紙種別を変更するときは」）

7 決定 を押す

・プリントを開始します。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **データを表示してからプリントするときは**

「表示中のデータをプリントするときは」（☞106ページ）をご覧ください。

■ **プリント中にインクがなくなったときは**

受信した内容はメモリーに残っていますので、プリント中の用紙を取り出してから、インクカートリッジを交換（☞33ページ）してください。

■ **用紙種別を変更するときは**

セットしているプリント用紙に合わせた用紙タイプを選択することができます。

① 設定の確認画面（☞左記手順6のあと）で、◯（設定変更）を押す

② ◯ で「用紙種別」を選び、決定 を押す

③ ◯ で選ぶ

普通紙	普通紙をセットするときに選びます。
フォト用紙	フォト用紙をセットするときに選びます。
光沢紙	光沢紙をセットするときに選びます。
コート紙	コート紙をセットするときに選びます。
自動	用紙タイプを自動で判別させるときに選びます。

④ 決定 を押す

選択した用紙タイプに設定されます。変更を取り消したいときは、◯（戻る）を押したあと◯（初期値に戻す）を押します。

■ **画質を変更するときは**

プリント時の画質を選択することができます。

① 設定の確認画面（☞左記手順6のあと）で、◯（設定変更）を押す

② ◯ で「画質」を選び、決定 を押す

③ ◯ で選ぶ

ふつう	標準的な画質でプリントするときに選びます。
はやい	プリント速度を優先してプリントします。「ふつう」よりも多少画質は劣ります。

④ 決定 を押す

選択した画質に設定されます。変更を取り消したいときは、◯（初期値に戻す）を押します。

受信したファクスを消去する

受信した内容を消去する操作です。下記の3通りの方法があります。
●受信FAX一覧から選んで消去する（選択した受信FAXを消去）
●ディスプレイで確認したファクスをまとめて消去する（確認済み受信FAXを消去）
●すべての受信ファクスを消去する

1 待受画面で を押し､｢ファクス｣を選ぶ

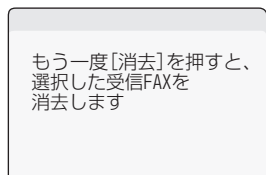
2 (決定) を押し、 で「見る」を選ぶ

3 (決定) を押し、 で消去したい受信ファクスを選ぶ

4 ◯（消去）を押す

5 で「選択した受信FAXを消去」､「確認済み受信FAXを消去」、または「受信FAXを全消去」を選ぶ

6 (決定) を押す

もう一度[消去]を押すと、
選択した受信FAXを
消去します

7 もう一度 ◯（消去）を押す

・選んだ受信ファクスが消去されます。

8 (停止) を押す

・他に受信ファクスがないときは、自動的に待受画面に戻ります。

■ **途中でやめるときは**

(停止) を押します。

■ **データを表示してから消去するときは**

「表示中のデータを消去するときは」（☞106ページ）をご覧ください。

フォトプリント機能を使う前に

この製品では、市販のメモリーカードやPictBridge対応デジタルカメラをご利用になって次のことができます。

- メモリーカード対応携帯電話やデジタルカメラなどで撮った写真を見たり、印刷ができます。画像データは、Exif、DCFに準拠している必要があります。

  ※DCFは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で主として、デジタルスチルカメラ等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格『Design rule for Camera File system』の略称です。
  ただし、「DCF規格」は、機器間の完全な互換性を保証するものではありません。
- メモリーカードを利用して、メモリーカード対応携帯電話の電話帳データ（vCARD形式）を、この製品に取り込むことができます。

推奨メモリーカードについて

この製品では、以下のタイプのメモリーカード（3.3V用）を推奨しています。

- コンパクトフラッシュ（タイプⅠ、Ⅱ）：最大 2GB まで
- スマートメディア：最大 128MB まで
- メモリースティック／メモリースティック DUO※：最大 128MB まで
  メモリースティック PRO ／メモリースティック PRO Duo※：最大 1GB まで
  （マジックゲートの著作権保護機能には対応していません。）
- SD メモリーカード／ miniSD カード※：最大 512MB まで
- マルチメディアカード：最大 512MB まで
- xD-Picture カード※：最大 512MB まで
- USB メモリー：最大 2GB まで

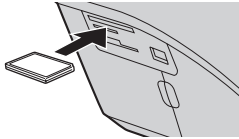
※本機との接続には、それぞれのカードに付属しているアダプタまたは市販のカードアダプタが必要です。

お知らせ

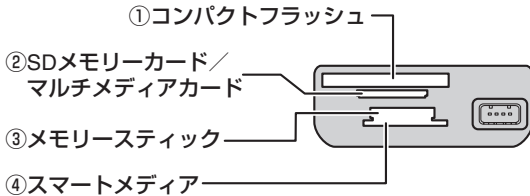
- メモリーカードは、お客様が直接ご利用できる部分（ユーザー領域）と著作権保護などに使用する部分があります。たとえば、8MBのSDメモリーカードのときは、ユーザー領域は約6.5MBになります。
- メモリーカードの登録内容は、使い方を誤ったときや、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは控えをとっておかれることをおすすめします（パソコンへコピーするなど）。なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- メモリーカードは推奨のものをご使用ください。推奨以外のものでは、使用できない場合や正しく動作しない場合があります。
- JPEG形式以外の画像データ（TIFF形式など）は、扱えません。
- デジタルカメラなどで記録された動画は扱えません。
- コンパクトフラッシュ（CompactFlash）は、米SanDisk社の登録商標であり、CFA（CompactFlash Association）へライセンスされます。
- スマートメディア（SmartMedia）は株式会社東芝の登録商標です。
- メモリースティック（Memory Stick）、メモリースティックDUO、メモリースティックPRO、メモリースティックPRO Duoはソニー株式会社の商標、または登録商標です。
- SDメモリーカードは松下電器産業株式会社、サンディスク社、株式会社東芝の商標です。
- miniSDはSDアソシエーションの商標です。
- マルチメディアカード（MultiMediaCard）は独Infineon Technologies AG社の登録商標です。
- xD-pictureカードは、富士写真フィルム株式会社の登録商標です
- PictBridgeは、デジタルスチルカメラをプリンタにダイレクト接続してデジタル画像を印刷するためにCIPA（カメラ映像機器工業会）が策定した規格です。

メモリーカードを取り付ける

待受画面の表示中に操作します。

1 裏表を間違わないようにして、カードが止まるまでメモリーカードスロットへ挿入する

例：コンパクトフラッシュを取り付けるとき

■ **メモリーカードの取り付け位置について**

各メモリーカードの取り付けスロットは以下の通りです。

メモリーカードによって、取り付ける向きが異なります。

コンパクトフラッシュ：
表裏を確認してから、表面を上にしてスロット①へ

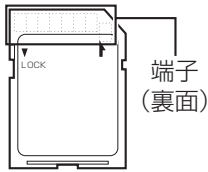
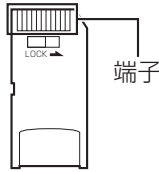
SDメモリーカード・マルチメディアカード：
端子面を下にして、スロット②へ

メモリースティック：
端子面を上にして、スロット③へ

スマートメディア：
端子面を上にして、スロット④へ

例：SDメモリーカード

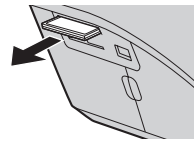
端子面を下にして
スロット②へ

例：メモリースティック

端子面を上にして
スロット③へ

xD-Picture カード、メモリースティック DUO、miniSDカードを本機に接続するには、それぞれのカードに付属しているアダプタまたは市販のカードアダプタが必要です。アダプタを使用せずにカードを挿入すると取り外せなくなります。また、アダプタによって規格が異なりますので、アダプタの取扱説明書をお確かめのうえ、規格に合ったスロットに接続してください。

メモリーカードを取り外す

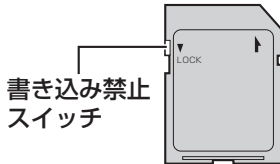
本機の液晶画面に「外部メモリーを抜かないでください！」と表示しているとき（またはカードアイコンの表示がアクセス中のとき）は、メモリーカードを取り出さないでください。ファイルが開けなくなったり、メモリーカードが破損するおそれがあります。

1 まっすぐに、ゆっくりメモリーカードを抜き取る

お知らせ

- メモリーカード以外のものを挿入すると、破損する恐れがあります。
- セットできるメモリーカードは１枚のみです。同時に２種類以上のメモリーカードをセットすることはできません。異なる種類のメモリーカード内の写真をプリントしたいときは、１枚目のプリント終了後、挿入されているメモリーカードを取り出し、２枚目のメモリーカードをセットしてプリントしてください。
- メモリーカードを無理に抜き取ると、この製品やメモリーカードが破損することがあります。
- メモリーカードは精密電子機器です。強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水に濡らしたりしないでください。
- 金属端子部分を手や金属で触れないでください。
- 高温多湿の場所、またホコリの多いところや腐食性のガスが発生するようなところでの使用・保管はしないでください。
- 電源を入れた直後は、メモリーカードを挿入しても、しばらくの間、読み込みができません。
- アダプタを使用して本機に取り付けたメモリーカードを取り外すときは、アダプタごと完全に取り外してください。カードだけを取り外して、アダプタが本機に残っていると、正しく動作しなくなることがあります。

■ 書き込み禁止スイッチについて

SDメモリーカードおよびメモリースティックには、データの誤消去を防止するために「書き込み禁止スイッチ」がついています。「LOCK」側にすると、データの消去や登録ができなくなります。

SD メモリーカード：
スイッチを下へずらすとロックされます

メモリースティック：
スイッチを右へずらすとロックされます。

お知らせ

- ●フォトプリント機能を使用すると、パソコンからメモリーカードが見えなくなります（取り外された状態と同じ）。こんなときは、いったんメモリーカードを本機から抜き取ってもう一度挿入してください。
- ●フォトプリント機能を使用する場合、パソコンと接続しているUSBケーブルを取り外しておくことをおすすめします。

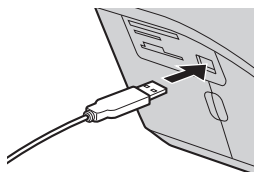
デジタルカメラ／外部メモリー接続端子について

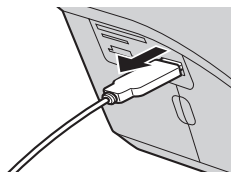
本機のデジタルカメラ／外部メモリー接続端子には、デジタルカメラ（PictBridge対応のもの）またはUSBメモリーを接続できます。
メモリーカードと同様に、カメラ側やUSBメモリーに保存されている画像のプリントなどができます。

デジタルカメラを接続する

お使いのPictBridge対応デジタルカメラと、カメラに付属のケーブルで接続してください。

待受画面の表示中に操作します。

1 **本機前面のデジタルカメラ／外部メモリー接続端子に、デジタルカメラ付属のケーブルで接続する**

・ケーブルにUSBのマーク（•⊸）がある場合は、マークのある側を下に向けて接続してください。

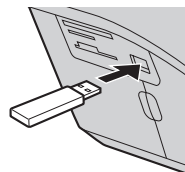
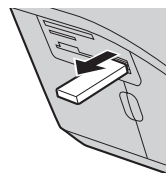
2 **ケーブルを取り外すときは、まっすぐにゆっくりと抜き取る**

■ **デジタルカメラの操作については**
お持ちのデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

●デジタルカメラ側での設定などについては、デジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。
●デジタルカメラ側でもプリントの設定ができる場合がありますが、本機では設定どおりにプリントできないことがあります。

USBメモリーを接続する

待受画面の表示中に操作します。

1 **本機前面のデジタルカメラ／外部メモリー接続端子に接続する**

2 **USBメモリーを取り外すときは、まっすぐにゆっくりと抜き取る**

USBメモリーとメモリーカードは同時に使用できません。USBメモリーを接続する場合は、メモリーカードを抜き取ってください。
●すべてのUSBメモリーでの動作を保証するものではありません。

かんたんフォトプリントで印刷する

かんたんフォトプリントで画像を印刷するときは、プリントしたい画像を選ぶだけで、すぐにプリントすることができます。

1 待受画面で （PRINT かんたんフォト） を押す

・最新の画像が表示されます。

2 （ダイヤル） でプリントしたい画像を選ぶ

3 （決定） を押す

・選択した画像データがプリントされます。

■ かんたんフォトプリントの設定について

かんたんフォトプリントの印刷設定は下記のようになります。お好みの設定でプリントしたいときは、「いろいろフォトプリント」をご利用ください。

プリント枚数：1枚
用紙タイプ：フォト用紙
用紙サイズ：L判
レイアウト：フチなし
画質：きれい
日付印刷：日付なし

■ 画像の表示方法を切り替えるには

画像表示中に ◯（一覧表示）／ ◯（拡大表示）／ ◯（標準表示）のいずれかを押すと、押したボタンの表示方法に切り替わります。

■ 画像を指定して表示させるには

保存されている画像の位置を指定して、その画像を表示させることができます。

① 画像の表示中に ◯（サブメニュー）を押す

② （ダイヤル） で選ぶ

先頭へ移動／末尾へ移動：
保存されている画像のうち、先頭または末尾のものを表示します。

指定位置へ移動：
ダイヤルボタンで入力した位置の画像を表示します。

③「指定位置へ移動」を選んだときは、（決定） を押したあとダイヤルボタン、または （ダイヤル） で移動する位置を指定する

④ （決定） を押す

お知らせ

●本商品で扱える画像サイズは次のとおりです。
縦長の画像のとき：
縦4096ドット×横3072ドット以下
横長の画像のとき：
縦3072ドット×横4096ドット以下
また、ファイルサイズが6MBを超える画像は表示されません。

●DCF 規格に対応していない画像（パソコンで編集された画像も含む）や上記のサイズ以外の画像、正しく表示されない画像は、印刷できません。

●画像の表示中や印刷中に、メモリーカード、デジタルカメラの接続ケーブル、USBメモリーを取り外さないでください。データが消えたり、故障の原因になることがあります。

いろいろフォトプリントで印刷する

いろいろフォトプリント機能では、さまざまな目的に合わせて、以下のプリント方法が選べます。

- 選択した画像だけプリントする（「選んでプリントを使う」 ☞下記）
- まとめて選択した範囲の画像をプリントする（「範囲指定プリントを使う」 ☞116ページ）
- すべての画像を一度にプリントする（「すべてプリントを使う」 ☞117ページ）
- 画像を調整してプリントする（「色調整プリントを使う」 ☞118ページ）
- DPOF形式の画像をプリントする（「DPOFプリントを使う」 ☞119ページ）
- さらに詳細な設定でプリントする（「プリント設定メニューを使う」 ☞119ページ）

選んでプリントを使う

プリントしたい画像だけを選び、それぞれに枚数を指定してプリントすることができます。

プリント用紙をセット（☞36、37ページ）してから操作します。

1 **待受画面で ◎ を押し、「いろいろフォトプリント」を選ぶ**

2 **決定 を押し、◎ で「選んでプリント」を選ぶ**

3 **決定 を押す**

4 **◎ でプリントしたい画像を選び、ダイヤルボタンで枚数（1～99）を入力する**

- 選択されている画像に ✔ が付きます。
- プリントするすべての画像について、上記の操作を行います。
- ◎ で枚数を選ぶこともできます。

5 **決定 を押す**

- プリントの設定を変更するときは、◯（設定変更）を押して、プリント設定メニューを表示します（☞119～120ページ）。

6 **決定 を押す**

- 選択した画像データがプリントされます。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。プリント開始後は ◯（プリント中止）でも中止します。

■ **1つ前に戻るときは**

◯（戻る）を押します。

■ **画像の表示方法を切り替えるには**

画像表示中に ◯（一覧表示）／◯（拡大表示）／◯（標準表示）のいずれかを押すと、押したボタンの表示方法に切り替わります。

■ **画像を指定して表示させるには**

保存されている画像の位置を指定して、その画像を表示させることができます。

① 画像の表示中に ◯（サブメニュー）を押す

② ◎ で選ぶ

先頭へ移動／末尾へ移動：
保存されている画像のうち、先頭または末尾のものを表示します。

指定位置へ移動：
ダイヤルボタンで入力した位置の画像を表示します。

③「指定位置へ移動」を選んだときは、決定 を押したあとダイヤルボタン、または ◎ で移動する位置を指定する

④ 決定 を押す

■ **画像をすべて選択してプリントするには**

① 画像の表示中に ◯（サブメニュー）を押す

② ◎ で「全画像選択」を選ぶ

③ 決定 を押す

④ すべての画像のプリント枚数（1～99）をダイヤルボタンまたは ◎ で入力する
ただし、セットできるフォト用紙や光沢紙の最大枚数は30枚です。

⑤ 決定 を押す

範囲指定プリントを使う

プリントしたい画像をまとめて選択してプリントすることができます。

プリント用紙をセット（☞36、37ページ）してから操作します。

1 **待受画面で ◯ を押し、「いろいろフォトプリント」を選ぶ**

2 **決定 を押し、◯ で「範囲指定」を選ぶ**

3 **決定 を押す**

4 **◯ で選択範囲の先頭の画像を選び、決定 を押す**

・選択した画像に ✔ が付きます。

5 **◯ で選択範囲の最後の画像を選ぶ**

・選択範囲内の画像に ✔ が付きます。

6 **決定 を押し、ダイヤルボタンで範囲選択した画像のプリント枚数（1～99）を入力する**

・◯ で枚数を選ぶこともできます。
・プリントの設定を変更するときは、◯（設定変更）を押して、プリント設定メニューを表示します（☞119～120ページ）。

7 **決定 を押す**

・選択した画像データがプリントされます。

■ 途中でやめるときは

停止 を押します。プリント開始後は ◯（プリント中止）でも中止します。

■ 1つ前に戻るときは

◯（戻る）を押します。

■ 画像の表示を切り替えるには

画像表示中に ◯（一覧表示）／◯（拡大表示）／◯（標準表示）のいずれかを押すと、押したボタンの表示方法に切り替わります。

■ 画像を指定して表示させるには

保存されている画像の位置を指定して、その画像を表示させることができます。

① 画像の表示中に ◯（サブメニュー）を押す

② ◯ で選ぶ

先頭へ移動／末尾へ移動：
保存されている画像のうち、先頭または末尾のものを表示します。
指定位置へ移動：
ダイヤルボタンで入力した位置の画像を表示します。

③「指定位置へ移動」を選んだときは、決定 を押したあとダイヤルボタン、または ◯ で移動する位置を指定する

④ 決定 を押す

すべてプリントを使う

メモリーカード内の画像を一度にすべてプリントすることができます。

プリント用紙をセット（☞36、37ページ）してから操作します。

1 **待受画面で ◎ を押し、「いろいろフォトプリント」を選ぶ**

2 **決定 を押す**

3 **◯（全プリント）を押す**

4 **ダイヤルボタンですべての画像のプリント枚数（1～99）を入力する**

- ◎ で枚数を選ぶこともできます。
- プリントの設定を変更するときは、◯（設定変更）を押して、プリント設定メニューを表示します（☞119～120ページ）。

5 **決定 を押す**

- すべての画像データがプリントされます。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。プリント開始後は ◯（プリント中止）でも中止します。

■ **1つ前に戻るときは**

◯（戻る）を押します。

色調整プリントを使う

画像の「明るさ」「コントラスト」「あざやかさ」を、それぞれ調整してプリントすることができます。

- 明るさ調整：画像の明るさを５段階に調整できます。
- コントラスト調整：画像のコントラスト（明暗差）を５段階に調整できます。
- あざやかさ調整：画像のあざやかさを５段階に調整できます。

プリント用紙をセット（☞36、37ページ）してから操作します。

1 **待受画面で ◯ を押し、「いろいろフォトプリント」を選ぶ**

2 **決定 を押す**

3 **◯ で「色調整プリント」を選び、決定 を押す**

4 **◯ で調整したい画像を選び、決定 を押す**

5 **調整したい項目に合わせて、◯（明るさ）、◯（コントラスト）、◯（あざやかさ）のいずれかを押す**

6 **◯ で調整する**

例：明るさ調整の場合

- ディスプレイの右側に変更後の画像が表示されます。
- 明るさ調整の画面で ◯（明るさ）を押すなど、調整画面を表示した状態で、その画面の選択ボタンを押すと、調整値がひとつ右に移動します。
- 「あざやかさ」調整が入ると、処理に時間がかかるので、右側の変更後画像表示に少し時間がかかります。

7 **ほかの項目も調整したいときは、◯（明るさ）、◯（コントラスト）、◯（あざやかさ）のいずれかを押して選び、◯ で調整する**

8 **決定 を押す**

9 **ダイヤルボタンでプリント枚数（1～99）を入力する**

- ◯ で枚数を選ぶこともできます。
- プリントの設定を変更するときは、◯（設定変更）を押して、プリント設定メニューを表示します（☞119～120ページ）。

10 **決定 を押す**

- 調整した画像データがプリントされます。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。プリント開始後は ◯（プリント中止）でも中止します。

■ **1つ前に戻るときは**

◯（戻る）を押します。

■ **画像の表示方法を切り替えるには**

画像表示中に ◯（一覧表示）／◯（拡大表示）／◯（標準表示）のいずれかを押すと、押したボタンの表示方法に切り替わります。

■ **画像を指定して表示させるには**

保存されている画像の位置を指定して、その画像を表示させることができます。

① 画像の表示中に ◯（サブメニュー）を押す

② ◯ で選ぶ

先頭へ移動／末尾へ移動：
保存されている画像のうち、先頭または末尾のものを表示します。

指定位置へ移動：
ダイヤルボタンで入力した位置の画像を表示します。

③「指定位置へ移動」を選んだときは、決定 を押したあとダイヤルボタン、または ◯ で移動する位置を指定する

④ 決定 を押す

フォトプリント

いろいろフォトプリントで印刷する

DPOFプリントを使う

DPOF（Digital Print Order Format）形式とは、DPOF対応のデジタルカメラで撮影した画像に対して、プリントする画像や、プリントする枚数などの指定を記録するための形式です。DPOF形式の画像は、本機から画像や枚数の指定をせずにプリントすることができます。

1 待受画面で ◯ を押し、「いろいろフォトプリント」を選ぶ

2 決定 を押す

3 ◯（DPOF）を押す

4 決定 を押す

・画像データがプリントされます。
・プリントの設定を変更するときは、◯（設定変更）を押して、プリント設定メニューを表示します（☞右記）。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。プリント開始後は ◯（プリント中止）でも中止します。

■ **1つ前に戻るときは**

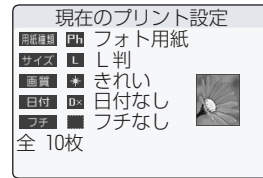
◯（戻る）を押します。

お知らせ

●DPOF プリントができるのは DPOF 対応のデジタルカメラで撮影した画像のみです。DPOFの設定についてはデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。
●インデックス印刷やレイアウト印刷には対応していません。

プリント設定メニューを使う

いろいろフォトプリント機能で印刷するときは、「プリント設定メニュー」で、セットする用紙サイズや用紙タイプなどをくわしく設定することができます。

1 いろいろフォトプリント機能の各操作を行い、「現在のプリント設定」画面を表示させる

・設定した内容を元に戻すときは、◯（初期値に戻す）を押します。

2 ◯（設定変更）を押す

3 ◯ で項目を選び、決定 を押して決定する

・項目の内容については、「設定できる項目について」（☞120ページ）をご覧ください。

4 設定が終わったら、◯（設定完了）を押す

・プリントをするときに、設定した内容が適用されます。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。プリント開始後は ◯（プリント中止）でも中止します。

■ **1つ前に戻るときは**

◯（戻る）を押します。

■ **設定できる項目について**

プリント設定メニューでは、「用紙種別」「用紙サイズ」「画質」「フチあり/なし設定」「日付印刷」の各項目を設定することができます。操作によっては変更できない、または表示されない項目もあります。
プリント設定メニューを表示してから、下記の表を参照して設定してください。

操作に使用するボタン

 … 項目を選ぶ　決定 … 項目を決定する

◯（設定完了）… 変更した内容を適用して、設定を終了する

項目名と内容	選択できる項目
用紙種別 印刷する用紙のタイプに合わせて設定します。	PL **普通紙**：普通紙をセットするときに選びます。 Ph **フォト用紙**：フォト用紙をセットするときに選びます。 GL **光沢紙**：光沢紙をセットするときに選びます。 CO **コート紙**：コート紙をセットするときに選びます。 AT **自動**：用紙を自動で判別するときに選びます。
用紙サイズ※1 印刷する用紙のサイズに合わせて設定します。	A4 **A4**：210mm×297mm L **L判**：89mm×127mm 2L **2L判**：127mm×178mm PC **ハガキ**：100mm×148mm
画質 プリントの画質を設定します。	**ふつう**：標準的な画質でプリントするときに選びます。 **きれい**：写真などを高画質でプリントするときに選びます。 **はやい**：プリント速度を優先するときに選びます。用紙種別を「フォト用紙」や「光沢紙」に設定していると表示されません。
日付印刷 日付を用紙にプリントするかどうかを設定します。	D **日付あり**：日付をプリントするときに選びます。 D× **日付なし**：日付をプリントしないときに選びます。
フチあり/なし設定※2 用紙の端の部分に印刷しない領域（フチ）を設けるかどうかを設定します。	**フチあり**：用紙の上下左右の辺から、内側に約3mmずつフチを設けます。 **フチなし**：フチを設けません。

※1 ハガキについては、当社推奨品もしくは官製ハガキをお使いください。DPEショップ等で販売されている写真貼り合わせハガキや喪中ハガキなど、厚みのあるものは給紙できない場合があります。
※2 用紙種別が「光沢紙」または「フォト用紙」の場合に設定できます。ただし、用紙サイズが「ハガキ」の場合は、「自動」以外であればフチなし印刷を設定できます。
ハガキサイズで、はやい（画質）を選ぶと、フチなしには設定できません。

バラエティプリントで印刷する

いろいろフォトプリント機能では、さらに以下のようなプリント機能が使用できます（バラエティプリント）。各機能に専用のメニューが用意されています。

- アルバム風にプリントする（☞下記）
- シールとして使えるようにプリントする（☞122ページ）
- 画像をハガキの半分のサイズにプリントする（☞123ページ）
- 2枚の画像を1枚の用紙にプリントする（☞125ページ）

アルバムプリントを使う

用紙1枚につき、画像を3点ずつ、アルバム風にプリントできます。

A4サイズの用紙をセットします。

1 **待受画面で ◎ を押し、「いろいろフォトプリント」を選ぶ**

2 **決定 を押し、◎ で「バラエティープリント」を選ぶ**

3 **決定 を押し、◎ で「アルバムプリント」を選ぶ**

バラエティプリント
1 アルバムプリント
2 シールプリント
3 写真ハガキプリント
4 2in1プリント

4 **決定 を押し、◎ でプリントしたい画像を選んで、ダイヤルボタンで枚数（1～99）を入力する（プリントするすべての画像に行う）**

・選択されている画像に ✔ が付きます。
・◎ で枚数を選ぶこともできます。

5 **決定 を押す**

・プリントの設定を変更するときは、◯（設定変更）を押して、プリント設定メニューを表示します（☞119～120ページ）。

6 **決定 を押す**

・選択した画像データがプリントされます。

■ 途中でやめるときは

停止 を押します。プリント開始後は ◯（プリント中止）でも中止します。

■ 1つ前に戻るときは

◯（戻る）を押します。

■ 画像の表示を切り替えるには

画像表示中に ◯（一覧表示）／◯（拡大表示）／◯（標準表示）のいずれかを押すと、押したボタンの表示方法に切り替わります。

■ 画像を指定して表示させるには

保存されている画像の位置を指定して、その画像を表示させることができます。

① 画像の表示中に ◯（サブメニュー）を押す
② ◎ で選ぶ
先頭へ移動／末尾へ移動：
保存されている画像のうち、先頭または末尾のものを表示します。
指定位置へ移動：
ダイヤルボタンで入力した位置の画像を表示します。
③「指定位置へ移動」を選んだときは、決定 を押したあとダイヤルボタン、または ◎ で移動する位置を指定する
④ 決定 を押す

■ 画像をすべて選択してプリントするには

① 画像の表示中に ◯（サブメニュー）を押す
② ◎ で「全画像選択」を選ぶ
③ 決定 を押す
④ すべての画像のプリント枚数（1～99）をダイヤルボタンまたは ◎ で指定する
⑤ 決定 を押す

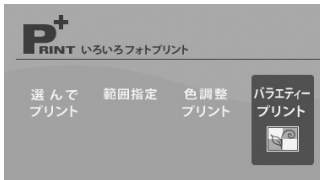
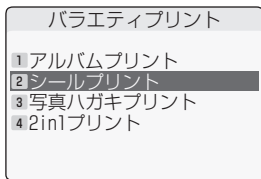
お知らせ

- アルバムプリントはA4のプリント用紙専用の機能です。サイズを変更することはできません。
- アルバムプリントでは、プリント設定メニューで「用紙種別」「画質」以外の項目を変更することはできません。
- 画像の回転はできません。縦向きで撮影した写真は、横向きに印刷されます。

シールプリントを使う

指定した画像を縮小して、シール用に複数プリントすることができます。シール用紙1枚につき、同じ画像を16点に縮小してプリントします。

シール紙をセットします。

1 **待受画面で ◯ を押し、「いろいろフォトプリント」を選ぶ**

2 **決定 を押し、◯ で「バラエティープリント」を選ぶ**

3 **決定 を押し、◯ で「シールプリント」を選ぶ**

4 **決定 を押し、◯ でプリントしたい画像を選ぶ**

5 **決定 を押す**

6 **決定 を押す**

・選択した画像データがプリントされます。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。プリント開始後は ◯（プリント中止）でも中止します。

■ **1つ前に戻るときは**

◯（戻る）を押します。

■ **画像の表示を切り替えるには**

画像表示中に ◯（一覧表示）／◯（拡大表示）／◯（標準表示）のいずれかを押すと、押したボタンの表示方法に切り替わります。

■ **画像を指定して表示させるには**

保存されている画像の位置を指定して、その画像を表示させることができます。

① 画像の表示中に ◯（サブメニュー）を押す

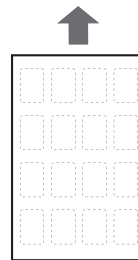
② ◯ で選ぶ

先頭へ移動／末尾へ移動：
保存されている画像のうち、先頭または末尾のものを表示します。
指定位置へ移動：
ダイヤルボタンで入力した位置の画像を表示します。

③「指定位置へ移動」を選んだときは、決定 を押したあとダイヤルボタン、または ◯ で移動する位置を指定する

④ 決定 を押す

■ **シール用紙をセットするときは**

下図のように、印刷面を裏向きにして、短い辺を本体に向けてセットしてください。

※画像を印刷する面を裏向きに

お知らせ

●シールプリントでは、プリント設定メニューで設定を変更することはできません。

フォトプリント

写真ハガキプリントを使う（ハガキサイズのみ）

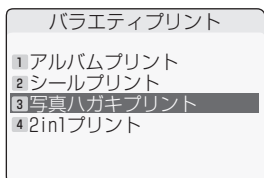
画像をハガキの半分のサイズに合わせてプリントすることができます。年賀状やあいさつ状を作るときに便利です。
画像を１枚だけ選択してハガキの上半分にプリントするか、または２枚選択して縦に並べてプリントするかの、いずれかの方法が選べます。

ハガキをセットします。

1 待受画面で ◯ を押し、「いろいろフォトプリント」を選ぶ

2 決定 を押し、◯ で「バラエティープリント」を選ぶ

3 決定 を押し、◯ で「写真ハガキプリント」を選ぶ

バラエティプリント
1 アルバムプリント
2 シールプリント
3 写真ハガキプリント
4 2in1プリント

4 決定 を押し、◯ でプリントしたい画像を選ぶ

5 決定 を押す

- １枚目の画像が選択されます。
- 2枚目の画像を選択しないときは、プリントスタート を押して手順８に進みます。

6 ◯ で2枚目の画像を選ぶ

- 同じ画像を選ぶこともできます。

7 決定 を押し、ダイヤルボタンでプリント枚数（1～99）を入力する

- ◯ で枚数を選ぶこともできます。
- プリントの設定を変更するときは、◯（設定変更）を押して、プリント設定メニューを表示します（☞119～120ページ）。

8 決定 を押す

- 選択した画像データがプリントされます。

■ 途中でやめるときは

停止 を押します。プリント開始後は ◯（プリント中止）でも中止します。

■ 1つ前に戻るときは

◯（戻る）を押します。

■ **ハガキをセットするときは**

下図のように、印刷面を裏向きにして、短い辺を本体に向け、ハガキの上が奥になるようにセットしてください。

※ 画像を印刷する面を裏向きに

■ **画像の表示を切り替えるには**

画像表示中に ◯（一覧表示）／◯（拡大表示）／◯（標準表示）のいずれかを押すと、押したボタンの表示方法に切り替わります。

■ **画像を指定して表示させるには**

保存されている画像の位置を指定して、その画像を表示させることができます。

① 画像の表示中に ◯（サブメニュー）を押す

② ◯ で選ぶ

先頭へ移動／末尾へ移動：
保存されている画像のうち、先頭または末尾のものを表示します。

指定位置へ移動：
ダイヤルボタンで入力した位置の画像を表示します。

③「指定位置へ移動」を選んだときは、(決定) を押したあとダイヤルボタン、または ◯ で移動する位置を指定する

④ (決定) を押す

お知らせ

- 写真ハガキプリントはハガキサイズのプリント用紙専用の機能です。サイズを変更することはできません。
- 写真ハガキプリントでは、プリント設定メニューで「用紙種別」「画質」「フチあり/なし設定」以外の項目を変更することはできません。
- 画像を回転することはできないため、縦向きで撮影した写真は横向きにプリントされます。

2in1プリントを使う（A4サイズのみ）

1枚の用紙に、指定した画像を2点ずつプリントすることができます。

A4サイズの用紙をセットします。

1 **待受画面で ◯ を押し、「いろいろフォトプリント」を選ぶ**

2 **決定 を押し、◯ で「バラエティープリント」を選ぶ**

3 **決定 を押し、◯ で「2in1プリント」を選ぶ**

バラエティプリント
1 アルバムプリント
2 シールプリント
3 写真ハガキプリント
4 2in1プリント

4 **決定 を押し、◯ でプリントしたい画像を選んで、ダイヤルボタンで枚数（1～99）を入力する（プリントするすべての画像に行う）**

- 選択されている画像に ✔ が付きます。
- ◯ で枚数を選ぶこともできます。

5 **決定 を押す**

- プリントの設定を変更するときは、◯（設定変更）を押して、プリント設定メニューを表示します（☞119～120ページ）。

6 **決定 を押す**

- 選択した画像データがプリントされます。

■ 途中でやめるときは

停止 を押します。プリント開始後は ◯（プリント中止）でも中止します。

■ 1つ前に戻るときは

◯（戻る）を押します。

■ 画像の表示を切り替えるには

画像表示中に ◯（一覧表示）／◯（拡大表示）／◯（標準表示）のいずれかを押すと、押したボタンの表示方法に切り替わります。

■ 画像を指定して表示させるには

保存されている画像の位置を指定して、その画像を表示させることができます。

① 画像の表示中に ◯（サブメニュー）を押す
② ◯ で選ぶ
  先頭へ移動／末尾へ移動：
  保存されている画像のうち、先頭または末尾のものを表示します。
  指定位置へ移動：
  ダイヤルボタンで入力した位置の画像を表示します。
③「指定位置へ移動」を選んだときは、決定 を押したあとダイヤルボタン、または ◯ で移動する位置を指定する
④ 決定 を押す

■ 画像をすべて選択してプリントするには

① 画像の表示中に ◯（サブメニュー）を押す
② ◯ で「全画像選択」を選ぶ
③ 決定 を押す
④ すべての画像のプリント枚数（1～99）をダイヤルボタンまたは ◯ で指定する
⑤ 決定 を押す

お知らせ

- 2in1 プリントはA4サイズのプリント用紙専用の機能です。サイズを変更することはできません。
- 2in1 プリントでは、「用紙種別」「画質」以外の項目を変更することはできません。
- 画像を回転することはできないため、縦向きで撮影した写真は横向きに印刷されます。

ケータイリンク機能を使う

ケータイリンク機能とは

ケータイリンク機能とは、お手持ちのメモリーカードを使って、本機と携帯電話の間で画像などをやりとりできる機能です。下記の機能を利用できます。

- 本機でスキャンしたデータを、メモリーカードにPDF形式で保存する（☞127ページ）
- 本機でスキャンしたデータを、携帯電話の待受画像としてメモリーカードに保存する（☞128ページ）
- メモリーカードの画像を本機でプリントする（☞129ページ）
- メモリーカードの電話帳データを本機に取り込む（☞130ページ）

ただし、携帯電話のメーカーや機種ごとに、利用できる機能には制限があります（2005年10月現在）。

	PDF保存	待受画像保存	画像のプリント	電話帳取り込み
NTTドコモ	○※	○	○	○
ボーダフォン	×	○	○	○
au	×	○	○	○

※対象機種は、901iSシリーズ（5機種）のみ

お知らせ

●miniSDカード、メモリースティックDUOをお使いの際は、専用のアダプタをお使いください。
●ケータイリンク機能を使用中は、パソコン側から、メモリーカードが見えなくなります。いったんメモリーカードを取り付け直すと再度、パソコンから見えるようになります。

スキャンデータを保存する

本機にセットした原稿をスキャンして、メモリーカードにPDF形式のデータとして保存することができます。
下記の制限や条件がありますので、ご使用の前にお読みください。

- 読み取り原稿サイズ：A4サイズのみ
- 解像度：150dpi、300dpi、600dpiを選択可能
- カラー／モノクロの選択：可能
- 保存先：￥￥PRIVATE￥DOCOMO￥DOCUMENT￥PUD001
  （￥￥PRIVATE￥DOCOMOまでのフォルダは携帯電話側で作成していただく必要があります）
- 保存ファイル名：PDFDCxxx.PDF（xxxには、保存した順に001〜999の数字が入ります）

1 **メモリーカードを取り付ける（☞111ページ）**

2 **原稿をセットする（☞89ページ）**

3 **待受画面で を押し、「ケータイリンク」を選ぶ**

4 **(決定) を押し、 で「PDF保存」を選ぶ**

5 **(決定) を押す**

6 **現在のPDF保存設定を確認する**

- このとき、メモリーカードを抜かないでください。
- ◯（設定変更）を押すと、「ファイル形式」「画質」「原稿種類」の設定を変更することができます。
   で項目を選び、(決定) を押して設定します。設定が終わったら、◯（設定完了）を押してください。設定項目の内容については、「PDF保存の設定項目について」（☞右記）をご覧ください。
- 設定を元に戻すときは、◯（初期値に戻す）を押します。

7 **(決定) を押す**

- UX-MF40CL／UX-MF40CWでADFをお使いのときは、メモリーカードにデータが保存されます。

8 **原稿台使用時は、読み取りが終了したら**

 を押す

- メモリーカードにデータが保存されます
- 原稿台使用時に、続けて読み取りをするときは、(決定) を押します。

■ PDF保存の設定項目について

PDF保存する前に、「ファイル形式」「画質」「原稿種類」の3項目を変更することができます。

ファイル形式 「PDF（カラー）」または「PDF（モノクロ）」のいずれかに設定できます。 カラーで読み取るときは「PDF（カラー）」、モノクロで読み取るときは「PDF（モノクロ）」に設定してください。
画質 「150dpi」「300dpi」「600dpi」のいずれかに設定できます。 数字が大きいほど画質は高く、データサイズは大きくなります。
原稿種類 「文字」または「写真」のいずれかに設定できます（「ファイル形式」を「PDF（モノクロ）」に設定しているときのみ）。 原稿の内容がおもに文字のときは「文字」に、写真などの画像が含まれているときは「写真」に設定してください。

お知らせ

- メモリーカードに「PDFDC999.PDF」ファイルが保存されている場合は、「外部メモリーにファイルが作成できません」と表示され、それ以上データを保存することはできません。
- 本機ではデータの削除はできませんので、携帯電話等で消去してください。

スキャンデータを待受画像として保存する

本機にセットした原稿をスキャンして、メモリーカードに携帯電話の待受画像（JPEG形式）として保存することができます。
下記の制限や条件がありますので、ご使用の前にお読みください。

- 読み取り原稿サイズ：Ｌ判（ADF使用時は不可）またはA4サイズ
- 読み取り枚数：１枚のみ
- 解像度：150dpi
- 保存データサイズ：
  Ｌ判：
  横240dot×縦320dot
  A4：
  横830dot×縦1203dot
- カラー／モノクロの選択：カラーのみ（携帯電話側の条件により、表示できない場合があります）
- 保存先：（保存先のフォルダがない場合は、この機能は使えません。このフォルダは携帯電話側で作成していただく必要があります）
  NTTドコモ：￥￥PRIVATE￥DOCOMO￥STILL
  （メモリースティックをお使いの場合は、￥￥MOBILE￥DOCOMO￥STILL)
  ボーダフォン（3G）：￥￥PRIVATE￥VODAFONE￥My Items￥Pictures
  （メモリースティックをお使いの場合は、MOBILE￥ VODAFONE￥My Items￥Pictures)
  ボーダフォン（PDC）：￥￥PRIVATE￥SDJPHONE￥ﾃﾞｰﾀﾌｫﾙﾀﾞ￥ﾋﾟｸﾁｬｰ
  au：￥￥PRIVATE￥AU_INOUT￥(メモリースティックをお使いの場合は、￥￥MOBILE￥AU_INOUT)
- 保存ファイル名：
  NTTドコモ：STILxxxx.JPG（xxxxには、保存した順に0001～9999の数字が入ります）
  ボーダフォン・au：SCANxxxx.JPG（xxxxには、保存した順に0001～9999の数字が入ります）
  （携帯電話の操作で、フォルダを作成していただく必要があります）

1 メモリーカードを取り付ける
（☞111ページ）

2 原稿をセットする（☞89ページ）

3 待受画面で ◎ を押し、「ケータイリンク」を選ぶ

4 （決定）を押し、◎ で「待受画像保存」を選ぶ

5 （決定）を押し、原稿の設定を確認する

- はじめは「Ｌ判」に設定されています。「A4」に変更するときは、◯（設定変更）（決定）の順に押し、◎ で「A4」を選んで（決定）を押します。
- 「A4」に変更したあと「Ｌ判」に戻すときは、◯（初期値に戻す）を押します。

6 （決定）を押す

- メモリーカードにデータが保存されます。

お知らせ

- メモリーカードに「STIL9999.＊＊＊」または「SCAN9999.＊＊＊」ファイルが保存されている場合は、「外部メモリーにファイルが作成できません」と表示され、それ以上データを保存することはできません。

メモリーカードの画像をプリントする

携帯電話からメモリーカードに保存された画像（JPEG形式）を、本機から選択してプリントできます。

1 メモリーカードを取り付ける
（☞111ページ）

2 待受画面で ◎ を押し、「ケータイリンク」を選ぶ

3 決定 を押し、◎ で「フォトプリント」を選ぶ

4 決定 を押す

・◎ で枚数を選ぶこともできます。

5 ◎ でプリントしたい画像を選び、ダイヤルボタンで枚数(1～99)を入力する

・選択されている画像に ✔ が付きます。
・プリントするすべての画像について、上記の操作を行います。

6 決定 を押す

・プリントの設定を変更するときは、◯（設定変更）を押して、プリント設定メニューを表示します（☞119～120ページ）。

7 決定 を押す

・選択した画像データがプリントされます。

■ 途中でやめるときは

停止 を押します。

■ 1つ前に戻るときは

◯（戻る）を押します。

■ 画像の表示方法を切り替えるには

画像表示中に ◯（一覧表示）／◯（拡大表示）／◯（標準表示）のいずれかを押すと、押したボタンの表示方法に切り替わります。

■ 画像を指定して表示させるには

保存されている画像の位置を指定して、その画像を表示させることができます。

① 画像の表示中に ◯（サブメニュー）を押す
② ◎ で選ぶ
先頭へ移動／末尾へ移動：
保存されている画像のうち、先頭または末尾のものを表示します。
指定位置へ移動：
ダイヤルボタンで入力した位置の画像を表示します。
③「指定位置へ移動」を選んだときは、決定 を押したあとダイヤルボタン、または ◎ で移動する位置を指定する
④ 決定 を押す

■ 画像をすべて選択してプリントするには

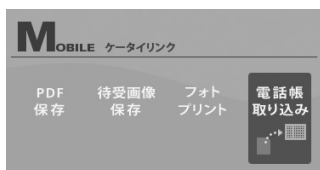
① 画像の表示中に ◯（サブメニュー）を押す
② ◎ で「全画像選択」を選ぶ
③ 決定 を押す
④ すべての画像のプリント枚数（1～99）をダイヤルボタンまたは ◎ で入力する
ただし、セットできるフォト用紙や光沢紙の最大枚数は30枚です。
⑤ 決定 を押す

メモリーカードの電話帳を取り込む

携帯電話からメモリーカードに保存された電話帳データ（VCF形式）を、本機に取り込むことができます。miniSDカードのご利用時は、専用のアダプタが必要です。

1 **メモリーカードを取り付ける**
（☞111ページ）

2 **待受画面で ◎ を押し､｢ケータイリンク｣を選ぶ**

3 **決定 を押し、◎ で「電話帳取り込み」を選ぶ**

4 **決定 を押し、◎ で取り込みたいデータを選ぶ**

5 **決定 を押し、登録する内容を確認する**

6 **◯（登録）を押す**

- メモリーカードから親機へ電話帳データが取り込まれます。
- 電話帳データは1件ずつ取り込みます。続けて取り込むときは、手順4～6をくり返します。

■ 1つの電話帳データに複数の相手先が保存されているときは

一覧にファイル名が表示されます。選んで 決定 を押すと、その電話帳データの中に保存されている相手先がすべて表示されます。手順4～6の操作で登録することができます。

■ 途中でやめるときは

停止 を押します。

■ 1つ前に戻るときは

◯（戻る）を押します。

■ 登録メニューから操作するときは

下記の操作でも、メモリーカードの電話帳データを取り込むことができます。

① メモリーカードを親機に取り付ける
② ◯（登録/機能）を押し、◎ で｢電話帳｣を選ぶ
③ 決定 を押し、◎ で「外部メモリーから一括読込」を選ぶ
④ 決定 を2回押す
⑤ 停止 を押す

お知らせ

- 絵文字や特殊文字は親機には取り込めません（スペースに置きかわります）。
- 親機の電話帳にない項目を取り込むことはできません。
- 電話帳には200件まで登録できます。
- 読みの項目がないデータを取り込むことはできません。
- 携帯番号とメールアドレスの両方ともないデータを取り込むことはできません。
- 電話番号やメールアドレスが複数保存されていても、取り込むことができるのは、それぞれの先頭の１件のみになります。
- メモリーカードに保有されている電話帳データは、200件までしか読み込めません。200件以上データがあるときは、必要ないデータをメモリーカードから消去してください。

スキャンの機能を使う

本機のスキャン機能で読み取ったデータを、パソコンなどに送ることができます。

- 本機でスキャンしたデータをパソコンに送る（USB接続時 ☞下記／LAN接続時 ☞132ページ）
- 本機でスキャンしたデータをメモリーカードに送る（☞133ページ）
- 本機でスキャンしたデータを電子メールで送る（LAN接続時のみ）（☞134ページ）

読み取ったデータをパソコンに送る（USB接続時）

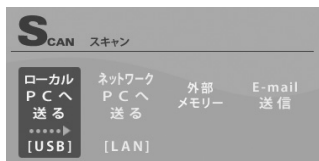
本機で読み取ったデータを、USB接続しているパソコンに送ることができます。
あらかじめ、付属のCD-ROM内の「UX-MF30／MF40シリーズ パソコン活用マニュアル」をご覧のうえ、パソコン側でスキャナドライバの設定や、ボタンマネージャのインストールおよび設定をしておいてください。

1 スキャンしたい原稿をセットする
（☞89ページ）

2 待受画面で ◯ を押し､｢スキャン｣を選ぶ

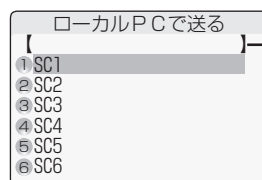
3 決定 を押し、◯ で「ローカルPCへ送る」を選ぶ

4 決定 を押し、◯ でスキャン設定を選ぶ

5 決定 を押す

・パソコン側で設定していない項目を選んだときは動作しません。
・TWAIN 対応のアプリケーションを登録した設定を選んだときは、アプリケーションが起動し、さらに 決定 を押すと読み取りが始まります。
・「スキャナとカメラウィザード」を登録した設定を選んだときは、パソコン側から「スキャナとカメラウィザード」が起動しますので、パソコン側で読み取りを開始してください。この場合、ADFは使用できません。

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

■ **１つ前に戻るときは**
◯（戻る）を押します。

■ **スキャン項目に名称を設定するときは**
「SC1」～「SC6」の各スキャン項目に、任意の名称を設定することができます。対応するアプリケーション名などに設定しておくと便利です。
① スキャン設定を選ぶ手順（☞左記手順4）で ◯（名称変更）を押す
② ◯ で「登録」を選び、決定 を押す
③ ダイヤルボタンで名称を入力する（☞69～72ページ）
最大全角８文字まで入力できます。
④ 決定 を押す

また、設定した名称を消去するときは、下記の操作で消去します。
① スキャン項目を選ぶ手順（☞左記手順4）で ◯（名称変更）を押す
② ◯ で「消去」を選び、決定 を押す
③ ◯ で「する」を選び、決定 を押す

読み取ったデータをパソコンに送る（LAN接続時）

本機で読み取ったデータを、ネットワーク上のパソコンまたは指定のFTPサーバーへ送ることができます。あらかじめ、パソコンのWeb画面（デスクトップの「UXMF30-XXXXXXXX-WEB」または「UXMF40-XXXXXXXX-WEB」をクリックすると開きます）とネットワークツールで設定を確認しておいてください。くわしくは、付属のCD-ROM内の「UX-MF30／UX-MF40 パソコン活用マニュアル」をご覧ください。

1 スキャンしたい原稿をセットする（☞89ページ）

・一度に99枚まで読み取れます。

2 待受画面で を押し､｢スキャン｣を選ぶ

3 決定 を押し、 で「ネットワークPCへ送る」を選ぶ

4 決定 を押し、 で接続先を選ぶ

・接続先がパソコンの場合は、パソコンでネットワークツールが起動している必要があります。

5 決定 を押し、設定を確認する

・◯（設定変更）を押すと、「画質」「ファイル形式」「原稿種類」の設定を変更することができます。
 で項目を選び、決定 を押して設定します。設定が終わったら、◯（設定完了）を押してください。
設定項目の内容については、「スキャンの設定項目について」（☞右記）をご覧ください。

・設定を元に戻すときは、◯（初期値に戻す）を押します。

6 決定 を押す

・読み取りが始まります。
・UX-MF40CL／UX-MF40CWでADFをお使いのときは、「接続先」として選んだパソコンにデータが送られます。

7 原稿台使用時は、読み取りが終了したら

を押す

・「接続先」として選んだパソコンにデータが送られます。

■ **FTPサーバーにデータを送るときは**

あらかじめ宛先を登録しておいてください。
登録のしかたについては、付属のCD-ROM内の「UX-MF30／UX-MF40 パソコン活用マニュアル」の「FTPリストページについて」をご覧ください。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

◯（戻る）を押します。

■ **スキャンの設定項目について**

スキャンする前に、「ファイル形式」「画質」「原稿種類」の3項目を変更することができます。

ファイル形式 「JPEG（カラー）」「PDF（カラー）」「PDF（モノクロ）」「TIFF（モノクロ）」のいずれかに設定できます。 カラーで読み取るときは「JPEG（カラー）」または「PDF（カラー）」、モノクロで読み取るときは「PDF（モノクロ）」または「TIFF（モノクロ）」に設定してください。 複数枚数の原稿を1つのファイルにまとめるときは、「PDF（カラー）」「PDF（モノクロ）」「TIFF（モノクロ）」に設定してください。
画質 「150dpi」「300dpi」「600dpi」のいずれかに設定できます。 数字が大きいほど画質は高く、データサイズは大きくなります。
原稿種類 「文字」または「写真」のいずれかに設定できます（「ファイル形式」を「PDF（モノクロ）」または「TIFF（モノクロ）」に設定しているときのみ）。 原稿の内容がおもに文字のときは「文字」に、写真などの画像が含まれているときは「写真」に設定してください。

読み取ったデータをメモリーカードに送る

本機で読み取ったデータを、取り付けているメモリーカードやUSBメモリーに送ることができます。

● データの保存先：¥¥PRIVATE¥SHARP¥DOCUMENT
● 保存ファイル名：SCANxxxx.JPG/PDF/TIFF
（xxxxには、保存した順に0001～9999の数字が入ります）

1 メモリーカードを取り付ける（☞111ページ）

2 スキャンしたい原稿をセットする（☞89ページ）

・一度に99枚まで読み取れます。

3 待受画面で を押し、「スキャン」を選ぶ

4 決定 を押し、 で「外部メモリー」を選ぶ

5 決定 を押し、設定を確認する

・◯（設定変更）を押すと、「画質」「ファイル形式」「原稿種類」の設定を変更することができます。
　 で項目を選び、決定 を押して設定します。設定が終わったら、◯（設定完了）を押してください。
　設定項目の内容については、「スキャンの設定項目について」（☞右記）をご覧ください。
・設定を元に戻すときは、◯（初期値に戻す）を押します。

6 決定 を押す

・読み取りが始まります。
・UX-MF40CL／UX-MF40CWでADFをお使いのときは、メモリーカードにデータが送られます。

7 原稿台使用時は、読み取りが終了したら プリント/スタート を押す

・メモリーカードにデータが送られます。

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**
◯（戻る）を押します。

■ **スキャンの設定項目について**
スキャンする前に、「ファイル形式」「画質」「原稿種類」の３項目を変更することができます。

ファイル形式
「JPEG（カラー）」「PDF（カラー）」「PDF（モノクロ）」「TIFF（モノクロ）」のいずれかに設定できます。
カラーで読み取るときは「JPEG（カラー）」または「PDF（カラー）」、モノクロで読み取るときは「PDF（モノクロ）」または「TIFF（モノクロ）」に設定してください。
「JPEG（カラー）」では、複数の原稿を読み込んだ場合、1枚ごとに1つのファイルが作成されます。それ以外の設定では、複数の原稿が1つのファイルにまとめられます。

画質
「150dpi」「300dpi」「600dpi」のいずれかに設定できます。
数字が大きいほど画質は高く、データサイズは大きくなります。

原稿種類
「文字」または「写真」のいずれかに設定できます（「ファイル形式」を「PDF（モノクロ）」または「TIFF（モノクロ）」に設定しているときのみ）。
原稿の内容がおもに文字のときは「文字」に、写真などの画像が含まれているときは「写真」に設定してください。

お知らせ
●メモリーカードに「SCAN9999.xxx」ファイルが保存されている場合は、「外部メモリーにファイルが作成できません」と表示され、それ以上データを保存することはできません。
●この機能を使用すると、パソコンからメモリーカードが見えなくなります。こんなときは、いったんメモリーカードを本機から抜き取ってもう一度挿入してください。

読み取ったデータを電子メールで送る（LAN接続時のみ）

本機で読み取ったデータを、電子メール（E-mail）で送ることができます。
あらかじめ、付属のCD-ROM内の「UX-MF30／UX-MF40 パソコン活用マニュアル」をご覧のうえ「Scan to E-mail 設定ページについて」の設定をしておいてください。

1 スキャンしたい原稿をセットする（☞89ページ）

・一度に99枚まで読み取れます。

2 待受画面で を押し、「スキャン」を選ぶ

3 決定 を押し、 で「E-mail送信」を選ぶ

4 決定 を押し、 で宛先を選ぶ

・◯（直接入力）を押すと、ダイヤルボタンで直接メールアドレスを入力することができます。

5 決定 を押し、設定を確認する

・◯（設定変更）を押すと、「画質」「ファイル形式」「原稿種類」の設定を変更することができます。
 で項目を選び、決定 を押して設定します。設定が終わったら、◯（設定完了）を押してください。
設定項目の内容については、「スキャンの設定項目について」（☞右記）をご覧ください。
・設定を元に戻すときは、◯（初期値に戻す）を押します。

6 決定 を押す

・ファイル形式の設定が「JPEG（カラー）」のときや、UX-MF40CL／UX-MF40CWでADFをお使いのときは、読み取り後に、設定した宛先にデータが送られます。

7 原稿台使用時は、読み取りが終了したら プリント スタート を押す

・設定した宛先にデータが送られます。

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

■ **１つ前に戻るときは**
◯（戻る）を押します。

■ **スキャンの設定項目について**
スキャンする前に、「ファイル形式」「画質」「原稿種類」の３項目を変更することができます。

ファイル形式
「JPEG（カラー）」「PDF（カラー）」「PDF（モノクロ）」「TIFF（モノクロ）」のいずれかに設定できます。 カラーで読み取るときは「JPEG（カラー）」または「PDF（カラー）」、モノクロで読み取るときは「PDF（モノクロ）」または「TIFF（モノクロ）」に設定してください。 「JPEG（カラー）」では、1回の操作で1枚の原稿のみ送信できます。複数の原稿を1回の操作でまとめて送信するときは、「JPEG（カラー）」以外に設定してください。
画質
「150dpi」「300dpi」「600dpi」のいずれかに設定できます。 数字が大きいほど画質は高く、データサイズは大きくなります。
原稿種類
「文字」または「写真」のいずれかに設定できます（「ファイル形式」を「PDF（モノクロ）」または「TIFF（モノクロ）」に設定しているときのみ）。 原稿の内容がおもに文字のときは「文字」に、写真などの画像が含まれているときは「写真」に設定してください。

■ **電話帳から宛先を検索してメールを送るときは**
① 宛先を選ぶ操作（☞左記手順4）で、◯（検索）を押す
② 相手先の名前の「読み」を入力する
③ を押す
入力された「読み」に最も近い相手先が選択されます。
④ 目的の相手先が選ばれていないときは、 で選ぶ
⑤ 左記手順５から操作する

子機のモーニングコールを利用する

子機で、モーニングコールを設定することができます。設定時刻になると、「ピッ・ピッ…」とアラーム音が鳴ってお知らせします。（約５分間隔で1分間鳴り７回くり返します。）

モーニングコールを設定する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 （機能）を押し、（上下ボタン）で「アラームセッテイ」を選ぶ

アラームセッテイ

2 （機能）を押し、（左右ボタン）で「ON」を選ぶ

3 （機能）を押す

4 アラーム時刻をダイヤルボタンで入力する（24時間制で４ケタ入力します）

・すでに設定している時刻を変更するときは、（左右ボタン）で変更する時刻にカーソルを移動し、新しい時刻を入力します。

5 （機能）を押す

・（アラーム）マークが表示されます。

■ **途中でやめるときは**

（切）を押します。

■ **毎日モーニングコールをご利用になるときは**

モーニングコールの設定は、アラーム音でのお知らせを７回くり返したあとは自動的に解除されますので、毎日ご利用になるときは毎日設定してください。

モーニングコールを解除する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 （機能）を押し、（上下ボタン）で「アラームセッテイ」を選ぶ

2 （機能）を押し、（左右ボタン）で「OFF」を選ぶ

3 （機能）を押す

・（アラーム）マークが消えます。

■ **モーニングコールの音を途中で止めるときは**

モーニングコールのアラーム音が鳴っているときに子機のいずれかのボタンを押すと、アラーム音はいったん止まります。（クイック通話の設定を「ON」にしているときは、充電器に戻したり、取り上げたりしても止まります。）このあと約５分後には再びアラーム音が鳴り始めます。

お知らせ

●子機の時計を設定（☞41ページ）していないときは、モーニングコールの設定はできません。
●子機の時刻が正しく合っていないと、モーニングコール設定を行っても正しい時刻にアラーム音は鳴りません。子機の時刻を合わせてから、モーニングコールを設定してください。
●モーニングコールを設定したあとに、子機の時刻合わせを行うと、モーニングコールは解除されます。
●アラーム音は、子機で設定した着信音量と同じ大きさで鳴ります。「キリ」に設定しているときは「ショウ」の大きさで鳴ります。
●アラームが動作中に子機を充電器から取るなど何かの操作を行うと、アラームは停止し子機を使用することができます。また、電話やファクスの着信があった場合もアラームは停止します。

親機をもっと便利に使う

親機をもっと便利に使うために、いろいろな登録や設定ができます。
各項目（ディスプレイ表示）を選ぶときは ◯ で選びます。
工場出荷時は ▒▒▒ に設定されています。

終了音

はたらき	コピー終了後や、ファクスの送受信後に鳴る終了音を設定します。 ・**アラーム音**　「ピー」という音でお知らせします。 ・**なし**　終了音を鳴らしません。
手順	親機で設定します ◯(登録 / 機能) ➡ 「**音の設定**」を選ぶ ➡ 決定 ➡ 「**FAX ／コピー終了音**」を選ぶ ➡ ➡ 決定 ➡ 1：アラーム音 2：なし から選ぶ ➡ 決定 ➡ 停止

キータッチ音

はたらき	親機のボタンを押したときに鳴る、「ピッ」という音（キータッチトーン）の設定をします。 ・**あり**　親機のボタンを押したときに「ピッ」という音（キータッチトーン）が鳴ります。 ・**なし**　「ピッ」という音（キータッチトーン）が鳴りません。
手順	親機で設定します ◯(登録 / 機能) ➡ 「**音の設定**」を選ぶ ➡ 決定 ➡ 「**キータッチ音**」を選ぶ ➡ ➡ 決定 ➡ 1：あり 2：なし のどちらかを選ぶ ➡ 決定 ➡ 停止

■ 途中でやめるときは

停止 を押します。

■ 1つ前に戻るときは

◯(戻る) を押します。

受信メモリー選択

はたらき	受信ファクスを本体のメモリーに保存するか、お客様の用意されたメモリーカードやUSBメモリーに保存するかを設定します。 ・**本体メモリー**　受信ファクスを本体のメモリーに保存します。 ・**外部メモリー**　受信ファクスをメモリーカードやUSBメモリーに保存します。 ●メモリーカードに保存するように設定したときは、パソコン側からメモリーカードを見ることはできません。 ●外部メモリーにするには、メモリーカードを挿入してから、設定を行ってください。 ●外部メモリーに設定した状態で、メモリーカードを取り外すと、本体メモリーに保存する設定に変更されます。 ●外部メモリーでは、￥￥PRIVATE￥SHARP￥FAXフォルダ内に保存されます。パソコンでこのフォルダのデータの削除・編集や追加などを行うと、本機で正しく動作しなくなります。
手順	親機で設定します ◯（登録 / 機能）➡「**FAX 設定**」を選ぶ ➡ 決定 ➡「**受信メモリー選択**」を選ぶ ➡➡ ➡➡ 決定 ➡ 1：本体メモリー 2：外部メモリー のどちらかを選ぶ ➡ 決定 ➡ 停止

リストプリント画質

はたらき	「リストプリント」でプリントするときの画質を設定できます。 ・**ふつう**　標準的な画質で印刷します。 ・**はやい**　画質は落ちますが、「ふつう」より早く印刷します。
手順	親機で設定します ◯（登録 / 機能）➡「**詳細設定**」を選ぶ ➡ 決定 ➡「**リストプリント**」を選ぶ ➡➡ ➡➡ 決定 ➡「**リストプリント画質**」を選ぶ ➡ 決定 ➡ 1：ふつう 2：はやい のどちらかを選ぶ ➡➡ ➡➡ 決定 ➡ 停止

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**
◯(戻る) を押します。

子機をもっと便利に使う

子機をもっと便利に使うために、いろいろな登録や設定ができます。
工場出荷時は　　　　　に設定されています。

クイック通話

はたらき

子機を充電器から取り上げるだけで通話ボタンを押さなくても電話を受けることができます。
・ON　　着信時に子機を充電器から取り上げるだけで、すぐに通話できます。
・OFF　　子機を充電器から取り上げたあと、通話ボタンを押してから通話します。

手順

子機で設定します

   「**クイックツウワ**」を選ぶ   で 「**ON**」「**OFF**」のどちらかを選ぶ

キータッチ音

はたらき

子機のボタンを押したときに、「ピッ」という音（キータッチトーン）を鳴らします。
・ON　　子機のボタンを押したときに「ピッ」という音（キータッチトーン）が鳴ります。
・OFF　　「ピッ」という音（キータッチトーン）は鳴りません。

手順

子機で設定します

 「**キータッチトーン**」を選ぶ   で 「**ON**」「**OFF**」のどちらかを選ぶ

待ち受け時間

はたらき

充電完了後に、子機を充電器に置いていない状態で、待ち受けられる時間を長くすることができます。
・**ヒョウジュン**　　待ち受け時間は約200時間になります。
・**チョウジカン**　　待ち受け時間は約240時間になります。
（「チョウジカン」にすると「ヒョウジュン」のときよりも子機の着信音が遅れて鳴ることがあります。）
待ち受け時間とは充電完了後に子機を充電器に置かずに一度も通話しない状態で待ち受けられる時間です。通話したり着信音が鳴ったりすると待ち受け時間は短くなります。

手順

子機で設定します

 「**マチウケジカン**」を選ぶ   で 「**ヒョウジュン**」「**チョウジカン**」のどちらかを選ぶ

■ **途中でやめるときは**

 を押します。

外出先から用件や伝言を聞く

外出先から録音されたメッセージを聞くなどの操作ができます（リモート操作）。
リモート操作をするには、あらかじめ暗証番号の登録が必要です。

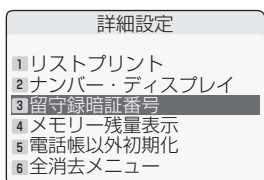
暗証番号を登録する

1 ◯（登録/機能）を押し、
　◎ で「詳細設定」を選ぶ

2 (決定) を押し、「留守録暗証番号」を選ぶ

詳細設定
1 リストプリント
2 ナンバー・ディスプレイ
3 留守録暗証番号
4 メモリー残量表示
5 電話帳以外初期化
6 全消去メニュー

3 (決定) を押し、◎ で「登録」を選ぶ

4 (決定) を押す

5 ダイヤルボタンで
　暗証番号を入れる（4ケタ）

・番号を押しまちがえたときは、◯（取消）を押して、もう一度入れ直します。

6 (決定) を押す

7 停止(◎) を押す

■ **途中でやめるときは**
停止(◎) を押します。

■ **１つ前に戻るときは**
◯（戻る）を押します。番号入力時は ◯（取消）を押します。

■ **登録した暗証番号を消すときは**
① ◯（登録/機能）を押し、◎ で「詳細設定」を選ぶ
② (決定) を押し、◎ で「留守録暗証番号」を選ぶ
③ (決定) を押し、◎ で「消去」を選ぶ
④ (決定) を押し、◎ で「する」を選ぶ
⑤ (決定) を押す
⑥ 停止(◎) を押す

■ **暗証番号を変えるときは**
もう一度暗証番号を登録（上書き）します。

■ **暗証番号を忘れたときは**
忘れた暗証番号の確認はできません。新しい暗証番号を登録（上書き）します。新しい暗証番号を登録（上書き）しても、録音内容は消えません。

外出先からリモート操作する

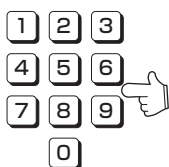
1 自宅に電話をかける

・ダイヤル回線の電話機からリモート操作するときは、ダイヤルしたあとにトーン信号に切り替えます。（トーン信号の切り替えかたは、電話機の取扱説明書をご覧ください。）

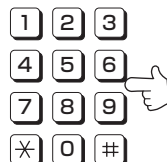
2 応答メッセージが聞こえている間に ＃ を押す

・＃ を押すと流れている応答メッセージが止まります。このあと「暗証番号とシャープを押してください。」と聞こえます。聞こえないときは、もう一度 ＃ を押してください。

3 暗証番号（4ケタ）を押す

1 2 3
4 5 6
7 8 9
0

4 ＃ を押す

5 音声メッセージを聞いたあと **リモート操作番号を押す**

1 2 3
4 5 6
7 8 9
＊ 0 ＃

（例）録音内容を聞くときは、1 ＃ と押します。

6 リモート操作が終わったら **電話を切る**

■ リモート操作表

操作内容	リモート操作番号
録音内容を聞くには	1 #
早聞きや遅聞きをするには	再生中に 1 #（早聞き）→ 1 #（遅聞き）→ 1 #（元に戻る）→（早聞きへ戻る）
今聞いている録音内容を聞き直すには	再生中に 3 #
今聞いている録音内容の１件前を聞くには	再生中に 3 # 3 #
次の録音内容を聞くには	再生中に 4 #
止めるには	再生中に 5 #
再生済みの録音内容を消すには	停止中に 0 1 #
録音内容をすべて消すには（未再生の録音も消えます）（応答メッセージは消えません）	停止中に 0 2 #
留守を設定／解除するには	停止中に 6 # ※ 留守設定するには、親機の「在宅時コール回数」を「回数選択」に設定しておく必要があります。（☞ 101ページ）

■ 暗証番号を押すときは

●10秒以上あいだをあけると「ピピピピ」という音が聞こえます。手順３からやり直してください。（２回まちがえると電話は切れます。）
●番号をまちがえると、「暗証番号がまちがっています。」と聞こえます。正しく入れ直します。（２回まちがえると電話は切れます。）

■ 録音の内容を聞くときは

留守に設定されているときに再生すると、留守設定以降に入った録音を一番古いものから順番に再生します。
留守に設定されていないときは、未再生の一番古い録音から、それ以降の録音を順番に再生します。

●留守設定しているとき

留守設定（４件目の前）

1件目 再生スミ	2件目 未再生	3件目 未再生	4件目 再生スミ	5件目 未再生	6件目 未再生

留守設定以後の録音を再生する
（留守設定以後の録音がない場合は１件目から再生）

●留守設定していないとき

1件目 再生スミ	2件目 未再生	3件目 未再生	4件目 再生スミ	5件目 未再生	6件目 未再生

未再生の録音以後を再生する
（未再生の録音がない場合は１件目から再生）

■ トールセーバーとは

外から電話して、留守録の有無を確かめることができる機能です。トールセーバーに設定すると新しい録音（再生されていない録音）があるときは、着信音が２回（新しい録音がないときは５回）で留守応答します。(留守モード時のコール回数の設定で、トールセーバーにします。☞ 83ページ)

■ トールセーバー機能の使いかた

着信音が２回鳴ってもつながらないときは、留守設定後に新しく録音されていないことがわかります。３回目の着信音が聞こえたらすぐに電話を切ると通話料金がかかりません。

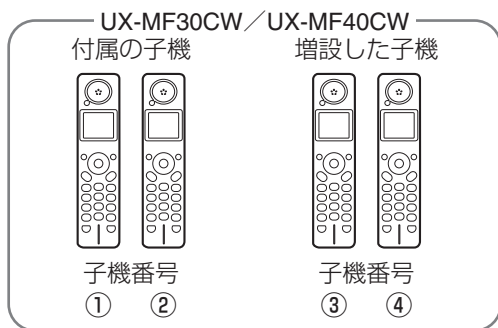
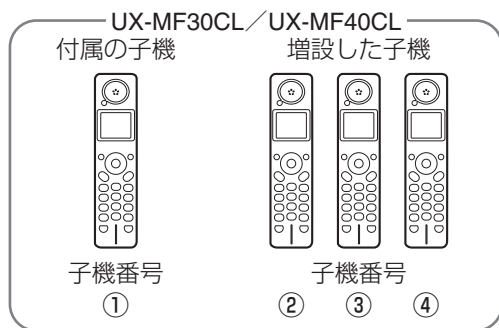
お知らせ

●外出時には操作のしかたを記載した「リモート操作手順カード」（☞ 225～226ページ）をご利用ください。
●暗証番号を知らない人でも、偶然番号が合い盗聴されることがあります。機密の連絡用としてではなく、便利な伝言板としてお使いになることをおすすめします。
●操作は１分以内に行ってください。（１分以上あけると電話が切れます。）
●親機が在宅モードで「在宅時コール回数」が「無制限呼出」のときはリモート操作できません。

子機を増設する

増設できる子機について

UX-MF30CL／UX-MF40CLをお使いのときは、付属の子機以外に３台まで、UX-MF30CW／UX-MF40CWをお使いのときは、付属の子機以外に２台まで子機を増設することができます。

子機を増設すると子機を呼び出すときの子機番号は次のようになります

- ●増設できる子機はCJ-KS50、CJ-KS60、CJ-KS80、CJ-KS7です。
- ●CJ-KS7を増設したときは、子機間通話はできません。
  CJ-KS50、CJ-KS60、CJ-KS80を増設すると、子機間通話（トランシーバー方式）ができます。
- ●機種によっては、生産が完了している場合もあります。あらかじめ在庫等を販売店にお確かめの上、お買い求めください。
- ●子機の増設方法は、143ページをご覧ください。
- ●子機を増設したときは、操作が異なりますので、詳しくは増設子機の取扱説明書をご覧ください。

●増設子機の機能比較（付属の子機と同等の機種は、CJ-KS60です）

機種名／機能名		付属の子機	CJ-KS60	CJ-KS50	CJ-KS80	CJ-KS7	参照ページ
電話機能	電話帳機能	○（100人）	○（100人）	○（100人）	○（100人）	○（100人）	73
	漢字表示	×	×	×	○	○	–––
	再ダイヤル	○（3件）	○（3件）	○（3件）	○（10件）	○（10件）	60
	ダイヤルボタン点灯	×	×	×	○	○	–––
	優先呼出	○	○	○	○	○	58
	モーニングコール	○	○	○	○	○	135
	子機間通話（トランシーバー方式）	○	○	○	○	×	61
	子機間ひと声通知	×	×	×	×	○	144
	受話音量切換	特大・大・標準	特大・大・標準	特大・標準	特大・大・標準	特大・標準	44
	スピーカーホン通話	×	×	×	×	×	–––
ナンバーディスプレイ関連	番号・名前表示	○	○	○	○	○	155
	着信記録	○	○	○	○	○	163
	着信鳴り分け	○	○	○	○	○	167

子機を増設する

子機を増設してお使いになるときは、下記の操作で増設してください。
子機増設は、まず子機の操作を完了させ、その後2分以内に親機の操作を完了させてください。

1 子機

内線/クリア 保留 **を2秒以上押し続ける**

・ディスプレイに<ゾウセツ>と表示されます。

2 親機

◯（登録/機能）を押す

3 親機

 # を4回押す

4 親機

で「子機を増設する」を選ぶ

5 親機

決定 を押す

・「完了しました」と表示され、子機が「ピー」と鳴ったら増設は完了です。
・「失敗です！」と表示されたら、手順1からやり直してください。

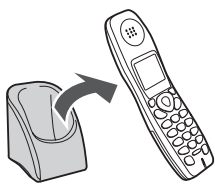
■ **増設登録を消去するには**

親機で下記の操作を行って、増設登録を取り消してください。

① 留守 を押しながら電源を入れて、「子機/ID消去:」と表示されるまで押し続ける。
② ダイヤルボタンで消去する子機番号を入力する
③ # を2回押す
　消去が完了します。

お知らせ

●増設子機には、増設のしかたを記載した増設説明書が付属していますが、機種によっては複合機に増設する方法が記載されていない場合があります。その場合、本機に子機を増設するときは、このページの操作で増設してください。

ひと声通知・ひと声転送を使う

CJ-KS7を増設してお使いのときは、子機から子機へ一方通行でメッセージを伝えたり（ひと声通知）、メッセージを伝えて他の子機へ転送する（ひと声転送）ことができます。
なお、CJ-KS80、CJ-KS60、CJ-KS50を増設したときは、トランシーバー方式で子機間通話や通話転送ができます（☞61～64ページ）。

ひと声通知を使う

1 子機

子機を充電器から取って 内線/クリア 保留 **を押す**

2 子機

呼び出したい子機の内線番号を押す

・呼び出した子機が応答するまで「プププププ…」と鳴ります。

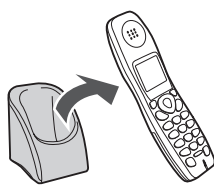
3 呼び出された子機

着信音が鳴ったら、
充電器から取る

・充電器に置いていないときや、クイック通話を「OFF」にしているときは通話ボタンを押します。

4 子機

呼び出した子機の方が電話に出たら、メッセージを伝える（約10秒以内）

・呼び出した子機の方とお話しはできず、声も聞こえません。

5 呼び出された子機

メッセージが聞こえる

6 子機

メッセージが終わったら

を押す

・この操作をしなくても約10秒後には自動的に電話は切れます。

ひと声転送を使う

1 子機

子機で外線通話中に
内線/クリア 保留 **を押し、呼び出したい子機の内線番号を押す**

・外線通話中の相手の方には保留メロディーが流れます。
・呼び出した子機が応答するまで「プププププ…」と鳴ります。

2 呼び出された子機

着信音が鳴ったら、
充電器から取る

・充電器に置いていないときや、クイック通話を「OFF」にしているときは通話ボタンを押します。

3 子機

呼び出した子機の方が電話に出たら、メッセージを伝える（約10秒以内）

・呼び出した子機の方とお話しはできず、声も聞こえません。

4 呼び出された子機

メッセージが聞こえる

5 子機

メッセージが終わったら
子機を充電器に戻す

・この操作をしなくても約10秒後には自動的に転送されます。

6 呼び出された子機

通話 **または** 内線/クリア 保留 **を押す**

■ **呼び出している子機が出ないときは**

内線/クリア 保留 を押すと、呼び出しをやめて保留になります。このあと 内線/クリア 保留 または 通話 を押すと外線の相手の方との通話に戻ります。

子機でプッシュホンのサービスを利用する

ダイヤル回線でご使用の場合でも相手を呼び出した後にトーンボタンを押すことにより、プッシュホンサービス（銀行ANSER、クレジット通話サービス、ポケットベルサービス、照会案内サービス、ホームテレホンにおけるテレコントロール、留守番電話における遠隔制御　等）を利用することができます。

1 （通話）を押す

・子機を置いたまま電話をかけるときは、オンフックボタンを押します。

2 各種サービスにダイヤルする

3 （トーン ＊）を押す

・このあと、アナウンスにしたがって操作します。
・これ以降は、ダイヤルボタンを押すとトーン信号が送られます。
・電話を切ると、自動的にもとのダイヤル回線の信号（パルス信号）に戻ります。

■ **トーン信号とは**

プッシュホン回線（トーン）で電話をかけるときの「ピッ、ポッ、パッ」という音のことです。
ダイヤル回線でご契約されている方でも、（トーン ＊）を押すと、このトーン信号を出すことができます。

お知らせ

●サービスの種類によっては、トーンボタンを使っても受けられないものがありますので、詳しくは各サービスの提供先に確かめてください。
●トーン信号をうまく受け付けないサービスもあります。

子機でキャッチホンを利用する

キャッチホン（通話中着信サービス）は、NTTが行っているサービスのひとつで、電話でお話しをしているときでも、別の人からかかってきた電話をとることができるサービスのことです。
キャッチホンを利用するにはNTTとの契約（有料）が必要です。

1 通話中に着信音が聞こえたら

カナ/キャッチ ○ **を押す**

・キャッチホン・ディスプレイを契約しているときは、相手の方の電話番号や名前が表示されます。

2 もとの通話に戻るときはもう一度

カナ/キャッチ ○ **を押す**

■ **キャッチホン・ディスプレイを契約するときは**（☞157ページ）

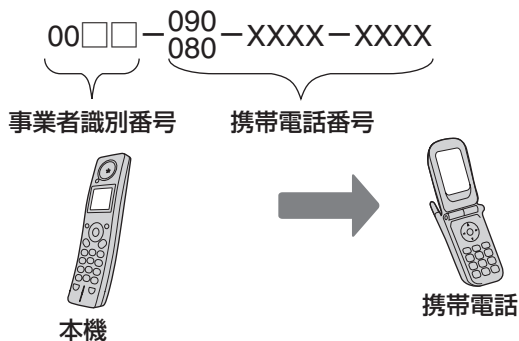
■ **キャッチホンを利用すると電話が切れてしまうときは／切り替わらないときは**（☞201ページ）

キャッチホンの切替時間を変えることができます。

お知らせ

- ファクス受信中に電話がかかってくると、用紙に線が入ったり、送受信が中断されたりすることがあります。
- 通話中にキャッチホンでファクスを受信すると、電話が切れて、もとの相手の方との通話には戻れません。
- キャッチホンⅡを利用して、割り込み音の回数を「0」回に設定すると、ファクス受信中に電話がかかってきても異常なく通信できます。なお、詳しくはNTTにお問い合わせください。
- キャッチホン・ディスプレイを契約すると、着信音が鳴ると同時にディスプレイに相手の方の電話番号などが表示されます（☞157～159ページ）。

携帯電話へおトクにかける（携帯とくとくダイヤル機能）

携帯電話へ電話をかけるとき、番号の前に「事業者識別番号」（例：NTT東日本0036、NTT西日本0039など）をつけてダイヤルすることにより、事業者が設定した通話料を選ぶことができます。
利用者は各社の電話料金を比べて、安い料金を選ぶことができます。携帯電話への通話料金がおトクになるサービスとして、各社が実施しています※。

携帯とくとくダイヤル機能を使えば、発信ごとのダイヤル操作や個別の電話帳に登録をしなくても、あらかじめ登録しておいた「事業者識別番号」を自動的につけて、携帯電話へ発信します。

IP電話をご利用の方へ

IP電話と本サービス実施事業者の料金を比較してご利用ください。IP電話事業者によっては、お安くならない場合があります。
IP電話でこの機能をご利用になるときは、「IP電話利用」の設定（☞202ページ）を「あり」にしてお使いください。

※ 通話料金、事業者識別番号、サービス内容については、サービスを実施している各通信事業者へ詳細をご確認ください。

携帯とくとくダイヤル機能とは

事業者識別番号を登録することで、自動的に「事業者識別番号」をつけて発信することができます。
工場出荷時は、携帯とくとくダイヤル機能を、利用しない設定（「設定なし」）になっています。

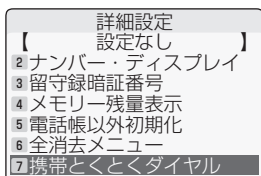
（例）「NTT東日本0036」を設定したとき

※携帯とくとくダイヤル設定マーク（ ）が親機ディスプレイに表示されます。

携帯とくとくダイヤル機能を設定する

1 ◯（登録/機能）を押し、
◎ で「詳細設定」を選ぶ

2 (決定) を押し、
◎ で「携帯とくとくダイヤル」を選ぶ

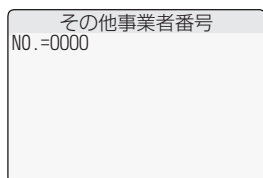
詳細設定
【 設定なし 】
2 ナンバー・ディスプレイ
3 留守録暗証番号
4 メモリー残量表示
5 電話帳以外初期化
6 全消去メニュー
7 携帯とくとくダイヤル

NTT東日本、NTT西日本のサービスをご利用の場合

3 (決定) を押し、◎ で
「NTT東日本0036」または
「NTT西日本0039」を選ぶ

・NTT東日本のサービスはNTT東日本サービス提供エリア内のみとなります。
・NTT西日本のサービスはNTT西日本サービス提供エリア内のみとなります。

NTT東日本、NTT西日本以外のその他の事業者をご利用の場合

3 (決定) を押し、◎ で「その他事業者」を選ぶ
↓
(決定) を押し、事業者番号を入れる（最大6ケタ）

その他事業者番号
NO.=0000

■ 途中でやめるときは
(停止) を押します。

■ 1つ前に戻るときは
◯（戻る）を押します。番号入力時は ◯（取消）を押します。

■ 携帯とくとくダイヤル機能を利用しないときは
サービス業者を選ぶ手順（☞上記手順3）で「設定なし」を選び、(決定) を押します。

4 (決定) を押す

5 (停止) を押す

・事業者番号が正しく設定されていないときなど、電話がかからないことがあります。
・携帯電話をお持ちの方は、設定したあと、携帯電話へ電話をかけてお確かめになることをおすすめします。

IP電話をお使いで、携帯電話へのダイヤルをIP電話ではなく携帯とくとくダイヤルでご利用になる場合は、「IP電話利用」（☞202ページ）の設定を「あり」にしてください。

■ 一時的に携帯とくとくダイヤル機能を利用しないときは
解除番号「0000」を発信の前にダイヤルすると、事業者識別番号は発信されません。

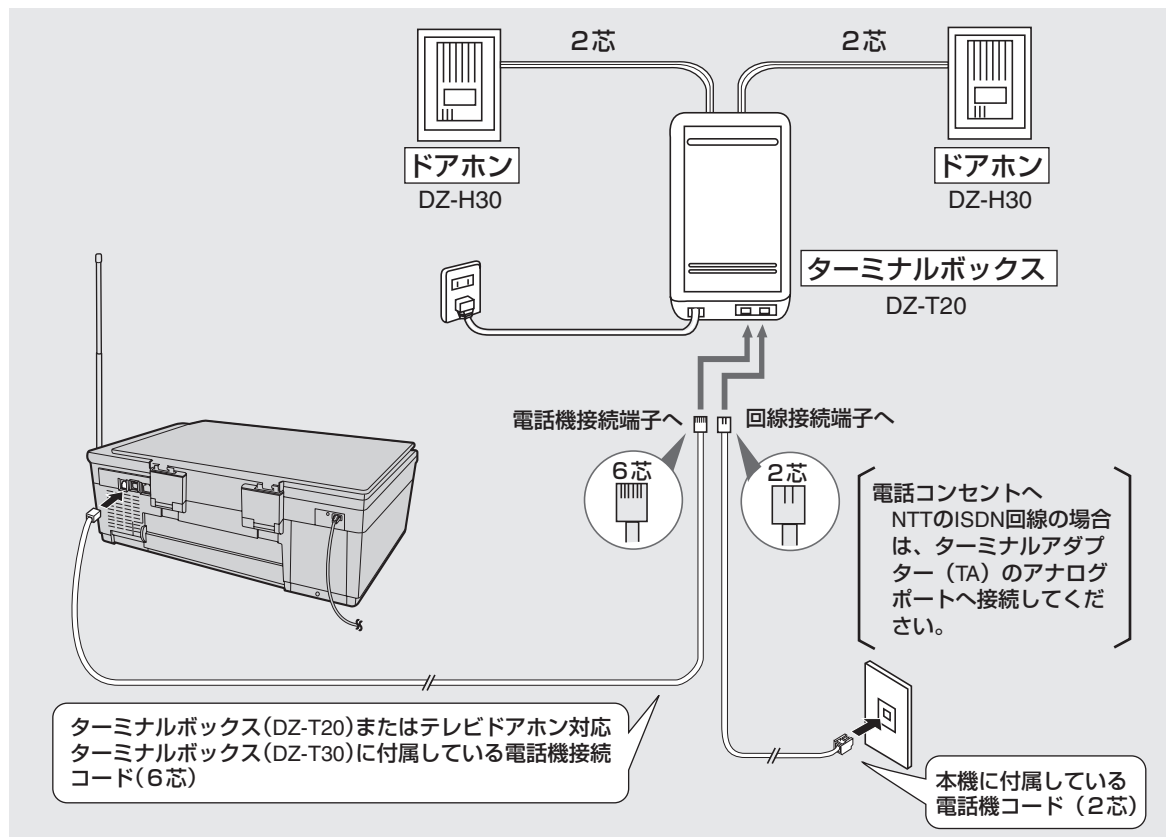
NTT東日本、NTT西日本のサービス提供エリア外から電話をかけたときや、事業者識別番号が正しく入力されていないときは、正しく電話がかからないことがあります。

お知らせ

●通話料金、事業者識別番号、サービス内容については、サービスを実施している各通信事業者にお問い合わせください。
●通話先·通話時間や発信事業者の料金プラン等によっては、一部安くならない場合があります。
●携帯電話事業者の留守番電話サービスなど、一部ご利用いただけない番号があります。
こんなときは「0000」をダイヤルしてからご利用ください。
●本サービスを利用した場合、携帯電話への通話料金は、利用した事業者から請求されます。
●本サービスは、マイラインの対象になりません。
●他のサービスと同時には、ご利用になれないことがあります。詳しくは、各通信事業者にお問い合わせください。

ドアホンを接続する

別売りのターミナルボックス（専用）とドアホン（テレビドアホンユニット）を取り付けると、ドアホン通話することができます。ドアホンは最大２台まで接続することができます。
詳しい接続方法は、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

ドアホンをつなぐとき

■ NTTのISDN回線をご利用のときは（☞26ページ）

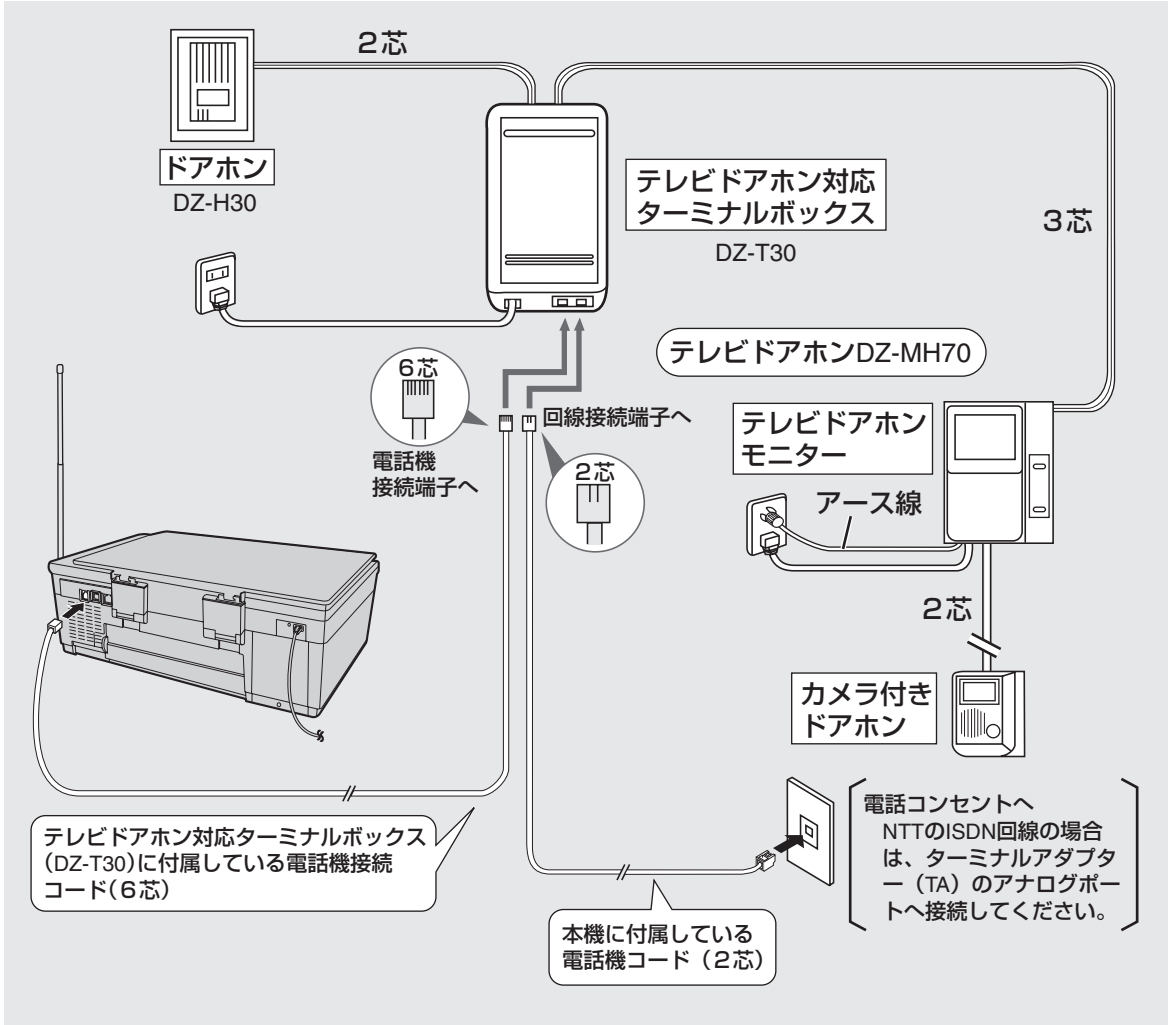
■ 現在お使いのドアホンが次の機種のときは

専用ドアホン（DZ-H30）をお求めにならなくても、そのままお使いいただけます。
（ターミナルボックスDZ-T20またはDZ-T30は必要です。）

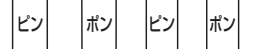
メーカー名（50音順）	適合するドアホン（室外機の機種名）2005年10月現在
アイホン	IF-DA　IE-DA　IE-DC　IE-NC　IE-RA　IE-TAS　IE-JA　IE-CA　IF-DAW　IE-NXS　IE-NXBA　IE-NXM　IE-NXY　IE-NXC
岩通	ドアホンN
ＮＴＴ	E-104DH　E-ドアホンS　E-ドアホンD　E-ドアホンPL　E-VXドアホン
パイオニア	TF-DR2
富士通	FC-201A　FC-201B　FC-201C　FC-201D
松下通信工業	VF-521　VF-522　VF-523U　VF-523D　VL-568　VL-568G　VL-568U　VL-568K　VL-568KA　VL-568D　VL-568R　VL-568S　VL-568KAP　VL-568GL　VL-568UL　VL-569　VL-580D　VL-582A　VL-584D　VL-585D　VL-586P　VL-587P　VL-592　VL-593　VL-594A
松下電工	EJ-502　EJ-501W　EJ-102　EJ-503F　EJ-503A　EJ-106A　EJ-106S　EJ-1021B

※チャイム（室外と室内とで会話できないもの）は適合しません

カメラ付ドアホンをつなぐとき

テレビドアホンユニットは、DZ-MH70, DZ-MH50, DZ-MH30が接続できます。
テレビドアホンユニットを取り付けるときは、必ずテレビドアホン対応ターミナルボックス（DZ-T30）をお使いください。

■ NTTのISDN回線をご利用のときは（☞26ページ）

お知らせ

●カラーカメラドアホン（DZ-TH10）は使用できません。
●カメラ付ドアホンでの映像は、親機の画面には映りません。テレビドアホンモニターで確認します。

子機でドアホンと話す（ドアホン通話）

ドアホンから呼び出しがあると、親機と子機の両方で着信音が鳴ります。このとき子機でドアホンと通話することができます。

1 ドアホンの着信音が鳴ったら、

通話ボタンが点滅している間（30秒以内）に

 を押す

・通話ボタンが点灯します。

2 通話が終わったら

（切）**を戻す**

■ **ドアホンの着信音について**

ドアホン１とドアホン２からの着信音は鳴り方が違います。

親機	**ドアホン１**	ピン　ポン
	ドアホン２	ピン　ポン　ピン　ポン
子機	**ドアホン１**	ピロ　ピロ　ピロ　ピロ　ピロ　ピロ　ピロ　ピロ
	ドアホン２	ピロ　ピロ　ピロ　ピロ　ピロ　ピロ

お知らせ

- 親機または子機からドアホンを呼び出すことはできません。
- ドアホン通話の保留はできません。
- 留守録に設定していても、ドアホンからの録音はできません。
- ファクス送受信中は、ドアホンからの呼び出しがあっても子機の着信音は鳴りません。この場合、子機で通話することもできません。
- 子機で優先呼出を設定していても、ドアホンの着信音は、親機・子機の両方で鳴ります。
- ドアホンの着信音が鳴ったあと、約30秒以上ドアホンとの通話に出なかったときは、ドアホンと通話できません。
- ドアホン通話を親機や子機へ転送することはできません。
- ドアホンの着信音は、電話がかかってきたときの着信音の大きさと同じです。また「切」に設定されているときは、一番小さい大きさで鳴ります。
- ドアホンの受話音量はターミナルボックス側で調整することができます。詳しくはターミナルボックスの取扱説明書をご覧ください。

子機でドアホン通話中に電話がかかってくると

ドアホン通話をやめて電話に出ることができます。

1 電話の着信音が聞こえたら

・切ボタンを押すと、ドアホン通話が切れます。
・通話ボタンを押すと、かかってきた電話との通話になります。

子機で通話中にドアホンから呼び出しがあると

電話を保留にしてドアホンとの通話ができます。

1 ドアホンの着信音が聞こえたら30秒以内に

内線/クリア 保留 **を押す**

・通話中の相手の方には保留メロディーが流れ、ドアホンの相手とドアホン通話ができます。

2 電話の相手の方との通話に戻るときは

内線/クリア 保留 **を２回押す**

・電話の相手の方との通話に戻ると、ドアホン通話は切れます。

子機でドアホン通話中にもう一台のドアホンから呼び出しがあると

ドアホン通話中の通話をやめて、もう一台のドアホンとの通話ができます。

1 ドアホンの着信音が「ピンポン」と

１回聞こえたときは

1ア **を押す**

ドアホンの着信音が「ピンポン」と

２回聞こえたときは

2カ **を押す**

・1ア または 2カ （またはキャッチボタン）を押すごとに、２台のドアホンと交互にお話ができます。

子機間で内線通話中にドアホンから呼び出しがあると

トランシーバー方式内線通話をやめてドアホンとの通話ができます。

呼び出し中や両者がトランシーバーボタンを押していないとき

1 ドアホンの着信音が聞こえたら（内線通話は切れます）

 を押す

どちらかがトランシーバーボタンを押してお話ししているとき

1 お話を聞いている方の受話口から着信音が聞こえる

2 相手がメッセージを伝え終えて

トランシーバーボタンを離したら

3 ドアホンの着信音が聞こえたら

 を押す

ナンバー・ディスプレイを利用する

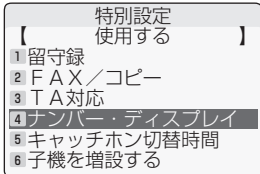
ナンバー・ディスプレイとは、かかってきた相手の方の電話番号を表示するサービスです。
親機や子機の電話帳に登録している相手の方から電話がかかってきたときは、親機では電話帳に登録している名前と電話番号を交互に表示します。
子機では電話帳に登録している名前を表示します。

このサービスをご利用の際は、利用契約が必要ですので、詳しくはNTTの窓口へお問い合わせください。
サービスを契約したあとは、必ずナンバー・ディスプレイを使用する設定にしてください。
ナンバー・ディスプレイの初期設定は「使用する」になっています。

ナンバー・ディスプレイを利用設定する

設定を変更するときは、下記の手順で変更してください。

1 ◯（登録/機能）を押し、
を４回押す

2 で「ナンバー・ディスプレイ」を選ぶ

3 決定 を押し、
でいずれかの設定を選ぶ

・工場出荷時は「使用する」になっています。
・**ナンバー・ディスプレイを利用しないとき**は、「使用しない」を選び、決定ボタンを押します。

4 決定 を押す

・選んだ項目に設定されます。

5 停止 を押す

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **１つ前に戻るときは**

◯（戻る）を押します。

お知らせ

●構内交換機（PBX）やビジネスホン、ホームテレホンに接続してお使いのときは、ナンバー・ディスプレイを「使用しない」に設定してください。
●ナンバー・ディスプレイをISDN回線でお使いのときは、ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプタ（TA）をお使いください。

着信鳴り分けを設定したときは

電話がかかってきたときに、親機は、親機の電話帳に登録されている方に、子機は、着信の種類に合わせて着信音の鳴り方を変えてお知らせします（☞165〜167ページ）。

非通知お断りを設定したときは

相手の方が番号非通知（「184をダイヤル」または、「通常非通知」（回線ごと非通知））で、電話をかけてくると、こちら側では着信音が鳴らずにお断りのメッセージを流すことができます（☞168〜169ページ）。

公衆電話お断りを設定したときは

相手の方が公衆電話から電話をかけてくると、こちら側では着信音を鳴らさずにお断りメッセージを流すことができます（☞168〜169ページ）。

表示圏外お断りを設定したときは

相手の方がサービスを行っていない地域から電話をかけてきたとき、また、サービスの契約条件等により番号が表示できないとき（国際電話、船舶電話、新幹線電話、VoIP電話など）、こちら側では着信音を鳴らさずにお断りメッセージを流すことができます（☞168〜169ページ）。

お断りする番号を登録したときは

あらかじめ特定の番号を登録しておくと、登録した相手の方から電話がかかってきたときに着信音を鳴らさずに、お断りのメッセージを流すことができます（☞170ページ）。

お知らせ

- ●ナンバー・ディスプレイをご利用のときは、着信音の回数（☞83、101ページ）を２回以上に設定してください。
- ●ナンバー・ディスプレイは、NTTの他のサービスと併用して使用できない場合があります。詳しくはNTTへお問い合わせください。
- ●ISDN回線のターミナルアダプタのアナログポート・構内交換機（PBX）や他の通信機器に接続すると、ナンバー・ディスプレイが使えない場合があります。
- ●相手の方が、ナンバー・ディスプレイをご利用の場合は、発信時に相手の方につながるまでの時間が長くなることがあります。
- ●１本の電話回線に２台以上の電話機などを接続（ブランチ式接続）してご利用の場合は、発信電話番号が正確に表示されないことがあります。

電話がかかってきたときの画面表示について

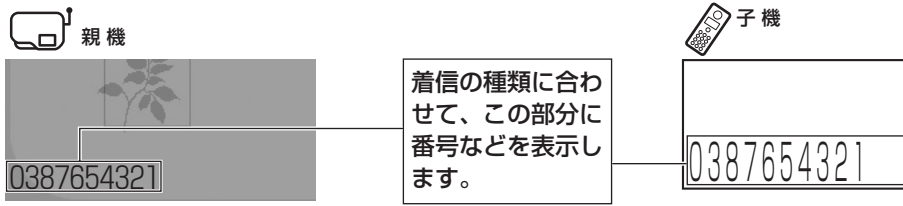



表　示	着　信　情　報
親機　子機 「0387654321」など (電話番号)	相手の方が自分の番号を通知して、電話をかけているときは、その番号を表示します。(「通常通知（通話ごと非通知)」のとき、または「186」をつけてダイヤルしているときに表示します。)
親機 「池田 悟」など (相手の方の名前) 子機 「イケダ サトシ」など (相手の方の名前)	親機および子機の電話帳に登録されている相手の方が、番号を通知して電話をかけてきたときは、名前と電話番号を交互に表示します（子機では名前のみ)。親機と子機では電話帳が別なので、それぞれに登録している相手の方の名前を表示します。 **親機や子機の電話帳に電話番号を登録するときは、同じ市内の場合でも必ず市外局番から登録してください。**
親機 「非通知」 子機 「ーヒツウチー」	相手の方が自分の番号を通知せずに、電話をかけているときに表示します。(「通常非通知（回線ごと非通知）」のとき、または「184」をつけてダイヤルしているときに表示します。)
親機 「表示圏外」 子機 「ーヒョウジケンガイー」	相手の方がサービスを行っていない地域から電話をかけてきたときやサービスの契約条件等により、番号が表示できないときに表示します。(国際電話、船舶電話、新幹線電話、VoIP 電話など)
親機 「公衆電話」 子機 「ーコウシュウデンワー」	相手の方が公衆電話から電話をかけているときに表示します。 公衆電話からでも相手の方が「184」をつけてダイヤルしたときは「非通知」になります。
親機 「受信エラー」 子機 「ージュシンエラーー」	回線の状態などで、相手の方の発信電話番号のデータを正しく受信できなかったときに表示します。
親機 「外線使用中」 子機 「チャクシン」	着信音が鳴る前に､NTT から相手の電話番号データを受信しています。この表示のときは、電話に出ることもかけることもできません。

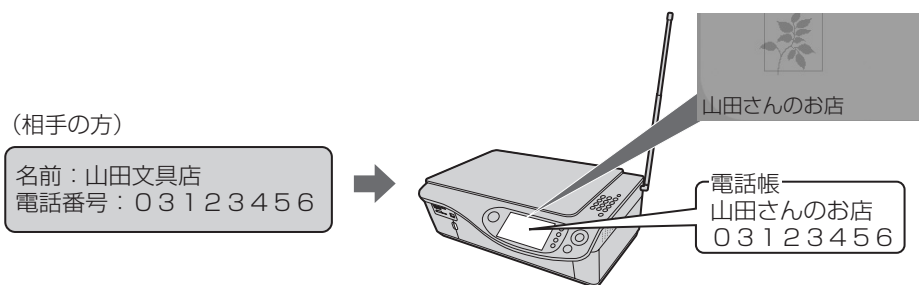
ネーム・ディスプレイを利用する

ネーム・ディスプレイを契約（有料）すると、電話に出る前に、かけてきた方の名前や会社名を画面に表示させることができます。（かけてきた方が番号通知・発信者通知を選択している場合のみ表示されます。）
子機はネーム・ディスプレイに対応していません。（通常の着信と同じ表示になります。）

このサービスをご利用の際は、ネーム・ディスプレイの利用契約のほかにナンバー・ディスプレイの利用契約（有料）が必要です。
サービスを契約したあとは、「ナンバー・ディスプレイ」の設定が「使用する」になっていることを確認してください（☞153ページ）。

電話がかかってきたときの画面表示について

ディスプレイ表示		着信情報
親機	子機	
池田 商店 ⇔ 0387654321	0387654321	電話帳に登録していなくても、かけてきた相手の方の名前（または会社名）と番号を交互に表示します。 このとき子機は番号のみを表示します。

● かかってきた電話番号が電話帳に登録している方と一致したときは、親機の電話帳に登録している名前を表示します。（かけてきた方が発信者名の情報を通知しなくても発信者番号が親機の電話帳に登録している電話番号と一致すると親機の電話帳に登録している名前を表示します。）親機の電話帳に登録していない方のときは、受信した発信者名を表示します。

お知らせ

- **電話をかけてきた方が発信者名を表示する設定にしていない場合、名前は表示されません。** ただし、その場合でも、電話番号が親機の電話帳に登録している番号と一致すると、親機の電話帳に登録している名前を表示します。
- 親機の電話帳に登録している内容によって発信者名の表示が異なることがあります。
- ネーム・ディスプレイでは、相手の方の名前または会社名を全角10ケタまで記録・表示します。
- 携帯電話・PHS・国際電話・公衆電話からの着信時、発信者名は表示されません。
- 本商品で表示できる漢字（JIS 第1水準およびJIS 第2水準）以外の漢字コードを受信した場合は、画面上に「※」を表示します。
- キャッチホン・ディスプレイ（☞157～159ページ）を利用されているときは、通話中にかかってきた相手の方の名前を表示します。

キャッチホン・ディスプレイを利用する

NTTのキャッチホン・ディスプレイを契約（有料）すると、子機で通話中にかかってきた相手の方の番号を確認してからキャッチホンに出ることができます（設定は親機で行います）。
また、子機の電話帳に登録されている相手の方からの場合は、電話帳に登録されている名前を表示します。

■ このサービスをご利用の際は、①〜③のサービスへの利用契約が必要です。

①ナンバー・ディスプレイ（有料）
②キャッチホン・ディスプレイ（有料）
③キャッチホン／キャッチホンⅡ／マジックボックス／ボイスワープ／話中転送サービス

※ ③についてはいずれかの契約（有料）が必要です。詳しくはNTT窓口へお問い合わせください。

■ サービスを契約したあとは、２つの設定をする必要があります。

下記の設定で、必ずキャッチホン・ディスプレイを「使用する」に設定してください。
また、ナンバー・ディスプレイが「使用する」になっていることを確認してください（☞153ページ）。

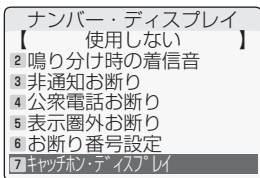
キャッチホン・ディスプレイを利用設定する

「キャッチホン・ディスプレイ」のサービスをご利用の時は、設定を必ず「使用する」にしてください。
（はじめは、「使用しない」に設定されています。）
※ サービスを契約しているのに、「使用しない」に設定していると、電話を受けられないことがあります。

1 ◯（登録/機能）を押し、
◎ で「詳細設定」を選ぶ

2 決定 を押し、◎ で
「ナンバー・ディスプレイ」を選ぶ

3 決定 を押し、◎ で
「キャッチホン・ディスプレイ」を選ぶ

ナンバー・ディスプレイ
【　　使用しない　　】
2 鳴り分け時の着信音
3 非通知お断り
4 公衆電話お断り
5 表示圏外お断り
6 お断り番号設定
7 ｷｬｯﾁﾎﾝ･ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ

4 決定 を押し、
◎ で「使用する」を選ぶ

・キャッチホン・ディスプレイを利用しないときは、「使用しない」を選び、決定ボタンを押します。

5 決定 を押す

・「使用する」に設定されます。

6 停止 を押す

■ 途中でやめるときは

停止 を押します。

■ １つ前に戻るときは

◯（戻る）を押します。

お知らせ

●キャッチホン・ディスプレイのサービスをご利用のとき、子機で電話を受けると、通話中にかかってきた電話も着信記録に残ります。（通話中にかかってきた電話に出ても出なくても、記録は残ります。）（☞163ページ）
●保留中、留守番電話動作中、ファクス送受信中は、電話番号や相手の方の名前などをディスプレイに表示しません。
●キャッチホン・ディスプレイは、NTT の他のサービスと併用して使用できない場合があります。詳しくはNTTにお問い合わせください。
・キャッチホン・ディスプレイを利用するときは、次の点に注意ください。
ファクス送信中／受信中にキャッチホンが入ると、ファクスの画像が乱れたり、通信エラーになることがあります。
・キャッチホンⅡを利用して、割り込み回数を「0」回に設定すると、割り込みが入らなくなりますので番号表示されません。
・子機のカナ／キャッチボタンを利用した後のみ、「おまかせ受信」機能が働きません。（ファクス受信するときは、機能ボタンを押してください。）
●ISDN回線のターミナルアダプタのアナログポートや構内交換機（PBX）に接続すると、キャッチホン・ディスプレイが使えない場合があります。
●キャッチホン・ディスプレイを契約後に、「使用しない」に設定されていると、電話がかかってきたときに、はじめに「ピポッ・ビュッ」という音が鳴ったあとキャッチホンの着信音が鳴ります。
●キャッチホン・ディスプレイで着信したときは、ナンバー・ディスプレイ機能の中の非通知お断りや公衆電話お断り、表示圏外お断り、お断り番号などは働きません。（相手の方にメッセージは聞こえません。）
●キャッチホン・ディスプレイをご利用にならない場合は、利用設定を「使用しない」に設定してください。お話し中の声で、キャッチホン・ディスプレイが働いて通話が途切れてしまうことがあります。
●１本の電話回線に２台以上の電話機などを接続（ブランチ式接続）してご利用の場合は、発信電話番号が正常に表示されないことがあります。
●通話中の声により通話が途切れる場合があります。
●キャッチホン着信時には、１秒程度の無音状態が発生します。
また、従来の着信表示音に加えて「ピッ」といった割り込み音が入ります。この割り込み音とお話し中の声が重なりますと電話番号の表示ができないことがあります。

通話中に電話がかかってきたときの画面表示について

着信の種類に合わせて、この部分に番号などを表示します。

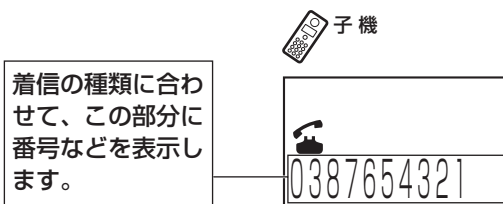



表　示	着　信　情　報
「0387654321」など （電話番号）	相手の方が自分の番号を通知して、電話をかけているときは、その番号を表示します。（「通常通知（通話ごと非通知）」のとき、または「186」をつけてダイヤルしているときに表示します。）
「イケダ サトシ」など （相手の方の名前）	子機の電話帳に登録されている相手の方が、番号を通知して電話をかけてきたときは名前を表示します。 **子機の電話帳に電話番号を登録するときは、同じ市内の場合でも必ず市外局番から登録してください。**
「ーヒツウチー」	相手の方が自分の番号を通知せずに、電話をかけているときに表示します。（「通常非通知（回線ごと非通知）」のとき、または「184」をつけてダイヤルしているときに表示します。）
「ーヒョウジケンガイー」	相手の方がサービスを行っていない地域から電話をかけてきたときや、サービスの契約条件等により、番号が表示できないとき表示します。 （国際電話、船舶電話、新幹線電話、VoIP 電話など）
「ーコウシュウデンワー」	相手の方が公衆電話から電話をかけているときに表示します。 公衆電話からでも相手の方が「184」をつけてダイヤルしたときは「非通知」になります。
「ージュシンエラーー」	回線の状態などで、相手の方の発信電話番号のデータを正しく受信できなかったときに表示します。

お知らせ

●キャッチホン・ディスプレイの割り込み着信表示は、約30秒間表示されたあと、通話中表示に戻ります。
●次のようなときは、電話番号を表示しない場合があります。
・大きな声で通話しているとき
・周囲が騒がしいとき
・設置場所からNTTの交換機まで距離が離れすぎているとき

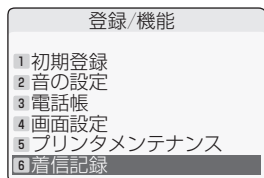
親機で着信記録を使う

ナンバー・ディスプレイやネーム・ディスプレイ、キャッチホン・ディスプレイ（☞153〜159ページ）を契約（有料）すると、着信記録が最大30件まで記録されます。着信記録の番号や、電話帳に登録している名前をディスプレイに表示することができます。30件を超えると古い着信記録から消去されます。
また、着信記録の番号にファクスを送る、着信記録の番号を電話帳に登録する、などの操作ができます。

着信記録を表示する

1 ◯（登録/機能）を押し、
　　で「着信記録」を選ぶ

登録/機能

1 初期登録
2 音の設定
3 電話帳
4 画面設定
5 プリンタメンテナンス
6 着信記録

2 決定 を押して着信記録一覧を表示する

・着信した相手の方の番号（電話帳に登録しているときやネーム・ディスプレイを利用されているときは名前）と日付・時刻を表示します。
・　で１件古い着信記録、　で１件新しい着信記録が選択されます。

■ 着信記録の表示をやめるときは

停止 を押します。

■ 着信記録の一覧をプリントするときは

① ◯（登録/機能）を押し、　で「詳細設定」を選ぶ
② 決定 を押し、　で「リストプリント」を選ぶ
③ 決定 を押し、　で「着信記録リスト」を選ぶ
④ 決定 を押し、　で「する」を選ぶ
⑤ 決定 を押す

■ 親機の着信記録を１件ずつ消去するときは

① ◯（登録/機能）を押し、　で「着信記録」を選ぶ
② 決定 を押して着信記録一覧を表示する
③ 　で、消去する着信記録を選び、◯（消去）を押す
④ もう一度、◯（消去）を押す
（選択されている着信記録が一件、消去されます。）
⑤ 停止 を押す

■ 着信あり表示を設定するには

着信あり表示を「あり」に設定しておくと、着信を受けられなかったり、留守応答する前に切れてしまった場合などに、「着信がありました」と待受画面に表示してお知らせします。はじめは「なし」に設定されています。設定を変更するときは、下記の手順で変更してください。

① ◯（登録/機能）を押し、　で「詳細設定」を選ぶ
② 決定 を押し、　で「ナンバー・ディスプレイ」を選ぶ
③ 決定 を押し、　で「着信あり表示」を選ぶ
④ 決定 を押し、　でどちらかの項目を選ぶ
⑤ 決定 を押す
⑥ 停止 を押す

■ 親機の着信記録をすべて消すときは

① ◯（登録/機能）を押し、　で「詳細設定」を選ぶ
② 決定 を押し、　で「全消去メニュー」を選ぶ
③ 決定 を押し、　で「着信記録」を選ぶ
④ 決定 を押し、　で 「全消去する」を選ぶ
⑤ 決定 を押す

着信記録を使ってファクスを送る

かかってきた番号は最大30件まで記録されていますので、その番号を表示してファクスを送ることができます。

1 原稿をセットする（☞89ページ）

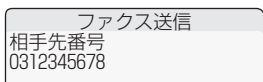
・送信する面を下にしてセットします。

2 ◯（登録/機能）を押し、◎で「着信記録」を選ぶ

3 決定 を押す

・最後にかかってきた相手の方の番号を表示します。（親機の電話帳に登録しているときは名前を表示します。）

4 ◎で選び、決定 を押す

ファクス送信
相手先番号
0312345678

・原稿台を使用して複数枚送信するときは、１枚目読込み終了後に続けて読込めます
・◎で１件古い着信記録、◎で１件新しい着信記録が選択されます。

5 ◯（カラー /モノクロ）を押して設定を切り替えたあと、決定 を押す

UX-MF40CL／UX-MF40CWでADFをお使いのとき
→続いて手順7へ

・カラーファクスするときは設定を「カラー」に、モノクロファクスをするときは設定を「モノクロ」に切り替えてください。
モノクロ送信時の画質を選ぶときは、◯（画質）を押します。くわしくは、「ファクス送信時の画質について」（☞94ページ）をご覧ください。
・原稿台使用時に、複数の原稿があるときは、読み込みが終了したあと、次の原稿をセットして、もう一度 決定 を押します。
・読み込みを途中でやめるときは、◯（読込み中止）を押します。

6 原稿台使用時は、 を押す

7 送信が始まる

・送信を途中でやめるときは、停止 を押します。このとき、FAX自動再ダイヤルの設定（☞95ページ）が「する」になっていると、FAX送信待ちの状態になります。送信を取り消すには、◯（送信待ちリスト）を押してから、決定 を2回押します。
・ファクス送信が終わると終了音が聞こえ、自動的に回線が切れます。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **「通信エラーがありました。」と聞こえたら（☞187ページ）**

お知らせ

●着信記録は親機と子機で別々に記録しています。
●着信を受けられなかったり、電話を受ける前に相手が切った場合でも着信記録が表示されます。
●「非通知お断り」「公衆電話お断り」「表示圏外お断り」「お断り番号」を設定している場合も、着信記録が表示されます。
●親機では、ナンバー・ディスプレイを契約していないときでも、着信のあった日付・時刻を表示します。
●読み込み中にメモリーがいっぱいになると、読み込みの終了した分の原稿を送信します。メモリーがいっぱいの状態で、１枚も読み込めなかったときは待受画面に戻ります。

着信記録を電話帳に登録する

着信記録の中の電話番号を親機の電話帳に登録することができます。

1 ◯（登録/機能）を押し、
 で「着信記録」を選ぶ

2 決定 を押す

3 で登録する番号を選ぶ

・ で１件古い着信記録、 で１件新しい着信記録が選択されます。

4 ◯（新規登録）を押す

5 名前を入れる
（最大全角10文字／半角20文字）

・文字の入力方法は 69 ～ 72 ページをご覧ください。
・名前の入力を省略するときは、決定 を押して手順8に進みます。
名前を入力しないで電話番号を登録すると、名前のところに電話番号が表示されます。

6 決定 を押す

・「読み」に変更があれば修正します。
「読み」は半角文字で最大20文字まで入力できます。
・名前に「。」や「、」があるときは自動的に「読み」は半角のスペースに変わっています。

7 「読み」が正しければ
決定 を押す

8 決定 を押す

9 メールアドレスを入れる
（最大半角50文字）

・メールアドレスの入力は省略できます。省略するときは、この手順をとばして手順10に進んでください。

10 決定 を押す

11 停止 を押す

■ 途中でやめるときは
停止 を押します。

■ １つ前に戻るときは
◯（戻る）を押します。

■ 文字を入力するときは（☞69～72ページ）

■ 親機の電話帳の内容を１件ずつ消すときは
（☞68ページ）

■ 親機の電話帳の内容をすべて消去するときは
（☞195ページ）

お知らせ
●発信電話番号情報がない場合や、受信エラーなどのときは、電話帳に登録することはできません。

子機で着信記録を使う

ナンバー・ディスプレイやキャッチホン・ディスプレイ（☞153～159ページ）を契約（有料）すると、着信記録が最大20件まで記録されます。着信記録の番号や電話帳に登録している名前を、ディスプレイに表示することができます。20件を超えると古い着信記録から消去されます。
また、着信記録の番号に電話をかける、着信記録の番号を電話帳に登録する、などの操作ができます。

着信記録を表示する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 ◁ を２回押す

着信記録
0312345678

・最後にかかってきた相手の方の番号を表示します。子機の電話帳に登録しているときは名前を表示します。
・再ダイヤルを消去しているときは ◁ を１回押すとエラー音が鳴りますが、そのまま２回目を押すと着信記録を表示します。

2 ▲▼ で選ぶ

・▼ で１件古い着信記録、▲ で１件新しい着信記録を表示します。
・選んだあと ▷ を押すと着信のあった日付・時刻を表示します。

■ **着信記録の表示をやめるときは**
切 を押します。

■ **子機の着信記録をすべて消すときは**
① 通話 を消灯させた状態で、機能 を押す
② ▲▼ で「チャクシンキロククリア」を選ぶ
③ 機能 を押す
④ もう一度、機能 を押す

着信記録を使って電話をかける

かかってきた番号は最大20件まで記録されていますので、その番号を表示して電話をかけることができます。

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 ◁ を２回押す

着信記録
0312345678

・最後にかかってきた番号を表示します。子機の電話帳に登録しているときは名前を表示します。
・再ダイヤルを消去しているときは ◁ を１回押すとエラー音が鳴りますが、そのまま２回目を押すと着信記録を表示します。

2 ▲▼ で選び、通話 を押す

・▼ で１件古い着信記録、▲ で１件新しい着信記録を表示します。

3 通話が終わったら
充電器に戻す

・充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

■ **途中でやめるときは**
切 を押します。

お知らせ

●発信電話番号情報がない場合や、受信エラーなどのときは、電話をかけることはできません。
●着信記録は親機と子機で別々に記録しています。
●電話に出られなかったり、電話を受ける前に相手が切った場合でも着信記録が表示されます。
●「非通知お断り」「公衆電話お断り」「表示圏外お断り」「お断り番号」を設定している場合も、着信記録が表示されます。

着信記録を電話帳に登録する

着信記録の中の電話番号を子機の電話帳に登録することができます。

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 **を２回押す**

着信記録
0312345678

2 **で登録する番号を選び、**
機能 を押す

ナマエ?

3 **名前を入れる（最大12文字）**

ミウラ サオリ

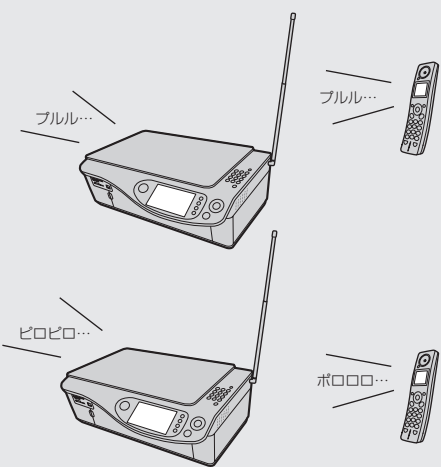
・名前の入力を省略するときは機能ボタンを押すと登録を完了します。

4 **機能 を押す**

ノコリ 16

・「ピー」と鳴って、残りの登録可能件数が表示され、待受画面に戻ります。

■ **途中でやめるときは**
切 を押します。

■ **子機の電話帳の内容を消すときは**
（☞74ページ）

■ **文字を入力するときは****（☞75〜77ページ）**

お知らせ
●発信電話番号情報がない場合や、受信エラーなどのときは、電話帳に登録することはできません。
●登録中に電話がかかってくると、登録は中止されます。はじめからやり直してください。

着信鳴り分けを利用する

NTTのナンバー・ディスプレイを契約（有料）すると、電話がかかってきたときに、親機では、「親機の電話帳に登録されている相手の方」からの着信に合わせて着信音を変えることができます。子機では、「子機の電話帳に登録している方」、「非通知」、「公衆電話」、「表示圏外」からの着信に合わせて着信音を変えることができます。
はじめは、親機は「2：なし」、子機は「解除」に設定されています。

着信鳴り分けを設定していない相手の方のとき

親機では、42ページで設定した着信音が鳴ります。
子機では、43ページで設定した着信音が鳴ります。

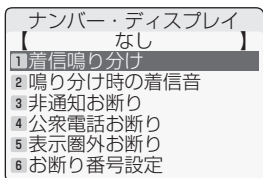
着信鳴り分けを設定した相手の方のとき

親機では、親機の電話帳に登録されている方のみ166ページで設定した着信音が鳴ります。
子機では、着信の種類に合わせて167ページで設定した着信音が鳴ります。

親機の鳴り分けを設定する

1 ◯（登録/機能）を押し、
で「詳細設定」を選ぶ

2 決定 を押し、
で「ナンバー・ディスプレイ」を選ぶ

3 決定 を押し、
で「着信鳴り分け」を選ぶ

4 決定 を押し、
で「あり」を選ぶ

・「なし」を選んで決定ボタンを押すと「親機の着信鳴り分け」を解除します。

5 決定 を押す

・「あり」に設定されます。

6 停止 を押す

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

◯（戻る）を押します。

お知らせ

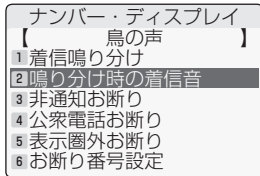
●かかってくる相手の方ごとに着信音を変えることはできません。

親機の鳴り分け時の着信音を選ぶ

着信鳴り分け時の着信音を選びます。

1 (登録/機能)を押し、
で「詳細設定」を選ぶ

2 決定 を押し、で
「ナンバー・ディスプレイ」を選ぶ

3 決定 を押し、
で「鳴り分け時の着信音」を選ぶ

4 決定 を押し、で着信音を選ぶ

・「電話ベル音」「鳥の声」「電子音」の3種類から選べます。

5 決定 を押す

6 停止 を押す

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**
(戻る)を押します。

子機の鳴り分けを設定する／着信音を選ぶ

「子機の電話帳に登録している方」「非通知の電話」「公衆電話」「表示圏外」の４項目ごとに着信音を変えることができます。

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 （機能）を押し、（十字キー）で
「チャクシンナリワケ」を選ぶ

チャクシンナリワケ

2 （機能）を押し、（十字キー）で
鳴り分けをしたい項目を選ぶ

・「デンワチョウ」「ヒツウチ」「コウシュウデンワ」「ヒョウジケンガイ」の4項目から選べます。

3 （機能）を押す

▲▼:ネイロセンタク

・すでに設定している場合は、設定している着信音が鳴ります。

4 （十字キー）で着信音を選ぶ

・選ぶたびに、着信音（確認音）が鳴ります。

01	「プルルル　プルルル」
02	「ポロロロ　ポロロロ」
03	「ピロン　ピロン」
04	「ショートメロディー①」
05	「ショートメロディー②」
06	「展覧会の絵」
07	「エリーゼのために」
08	「のばら」
09	「春」
10	「森のくまさん」

5 （機能）を押す

・「ピー」と鳴って着信鳴り分けが設定され、待受画面に戻ります。

■ **途中でやめるときは**
（切）を押します。

■ **子機の着信鳴り分けを解除するときは**
着信音を選ぶ手順（左記手順4）で、「ピピッ」と鳴るまで（十字キー）を押して、（機能）を押します。

お知らせ

●かかってくる相手の方ごとに鳴り分けを設定することはできません。

着信お断りを使う

電話がかかってきたときに、「非通知の電話」「公衆電話からの電話」「表示圏外からの電話」など着信の種類に合わせて、お断りのメッセージを流すことができます。こちら側では着信音は鳴りません。
お買い求め時は「1：なし」に設定されています。

お断りに設定すると

「非通知お断り」のとき

「公衆電話お断り」「表示圏外お断り」のとき

お知らせ

●お断り応答にしたときは、緊急の用件でも着信音が鳴りませんのでご注意ください。

非通知・公衆電話・表示圏外お断りを設定する

1 ◯（登録/機能）を押し、
◎ で「詳細設定」を選ぶ

2 (決定) を押し、◎ で
「ナンバー・ディスプレイ」
を選ぶ

非通知お断りを設定するとき

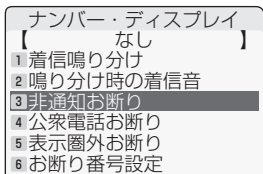
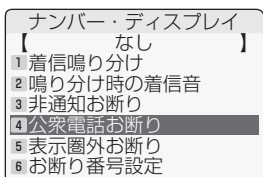
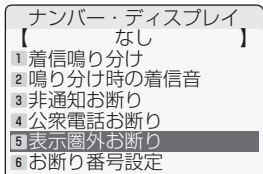
3 (決定) を押し、
◎ で「非通知お断り」を選ぶ

公衆電話お断りを設定するとき

3 (決定) を押し、
◎ で「公衆電話お断り」を選ぶ

ナンバー・ディスプレイ
【　なし　】
1 着信鳴り分け
2 鳴り分け時の着信音
3 非通知お断り
4 公衆電話お断り
5 表示圏外お断り
6 お断り番号設定

表示圏外お断りを設定するとき

3 (決定) を押し、
◎ で「表示圏外お断り」を選ぶ

4 (決定) を押し、
◎ で「お断り」を選ぶ

- **「なし」**　：
お断りを使用しません。
- **「お断り」**：
お断りメッセージを流して、電話を切ります。

5 (決定) を押す

6 停止 を押す

- 「お断り」にしたときは相手の方には着信音が２回鳴ったあと、メッセージが３回流れて電話が切れます。

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

■ **１つ前に戻るときは**
◯（戻る）を押します。

お知らせ
●非通知・公衆電話・表示圏外お断りを設定しても、ナンバー・ディスプレイの契約をしていない場合は、お断りのメッセージは流れません。

特定番号お断りを使う

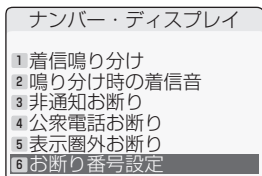
電話を受けたくない相手先の電話番号を、「お断り番号」として登録することができます。
登録した相手先から電話がかかってくると、こちら側の着信音を鳴らさずに、相手先へお断りのメッセージを流すことができます。

お断りしたい番号を登録する

1 ◯（登録/機能）を押し、
◎で「詳細設定」を選ぶ

2 決定を押し、
◎で「ナンバー・ディスプレイ」を選ぶ

3 決定を押し、
◎で「お断り番号設定」を選ぶ

ナンバー・ディスプレイ
1 着信鳴り分け
2 鳴り分け時の着信音
3 非通知お断り
4 公衆電話お断り
5 表示圏外お断り
6 お断り番号設定

4 決定を押す

5 ◯（新規登録）を押す

6 電話番号を入れる（最大20ケタ）

- 電話番号を登録するときは、同じ市内の場合でも必ず市外局番から登録してください。市外局番を登録しないと通常の着信となり、着信音が鳴ります。
- 番号を入れまちがえたときは、◯（取消）を押して、もう一度入れ直します。

7 決定を押す

- 手順5～7をくり返して、最大30件までの番号を登録できます。

8 停止を押す

■ **途中でやめるときは**
停止を押します。

■ **１つ前に戻るときは**
◯（戻る）を押します。

■ **登録したお断り番号を１件ずつ消すときは**
① ◯（登録/機能）を押し、◎で「詳細設定」を選ぶ
② 決定を押し、「ナンバー・ディスプレイ」を選ぶ
③ 決定を押し、◎で「お断り番号設定」を選ぶ
④ 決定を押す
⑤ ◎で消去するお断り番号を選ぶ
⑥ ◯（消去）を２回押す
（続けて他の登録番号を消すときは、⑤～⑥をくり返す）
⑦ 停止を押す

■ **登録したお断り番号をすべて消すときは**
① ◯（登録/機能）を押し、◎で「詳細設定」を選ぶ
② 決定を押し、◎で「全消去メニュー」を選ぶ
③ 決定を押し、◎で「お断り番号」を選ぶ
④ 決定を押し、◎で「全消去する」を選ぶ
⑤ 決定を押す

お知らせ

- ●お断りする番号を登録したときは、緊急の用件でも着信音が鳴りませんので、ご注意ください。（親機のディスプレイが点灯します。）
- ●お断り番号の登録（最大30件）ごとに別々の受けかたを設定することはできません。
- ●お断り番号を登録しても、ナンバー・ディスプレイに契約していない場合は、お断りのメッセージは流れません。
- ●お断りする番号からの着信があった場合の着信音の回数は２回です。変更することはできません。

子機で声が聞こえにくいときは

44ページの操作で、受話音量、スピーカーの音量を調整しても、まだ声が聞こえにくいときは、次の操作で音量を変更してください。
各項目（ディスプレイ表示）を選ぶときはマルチファンクションキーの で選びます。
工場出荷時は に設定されています。

子機送話音量を調整する

はたらき	子機使用中、こちらの声が相手の方に聞こえにくいときに、親機で音量を切り替えることができます。
手順	親機で設定します （登録/機能） ➡ 「**音の設定**」を選ぶ ➡ 決定 ➡ 「**子機音量調整**」を選ぶ ➡ 決定 ➡ 「**子機送話音量切替**」を選ぶ ➡➡ ➡➡ 決定 ➡ 1：**小** 2：**標準** 3：**大** から選ぶ ➡ 決定 ➡ ●続けて「子機受話音量」の設定ができます。 ●終了するときは 停止 を押す。

子機受話音量を調整する

はたらき	子機使用中、相手の方の声が聞こえにくいときに、親機で音量を切り替えることができます。
手順	親機で設定します （登録 / 機能） ➡ 「**音の設定**」を選ぶ ➡ 決定 ➡ 「**子機音量調整**」を選ぶ ➡ 決定 ➡ 「**子機受話音量切替**」を選ぶ ➡➡ ➡➡ 決定 ➡ 1：**小** 2：**標準** 3：**大** から選ぶ ➡ 決定 ●続けて「子機送話音量」の設定ができます。 ●終了するときは 停止 を押す。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

（戻る）を押します。

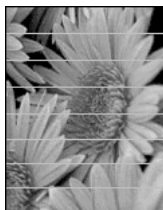
お知らせ

●回線調整（☞200ページ）の設定を「小」にすると、子機の送話・受話音量がすべて「小」に変更されます。（「標準」にすると、すべて「標準」に変更されます。）
●音量を「大」にすると、回線の状況によっては、音が割れたり響いたりすることがあります。こんなときは音量を「標準」にしてください。

印刷の画質が悪いときは

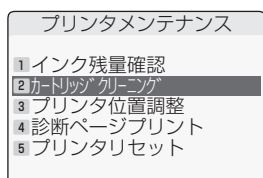
印刷物に横縞が目立つなど、コピーやプリント時の画質に問題があるときは、下記の操作でカートリッジクリーニングやプリンタの位置調整を行ってください。

カートリッジクリーニングをする

インクカートリッジクリーニングは、悪くなった画質を向上させる操作です。
図のような状態になったら操作してください。

1 A4サイズの普通紙をセットする
（☞37ページ）

2 ◯（登録/機能）を押し、
◎ で「プリンタメンテナンス」を選ぶ

3 (決定) を押し、◎ で
「カートリッジクリーニング」を選ぶ

プリンタメンテナンス
1 インク残量確認
2 カートリッジ クリーニング
3 プリンタ位置調整
4 診断ページプリント
5 プリンタリセット

4 (決定) を押し、◎ でクリーニングのレベルを選ぶ

・レベル１～３を選択します。レベルが高くなるにつれて細部にわたりクリーニングしますが、インクの使用量とクリーニングにかかる時間が増えます。レベル１はインクの使用量、時間ともに最少です。レベル１のクリーニングを行っても画質が不十分なときに、レベル２もしくはレベル３を実行してください。

5 (決定) を押し、◎ で「する」を選ぶ

6 (決定) を押す

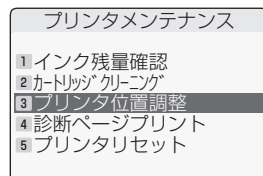
・カートリッジクリーニングが始まります。終了するとクリーニング結果をプリントします。「診断ページをプリントする」（☞173ページ）手順5の、図Bのような状態になればクリーニングは完了です。

プリンタ位置調整をする

カートリッジクリーニングをしても画質が改善しないときに操作してください。プリンタの位置調整を自動で行います。調整後に自動でプリントします。

1 A4サイズの普通紙をセットする

2 ◯（登録/機能）を押し、
◎ で「プリンタメンテナンス」を選ぶ

3 (決定) を押し、◎ で「プリンタ位置調整」を選ぶ

4 (決定) を押し、◎ で「する」を選ぶ

5 (決定) を押す

・調整が始まりプリントします。調整中やプリント中は、操作パネルを開けないでください。

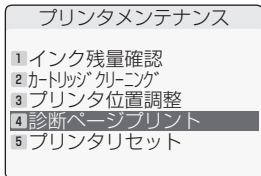
診断ページをプリントする

印刷の状態を確認するための、診断ページをプリントする操作です。
印刷の画質が良くないときに、診断ページをプリントして確認してください。

1 A4サイズの普通紙をセットする
（☞37ページ）

2 ◯（登録/機能）を押し、
で「プリンタメンテナンス」を選ぶ

3 決定 を押し、
で「診断ページプリント」を選ぶ

プリンタメンテナンス
1 インク残量確認
2 カートリッジクリーニング
3 プリンタ位置調整
4 診断ページプリント
5 プリンタリセット

4 決定 を押し、 で「する」を選ぶ

5 決定 を押す

・診断ページをプリントします。下図Aのように、プリントされたパターンに印刷されていない部分があるときは、カートリッジクリーニング（☞172ページ）を行ってください。
下図Bのような状態になれば、印刷状態に問題はありません。

A（印刷されていない部分がある状態）

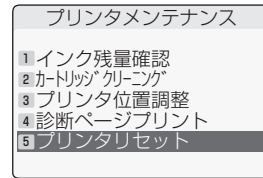
B（正常な状態）

プリンタリセットをする

プリンタエラーが発生したときや、詰まった記録紙を取りのぞいたあとに操作してください。

1 ◯（登録/機能）を押し、
で「プリンタメンテナンス」を選ぶ

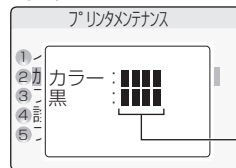
2 決定 を押し、
で「プリンタリセット」を選ぶ

プリンタメンテナンス
1 インク残量確認
2 カートリッジクリーニング
3 プリンタ位置調整
4 診断ページプリント
5 プリンタリセット

3 決定 を押し、 で「する」を選ぶ

4 決定 を押す

・プリンタリセットを行います。

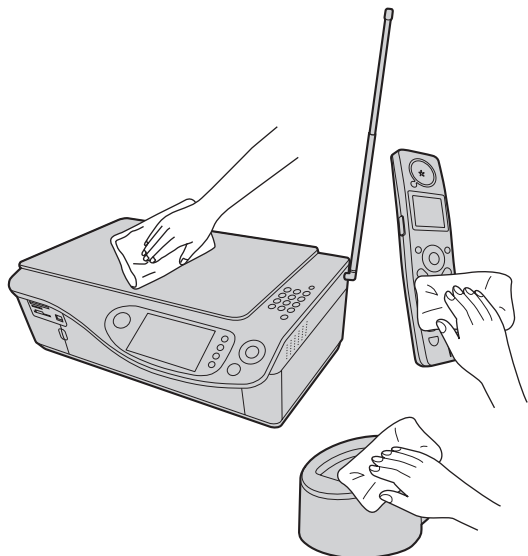
■ インクの残量を確認するときは

① ◯（登録/機能）を押し、 で「プリンタメンテナンス」を選ぶ
② 決定 を押し、 で「インク残量確認」を選ぶ
③ 決定 を押す
インク残量（めやす）が表示されます。
（例）

▮の数が残量のめやすです。
（4つが最大）

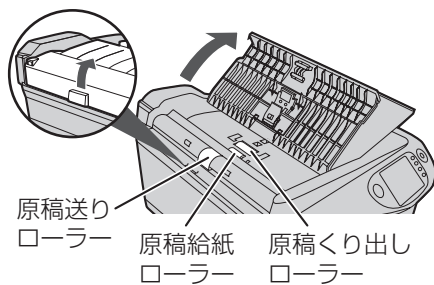
④ 停止 を押す

お手入れのしかた

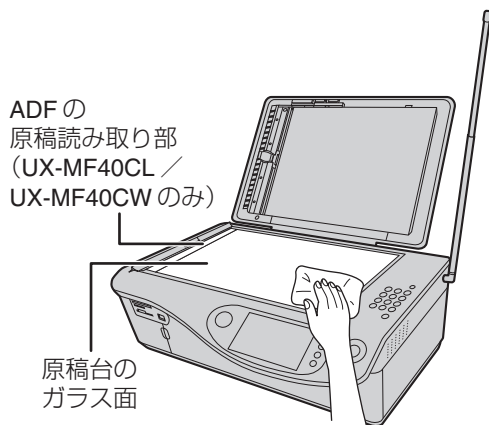
親機や子機本体、充電器を清掃する

親機の表面や、子機・充電器の表面のお手入れには、乾いた柔らかい布をお使いください。

汚れのひどいときは、水を含ませて硬くしぼった布でふいてください。その後、もう一度乾いた柔らかい布で水分をふき取ってください。
内部の機構にはさわらないようにしてください。

ローラーを清掃する（UX-MF40CL／UX-MF40CWのみ）

①カバーを開ける

② ローラーを乾いた柔らかい布でふく
原稿給紙ローラーと原稿くり出しローラーは、回しながらふいてください。原稿送りローラーは、回さずにふいてください。
汚れのひどいときは、水を含ませて硬くしぼった布でふいてください。

原稿台・原稿読み取り部を清掃する

ガラス面は、水を含ませて硬くしぼった布でふいてください。

原稿台のガラス面や、ADFの原稿読み取り部（UX-MF40CL／UX-MF40CWのみ）が汚れていると、ファクス送信時やコピー時の画質が悪くなります。こまめにお手入れしてください。

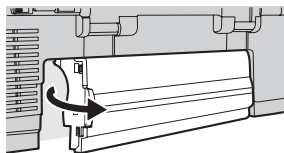
お知らせ

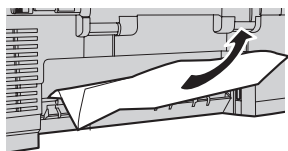
●アルコール、ベンジン、シンナーなど、揮発性のものは使わないでください。
（変色、変形、変質や故障の原因になります。）

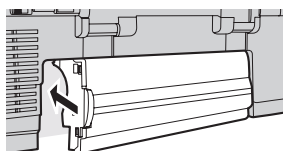
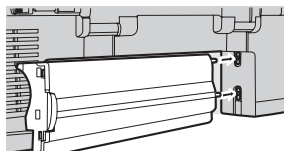
用紙や原稿が詰まったときは

用紙が詰まったときは

下記の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

1 本体背面のUターンユニットを取り外す

・左側のノブを持って、右側に寄せてから右手前に引くようにして取り外します。

2 詰まった紙を取り除く

・ゆっくりと用紙が破れないように取り除きます。破れたときは、紙片が親機の中に残らないように取り除いてください。

3 Uターンユニットを取り付ける

・右側の突起を、親機背面の穴に差し込んでから、「カチッ」と音がするまで左側を押し込みます。

4 プリンタリセット（☞173ページ）を行う

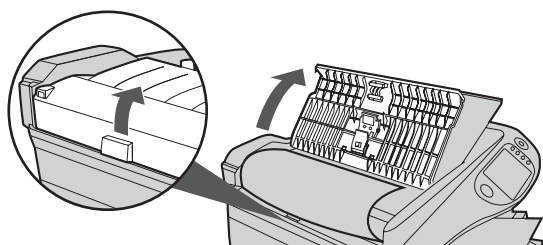
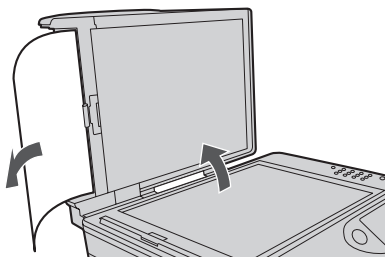
・待受画面に戻っていないときは、停止 を押してください。

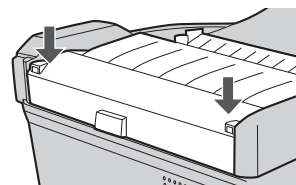
お知らせ

●Uターンユニットは確実に取り付けてください。Uターンユニットがゆるんでいると、用紙が詰まる原因になります。

原稿が詰まったときは（UX-MF40CL／UX-MF40CWのみ）

ADFに原稿が詰まったときは、下記の手順で詰まった原稿を取り除いてください。

1 ADFのカバーを開ける

2 原稿カバーを開けて、詰まった原稿を取り除く

・ゆっくりと原稿が破れないように取り除きます。原稿は、必ず矢印の方向へ引いてください。
・破れたときは、紙片がADFの中に残らないように取り除いてください。

3 原稿カバーを閉じたあと、ADFのカバーを閉じる

・カバーが正しく閉じていないと、原稿が詰まる原因となることがあります。「カチッ」と音がするまで、カバーの両端を押して閉じてください。

こんなときは（親機）

こんなときは		●原因　→対応	参照ページ
動作しない		●電話機コードや電源コードがはずれていませんか？ →電話機コード、電源コードをしっかりと接続します。それでも動作しないときは、お買いあげの販売店にご相談ください。 全く動作しないときなど、「強制リセット」すると正常に動作することがあります。	23 192
着信音が…	鳴らない （聞こえにくい）	●着信音を「切」に設定していませんか？（着信音が小さすぎませんか？） →着信音の音量を変えます。 ●子機を優先呼出に設定していませんか？ →優先呼出を解除します。 ●「受信モード」の設定を「FAX優先」または「FAX専用」に設定していませんか？ →「設定しない」に設定します。	42 58 199
	設定している音とちがう	●ナンバー･ディスプレイを契約しているときは、着信鳴り分けの機能が働いている可能性があります。 ●受信モードを「FAX 優先」に設定していると相手の方から電話がかかってきたときは「電話ベル音」が鳴ります。	165 199
用紙が…	よく詰まる（送り込まれない）	●よくさばいてからセットしていますか？ →よくさばいて紙の先端をそろえてから、そっと置くようにセットします。 ●用紙を入れすぎていませんか？ →一度に入れすぎないようにしてください。 ●当社推奨品をお使いですか？ →当社推奨品をお使いください。 ●本体背面の U ターンユニットがゆるんでいませんか？ →取り付け直します。	― 37 193～194 175
	白紙で出てくる	●コピーをしているときは、原稿を裏向きにセットしていますか？ →正しくセットしてください。 ●ファクス受信をしているときは、相手の方が原稿の裏表をまちがえてセットしているかもしれません。 →相手の方に確認します。	89 ―
ADF で原稿が送り込まれない		●ADFのローラーが汚れていませんか？ →ローラーを清掃してください。	174

こんなときは		●原因　→対応	参照ページ
コピーすると…	白紙で出てくる	●原稿が表向きにセットされていませんか？ →裏向きにセットします。	89
	画像が悪い	●原稿台（ガラス面）が汚れていませんか？ →汚れをふき取ります。 ●用紙やインクカートリッジは当社の推奨品をお使いですか？ →当社の推奨品をご使用ください。 ●ADF を使用した場合、先端部に色ムラがでることがあります。 →原稿台を使用してください。	174 193～194 89
ファクスを…	送れない	●電話機コードは正しく接続されていますか？ →正しく接続します。 ●回線種別は合っていますか？ →正しく設定します。 ●原稿は正しくセットされていますか？ →正しくセットしてください。 ●相手の方のファクスの用紙がなくなっているかもしれません。 →相手の方に確認します。	23 29 89 —
	受けられない	●電話機コードは正しく接続されていますか？ →正しく接続します。 ●メモリーがいっぱいになっていませんか？ →受信データを消去します。 不要な録音を消去します。 ●在宅モード時のコール回数を 7 回以上でお使いのとき、相手の方が自動送信していませんか？ （相手の方のファクシミリが送信を中止してしまうことがあります。） →在宅モード時のコール回数を６回以下に設定してください。 ●着信音の回数が「無制限呼出」になっていませんか？ お買いあげ時の設定は「無制限呼出」になっています。 →着信音が鳴っているあいだに子機を取って、ファクスを受信してください。 ●留守設定などで、応答メッセージを流してファクスを受けるときは、「応答メッセージ待ち時間」や「発信音待ち時間」が短いと、受信できないことがります。 →それぞれの待ち時間の設定を長くしてください。	23 87、109 101 101、102 197

※ ADSL をご利用の場合、ADSL の影響を受けて上記の現象が起こることがあります。184 ページも参照してください。

こんなときは		●原因　→対応	参照ページ
ファクスを送信したが…	終了音が鳴らない	●終了音を「なし」にしていませんか？ →終了音を「アラーム音」にします。	136
	相手の方の用紙に何もプリントされない	●原稿を表向きにセットしていませんか？ →原稿の送る面を裏向きにセットします。	89
	相手の方に届いたファクスの画像が悪い	●原稿台（ガラス面）が汚れていませんか？ →汚れをふき取ります。 ●ADF を使用した場合、先端部に色ムラがでることがあります。 →原稿台を使用してください。	174 89
	「応答がありません」と表示される	●電話帳を使ってファクスを送るときは、相手の方がファクス受信に切り替わっていないと送れないことがあります。 →相手の方に確認して、ファクスが届いていないときは、もう一度送信します。 （「FAX自動再ダイヤル」を「する」に設定されているときは、最大３回まで自動で再送信します。）	－
	「通信エラー」と表示されている	●ファクス送信が正しく行われていません。回線の状態や相手のファクシミリの状態（用紙がないなど）によって正しく送信できないことがあります。 →相手の方に確認して、ファクスが届いていないときは、もう一度送信します。 ●キャッチホンをご利用のときでファクス通信中に、他の方から着信がありませんでしたか？ →相手の方に確認して、ファクスが届いていないときは、もう一度送信します。	－ －
ファクスを受信したが…	受信内容が白紙になっている	●相手の方がファクスを送るときに原稿の向きを裏表逆にセットしている場合もあります。 →相手の方に確認します。	－
	ファクスの画像が悪い	●用紙やインクカートリッジは当社の推奨品をお使いですか？ →当社の推奨品をご使用ください。 ●雷が鳴っていませんでしたか？ →回線の状態が悪くなっていることがあります。相手の方に、もう一度送信を依頼します。 ●キャッチホンを利用していませんか？ （受信中に電話がかかると画像が乱れることがあります。） →相手の方に、もう一度送信を依頼します。	193～194 － －

※ ADSL をご利用の場合、ADSL の影響を受けて上記の現象が起こることがあります。184 ページも参照してください。

こんなときは		●原因　→対応	参照ページ
ファクスを受信したが…	「通信エラー」と表示されている	●ファクス受信が正しく行われていません。回線の状態や相手のファクシミリの状態によって正しく受信できないことがあります。 →相手の方に、もう一度送信を依頼します。	―

※ ADSL をご利用の場合、ADSL の影響を受けて上記の現象が起こることがあります。184 ページも参照してください。

こんなときは		●原因　→対応	参照ページ
プリントできない		●電源コードがはずれていませんか？ →電源コードをしっかりと接続します。	23
		●メモリーカードやデジタルカメラは正しく接続されていますか？ →メモリーカードやデジタルカメラを正しく接続します。	111、113
		●インクカートリッジは正しく取り付けられていますか？ →インクカートリッジを正しく取り付けます。	31
		●操作パネルは閉じていますか？ →操作パネルを閉じます。	31
		●用紙トレイに用紙をセットしていますか？ →用紙をセットします。	37
プリントの画質が悪い		●インクカートリッジのクリーニングをおこないます。	172
		●用紙やインクカートリッジは当社の推奨品をお使いですか？ →当社の推奨品をご使用ください。	193～194
		●インクカートリッジがインク残量不足になっていませんか？ →インク残量不足になっているカートリッジがあれば交換します。	33
留守モードに設定しても…	用件録音できない（用件録音されていない）	●メモリーがいっぱいになっていませんか？ →受信データを消去します。 不要な録音を消去します。	87、109
	留守モードを解除して再生しても留守ボタンが2回点滅している	●未再生の録音がありませんか？ →未再生の録音を再生します。	85
ディスプレイに FAX 優先 /FAX 専用の表示が出ない		●留守モードに設定していませんか？ →留守設定を解除します。	84
FAX 優先や FAX 専用にしているのに、着信時、留守の応答メッセージが流れてしまう		●留守モードに設定していませんか？ →留守設定を解除します。	84
リモート操作で応答メッセージが流れない		●暗証番号を登録していますか？ →暗証番号を登録します。	139

こんなときは（子機）

こんなときは		●原因　→対応	参照ページ
動作しない		●充電池のコネクタが外れていませんか？ →正しく接続します。	38
		●充電池の容量が少なくなっていませんか？ →充電器に子機をセットして充電します。	39
電話を…	かけられない／受けられない	●親機の電源コードや電話機コードは正しく接続されていますか？ →正しく接続します。	23
		●停電になっていませんか？ →停電のときは電話をかけることはできません。	191
		●別の所で親機や他の子機を使用していませんか？ →使用が終わってから電話をかけます。	―
		●充電池のコネクタが外れていませんか？ →正しく接続します。	38
		●充電池の容量が少なくなっていませんか？ →充電器に子機をセットして充電します。	39
		●親機から離れすぎていませんか？ →電波が届く範囲で使います。	14
		●電波が干渉しやすい環境で使っていませんか？ →少し動かしてみるか、場所を少し移動してみます。	―
充電が…	できない	●充電器の電源コードがコンセントから外れていませんか？ →正しく接続します。	39
		●充電池のコネクタが外れていませんか？ →正しく接続します。	38

※ ADSL をご利用の場合、ADSL の影響を受けて上記の現象が起こることがあります。184 ページも参照してください。

こんなときは		●原因　→対応	参照ページ
着信音が…	鳴らない （聞こえにくい）	●着信音を「キリ」や「ショウ」に設定していませんか？ →着信音の音量を変えます。 ●充電池のコネクタが外れていませんか？ →正しく接続します。 ●充電池の容量が少なくなっていませんか？ →充電器に子機をセットして充電します。 ●親機や他の子機、PHS、携帯電話の充電器などと一緒に置いていませんか？ →できるだけ離して設置してください。	43 38 39 —
	設定している音とちがう	●ナンバー･ディスプレイを契約しているときは、着信鳴り分け機能が働いている場合があります。 →着信鳴り分けを解除します。	167
スピーカー音が…	聞こえにくい	●音量の設定が小さくなっていませんか？ →適当な大きさに調節します。	44
通話中に…	相手の方の声が聞こえにくい	●受話音量が小さすぎませんか？ →受話音量を大きくします。	44、171
	こちら側の声が相手の方に届かない	●子機の送話口（マイク）を手でふさいでいませんか？ →ふさがないように正しく持ちます。 ●回線の状態などによっては、聞こえにくい場合があります。 →送話音量を大きくします。	— 171
	雑音が入る	●親機と子機が離れすぎていませんか？ →雑音が入らない位置で子機を使用します。 ●親機やPHS、携帯電話の充電器、その他の電気製品の近くで通話していませんか？ →他の電気製品から離れて子機を使用します。 ●親機のアンテナに電源コードや電話機コードを巻き付けていませんか？ →アンテナから電源コード、電話機コードを取ります。	— — —
通話中や相手の方が保留中に…	突然ファクス受信に切り替わる	●声などに反応して、まれに、おまかせ受信が働くことがあります。 →頻繁におこるときは、おまかせ受信を「なし」にします。（ファクスを受けるときは機能ボタンを押します。）	198

こんなときは（ナンバー・ディスプレイ）

こんなときは		●原因　→対応	参照ページ
ナンバー・ディスプレイで…	相手の方の電話番号が表示されない	●ナンバー・ディスプレイの利用契約をされましたか？ →表示させるときは、ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。 ●ナンバー・ディスプレイの設定を「使用する」にしていますか？ →上記の設定に変更します。 ●ISDN をご利用で、ターミナルアダプタ（TA）が「ナンバーディスプレイを使用しない」設定になっていませんか？ →ターミナルアダプタ（TA）の設定を変更してください。	153 153 —
	電話帳に登録した相手の方の着信音が変わらない（着信鳴り分けができない）	●着信鳴り分けの設定を「あり」にしていますか？ →「あり」に設定します。 ●電話帳に登録した番号は市外局番から登録しましたか？ →着信鳴り分け機能をご使用のときは、相手の方の電話番号を市外局番から登録してください。	165 65、73
	こちら側の電話番号が相手の方の電話機等に表示されない	●こちら側の電話番号を相手の方の電話機やファクシミリに表示する（通知する）／しないは、こちら側で現在お選びの通知方法によります。 また、相手の方がナンバー・ディスプレイ対応の電話機やファクシミリで、ナンバー・ディスプレイなどのサービスをご利用になっていることが必要です。	—

こんなときは		●原因　→対応	参照ページ
ネーム・ディスプレイで…	相手の方の名前や電話番号が表示されない	●ネーム･ディスプレイの利用契約をされましたか？ →表示させるときは、ナンバー･ディスプレイの契約とネーム・ディスプレイの契約が必要です。	156
		●相手の方が発信者名の通知を申し込んでいないときは表示されません。ただし、電話番号が親機の電話帳に登録している番号と一致すると、親機の電話帳に登録している名前を表示します。	—
		●相手の方が公衆電話･携帯電話･PHSや国際電話から電話をかけていませんか？ →相手の方が公衆電話・携帯電話・PHSや国際電話から電話をかけているときは、発信者名は表示されません。	—
キャッチホン・ディスプレイで…	相手の方の電話番号が表示されない	●キャッチホン･ディスプレイの利用契約をされましたか？ →表示させるときは、ナンバー･ディスプレイの契約とキャッチホン・ディスプレイおよび「キャッチホン、キャッチホンⅡ、マジックボックス、ボイスワープ、話中転送」サービスの中から、いずれかの契約が必要です。	157
		●キャッチホン・ディスプレイとナンバー･ディスプレイを正しく設定していますか？ →ナンバー・ディスプレイを「使用する」、キャッチホン・ディスプレイを「使用する」に設定します。	153、157

こんなときは（ADSL/ISDN/IP電話）

●ADSL、ISDN、IP電話をご利用の場合、ファクスを正しく設定し、動作に必要なサービス（ナンバー・ディスプレイなど）を契約していても、下記の現象が発生することがあります。

こんなときは		●原因　→対応	参照ページ
ADSLを使っていると…	電話をかけられない	●契約されている回線種別が合っていないと、0120（フリーダイヤル）などの番号にかからないことがあります。 →契約されている回線種別に設定してください。	29
	電話やファクスを使っていないのに「外線使用中」などの表示が出る ナンバー・ディスプレイが動作しない	●スプリッタを含むADSL機器を取り外して、改善されるか確認してください。 →改善されるときは、ADSL各サービス会社にご相談ください。改善されないときは、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にご相談ください。	― 223～224
	電話の声が聞こえにくい・雑音が入る	●スプリッタを含むADSL機器を取り外して、改善されるか確認してください。また、回線からスプリッタまでの配線を短くして、改善されるかどうかを確認してください。 →改善されるときは、ADSL各サービス会社にご相談ください。改善されないときは、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にご相談ください。 ●特別設定の「回線調整」を「小」に設定すると改善されることがあります。	― 223～224 200
ISDNを使っていると…	電話の声が聞こえにくい・雑音が入る	●ターミナルアダプター（TA）の送話・受話音量を調節してください。それでも改善しないときは、TAのメーカーへお問い合わせください。	―
ADSLやADSLを利用したIP電話（BBフォンを含む）などを使っていると…	ファクスの送受信ができない	●スプリッタを含むADSL機器を取り外して、ファクスを送受信できるかどうかを確認してください。 →送信できるときは、ADSL各サービス会社にご相談ください。送信できないときは、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にご相談ください。	― 223～224

こんなときは（パソコン接続）

USB接続でお使いのとき

こんなときは	●原因　→対応	参照ページ
インストールできない	●画面で指示がある前に、USB ケーブルを接続していませんか？ →USB ケーブルは、「USB ケーブル接続を待っています」というメッセージが表示されてから接続してください。	50
インストールしても パソコンが本機を認識しない	●USB ケーブルは認証されたものをお使いですか？ →下記の USB マークの付いた 5m 以内のケーブルをお使いください。認証されていないケーブルでは、正しく動作しないことがあります。 CERTIFIED USB	－
	●本機とパソコンを、USB ハブなどを経由して接続していませんか？ →USB 接続でお使いになるときは、本機とパソコンを直接USBケーブルで接続してください。	－
	●パソコンで「SHARP UX-MF30/40 Series」プリンタアイコンが表示されていますか？ →プリンタアイコンが表示されていないときは、正しくインストールされていません。再度インストールし直してください。	－
CD-ROM 内の電子マニュアルを開けない	●Adobe　Readerがパソコンにインストールされていますか？ →CD-ROMのインストール画面から、「電子マニュアル」→「マニュアルが開けない場合」とクリックし、「AdobeRdr60_jpn_full」アイコンをダブルクリックして、Adobe Readerをインストールしてください。	－

LAN接続でお使いのとき

こんなときは	●原因　→対応	参照ページ
インストールできない	●Administrator権限でログオンしていますか？ →LAN接続でお使いになるときは、Administrator権限でログオンしてください。	−
	●ファイアウォールソフトが干渉していませんか？ →パソコンのファイアウォールソフトと、ブロードバンドルータなどのファイアウォール機能が干渉してインストールできないことがあります。パソコンのファイアウォールソフトを一時的に停止してみてください。 →パソコンのファイアウォールソフトや、Windows® XP SP2のファイアウォール機能をお使いのときは、それぞれの取扱説明書やサポート情報などを参考に、一時的にそれらを停止してみてください。	−
インストールしてもパソコンが本機を認識しない	●LANケーブルは、10BASE-T/100BASE-TXのストレートケーブルをお使いですか？ →LAN ケーブルにはストレートケーブルとクロスケーブルがあります。本機の接続にはストレートケーブルをお使いください。	−
	●お使いの接続機器に問題があるかもしれません。 →正しくインストールしても、パソコンが本機を認識しないときは、ブロードバンドルータの取扱説明書をご覧いただき、再起動などをしてみてください。 →IPアドレスを確認してください。	−
デスクトップ上の WEB、FTP アイコンを削除してしまった	●下記の操作でアイコンを作成してください。 ①「スタートメニュー」→「すべてのプログラム」→「SHARP　UX-MF30_40」→「LAN」の順にクリックする ②「UX-MF30（または40）-XXXXXXXX-FTP」、「UX-MF30（または40）-XXXXXXXX-WEB」のいずれかを右クリックする ③「送る」→「デスクトップ（ショートカットを作成）」をクリックする	−
デスクトップ上のWEB アイコンをダブルクリックすると、「アクセス制限されています」と表示される	●Windows® XP SP2のファイアウォール設定を変更する必要があります。 →Windows® XP　SP2をお使いの場合、ドライバをインストールしているパソコンであっても、WEB画面が正しく表示されないことがあります。このときは、Windows® XP SP2のファイアウォール設定で、「例外」タブの「ファイルとプリンタの共有」にチェックを入れてください。	−

※インストールに関するお問い合わせのときは、ネットワークでのDHCPサーバ機能の使用の有無、お使いのWindows®、サービスパックのバージョン、本機のネットワーク情報を事前にご確認ください。

こんなときは（エラー表示／アラーム音）

親機を使っているとき

表示／アラーム音	●原因　→対応	参照ページ
受信 FAX があります	●内容を確認していないファクスの受信データがあります。 →受信したデータを表示してください。	104
通信エラー　1～15	●回線の状態などで送信や受信ができていないことがあります。 →相手の方に確認の上、もう一度送信するか、相手の方に送信してもらいます。（通信エラー1～15の番号が表示されますが、これは弊社のサービスマンが通信状況などを確認するためのものです。頻繁に起こるときは、ご相談窓口までご連絡ください。） ◯（操作ガイド）を押すと、操作手順を表示できます。 ●相手側のファクスがカラープリント対応機（ITU-T準拠カラーファクシミリ）でないときは、カラー送信をすると通信エラーになり、「相手機にカラー通信機能がありません」と表示します。	－
プリンタエラーです	●プリント中にエラーが起こっています。 →プリンタリセットをします。	173
用紙が詰まっています	●詰まった用紙を取り除いたあと、プリンタリセットをしてください。	173、175
インクを セットください	●インクカートリッジが2つともセットされていません。 →インクカートリッジをセットします。 1つ取り付けると表示は消えますが、インクバックアップモードで印刷しますので、できるだけ早く2つのインクを取り付けてください。	31
プリンタ位置調整が 必要です	●インクカートリッジを取付・交換したあと、プリンタ位置調整をするまで表示されます。 →◯（操作ガイド）を押し、画面のメッセージにしたがってプリンタ位置調整の操作をします。 または「プリンタ位置調整をする」の操作をします。	31、 33、 172
応答が ありません	●相手の方がファクス受信に切り替わっていません。	－
受信メモリー が一杯です	●ファクスの受信件数が30件または受信枚数が60枚になっていませんか？ →受信した内容を消去します。	109
スキャナエラーです	●読み取り中にエラーが起こっています。 →本体の電源を入れ直してください。	－

表示／アラーム音	●原因　→対応	参照ページ
原稿が詰まっています (UX-MF40CL/UX-MF40CWのみ)	●ADFに原稿が詰まっています。 →ADFから詰まった原稿を取り除いてください。	175
発信音が検出できませんでした	●電話回線から発信音が検出できませんでした。 →電話回線を確認してください。	200
同報送信エラーがありました	●同報送信で正しく送信できなかった相手先があります。 →同報結果プリントで詳細を確認してください。	98
読込みをキャンセルしました	●ADFを使用してファクスを送信するときに、原稿が詰まったため、読込みをキャンセルしました。 →ADFから詰まった原稿を取り除いて、もう一度送信してください。	175
録音メモリーが一杯です	●録音件数が30件になっていませんか？ →不要な録音メッセージを消去します。	87
受信／録音メモリー不足です	●不要なデータを消去してメモリー残量を増やします。 →受信した内容を消去します。 →不要な録音メッセージを消去します。 ●録音時間が合わせて21分を超えていませんか？ →不要な録音メッセージを消去します。 ◯（操作ガイド）を押すと、操作手順を表示できます。	87、109 87

表示／アラーム音	●原因　→対応	参照ページ
○○インクが残り少なくなりました	●インクカートリッジのインク残量が残り少なくなっています。 →新しいインクカートリッジを準備します。 （他のエラーメッセージが表示されなくなりますので、できるだけ早めに新しいインクカートリッジに交換することをお勧めします）	33、194
外線自動応答中	●留守モードなどで応答メッセージが流れて自動応答しています。	－
外線使用中（1～4）	●子機を使用中です。（子機番号を表示します。） →子機の使用が終わるまでお待ちください。	－
インクの残量が不明です	●以前に使用されたことのあるインクはインク残量を表示することはできません。	－
インクを確認してください	●保護シールは、はがされていますか？ →保護シールをはがしてからインクカートリッジを取り付けます。	31

メモリーカードを使っているとき

表示／アラーム音	●原因　→対応	参照ページ
カードが読込めません	●メモリーカードを正しく読み取れません。 →メモリーカードを一度取り外してから、もう一度取り付けてください。それでも改善されないときは、メモリーカードまたはカードスロットが故障していることがあります。 →本機推奨のメモリーカードを使用しているか、ご確認ください。	111
カードを確認ください	●メモリーカードが取り付けられていないので画像データの登録ができません。 →メモリーカードを取り付けてください。 ●メモリーカードへの書き込みや読み込みに失敗しました。	111 –
外部メモリーが入っていません	●メモリーカードが取り付けられていません。 →メモリーカードを取り付けてください。	111
この外部メモリーには保存できません	●スキャンデータを保存する先のフォルダがありません。 →携帯電話の操作でフォルダを作成してください。	–
外部メモリーにファイルが作成できません	●メモリーカードに「PDFDC999.PDF」「STIL9999.＊＊＊」「SCAN9999.＊＊＊」というファイルが保存されているため、それ以上データを保存できません。 →携帯電話、パソコンなどでそのファイルを削除してください。	–
外部メモリーが一杯になりました	●メモリーカードの容量がいっぱいになっています。 →携帯電話、パソコンなどでデータを消去するか、新しいメモリーカードをお使いください。	–

LAN接続で使っているとき

表示／アラーム音	●原因　→対応	参照ページ
サーバーの接続に失敗しました	●設定が正しくないため、データをパソコンやサーバに送信できません。 →スキャナで読み取ったデータをパソコンに送っている場合は、そのパソコンにネットワークツールが起動しているか確認してください。くわしくは、付属のCD-ROM内の「UX-MF30／UX-MF40シリーズ パソコン活用マニュアル」の「ネットワークツールについて（LAN接続時のみ）」をご覧ください。 →FTPやScan to E-mail 設定が正しいか、Web画面で確認してください。くわしくは、付属のCD-ROM内の「UX-MF30／UX-MF40シリーズ パソコン活用マニュアル」の「接続PC（FTP）リストページについて」および「Scan to E-mail 設定ページについて」をご覧ください。	–

表示／アラーム音	●原因　→対応	参照ページ
ネットワークに異常が発生しました	●本機のネットワーク機能に異常が発生しています。 →いったん電源コンセントを抜き、もう一度差し直してください。	–
通信中にエラーが発生しました	●ネットワークに障害があるため、データの通信中にエラーが発生しています。 →LANケーブルやその他のネットワーク機器が正しく接続されているか確認してください。	–
サーバー名が見つかりません	●接続先が見つからないため、データを送信できません。 →スキャナで読み取ったデータをパソコンに送っている場合は、送信先のパソコンが起動しているか確認してください。 →FTPやScan to E-mail 設定が正しいか、Web画面で確認してください。 くわしくは、付属のCD-ROM内の「UX-MF30／UX-MF40シリーズ パソコン活用マニュアル」の「接続PC（FTP）リストページについて」および「Scan to E-mail 設定ページについて」をご覧ください。	–

子機を使っているとき

表示／アラーム音	●原因　→対応	参照ページ
「ピーッピーッ」	●親機や増設子機が使用中ではありませんか？ →親機や増設子機を確認してください。 ●親機の電源コードが外れていませんか？ →電源コードを接続してください。	— 23
「ピピピピ」	●名前の文字数やアラーム時刻の設定など登録範囲を超えていませんか？	—
「ピッピッピッ…」	●子機の充電池の容量が少なくなっていませんか？ →充電器に子機をセットして充電してください。	38～39
「ピーピーピー…」	●子機が使用範囲を超えていませんか？ →約20秒後に電話が切れますので速やかに使用範囲内に戻ってください。	14
子機で通話中に「ピーピー」と2回鳴ってすぐに切れる	●大きな雑音が聞こえる場所で長い時間使っていませんか？ →雑音の少ないところでご使用ください。	14
「プップッ…プップッ…」	●子機と子機の間でお話しするとき（UX-MF30CL／UX-MF40CLでは子機増設時）に、両者が子機のトランシーバーボタンを押していないと鳴る音です。 →お話しする方が、トランシーバーボタンを押してお話ししてください。	61
子機を充電器にセットしているとき、ディスプレイが点滅する	●充電池のコネクタが外れていませんか？ →正しく接続します。	38

停電になったときは

停電や電源が切れた状態（コンセント抜け、ブレーカー落ちなど）では、次のようになります。

電話	●子機を使用することはできません。通話中に停電したときは、通話が切れてしまいます。 ●各種サービスは働きません。 ●ナンバー・ディスプレイの着信記録は消えません。
留守番	●留守番電話動作中に停電したときは、電話が切れて録音もされません。 ●外出先からリモート操作中に停電したときは、電話が切れて動作も止まります。 ●停電になっても、録音内容は消えません。
ファクス	●停電中は、ファクスを送ることも受けることもできません。 ●送信や受信をしているときに停電になると、通信が切れてしまいます。 送信のときは、復旧したあと再送信してください。 受信のときは、相手の方にもう一度再送信を依頼してください。 ●受信したデータは、停電になっても消えません。
コピー・プリント	●停電中は、コピーやプリントはできません。復旧後あらためてコピーしてください。
登録した内容	●電話帳などに登録されている内容は、内蔵のメモリーで保持されていますので消えません。 ●日付・時刻の設定は保持されません。あらためて設定してください。

故障かな？と思ったときは（修理依頼される前に）

・ディスプレイ表示が化けている。（意味不明の文字列や画像が表示されている）
・ボタンが全く効かない。
・電話帳リストなどをプリントするとデータがみだれている。
・コピーやプリントができない状態が続く。
・その他、正しく動作しない。

上記のような症状の多くは、一般に、マイコン（IC）を使用している機器が、大きな外来ノイズにより誤動作することで発生します。
修理やアフターサービスをお申しつけになる前に、下記の操作をお試しください。

電源を入れ直してみる

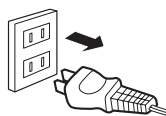
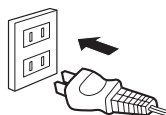
まず差し込みプラグを電源コンセントから抜いてもう一度差し込んでみてください。これだけで症状が改善することがあります。

● また、電話帳以外初期化や電話帳全消去をすることで、症状が改善することもあります。（☞195ページ）
（電話帳や登録設定した内容は消去されます。）

それでも症状が改善されないときは次の操作（強制リセット）を行ってみてください。
【ただし、強制リセットを行った場合、電話帳に登録した内容など、全てのデータが消えて工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。】

親機を強制リセットする

強制リセットを行っても症状の改善がみられない場合、または症状が再三発生する場合は、お買いあげの販売店へお申しつけください。

1 親機の差し込みプラグを電源コンセントから抜き取る

2 停止 と プリント/スタート を同時に押したまま、差し込みプラグを電源コンセントに差し込む

3 ディスプレイに「メモリークリア中」と表示されるまで 停止 と プリント/スタート を押したままにする

4 停止 と プリント/スタート から指を離す

■ 強制リセットしたあとの登録内容について
強制リセット後の主な登録内容は、196ページの表の「初期値」になります。子機の設定は変更されません。

お知らせ
●電源を入れ直したり、強制リセットしたときは日付・時刻の設定をやり直してください。
●強制リセットをしたあと、自動的に回線種別の設定を行います。
電話などをかけられるときは、回線種別の設定（約20秒）が終わってからにしてください。
●LAN 接続しているときは、強制リセットをしたあと、LAN接続用のドライバを再インストールしてください。

別売品／消耗品（推奨品）

別売品／消耗品として、次のものを用意しています。このカラー液晶ファクシミリ複合機を長い間安心してお使いいただくためにも、当社の推奨品をお使いください。推奨品以外の用紙やインクカートリッジを使用されるとプリントがかすれたり、薄くプリントされたりすることがあります。なお、価格などは予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
別売品／消耗品のご注文は、お買いあげの販売店へお申し付けください。もし、お近くでご購入できない場合は、シャープドキュメントシステム㈱通信販売センター（0120-478-120　月～金 9:00 ～ 17:00）でもご購入いただけます。

■ 普通紙

形名	枚数	サイズ	希望小売価格	メーカー
PP110MA4	250枚	A4	630円（税抜価格600円）	シャープドキュメントシステム㈱
PP103A4K	500枚	A4	オープン価格	シャープドキュメントシステム㈱

■ フォト用紙／写真光沢紙（印画紙ベース）

形名	枚数	サイズ	希望小売価格	メーカー
Q1933A	20枚	A4	オープン価格	日本ヒューレット・パッカード㈱
Q6634A	100枚	L判	オープン価格	日本ヒューレット・パッカード㈱
Q1935A	20枚	切り取り後 10×15cm	オープン価格	日本ヒューレット・パッカード㈱
Q2505A	40枚	L判	オープン価格	日本ヒューレット・パッカード㈱
IJ181KA2	20枚	A4	1,260円(税抜価格1,200円)	シャープドキュメントシステム㈱
IJ181KA5	50枚	A4	2,940円(税抜価格2,800円)	シャープドキュメントシステム㈱
IJ181KL3	30枚	L判	472円(税抜価格450円)	シャープドキュメントシステム㈱
IJ181KL6	60枚	L判	840円(税抜価格800円)	シャープドキュメントシステム㈱
IJ181KL1	100枚	L判	1,260円(税抜価格1,200円)	シャープドキュメントシステム㈱
IJ181KLZ	200枚	L判	オープン価格	シャープドキュメントシステム㈱
IJ181K2L	20枚	2L判	682円(税抜価格650円)	シャープドキュメントシステム㈱
IJ181SL3	30枚	L判	472円(税抜価格450円)	シャープドキュメントシステム㈱

■ 光沢紙（紙ベース）

形名	枚数	サイズ	希望小売価格	メーカー
IJ187KA2	20枚	A4	1,050円(税抜価格1,000円)	シャープドキュメントシステム㈱
IJ187KA5	50枚	A4	2,100円(税抜価格2,000円)	シャープドキュメントシステム㈱
IJ174KLZ	150枚	L判	オープン価格	シャープドキュメントシステム㈱

■ コート紙

形名	枚数	サイズ	希望小売価格	メーカー
Q1931A	100枚	A4	オープン価格	日本ヒューレット・パッカード㈱
Q1948A	200枚	A4	オープン価格	日本ヒューレット・パッカード㈱

■ マット紙

形名	枚数	サイズ	希望小売価格	メーカー
IJ185GA4	100枚	A4	682円(税抜価格650円)	シャープドキュメントシステム㈱
IJ185GB5	100枚	B5	525円(税抜価格500円)	シャープドキュメントシステム㈱

■ OHPフィルム

形名	枚数	サイズ	希望小売価格	メーカー
IJ1880HP	10枚	A4	1,050円(税抜価格1,000円)	シャープドキュメントシステム㈱
C3835A	50枚	A4	オープン価格	日本ヒューレット・パッカード㈱

■ シール用紙

形名	枚数	サイズ	希望小売価格	メーカー
CJ2870S	10枚	ハガキ	472円(税抜価格450円)	ヒサゴ㈱
29331	12枚	ハガキ	525円(税抜価格500円)	エーワン㈱

■ インクカートリッジ

形名	製品番号	希望小売価格	メーカー
hp130 プリントカートリッジ 黒（増量）	C8767HJ	オープン価格	日本ヒューレット・パッカード(株)
hp131 プリントカートリッジ 黒	C8765HJ	オープン価格	日本ヒューレット・パッカード(株)
hp134 プリントカートリッジ カラー（増量）	C9363HJ	オープン価格	日本ヒューレット・パッカード(株)
hp135 プリントカートリッジ カラー	C8766HJ	オープン価格	日本ヒューレット・パッカード(株)
hp138 プリントカートリッジ フォトカラー	C9369HJ	オープン価格	日本ヒューレット・パッカード(株)

■ 子機用充電池（ニッケル水素電池）

形名	部品コード	流通コード	希望小売価格	メーカー
M-003	UBATM0030AFZZ	142 932 0086	1,680円（税抜価格1,600円）	シャープエンジニアリング㈱

●当社推奨品以外の充電池をご使用になると、発火・破裂等をともなう事故や故障の原因となることがあります。

■ 増設子機

形名	希望小売価格
CJ-KS50	15,750円（税抜価格15,000円）
CJ-KS60	15,750円（税抜価格15,000円）
CJ-KS80	18,900円（税抜価格18,000円）
CJ-KS7	18,900円（税抜価格18,000円）

●増設子機を使用するときは、操作が異なりますので、詳しくは142ページおよび増設子機の取扱説明書をご覧ください。

●機種によっては、生産が完了している場合もあります。あらかじめ在庫等を販売店にお確かめの上、お買い求めください。

■ テレビドアホンユニット

形名	希望小売価格
DZ-MH70	57,750円（税抜価格55,000円）

■ ターミナルボックス（ドアホン接続用）

形名	希望小売価格
DZ-T20-WH（白）	10,500円（税抜価格10,000円）

■ テレビドアホン対応ターミナルボックス（ドアホン接続用）

形名	希望小売価格
DZ-T30-W（白）	14,490円（税抜価格13,800円）

■ ドアホン

形名	希望小売価格
DZ-H30-T（ブラウン）	4,200円（税抜価格4,000円）

■ 延長コード（モジュラープラグつき）

種類	部品コード	流通コード	希望小売価格
5ｍ（2芯）（白）	QCNWG0121AFSA	142 512 0331	535円（税抜価格510円）
10m（2芯）（白）	QCNWG0122AFSA	142 512 0332	819円（税抜価格780円）

（NTTの電話回線と、ターミナルボックスDZ-T20/DZ-T30を接続するコードです。）

種類	部品コード	流通コード	希望小売価格
5ｍ（6芯）（グレー）	QCNWG0282AFSA	142 512 0668	1,050円（税抜価格1,000円）
10m（6芯）（グレー）	QCNWG0283AFSA	142 512 0669	1,890円（税抜価格1,800円）

（ターミナルボックスDZ-T20と、このカラー液晶ファクシミリ複合機の親機を接続するコードです。）

種類	部品コード	流通コード	希望小売価格
5ｍ（6芯）（白）	QCNWG0321AFSA	142 512 0776	1,050円（税抜価格1,000円）
10m（6芯）（白）	QCNWG0322AFSA	142 512 0777	1,890円（税抜価格1,800円）

（ターミナルボックスDZ-T30と、このカラー液晶ファクシミリ複合機の親機を接続するコードです。）

お知らせ

●希望小売価格は2005年10月現在のものです。

親機の登録や設定・電話帳の内容を初期化する

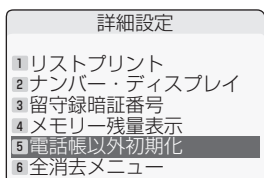
登録・設定した内容を工場出荷時に戻したり、電話帳に登録した内容をすべて消去することができます。

電話帳以外を初期化すると登録・設定した内容の他に、留守録などの録音や受信データがすべて消去され、工場出荷時の内容（☞196 ページ）に戻ります。

登録や設定の内容を工場出荷時に戻す（電話帳以外初期化）

1 ◯（登録/機能）を押し、
で「詳細設定」を選ぶ

2 決定 を押し、 で
「電話帳以外初期化」を選ぶ

詳細設定
1 リストプリント
2 ナンバー・ディスプレイ
3 留守録暗証番号
4 メモリー残量表示
5 電話帳以外初期化
6 全消去メニュー

3 決定 を押し、 で「する」を選ぶ

4 決定 を押す

・電話帳の内容を除いて工場出荷時の設定に戻ります。

5 停止 を押す

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

◯（戻る）を押します。

お知らせ

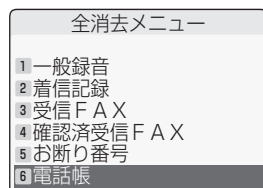
●電話帳以外初期化を行ったあと、自動的に回線種別の設定を行います。電話などをかけられるときは、回線種別の設定（約20秒）が終わってからかけてください。

●LAN 接続しているときは、プリンタドライバを再インストールしてください。

電話帳に登録した内容をすべて消去する（電話帳全消去）

1 ◯（登録/機能）を押し、
で「詳細設定」を選ぶ

2 決定 を押し、 で「全消去メニュー」を選ぶ

3 決定 を押し、 で「電話帳」を選ぶ

4 決定 を押し、 で「全消去する」を選ぶ

5 決定 を押す

・電話帳がすべて消えます。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

◯（戻る）を押します。

初期設定（工場出荷時）一覧表

分類	項目	初期値	選択項目	参照ページ
日時	日付・時刻の設定	親機：未登録 子機：未登録	初期登録	24、41
	モーニングコール	OFF	ON ／ OFF	135
音量・音の種類・音の回数	着信音量	親機：３ 子機：大	親機：５段階 子機：小／大	42、43
	受話音量	子機：標準	子機：標準／特大	44
	スピーカー音量	子機：標準	子機：標準／大	44
	着信音の種類	親機：電話ベル音 子機：パターン１	親機：３種類 子機：10 種類	42、43
	留守モード時のコール回数	４回	①トールセーバー ②回数選択（01 ～ 25 回）	83
	在宅モード時のコール回数	無制限呼出	①回数選択（01 ～ 25 回） ②無制限呼出	101
	終了音の種類	アラーム音	①アラーム音 ②なし	136
	親機キータッチ音	あり	①あり／②なし	136
	子機キータッチトーン	ON	ON ／ OFF	138
送信	あなたの名前（発信元名）	未登録	初期登録	46
	あなたの番号（発信元番号）	未登録	初期登録	45
画面	バックライトの明るさ調整	４	８段階	20
	バックライト点灯時間設定	３分	１～５分	20
留守録	お声拝聴	あり	①あり／②なし	197
受信	おまかせ受信（親機／子機）	あり	①あり／②なし	198
パソコン関連設定	DHCP による自動取得	する	①する／②しない	55
	パソコン接続設定	接続する	①接続する／②接続しない	55
	外部メモリー書き込み設定	書き込み禁止	①書き込み禁止／ ②書き込み許可	56
特別設定	発信音検出	あり	①あり／②なし	200
	キャッチホン切替時間	0.8 秒	①0.4秒／②0.6秒／③0.8秒	201
	IP 電話利用	なし	①あり／②なし	202
	デモ起動	する（回線種連動）	①しない ②する（回線種連動） ③する（常に実行）	203

■別途付加サービスが必要な機能

分類	項目	初期値	選択項目	参照ページ
ナンバー・ディスプレイ	ナンバー・ディスプレイ	使用する	①使用する／②使用しない	153
	キャッチホン・ディスプレイ	使用しない	①使用する／②使用しない	157

特別設定について

使用状況に応じて、次の項目を親機で設定することができます。
各項目（ディスプレイ表示）を選ぶときは ◎ で選びます。
工場出荷時は ▭ に設定されています。

発信音待ち時間

はたらき	応答メッセージが流れ終わってから、録音開始音（「ピー」という音）が流れるまでの時間を設定します。
手順	親機で設定します ◯（登録 / 機能）➡ # を４回押す ➡ 「**留守録**」を選ぶ ➡ 決定 ➡ ➡ 「**発信音待ち時間**」を選ぶ ➡ 決定 ➡ １：１秒 / ２：２秒 / ３：４秒 から選ぶ ➡ 決定 ➡ 停止

お声拝聴

はたらき	留守録設定中に応答メッセージと相手の方の録音中の声がスピーカーから聞こえます。 ・**あり**　留守録設定中に応答メッセージと相手の方の録音中の声がスピーカーから聞こえます。 ・**なし**　留守録設定中でも応答メッセージと相手の方の録音中の声は聞こえません。
手順	親機で設定します ◯（登録 / 機能）➡ # を４回押す ➡ 「**留守録**」を選ぶ ➡ 決定 ➡ ➡ 「**お声拝聴**」を選ぶ ➡ 決定 ➡ １：あり / ２：なし のどちらかを選ぶ ➡ 決定 ➡ 停止

応答メッセージ待ち時間

はたらき	留守番電話などの応答メッセージが流れるまでの時間の設定ができます
手順	親機で設定します ◯（登録 / 機能）➡ # を４回押す ➡ 「**留守録**」を選ぶ ➡ 決定 ➡ ➡ 「応答メッセージ待ち時間」を選ぶ ➡ 決定 ➡ １：１秒 / ２：２秒 / ３：４秒 / ４：８秒 ➡ 決定 ➡ 停止

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **１つ前に戻るときは**

◯（戻る）を押します。

おまかせ受信

はたらき	相手の方が自動送信でファクスを送られてきたとき、子機で電話に出ると、自動的にファクス受信に切り替えます。 ・**あり**　電話に出たとき、「ポー・ポー・ポー…」というファクスの自動送信音が聞こえると、自動的にファクス受信します。 ・**なし**　「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえても自動的にファクス受信に切り替わりません。
手順	親機で設定します ◯（登録 / 機能） → # を４回押す → 「**FAX ／コピー**」を選ぶ → 決定 → → 「**おまかせ受信**」を選ぶ → 決定 → １：あり ２：なし のどちらかを選ぶ → 決定 → 停止

縮小受信

はたらき	ファクスをプリントしたときに、受信日付や相手の方のファクス番号を記入するため、自動的に約95%に縮小してプリントします。 ・**あり**　自動的に約95%に縮小してプリントします。 ・**なし**　縮小せずにプリントします。相手の方がA4サイズで送信していても、受信日付などの記入でA4サイズを超えるため、こちらでは2枚に分かれてプリントされることがあります。
手順	親機で設定します ◯（登録 / 機能） → # を４回押す → 「**FAX ／コピー**」を選ぶ → 決定 → → 「**縮小受信**」を選ぶ → 決定 → １：あり ２：なし のどちらかを選ぶ → 決定 → 停止

受信モード

<table>
<tr><td>はたらき</td><td>ファクス優先で受信する、ファクスのみ受信する、などの設定ができます。
・**FAX優先**　ファクスが送られてきたときも、電話がかかってきたときも、**いったんすべて着信**したあと、電話かファクスかを**親機が**判断します。
相手の方が自動送信でファクスを送っている（「ポーポー」という音が鳴っている）と親機が判断すると、着信音を鳴らさずにファクス受信に切り替わります。
また、相手の方が電話をかけている（または手動送信している）と親機が判断すると、着信音を鳴らしてお知らせします。**（着信音は、「電話ベル音」になります）**
FAX優先に設定すると、ディスプレイに「FAX優先」と表示されます。（留守設定にしているときは、表示されません。）
※ファクスを受信することが多い方におすすめの機能です。
※いったん着信したあと、電話かファクスかを機械が自動的に判断します。そのため、他の着信方法とは異なって、電話がかかるたびに、不在のときでも相手の方に2回着信音が鳴ったあとから通話料金がかかり始めます。
※電話を受けることが多い方にはおすすめできません。
【実際にFAX優先をお使いになる前に】
設定が完了しましたら、一度、他の電話機（携帯電話など）から、ご自宅に電話をかけて、実際に動作（電話または手動送信の動き）を確認してください。
ここで、確認した動作が相手側の動きとなります。
・**FAX専用**　ファクスが送られてきたときに、着信音を鳴らさずに自動でファクス受信に切り替わります。
FAX専用に設定すると、ディスプレイに「FAX専用」と表示されます。（留守設定にしているときは、表示されません。）
※ファクス受信後の終了音は鳴ります。鳴らしたくない場合は、終了音を「なし」に設定しておいてください。（☞136ページ）
※FAX専用に設定していても、ファクスのメモリーがいっぱいで受信できない状態のときには着信音が鳴ります。
ファクス受信できないときも着信音を鳴らしたくない場合は、親機・子機の着信音を鳴らさないように設定してください。（☞42、43ページ）
・**設定しない**　電話もファクスも受信します。</td></tr>
<tr><td>手順</td><td>親機で設定します
◯（登録 / 機能）➡ # を4回押す ➡ 「**FAX ／コピー**」を選ぶ ➡ 決定 ➡ 「**受信モード**」を選ぶ ➡➡
➡➡ 決定 ➡ 1：FAX 優先 ➡ 決定 ➡ ダイヤルボタンで04 ～ 25 回を入力（工場出荷時は７回）➡ 決定 ➡
2：FAX 専用
3：設定しない ➡ 決定 ➡
から選ぶ</td></tr>
</table>

FAX自動送信時の発信音検出

はたらき	親機の電話帳や再ダイヤルを使ってファクスを自動送信するときに、本機が自動的に「ツー」という発信音を検出し、正しく送信できるようにします。 自動送信がうまくできないときは、この設定を「なし」にしてください。
手順	親機で設定します ◯（登録 / 機能） ➡ # を４回押す ➡ 「**FAX ／コピー**」を選ぶ ➡➡ 「**発信音検出**」を選ぶ ➡ 決定 ➡ １：あり ２：なし のどちらかを選ぶ

回線調整

はたらき	NTTのISDN回線（INSネット64）でターミナルアダプタ（TA）をご利用時やADSLをご利用時、また、IP電話をご利用時は、電話の音量が大きくなりすぎて聞こえにくくなったりすることがあります。こんなときに設定します。 （「小」に設定すると、子機で外線通話時の送受話音量を小さくすることができます。）
手順	親機で設定します ◯（登録 / 機能） ➡ # を４回押す １：標準 ２：小 のどちらかを選ぶ ➡ 決定 ➡ 停止 ※「小」に設定すると、「子機送話音量」「子機受話音量」の設定（☞171 ページ）が自動的に「小」に変更されます。（「標準」にすると、「標準」に変更されます。）

ナンバー・ディスプレイ

はたらき	ナンバー・ディスプレイ、キャッチホン・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイをご利用のときは、「使用する」に設定します。 構内交換機（PBX）に接続している場合など、内線電話としてお使いのときは「使用しない」に設定します。
手順	親機で設定します ◯（登録 / 機能）➡ # を４回押す ➡ 「ナンバー・ディスプレイ」を選ぶ ➡ 決定 ➡ ➡ １：使用する ２：使用しない のどちらかを選ぶ ➡ 決定 ➡ 停止

キャッチホン切替時間

はたらき	子機のカナ／キャッチボタンを押したときに回線を開放する時間を設定します。 （交換機の種類などにより、カナ／キャッチボタンを押したときに電話が切れてしまうことがあります。こんなときは、キャッチホン切替時間を短く設定します。）
手順	親機で設定します ◯（登録 / 機能）➡ # を４回押す ➡ 「キャッチホン切替時間」を選ぶ ➡ 決定 ➡ １：0.4 秒 ２：0.6 秒 ３：0.8 秒 のいずれかを選ぶ ➡ 決定 ➡ 停止

子機を増設する

はたらき	子機番号を指定せずに子機を増設してお使いになるときは、この操作で増設します。
手順	**子機の 内線/クリア（保留） を押し続けて、ディスプレイに < ゾウセツ > と表示されている状態にします** 続けて親機で設定します ○（登録 / 機能） ➡ ＃ を４回押す ➡ 「**子機を増設する**」を選ぶ ➡ 決定

IP電話利用

はたらき	IP電話をご利用の方が携帯とくとくダイヤルをご利用になるには、携帯電話に発信するときだけ、自動的にNTTなどの一般回線で発信するための設定が必要です。（通常の発信はIP電話を利用して行われます。） **・あり**　指定した事業者を選択するのに必要なIP電話機に設定されているIP電話機能の解除番号（最大6ケタ）を登録します。 **・なし**　携帯とくとくダイヤル機能を利用しません。 IP電話をご利用でない方は、この設定を「あり」にしないでください。
手順	親機で設定します ○（登録 / 機能） ➡ ＃ を４回押す ➡ 「**携帯とくとくダイヤル**」を選ぶ ➡ 決定 ➡➡ ➡➡ 「**IP 電話利用**」を選ぶ ➡ 決定 ➡ 1：あり / 2：なし のどちらかを選ぶ ➡ 決定 ➡➡ 「あり」を選んだとき ➡➡ IP 電話を利用せずに、NTT などの一般電話回線で発信するための、IP 電話機能の解除番号を入力する（最大６ケタ）初めは「0000」が入力されていますので番号を入力しなおしてください。 ➡ 決定 ➡ 停止 「なし」を選んだとき ➡➡ 停止

携帯番号帯

はたらき	携帯とくとくダイヤル機能の利用対象となる電話番号の頭4ケタを追加で登録したり、消去することができます。番号を追加するときは、新たに登録してください。番号は最大30件まで登録できます。 あらかじめ登録されている番号は、「0801」から「0809」までの9件と、「0901」から「0909」までの9件の、合計18件です。
手順	親機で設定します ◯（登録 / 機能） ➡ # を４回押す ➡ 「**携帯とくとくダイヤル**」を選ぶ ➡ 決定 ➡ ➡ 「**携帯番号帯**」を選ぶ ➡ 決定 ➡ 新たに番号を追加するとき ◯（新規登録） ➡ / 登録済みの番号を消去するとき 番号を選んで ◯（消去） ➡ ➡ ◯（新規登録）を押したとき ➡ 利用対象となる電話番号の頭４ケタを入力 ➡ 決定 ➡ 停止 ➡ ◯（消去）を押したとき ➡ もう一度 ◯（消去） ➡ 停止

デモ起動

はたらき	親機の液晶画面に商品をご紹介するためのデモを表示させます。 ・**しない**　デモを表示しません。 ・**する**　**（回線種連動）** 回線種別が設定されていないときは、親機の液晶画面にデモを表示します。 ・**する**　**（常に実行）** 親機の液晶画面にデモを表示します。
手順	親機で設定します ◯（登録 / 機能） ➡ # を４回押す ➡ 「**デモ起動**」を選ぶ ➡ ➡ ➡ １：しない ２：する（回線種連動） ３：する（常に実行） のいずれかを選ぶ ➡ 決定 ➡ 停止

特別設定について

ご参考に

仕様

外観・仕様は予告なしに変更することがあります。

■ ファクシミリ部

形名	UX-MF30CL ／ UX-MF30CW UX-MF40CL ／ UX-MF40CW 送受信兼用卓上型
使用回線	一般加入電話回線、NCC回線帯域、 Fネット（16Hz対応のみ）
圧縮方式	カラー：JPEG モノクロ：MH・MR・MMR・独自圧縮
通信モード	G3・ECM　＊1
走査方式	密着イメージセンサー方式
走査線密度	モノクロ送信時 主：8本／mm（普通字、小さな字、精細、写真） 副：3.85本／mm（普通字） 7.7本／mm（小さな字、写真） 15.4本／mm（精細）＊2 カラー送信時 主：200dpi　副：200dpi
記録方式	サーマルインクジェット記録方式
表示装置	4.3型カラーASV液晶ディスプレイ （バックライト付き）　漢字表示
通信速度	14400／12000／9600／7200 ／4800／2400 bit/s：自動フォールバック
電送時間	約6秒　＊3
中間調伝送	有り（64階調）
用紙サイズ	A4サイズ
読み取り有効幅	204mm
受信メモリー	A4標準原稿　約60枚（普通字モード時）＊4

■ コードレス部（子機）

充電完了時間	約10時間
使用可能時間 （充電完了後）	待受時＊5 標準設定時：約200時間 長時間設定時：約240時間 通話時：約6時間
表示装置	液晶ディスプレイ　カナ1行＋ピクト
増設可能子機	CJ-KS50、CJ-KS60、CJ-KS80、 CJ-KS7

■ 電話部

	親機	子機
ダイヤル形式	押しボタン式パルスダイヤル ／押しボタン式トーンダイヤル	
選択信号種別	DP信号（10PPS／20PPS） ／PB信号（DTMF）	
電話番号の記憶容量	電話帳：200人分 （32桁以内） 再ダイヤル：3局	電話帳：100人分 （16桁以内） 再ダイヤル：3局

■ プリンタ部

印刷方式	サーマルインクジェット方式
印刷解像度＊6	最大4800×1200dpi
用紙セット枚数＊7	普通紙：100枚 ハガキ：30枚
インク種類	6色（カラー・フォト）／ 4色（カラー・黒）

■ スキャナ部

解像度	最大1200×1200dpi（ソフト補間含む） 最大600×600dpi（光学解像度）
センサー	CIS
階調	RGB各16bit入力／8bit出力
原稿サイズ	最大A4またはレターサイズ

■ コピー部

拡大・縮小	任意倍率 25%～400%（1%刻みで設定可能） 固定倍率 等倍、A4⇒ハガキ、A4⇒B5、 L判⇒ハガキ、B5⇒A4、ハガキ⇒A4
連続コピー枚数	99枚
用紙サイズ	A4、B5、L判、2L判、ハガキ

■ ネットワーク部

インターフェース	10BASE-T/100BASE-TX

＊1　本機で送受信できるのは、相手機もG3規格のファクシミリに限られます。
＊2　ITU-T(国際規格)準拠
＊3　A4判700字程度の原稿を標準的画質（8 × 3.85本／mm）で高速モード（14400 bit ／ s)、独自圧縮で送ったときの速さです。これは画像情報のみの電送速度で、通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の通信時間は原稿の内容、相手機種、回線の状態により異なります。
＊4　ファクス受信と留守録は同じメモリーを使用するため、記載の枚数や時間は、一方に何も保存されていない場合のものです。
＊5　待受時とは、充電完了後、子機を充電器に置かずに、一度も通話しない状態のことです。通話したり、着信音が鳴ったりすると待受時の使用可能時間は短くなります。
＊6　主走査×副走査、PC印刷時。
＊7　普通紙、ハガキ以外の用紙については、取扱説明書本文にてご確認ください。

■ 共通部

	親機	子機	充電器
寸法	UX-MF30CL／UX-MF30CW： 435（幅）×335（奥行）× 160（高さ）mm　アンテナ除く UX-MF40CL／UX-MF40CW： 435（幅）×346.5（奥行）× 188（高さ）mm　アンテナ除く	42（幅）× 34.5（奥行）× 172（高さ）mm	82.4（幅）× 95.2（奥行）× 60.8（高さ）mm
質量	UX-MF30CL／UX-MF30CW： 約6.1kg インクカートリッジ含まず UX-MF40CL／UX-MF40CW： 約6.6kg インクカートリッジ含まず	約150g 充電池含む	約143g
電源	AC100V±10V　50／60Hz	2.4V、600mAh （ニッケル水素電池）＊1	入力：AC100V±10V 50／60Hz
消費電力 （100VAC）	約3.0W（待機時）＊2 約35W（コピー動作時）＊3	約0.6W（待機時） 約0.8W（急速充電中）	
直流抵抗	176Ω	ー	ー
静電容量	1μF以下	ー	ー
使用環境	温度　5℃〜35℃＊4　　相対湿度　30%〜85%RH		

■ 留守録部

用件録音時間	約21分 ＊5 （1件あたりの最大録音時間は約3分、受信データ含む） 用件ごとに記録する日時スタンプは、別の専用メモリーを使っています。

＊1　充電池はリサイクル可能なニッケル水素電池です。使用済電池につきましては、お買い上げ販売店までご持参いただき、リサイクルの推進にご協力をお願いします。
＊2　バックライト消灯時。パソコン接続設定を「接続しない」にしているとき。
＊3　A4サイズを画質「ふつう」でカラーコピーしているとき（給紙・排紙は除く）。
＊4　室温15℃以下の環境では、場合によりプリント画質が劣化するおそれがあります。
＊5　ファクス受信と留守録は同じメモリーを使用するため、記載の枚数や時間は、一方に何も保存されていない場合のものです。

区点コード一覧表

	0101	×	0163	⊂	0230		0292		0359	ず	0426
、	0102	÷	0164	⊃	0231		0293		0360	せ	0427
。	0103	＝	0165	∪	0232	◯	0294		0361	ぜ	0428
，	0104	≠	0166	∩	0233				0362	そ	0429
．	0105	＜	0167		0234		0301		0363	ぞ	0430
・	0106	＞	0168		0235		0302		0364	た	0431
：	0107	≦	0169		0236		0303	ａ	0365	だ	0432
；	0108	≧	0170		0237		0304	ｂ	0366	ち	0433
？	0109	∞	0171		0238		0305	ｃ	0367	ぢ	0434
！	0110	∴	0172		0239		0306	ｄ	0368	っ	0435
゛	0111	♂	0173		0240		0307	ｅ	0369	つ	0436
゜	0112	♀	0174		0241		0308	ｆ	0370	づ	0437
´	0113	°	0175	∧	0242		0309	ｇ	0371	て	0438
｀	0114	′	0176	∨	0243		0310	ｈ	0372	で	0439
¨	0115	″	0177	¬	0244		0311	ｉ	0373	と	0440
＾	0116	℃	0178	⇒	0245		0312	ｊ	0374	ど	0441
￣	0117	￥	0179	⇔	0246		0313	ｋ	0375	な	0442
＿	0118	＄	0180	∀	0247		0314	ｌ	0376	に	0443
ヽ	0119	¢	0181	∃	0248		0315	ｍ	0377	ぬ	0444
ヾ	0120	£	0182		0249	０	0316	ｎ	0378	ね	0445
ゝ	0121	％	0183		0250	１	0317	ｏ	0379	の	0446
ゞ	0122	＃	0184		0251	２	0318	ｐ	0380	は	0447
〃	0123	＆	0185		0252	３	0319	ｑ	0381	ば	0448
仝	0124	＊	0186		0253	４	0320	ｒ	0382	ぱ	0449
々	0125	＠	0187		0254	５	0321	ｓ	0383	ひ	0450
〆	0126	§	0188		0255	６	0322	ｔ	0384	び	0451
〇	0127	☆	0189		0256	７	0323	ｕ	0385	ぴ	0452
ー	0128	★	0190		0257	８	0324	ｖ	0386	ふ	0453
―	0129	○	0191		0258	９	0325	ｗ	0387	ぶ	0454
‐	0130	●	0192		0259		0326	ｘ	0388	ぷ	0455
／	0131	◎	0193	∠	0260		0327	ｙ	0389	へ	0456
＼	0132	◇	0194	⊥	0261		0328	ｚ	0390	べ	0457
～	0133			⌒	0262		0329		0391	ぺ	0458
∥	0134	◆	0201	∂	0263		0330		0392	ほ	0459
｜	0135	□	0202	∇	0264		0331		0393	ぼ	0460
…	0136	■	0203	≡	0265		0332		0394	ぽ	0461
‥	0137	△	0204	≒	0266	Ａ	0333			ま	0462
‘	0138	▲	0205	≪	0267	Ｂ	0334	ぁ	0401	み	0463
’	0139	▽	0206	≫	0268	Ｃ	0335	あ	0402	む	0464
“	0140	▼	0207	√	0269	Ｄ	0336	ぃ	0403	め	0465
”	0141	※	0208	∽	0270	Ｅ	0337	い	0404	も	0466
（	0142	〒	0209	∝	0271	Ｆ	0338	ぅ	0405	ゃ	0467
）	0143	→	0210	∵	0272	Ｇ	0339	う	0406	や	0468
〔	0144	←	0211	∫	0273	Ｈ	0340	ぇ	0407	ゅ	0469
〕	0145	↑	0212	∬	0274	Ｉ	0341	え	0408	ゆ	0470
［	0146	↓	0213		0275	Ｊ	0342	ぉ	0409	ょ	0471
］	0147	〓	0214		0276	Ｋ	0343	お	0410	よ	0472
｛	0148		0215		0277	Ｌ	0344	か	0411	ら	0473
｝	0149		0216		0278	Ｍ	0345	が	0412	り	0474
〈	0150		0217		0279	Ｎ	0346	き	0413	る	0475
〉	0151		0218		0280	Ｏ	0347	ぎ	0414	れ	0476
《	0152		0219		0281	Ｐ	0348	く	0415	ろ	0477
》	0153		0220	Å	0282	Ｑ	0349	ぐ	0416	ゎ	0478
「	0154		0221	‰	0283	Ｒ	0350	け	0417	わ	0479
」	0155		0222	♯	0284	Ｓ	0351	げ	0418	ゐ	0480
『	0156		0223	♭	0285	Ｔ	0352	こ	0419	ゑ	0481
』	0157		0224	♪	0286	Ｕ	0353	ご	0420	を	0482
【	0158		0225	†	0287	Ｖ	0354	さ	0421	ん	0483
】	0159	∈	0226	‡	0288	Ｗ	0355	ざ	0422		0484
＋	0160	∋	0227	¶	0289	Ｘ	0356	し	0423		0485
－	0161	⊆	0228		0290	Ｙ	0357	じ	0424		0486
±	0162	⊇	0229		0291	Ｚ	0358	す	0425		0487

	0488	プ	0555	Χ	0622		0684	в	0751	┣	0818
	0489	ヘ	0556	Ψ	0623		0685	г	0752	┳	0819
	0490	ベ	0557	Ω	0624		0686	д	0753	┫	0820
	0491	ペ	0558		0625		0687	е	0754	┻	0821
	0492	ホ	0559		0626		0688	ё	0755	╋	0822
	0493	ボ	0560		0627		0689	ж	0756	┠	0823
	0494	ポ	0561		0628		0690	з	0757	┯	0824
		マ	0562		0629		0691	и	0758	┨	0825
ァ	0501	ミ	0563		0630		0692	й	0759	┷	0826
ア	0502	ム	0564		0631		0693	к	0760	┿	0827
ィ	0503	メ	0565		0632		0694	л	0761	┝	0828
イ	0504	モ	0566	α	0633			м	0762	┰	0829
ゥ	0505	ャ	0567	β	0634	А	0701	н	0763	┥	0830
ウ	0506	ヤ	0568	γ	0635	Б	0702	о	0764	┸	0831
ェ	0507	ュ	0569	δ	0636	В	0703	п	0765	╂	0832
エ	0508	ユ	0570	ε	0637	Г	0704	р	0766		0833
ォ	0509	ョ	0571	ζ	0638	Д	0705	с	0767		0834
オ	0510	ヨ	0572	η	0639	Е	0706	т	0768		0835
カ	0511	ラ	0573	θ	0640	Ё	0707	у	0769		0836
ガ	0512	リ	0574	ι	0641	Ж	0708	ф	0770		0837
キ	0513	ル	0575	κ	0642	З	0709	х	0771		0838
ギ	0514	レ	0576	λ	0643	И	0710	ц	0772		0839
ク	0515	ロ	0577	μ	0644	Й	0711	ч	0773		0840
グ	0516	ヮ	0578	ν	0645	К	0712	ш	0774		0841
ケ	0517	ワ	0579	ξ	0646	Л	0713	щ	0775		0842
ゲ	0518	ヰ	0580	ο	0647	М	0714	ъ	0776		0843
コ	0519	ヱ	0581	π	0648	Н	0715	ы	0777		0844
ゴ	0520	ヲ	0582	ρ	0649	О	0716	ь	0778		0845
サ	0521	ン	0583	σ	0650	П	0717	э	0779		0846
ザ	0522	ヴ	0584	τ	0651	Р	0718	ю	0780		0847
シ	0523	ヵ	0585	υ	0652	С	0719	я	0781		0848
ジ	0524	ヶ	0586	φ	0653	Т	0720		0782		0849
ス	0525		0587	χ	0654	У	0721		0783		0850
ズ	0526		0588	ψ	0655	Ф	0722		0784		0851
セ	0527		0589	ω	0656	Х	0723		0785		0852
ゼ	0528		0590		0657	Ц	0724		0786		0853
ソ	0529		0591		0658	Ч	0725		0787		0854
ゾ	0530		0592		0659	Ш	0726		0788		0855
タ	0531		0593		0660	Щ	0727		0789		0856
ダ	0532		0594		0661	Ъ	0728		0790		0857
チ	0533				0662	Ы	0729		0791		0858
ヂ	0534	Α	0601		0663	Ь	0730		0792		0859
ッ	0535	Β	0602		0664	Э	0731		0793		0860
ツ	0536	Γ	0603		0665	Ю	0732		0794		0861
ヅ	0537	Δ	0604		0666	Я	0733				0862
テ	0538	Ε	0605		0667		0734	─	0801		0863
デ	0539	Ζ	0606		0668		0735	│	0802		0864
ト	0540	Η	0607		0669		0736	┌	0803		0865
ド	0541	Θ	0608		0670		0737	┐	0804		0866
ナ	0542	Ι	0609		0671		0738	┘	0805		0867
ニ	0543	Κ	0610		0672		0739	└	0806		0868
ヌ	0544	Λ	0611		0673		0740	├	0807		0869
ネ	0545	Μ	0612		0674		0741	┬	0808		0870
ノ	0546	Ν	0613		0675		0742	┤	0809		0871
ハ	0547	Ξ	0614		0676		0743	┴	0810		0872
バ	0548	Ο	0615		0677		0744	┼	0811		0873
パ	0549	Π	0616		0678		0745	━	0812		0874
ヒ	0550	Ρ	0617		0679		0746	┃	0813		0875
ビ	0551	Σ	0618		0680		0747	┏	0814		0876
ピ	0552	Τ	0619		0681		0748	┓	0815		0877
フ	0553	Υ	0620		0682	а	0749	┛	0816		0878
ブ	0554	Φ	0621		0683	б	0750	┗	0817		0879

0880	0947	1014	1076	1143	1210	1272	1339	1406	1468
0881	0948	1015	1077	1144	1211	1273	1340	1407	1469
0882	0949	1016	1078	1145	1212	1274	1341	1408	1470
0883	0950	1017	1079	1146	1213	1275	1342	1409	1471
0884	0951	1018	1080	1147	1214	1276	1343	1410	1472
0885	0952	1019	1081	1148	1215	1277	1344	1411	1473
0886	0953	1020	1082	1149	1216	1278	1345	1412	1474
0887	0954	1021	1083	1150	1217	1279	1346	1413	1475
0888	0955	1022	1084	1151	1218	1280	1347	1414	1476
0889	0956	1023	1085	1152	1219	1281	1348	1415	1477
0890	0957	1024	1086	1153	1220	1282	1349	1416	1478
0891	0958	1025	1087	1154	1221	1283	1350	1417	1479
0892	0959	1026	1088	1155	1222	1284	1351	1418	1480
0893	0960	1027	1089	1156	1223	1285	1352	1419	1481
0894	0961	1028	1090	1157	1224	1286	1353	1420	1482
	0962	1029	1091	1158	1225	1287	1354	1421	1483
0901	0963	1030	1092	1159	1226	1288	1355	1422	1484
0902	0964	1031	1093	1160	1227	1289	1356	1423	1485
0903	0965	1032	1094	1161	1228	1290	1357	1424	1486
0904	0966	1033		1162	1229	1291	1358	1425	1487
0905	0967	1034	1101	1163	1230	1292	1359	1426	1488
0906	0968	1035	1102	1164	1231	1293	1360	1427	1489
0907	0969	1036	1103	1165	1232	1294	1361	1428	1490
0908	0970	1037	1104	1166	1233		1362	1429	1491
0909	0971	1038	1105	1167	1234	1301	1363	1430	1492
0910	0972	1039	1106	1168	1235	1302	1364	1431	1493
0911	0973	1040	1107	1169	1236	1303	1365	1432	1494
0912	0974	1041	1108	1170	1237	1304	1366	1433	
0913	0975	1042	1109	1171	1238	1305	1367	1434	1501
0914	0976	1043	1110	1172	1239	1306	1368	1435	1502
0915	0977	1044	1111	1173	1240	1307	1369	1436	1503
0916	0978	1045	1112	1174	1241	1308	1370	1437	1504
0917	0979	1046	1113	1175	1242	1309	1371	1438	1505
0918	0980	1047	1114	1176	1243	1310	1372	1439	1506
0919	0981	1048	1115	1177	1244	1311	1373	1440	1507
0920	0982	1049	1116	1178	1245	1312	1374	1441	1508
0921	0983	1050	1117	1179	1246	1313	1375	1442	1509
0922	0984	1051	1118	1180	1247	1314	1376	1443	1510
0923	0985	1052	1119	1181	1248	1315	1377	1444	1511
0924	0986	1053	1120	1182	1249	1316	1378	1445	1512
0925	0987	1054	1121	1183	1250	1317	1379	1446	1513
0926	0988	1055	1122	1184	1251	1318	1380	1447	1514
0927	0989	1056	1123	1185	1252	1319	1381	1448	1515
0928	0990	1057	1124	1186	1253	1320	1382	1449	1516
0929	0991	1058	1125	1187	1254	1321	1383	1450	1517
0930	0992	1059	1126	1188	1255	1322	1384	1451	1518
0931	0993	1060	1127	1189	1256	1323	1385	1452	1519
0932	0994	1061	1128	1190	1257	1324	1386	1453	1520
0933		1062	1129	1191	1258	1325	1387	1454	1521
0934	1001	1063	1130	1192	1259	1326	1388	1455	1522
0935	1002	1064	1131	1193	1260	1327	1389	1456	1523
0936	1003	1065	1132	1194	1261	1328	1390	1457	1524
0937	1004	1066	1133		1262	1329	1391	1458	1525
0938	1005	1067	1134	1201	1263	1330	1392	1459	1526
0939	1006	1068	1135	1202	1264	1331	1393	1460	1527
0940	1007	1069	1136	1203	1265	1332	1394	1461	1528
0941	1008	1070	1137	1204	1266	1333		1462	1529
0942	1009	1071	1138	1205	1267	1334	1401	1463	1530
0943	1010	1072	1139	1206	1268	1335	1402	1464	1531
0944	1011	1073	1140	1207	1269	1336	1403	1465	1532
0945	1012	1074	1141	1208	1270	1337	1404	1466	1533
0946	1013	1075	1142	1209	1271	1338	1405	1467	1534

1535 1536 1537 1538 1539 1540 1541 1542 1543 1544 1545 1546 1547 1548 1549 1550 1551 1552 1553 1554 1555 1556 1557 1558 1559 1560 1561 1562 1563 1564 1565 1566 1567 1568 1569 1570 1571 1572 1573 1574 1575 1576 1577 1578 1579 1580 1581 1582 1583 1584 1585 1586 1587 1588 1589 1590 1591 1592 1593 1594

【あ】

亜 1601　唖 1602　娃 1603　阿 1604　哀 1605　愛 1606　挨 1607　姶 1608　逢 1609　葵 1610　茜 1611　穐 1612　悪 1613　握 1614　渥 1615　旭 1616　葦 1617　芦 1618　鯵 1619　梓 1620　圧 1621　斡 1622　扱 1623　宛 1624　姐 1625　虻 1626　飴 1627　絢 1628　綾 1629　鮎 1630　或 1631　粟 1632　袷 1633　安 1634　庵 1635　按 1636　暗 1637　案 1638　闇 1639　鞍 1640　杏 1641

【い】

以 1642　伊 1643　位 1644　依 1645　偉 1646　囲 1647　夷 1648　委 1649　威 1650　尉 1651　惟 1652　意 1653　慰 1654　易 1655　椅 1656　為 1657　畏 1658　異 1659　移 1660　維 1661　緯 1662　胃 1663　萎 1664　衣 1665　謂 1666　違 1667　遺 1668　医 1669　井 1670　亥 1671　域 1672　育 1673　郁 1674　磯 1675　一 1676　壱 1677　溢 1678　逸 1679　稲 1680　茨 1681　芋 1682　鰯 1683　允 1684　印 1685　咽 1686　員 1687　因 1688　姻 1689　引 1690　飲 1691　淫 1692　胤 1693　蔭 1694
院 1701　陰 1702　隠 1703　韻 1704　吋 1705

【う】

右 1706　宇 1707　烏 1708　羽 1709　迂 1710　雨 1711　卯 1712　鵜 1713　窺 1714　丑 1715　碓 1716　臼 1717　渦 1718　嘘 1719　唄 1720　欝 1721　蔚 1722　鰻 1723　姥 1724　厩 1725　浦 1726　瓜 1727　閏 1728　噂 1729　云 1730　運 1731　雲 1732

【え】

荏 1733　餌 1734　叡 1735　営 1736　嬰 1737　影 1738　映 1739　曳 1740　栄 1741　永 1742　泳 1743　洩 1744　瑛 1745　盈 1746　穎 1747　頴 1748　英 1749　衛 1750　詠 1751　鋭 1752　液 1753　疫 1754　益 1755　駅 1756　悦 1757　謁 1758　越 1759　閲 1760　榎 1761　厭 1762　円 1763　園 1764　堰 1765　奄 1766　宴 1767　延 1768　怨 1769　掩 1770　援 1771　沿 1772　演 1773　炎 1774　焔 1775　煙 1776　燕 1777　猿 1778　縁 1779　艶 1780　苑 1781　薗 1782　遠 1783　鉛 1784　鴛 1785　塩 1786

【お】

於 1787　汚 1788　甥 1789　凹 1790　央 1791　奥 1792　往 1793　応 1794
押 1801　旺 1802　横 1803　欧 1804　殴 1805　王 1806　翁 1807　襖 1808　鴬 1809　鴎 1810　黄 1811　岡 1812　沖 1813　荻 1814　億 1815　屋 1816　憶 1817　臆 1818　桶 1819　牡 1820　乙 1821　俺 1822　卸 1823　恩 1824　温 1825　穏 1826　音 1827

【か】

下 1828　化 1829　仮 1830　何 1831　伽 1832　価 1833　佳 1834　加 1835　可 1836　嘉 1837　夏 1838　嫁 1839　家 1840　寡 1841　科 1842　暇 1843　果 1844　架 1845　歌 1846　河 1847　火 1848　珂 1849　禍 1850　禾 1851　稼 1852　箇 1853　花 1854　苛 1855　茄 1856　荷 1857　華 1858　菓 1859　蝦 1860　課 1861　嘩 1862　貨 1863　迦 1864　過 1865　霞 1866　蚊 1867　俄 1868　峨 1869　我 1870　牙 1871　画 1872　臥 1873　芽 1874　蛾 1875　賀 1876　雅 1877　餓 1878　駕 1879　介 1880　会 1881　解 1882　回 1883　塊 1884　壊 1885　廻 1886　快 1887　怪 1888　悔 1889　恢 1890　懐 1891　戒 1892　拐 1893　改 1894
魁 1901　晦 1902　械 1903　海 1904　灰 1905　界 1906　皆 1907　絵 1908　芥 1909　蟹 1910　開 1911　階 1912　貝 1913　凱 1914　劾 1915　外 1916　咳 1917　害 1918　崖 1919　慨 1920　概 1921　涯 1922　碍 1923　蓋 1924　街 1925　該 1926　鎧 1927　骸 1928　浬 1929　馨 1930　蛙 1931　垣 1932　柿 1933　蛎 1934　鈎 1935　劃 1936　嚇 1937　各 1938　廓 1939　拡 1940　撹 1941　格 1942　核 1943　殻 1944　獲 1945　確 1946　穫 1947　覚 1948　角 1949　赫 1950　較 1951　郭 1952　閣 1953　隔 1954　革 1955　学 1956　岳 1957　楽 1958　額 1959　顎 1960　掛 1961　笠 1962　樫 1963　橿 1964　梶 1965　鰍 1966　潟 1967　割 1968　喝 1969　恰 1970　括 1971　活 1972　渇 1973　滑 1974　葛 1975　褐 1976　轄 1977　且 1978　鰹 1979　叶 1980　椛 1981　樺 1982　鞄 1983　株 1984　兜 1985　竃 1986　蒲 1987　釜 1988　鎌 1989　噛 1990　鴨 1991　栢 1992　茅 1993　萱 1994
粥 2001　刈 2002　苅 2003　瓦 2004　乾 2005　侃 2006　冠 2007　寒 2008　刊 2009　勘 2010　勧 2011　巻 2012　喚 2013　堪 2014　姦 2015　完 2016　官 2017　寛 2018　干 2019　幹 2020　患 2021　感 2022　慣 2023　憾 2024　換 2025　敢 2026　柑 2027　桓 2028　棺 2029　款 2030　歓 2031　汗 2032　漢 2033　澗 2034　潅 2035　環 2036　甘 2037　監 2038　看 2039　竿 2040　管 2041　簡 2042　緩 2043　缶 2044　翰 2045　肝 2046　艦 2047　莞 2048　観 2049　諌 2050　貫 2051　還 2052　鑑 2053　間 2054　閑 2055　関 2056　陥 2057　韓 2058　館 2059　舘 2060　丸 2061　含 2062　岸 2063　巌 2064　玩 2065　癌 2066　眼 2067　岩 2068　翫 2069　贋 2070　雁 2071　頑 2072　顔 2073　願 2074

【き】

企 2075　伎 2076　危 2077　喜 2078　器 2079　基 2080　奇 2081　嬉 2082　寄 2083　岐 2084　希 2085　幾 2086　忌 2087　揮 2088　机 2089　旗 2090　既 2091　期 2092　棋 2093　棄 2094
機 2101　帰 2102　毅 2103　気 2104　汽 2105　畿 2106　祈 2107　季 2108　稀 2109　紀 2110　徽 2111　規 2112　記 2113　貴 2114　起 2115　軌 2116　輝 2117　飢 2118　騎 2119　鬼 2120　亀 2121　偽 2122　儀 2123　妓 2124　宜 2125　戯 2126　技 2127　擬 2128　欺 2129　犠 2130　疑 2131　祇 2132　義 2133　蟻 2134　誼 2135　議 2136　掬 2137　菊 2138　鞠 2139　吉 2140　吃 2141　喫 2142　桔 2143　橘 2144　詰 2145　砧 2146　杵 2147　黍 2148　却 2149　客 2150　脚 2151　虐 2152　逆 2153　丘 2154　久 2155　仇 2156　休 2157　及 2158　吸 2159　宮 2160　弓 2161　急 2162　救 2163　朽 2164　求 2165　汲 2166　泣 2167　灸 2168　球 2169　究 2170　窮 2171　笈 2172　級 2173　糾 2174　給 2175　旧 2176　牛 2177　去 2178　居 2179　巨 2180　拒 2181　拠 2182　挙 2183　渠 2184　虚 2185　許 2186　距 2187　鋸 2188　漁 2189　禦 2190　魚 2191　亨 2192　享 2193　京 2194
供 2201　侠 2202　僑 2203　兇 2204　競 2205　共 2206　凶 2207　協 2208　匡 2209　卿 2210　叫 2211　喬 2212　境 2213　峡 2214　強 2215　彊 2216　怯 2217　恐 2218　恭 2219　挟 2220　教 2221　橋 2222　況 2223　狂 2224　狭 2225　矯 2226　胸 2227　脅 2228　興 2229　蕎 2230　郷 2231　鏡 2232　響 2233　饗 2234　驚 2235　仰 2236　凝 2237　尭 2238　暁 2239　業 2240　局 2241　曲 2242　極 2243　玉 2244　桐 2245　粁 2246　僅 2247　勤 2248　均 2249　巾 2250　錦 2251　斤 2252　欣 2253　欽 2254　琴 2255　禁 2256　禽 2257　筋 2258　緊 2259　芹 2260　菌 2261　衿 2262　襟 2263　謹 2264　近 2265　金 2266　吟 2267　銀 2268

【く】

九 2269　倶 2270　句 2271　区 2272　狗 2273　玖 2274　矩 2275　苦 2276　躯 2277　駆 2278　駈 2279　駒 2280　具 2281　愚 2282　虞 2283　喰 2284　空 2285　偶 2286　寓 2287　遇 2288　隅 2289　串 2290　櫛 2291　釧 2292　屑 2293　屈 2294
掘 2301　窟 2302　沓 2303　靴 2304　轡 2305　窪 2306　熊 2307　隈 2308　粂 2309　栗 2310　繰 2311　桑 2312　鍬 2313　勲 2314　君 2315　薫 2316　訓 2317　群 2318　軍 2319　郡 2320

【け】

卦 2321　袈 2322　祁 2323　係 2324　傾 2325　刑 2326　兄 2327　啓 2328　圭 2329　珪 2330　型 2331　契 2332　形 2333　径 2334　恵 2335　慶 2336　慧 2337　憩 2338　掲 2339　携 2340　敬 2341　景 2342　桂 2343　渓 2344　畦 2345　稽 2346　系 2347　経 2348　継 2349　繋 2350　罫 2351　茎 2352　荊 2353　蛍 2354　計 2355　詣 2356　警 2357　軽 2358　頚 2359　鶏 2360　芸 2361　迎 2362　鯨 2363　劇 2364　戟 2365　撃 2366　激 2367　隙 2368　桁 2369　傑 2370　欠 2371　決 2372　潔 2373　穴 2374　結 2375　血 2376　訣 2377　月 2378　件 2379　倹 2380　倦 2381　健 2382　兼 2383　券 2384　剣 2385　喧 2386　圏 2387　堅 2388　嫌 2389　建 2390　憲 2391　懸 2392　拳 2393　捲 2394
検 2401　権 2402　牽 2403　犬 2404　献 2405　研 2406　硯 2407　絹 2408　県 2409　肩 2410　見 2411　謙 2412　賢 2413　軒 2414　遣 2415　鍵 2416　険 2417　顕 2418　験 2419　鹸 2420　元 2421　原 2422　厳 2423　幻 2424　弦 2425　減 2426　源 2427　玄 2428　現 2429　絃 2430　舷 2431　言 2432　諺 2433　限 2434

【こ】

乎 2435　個 2436　古 2437　呼 2438　固 2439　姑 2440　孤 2441　己 2442　庫 2443　弧 2444　戸 2445　故 2446　枯 2447　湖 2448　狐 2449　糊 2450　袴 2451　股 2452　胡 2453　菰 2454　虎 2455　誇 2456　跨 2457　鈷 2458　雇 2459　顧 2460　鼓 2461　五 2462　互 2463　伍 2464　午 2465　呉 2466　吾 2467　娯 2468　後 2469　御 2470　悟 2471　梧 2472　檎 2473　瑚 2474　碁 2475　語 2476　誤 2477　護 2478　醐 2479　乞 2480　鯉 2481　交 2482　佼 2483　侯 2484　候 2485　倖 2486　光 2487　公 2488　功 2489　効 2490　勾 2491　厚 2492　口 2493　向 2494
后 2501　喉 2502　坑 2503　垢 2504　好 2505　孔 2506　孝 2507　宏 2508　工 2509　巧 2510　巷 2511　幸 2512　広 2513　庚 2514　康 2515　弘 2516　恒 2517　慌 2518　抗 2519　拘 2520　控 2521　攻 2522　昂 2523　晃 2524　更 2525　杭 2526　校 2527　梗 2528　構 2529　江 2530　洪 2531　浩 2532　港 2533　溝 2534　甲 2535　皇 2536　硬 2537　稿 2538　糠 2539　紅 2540　紘 2541　絞 2542　綱 2543　耕 2544　考 2545　肯 2546　肱 2547　腔 2548　膏 2549　航 2550　荒 2551　行 2552　衡 2553　講 2554　貢 2555　購 2556　郊 2557　酵 2558　鉱 2559　砿 2560　鋼 2561　閤 2562　降 2563　項 2564　香 2565　高 2566　鴻 2567　剛 2568　劫 2569　号 2570　合 2571　壕 2572　拷 2573　濠 2574　豪 2575　轟 2576　麹 2577　克 2578　刻 2579　告 2580　国 2581　穀 2582　酷 2583　鵠 2584　黒 2585　獄 2586　漉 2587　腰 2588　甑 2589　忽 2590　惚 2591　骨 2592　狛 2593　込 2594
此 2601　頃 2602　今 2603　困 2604　坤 2605　墾 2606　婚 2607　恨 2608　懇 2609　昏 2610　昆 2611　根 2612　梱 2613　混 2614　痕 2615　紺 2616　艮 2617　魂 2618

【さ】

些 2619　佐 2620　叉 2621　唆 2622　嵯 2623　左 2624　差 2625　査 2626　沙 2627　瑳 2628　砂 2629　詐 2630　鎖 2631　裟 2632　坐 2633　座 2634　挫 2635　債 2636　催 2637　再 2638　最 2639　哉 2640　塞 2641　妻 2642　宰 2643　彩 2644　才 2645　採 2646　栽 2647　歳 2648　済 2649　災 2650　采 2651　犀 2652　砕 2653　砦 2654　祭 2655　斎 2656　細 2657　菜 2658　裁 2659　載 2660　際 2661　剤 2662　在 2663　材 2664　罪 2665　財 2666　冴 2667　坂 2668　阪 2669　堺 2670　榊 2671　肴 2672　咲 2673　崎 2674　埼 2675　碕 2676　鷺 2677　作 2678　削 2679　咋 2680　搾 2681　昨 2682　朔 2683　柵 2684　窄 2685　策 2686　索 2687　錯 2688　桜 2689　鮭 2690　笹 2691　匙 2692　冊 2693　刷 2694
察 2701　拶 2702　撮 2703　擦 2704　札 2705　殺 2706　薩 2707　雑 2708　皐 2709　鯖 2710　捌 2711　錆 2712　鮫 2713　皿 2714　晒 2715　三 2716　傘 2717　参 2718　山 2719　惨 2720　撒 2721　散 2722　桟 2723　燦 2724　珊 2725　産 2726　算 2727　纂 2728　蚕 2729　讃 2730　賛 2731　酸 2732　餐 2733　斬 2734　暫 2735　残 2736

【し】

仕 2737　仔 2738　伺 2739　使 2740　刺 2741　司 2742　史 2743　嗣 2744　四 2745　士 2746　始 2747　姉 2748　姿 2749　子 2750　屍 2751　市 2752　師 2753　志 2754　思 2755　指 2756　支 2757　孜 2758　斯 2759　施 2760　旨 2761　枝 2762　止 2763　死 2764　氏 2765　獅 2766　祉 2767　私 2768　糸 2769　紙 2770　紫 2771　肢 2772　脂 2773　至 2774　視 2775　詞 2776　詩 2777　試 2778　誌 2779　諮 2780　資 2781　賜 2782　雌 2783　飼 2784　歯 2785　事 2786　似 2787　侍 2788　児 2789　字 2790　寺 2791　慈 2792　持 2793　時 2794
次 2801　滋 2802　治 2803　爾 2804　璽 2805　痔 2806　磁 2807　示 2808　而 2809　耳 2810　自 2811　蒔 2812　辞 2813　汐 2814　鹿 2815　式 2816　識 2817　鴫 2818　竺 2819　軸 2820　宍 2821　雫 2822　七 2823　叱 2824　執 2825　失 2826　嫉 2827　室 2828　悉 2829　湿 2830　漆 2831　疾 2832　質 2833　実 2834　蔀 2835　篠 2836　偲 2837　柴 2838　芝 2839　屡 2840　蕊 2841　縞 2842　舎 2843　写 2844　射 2845　捨 2846　赦 2847　斜 2848　煮 2849　社 2850　紗 2851　者 2852　謝 2853　車 2854　遮 2855　蛇 2856　邪 2857　借 2858　勺 2859　尺 2860　杓 2861　灼 2862　爵 2863　酌 2864　釈 2865　錫 2866　若 2867　寂 2868　弱 2869　惹 2870　主 2871　取 2872　守 2873　手 2874　朱 2875　殊 2876　狩 2877　珠 2878　種 2879　腫 2880　趣 2881　酒 2882　首 2883　儒 2884　受 2885　呪 2886　寿 2887　授 2888　樹 2889　綬 2890　需 2891　囚 2892　収 2893　周 2894
宗 2901　就 2902　州 2903　修 2904　愁 2905　拾 2906　洲 2907　秀 2908　秋 2909　終 2910　繍 2911　習 2912　臭 2913　舟 2914　蒐 2915　衆 2916　襲 2917　讐 2918　蹴 2919　輯 2920　週 2921　酋 2922　酬 2923　集 2924　醜 2925　什 2926　住 2927　充 2928　十 2929　従 2930　戎 2931　柔 2932　汁 2933　渋 2934　獣 2935　縦 2936　重 2937　銃 2938　叔 2939　夙 2940　宿 2941　淑 2942　祝 2943　縮 2944　粛 2945　塾 2946　熟 2947　出 2948　術 2949　述 2950　俊 2951　峻 2952　春 2953　瞬 2954　竣 2955　舜 2956

区点コード一覧表

文字	区点コード
駿	2957
准	2958
循	2959
旬	2960
楯	2961
殉	2962
淳	2963
準	2964
潤	2965
盾	2966
純	2967
巡	2968
遵	2969
醇	2970
順	2971
処	2972
初	2973
所	2974
暑	2975
曙	2976
渚	2977
庶	2978
緒	2979
署	2980
書	2981
薯	2982
藷	2983
諸	2984
助	2985
叙	2986
女	2987
序	2988
徐	2989
恕	2990
鋤	2991
除	2992
傷	2993
償	2994
勝	3001
匠	3002
升	3003
召	3004
哨	3005
商	3006
唱	3007
嘗	3008
奨	3009
妾	3010
娼	3011
宵	3012
将	3013
小	3014
少	3015
尚	3016
庄	3017
床	3018
廠	3019
彰	3020
承	3021
抄	3022
招	3023
掌	3024
捷	3025
昇	3026
昌	3027
昭	3028
晶	3029
松	3030
梢	3031
樟	3032
樵	3033
沼	3034
消	3035
渉	3036
湘	3037
焼	3038
焦	3039
照	3040
症	3041
省	3042
硝	3043
礁	3044
祥	3045
称	3046
章	3047
笑	3048
粧	3049
紹	3050
肖	3051
菖	3052
蒋	3053
蕉	3054
衝	3055
裳	3056
訟	3057
証	3058
詔	3059
詳	3060
象	3061
賞	3062
醤	3063
鉦	3064
鍾	3065
鐘	3066
障	3067
鞘	3068
上	3069
丈	3070
丞	3071
乗	3072
冗	3073
剰	3074
城	3075
場	3076
壌	3077
嬢	3078
常	3079
情	3080
擾	3081
条	3082
杖	3083
浄	3084
状	3085
畳	3086
穣	3087
蒸	3088
譲	3089
醸	3090
錠	3091
嘱	3092
埴	3093
飾	3094
拭	3101
植	3102
殖	3103
燭	3104
織	3105
職	3106
色	3107
触	3108
食	3109
蝕	3110
辱	3111
尻	3112
伸	3113
信	3114
侵	3115
唇	3116
娠	3117
寝	3118
審	3119
心	3120
慎	3121
振	3122
新	3123
晋	3124
森	3125
榛	3126
浸	3127
深	3128
申	3129
疹	3130
真	3131
神	3132
秦	3133
紳	3134
臣	3135
芯	3136
薪	3137
親	3138
診	3139
身	3140
辛	3141
進	3142
針	3143
震	3144
人	3145
仁	3146
刃	3147
塵	3148
壬	3149
尋	3150
甚	3151
尽	3152
腎	3153
訊	3154
迅	3155
陣	3156
靭	3157
【す】	
笥	3158
諏	3159
須	3160
酢	3161
図	3162
厨	3163
逗	3164
吹	3165
垂	3166
帥	3167
推	3168
水	3169
炊	3170
睡	3171
粋	3172
翠	3173
衰	3174
遂	3175
酔	3176
錐	3177
錘	3178
随	3179
瑞	3180
髄	3181
崇	3182
嵩	3183
数	3184
枢	3185
趨	3186
雛	3187
据	3188
杉	3189
椙	3190
菅	3191
頗	3192
雀	3193
裾	3194
澄	3201
摺	3202
寸	3203
【せ】	
世	3204
瀬	3205
畝	3206
是	3207
凄	3208
制	3209
勢	3210
姓	3211
征	3212
性	3213
成	3214
政	3215
整	3216
星	3217
晴	3218
棲	3219
栖	3220
正	3221
清	3222
牲	3223
生	3224
盛	3225
精	3226
聖	3227
声	3228
製	3229
西	3230
誠	3231
誓	3232
請	3233
逝	3234
醒	3235
青	3236
静	3237
斉	3238
税	3239
脆	3240
隻	3241
席	3242
惜	3243
戚	3244
斥	3245
昔	3246
析	3247
石	3248
積	3249
籍	3250
績	3251
脊	3252
責	3253
赤	3254
跡	3255
蹟	3256
碩	3257
切	3258
拙	3259
接	3260
摂	3261
折	3262
設	3263
窃	3264
節	3265
説	3266
雪	3267
絶	3268
舌	3269
蝉	3270
仙	3271
先	3272
千	3273
占	3274
宣	3275
専	3276
尖	3277
川	3278
戦	3279
扇	3280
撰	3281
栓	3282
栴	3283
泉	3284
浅	3285
洗	3286
染	3287
潜	3288
煎	3289
煽	3290
旋	3291
穿	3292
箭	3293
線	3294
繊	3301
羨	3302
腺	3303
舛	3304
船	3305
薦	3306
詮	3307
賎	3308
践	3309
選	3310
遷	3311
銭	3312
銑	3313
閃	3314
鮮	3315
前	3316
善	3317
漸	3318
然	3319
全	3320
禅	3321
繕	3322
膳	3323
糎	3324
【そ】	
噌	3325
塑	3326
岨	3327
措	3328
曾	3329
曽	3330
楚	3331
狙	3332
疏	3333
疎	3334
礎	3335
祖	3336
租	3337
粗	3338
素	3339
組	3340
蘇	3341
訴	3342
阻	3343
遡	3344
鼠	3345
僧	3346
創	3347
双	3348
叢	3349
倉	3350
喪	3351
壮	3352
奏	3353
爽	3354
宋	3355
層	3356
匝	3357
惣	3358
想	3359
捜	3360
掃	3361
挿	3362
掻	3363
操	3364
早	3365
曹	3366
巣	3367
槍	3368
槽	3369
漕	3370
燥	3371
争	3372
痩	3373
相	3374
窓	3375
糟	3376
総	3377
綜	3378
聡	3379
草	3380
荘	3381
葬	3382
蒼	3383
藻	3384
装	3385
走	3386
送	3387
遭	3388
鎗	3389
霜	3390
騒	3391
像	3392
増	3393
憎	3394
臓	3401
蔵	3402
贈	3403
造	3404
促	3405
側	3406
則	3407
即	3408
息	3409
捉	3410
束	3411
測	3412
足	3413
速	3414
俗	3415
属	3416
賊	3417
族	3418
続	3419
卒	3420
袖	3421
其	3422
揃	3423
存	3424
孫	3425
尊	3426
損	3427
村	3428
遜	3429
【た】	
他	3430
多	3431
太	3432
汰	3433
詑	3434
唾	3435
堕	3436
妥	3437
惰	3438
打	3439
柁	3440
舵	3441
楕	3442
陀	3443
駄	3444
騨	3445
体	3446
堆	3447
対	3448
耐	3449
岱	3450
帯	3451
待	3452
怠	3453
態	3454
戴	3455
替	3456
泰	3457
滞	3458
胎	3459
腿	3460
苔	3461
袋	3462
貸	3463
退	3464
逮	3465
隊	3466
黛	3467
鯛	3468
代	3469
台	3470
大	3471
第	3472
醍	3473
題	3474
鷹	3475
滝	3476
瀧	3477
卓	3478
啄	3479
宅	3480
托	3481
択	3482
拓	3483
沢	3484
濯	3485
琢	3486
託	3487
鐸	3488
濁	3489
諾	3490
茸	3491
凧	3492
蛸	3493
只	3494
叩	3501
但	3502
達	3503
辰	3504
奪	3505
脱	3506
巽	3507
竪	3508
辿	3509
棚	3510
谷	3511
狸	3512
鱈	3513
樽	3514
誰	3515
丹	3516
単	3517
嘆	3518
坦	3519
担	3520
探	3521
旦	3522
歎	3523
淡	3524
湛	3525
炭	3526
短	3527
端	3528
箪	3529
綻	3530
耽	3531
胆	3532
蛋	3533
誕	3534
鍛	3535
団	3536
壇	3537
弾	3538
断	3539
暖	3540
檀	3541
段	3542
男	3543
談	3544
【ち】	
値	3545
知	3546
地	3547
弛	3548
恥	3549
智	3550
池	3551
痴	3552
稚	3553
置	3554
致	3555
蜘	3556
遅	3557
馳	3558
築	3559
畜	3560
竹	3561
筑	3562
蓄	3563
逐	3564
秩	3565
窒	3566
茶	3567
嫡	3568
着	3569
中	3570
仲	3571
宙	3572
忠	3573
抽	3574
昼	3575
柱	3576
注	3577
虫	3578
衷	3579
註	3580
酎	3581
鋳	3582
駐	3583
樗	3584
瀦	3585
猪	3586
苧	3587
著	3588
貯	3589
丁	3590
兆	3591
凋	3592
喋	3593
寵	3594
帖	3601
帳	3602
庁	3603
弔	3604
張	3605
彫	3606
徴	3607
懲	3608
挑	3609
暢	3610
朝	3611
潮	3612
牒	3613
町	3614
眺	3615
聴	3616
脹	3617
腸	3618
蝶	3619
調	3620
諜	3621
超	3622
跳	3623
銚	3624
長	3625
頂	3626
鳥	3627
勅	3628
捗	3629
直	3630
朕	3631
沈	3632
珍	3633
賃	3634
鎮	3635
陳	3636
【つ】	
津	3637
墜	3638
椎	3639
槌	3640
追	3641
鎚	3642
痛	3643
通	3644
塚	3645
栂	3646
掴	3647
槻	3648
佃	3649
漬	3650
柘	3651
辻	3652
蔦	3653
綴	3654
鍔	3655
椿	3656
潰	3657
坪	3658
壷	3659
嬬	3660
紬	3661
爪	3662
吊	3663
釣	3664
鶴	3665
【て】	
亭	3666
低	3667
停	3668
偵	3669
剃	3670
貞	3671
呈	3672
堤	3673
定	3674
帝	3675
底	3676
庭	3677
廷	3678
弟	3679
悌	3680
抵	3681
挺	3682
提	3683
梯	3684
汀	3685
碇	3686
禎	3687
程	3688
締	3689
艇	3690
訂	3691
諦	3692
蹄	3693
逓	3694
邸	3701
鄭	3702
釘	3703
鼎	3704
泥	3705
摘	3706
擢	3707
敵	3708
滴	3709
的	3710
笛	3711
適	3712
鏑	3713
溺	3714
哲	3715
徹	3716
撤	3717
轍	3718
迭	3719
鉄	3720
典	3721
填	3722
天	3723
展	3724
店	3725
添	3726
纏	3727
甜	3728
貼	3729
転	3730
顛	3731
点	3732
伝	3733
殿	3734
澱	3735
田	3736
電	3737
【と】	
兎	3738
吐	3739
堵	3740
塗	3741
妬	3742
屠	3743
徒	3744
斗	3745
杜	3746
渡	3747
登	3748
菟	3749
賭	3750
途	3751
都	3752
鍍	3753
砥	3754
砺	3755
努	3756
度	3757
土	3758
奴	3759
怒	3760
倒	3761
党	3762
冬	3763
凍	3764
刀	3765
唐	3766
塔	3767
塘	3768
套	3769
宕	3770
島	3771
嶋	3772
悼	3773
投	3774
搭	3775
東	3776
桃	3777
梼	3778
棟	3779
盗	3780
淘	3781
湯	3782
涛	3783
灯	3784
燈	3785
当	3786
痘	3787
祷	3788
等	3789
答	3790
筒	3791
糖	3792
統	3793
到	3794
董	3801
蕩	3802
藤	3803
討	3804
謄	3805
豆	3806
踏	3807
逃	3808
透	3809
鐙	3810
陶	3811
頭	3812
騰	3813
闘	3814
働	3815
動	3816
同	3817
堂	3818
導	3819
憧	3820
撞	3821
洞	3822
瞳	3823
童	3824
胴	3825
萄	3826
道	3827
銅	3828
峠	3829
鴇	3830
匿	3831
得	3832
徳	3833
涜	3834
特	3835
督	3836
禿	3837
篤	3838
毒	3839
独	3840
読	3841
栃	3842
橡	3843
凸	3844
突	3845
椴	3846
届	3847
鳶	3848
苫	3849
寅	3850
酉	3851
瀞	3852
噸	3853
屯	3854
惇	3855
敦	3856
沌	3857
豚	3858
遁	3859
頓	3860
呑	3861
曇	3862
鈍	3863
【な】	
奈	3864
那	3865
内	3866
乍	3867
凪	3868
薙	3869
謎	3870
灘	3871
捺	3872
鍋	3873
楢	3874
馴	3875
縄	3876
畷	3877
南	3878
楠	3879
軟	3880
難	3881
汝	3882
【に】	
二	3883
尼	3884
弐	3885
迩	3886
匂	3887
賑	3888
肉	3889
虹	3890
廿	3891
日	3892
乳	3893
入	3894
如	3901
尿	3902
韮	3903
任	3904
妊	3905
忍	3906
認	3907
【ぬ】	
濡	3908
【ね】	
禰	3909
祢	3910
寧	3911
葱	3912
猫	3913
熱	3914
年	3915
念	3916
捻	3917
撚	3918
燃	3919
粘	3920
【の】	
乃	3921
廼	3922
之	3923
埜	3924
嚢	3925
悩	3926
濃	3927
納	3928
能	3929
脳	3930
膿	3931
農	3932
覗	3933
蚤	3934
【は】	
巴	3935
把	3936
播	3937
覇	3938
杷	3939
波	3940
派	3941
琶	3942
破	3943
婆	3944
罵	3945
芭	3946
馬	3947
俳	3948
廃	3949
拝	3950
排	3951
敗	3952
杯	3953
盃	3954
牌	3955
背	3956
肺	3957
輩	3958
配	3959
倍	3960
培	3961
媒	3962
梅	3963
楳	3964
煤	3965
狽	3966
買	3967
売	3968
賠	3969
陪	3970
這	3971
蝿	3972
秤	3973
矧	3974
萩	3975
伯	3976
剥	3977
博	3978
拍	3979
柏	3980
泊	3981
白	3982
箔	3983
粕	3984
舶	3985
薄	3986
迫	3987
曝	3988
漠	3989
爆	3990
縛	3991
莫	3992
駁	3993
麦	3994
函	4001
箱	4002
硲	4003
箸	4004
肇	4005
筈	4006
櫨	4007
幡	4008
肌	4009
畑	4010
畠	4011
八	4012
鉢	4013
溌	4014
発	4015
醗	4016
髪	4017
伐	4018
罰	4019
抜	4020
筏	4021
閥	4022
鳩	4023
噺	4024
塙	4025
蛤	4026
隼	4027
伴	4028
判	4029
半	4030
反	4031
叛	4032
帆	4033
搬	4034
斑	4035
板	4036
氾	4037
汎	4038
版	4039
犯	4040
班	4041
畔	4042
繁	4043
般	4044
藩	4045
販	4046
範	4047
釆	4048
煩	4049
頒	4050
飯	4051
挽	4052
晩	4053
番	4054
盤	4055
磐	4056
蕃	4057
蛮	4058
【ひ】	
匪	4059
卑	4060
否	4061
妃	4062
庇	4063
彼	4064
悲	4065
扉	4066
批	4067
披	4068
斐	4069
比	4070
泌	4071
疲	4072
皮	4073
碑	4074
秘	4075
緋	4076
罷	4077
肥	4078
被	4079
誹	4080
費	4081
避	4082
非	4083
飛	4084
樋	4085
簸	4086
備	4087
尾	4088
微	4089
枇	4090
毘	4091
琵	4092
眉	4093
美	4094
鼻	4101
柊	4102
稗	4103
匹	4104
疋	4105
髭	4106
彦	4107
膝	4108
菱	4109
肘	4110
弼	4111
必	4112
畢	4113
筆	4114
逼	4115
桧	4116
姫	4117
媛	4118
紐	4119
百	4120
謬	4121
俵	4122
彪	4123
標	4124
氷	4125
漂	4126
瓢	4127
票	4128
表	4129
評	4130
豹	4131
廟	4132
描	4133
病	4134
秒	4135
苗	4136
錨	4137
鋲	4138
蒜	4139
蛭	4140
鰭	4141
品	4142
彬	4143
斌	4144
浜	4145
瀕	4146
貧	4147
賓	4148
頻	4149
敏	4150
瓶	4151
【ふ】	
不	4152
付	4153
埠	4154
夫	4155
婦	4156
富	4157
冨	4158
布	4159
府	4160
怖	4161
扶	4162
敷	4163
斧	4164
普	4165
浮	4166
父	4167
符	4168
腐	4169
膚	4170
芙	4171
譜	4172
負	4173
賦	4174
赴	4175
阜	4176
附	4177
侮	4178
撫	4179
武	4180
舞	4181
葡	4182
蕪	4183
部	4184
封	4185
楓	4186
風	4187
葺	4188
蕗	4189
伏	4190
副	4191
復	4192
幅	4193
服	4194
福	4201
腹	4202
複	4203
覆	4204
淵	4205
弗	4206
払	4207
沸	4208
仏	4209
物	4210
鮒	4211
分	4212
吻	4213
噴	4214
墳	4215
憤	4216
扮	4217
焚	4218
奮	4219
粉	4220
糞	4221
紛	4222
雰	4223
文	4224
聞	4225
【へ】	
丙	4226
併	4227
兵	4228
塀	4229
幣	4230
平	4231
弊	4232
柄	4233
並	4234
蔽	4235
閉	4236
陛	4237
米	4238
頁	4239
僻	4240
壁	4241
癖	4242
碧	4243
別	4244
瞥	4245
蔑	4246
箆	4247
偏	4248
変	4249
片	4250
篇	4251
編	4252
辺	4253
返	4254
遍	4255
便	4256
勉	4257
娩	4258
弁	4259
鞭	4260
【ほ】	
保	4261
舗	4262
鋪	4263
圃	4264
捕	4265
歩	4266
甫	4267
補	4268
輔	4269
穂	4270
募	4271
墓	4272
慕	4273
戊	4274
暮	4275
母	4276
簿	4277
菩	4278
倣	4279
俸	4280
包	4281
呆	4282
報	4283
奉	4284
宝	4285
峰	4286
峯	4287
崩	4288
庖	4289
抱	4290
捧	4291
放	4292
方	4293
朋	4294
法	4301
泡	4302
烹	4303
砲	4304
縫	4305
胞	4306
芳	4307
萌	4308
蓬	4309
蜂	4310
褒	4311
訪	4312
豊	4313
邦	4314
鋒	4315
飽	4316
鳳	4317
鵬	4318
乏	4319
亡	4320
傍	4321
剖	4322
坊	4323
妨	4324
帽	4325
忘	4326
忙	4327
房	4328
暴	4329
望	4330
某	4331
棒	4332
冒	4333
紡	4334
肪	4335
膨	4336
謀	4337
貌	4338
貿	4339
鉾	4340
防	4341
吠	4342
頬	4343
北	4344
僕	4345
卜	4346
墨	4347
撲	4348
朴	4349
牧	4350
睦	4351
穆	4352
釦	4353
勃	4354
没	4355
殆	4356
堀	4357
幌	4358
奔	4359
本	4360
翻	4361
凡	4362
盆	4363
【ま】	
摩	4364
磨	4365
魔	4366
麻	4367
埋	4368
妹	4369
昧	4370
枚	4371

毎	4372
哩	4373
槙	4374
幕	4375
膜	4376
枕	4377
鮪	4378
柾	4379
鱒	4380
桝	4381
亦	4382
俣	4383
又	4384
抹	4385
末	4386
沫	4387
迄	4388
侭	4389
繭	4390
麿	4391
万	4392
慢	4393
満	4394
漫	4401
蔓	4402
【み】	
味	4403
未	4404
魅	4405
巳	4406
箕	4407
岬	4408
密	4409
蜜	4410
湊	4411
蓑	4412
稔	4413
脈	4414
妙	4415
粍	4416
民	4417
眠	4418
【む】	
務	4419
夢	4420
無	4421
牟	4422
矛	4423
霧	4424
鵡	4425
椋	4426
婿	4427
娘	4428
【め】	
冥	4429
名	4430
命	4431
明	4432
盟	4433
迷	4434
銘	4435
鳴	4436
姪	4437
牝	4438
滅	4439
免	4440
棉	4441
綿	4442
緬	4443
面	4444
麺	4445
【も】	
摸	4446
模	4447
茂	4448
妄	4449
孟	4450
毛	4451
猛	4452
盲	4453
網	4454
耗	4455
蒙	4456
儲	4457
木	4458
黙	4459
目	4460
杢	4461
勿	4462
餅	4463
尤	4464
戻	4465
籾	4466
貰	4467
問	4468
悶	4469
紋	4470
門	4471
匁	4472
【や】	
也	4473
冶	4474
夜	4475
爺	4476
耶	4477
野	4478
弥	4479
矢	4480
厄	4481
役	4482
約	4483
薬	4484
訳	4485
躍	4486
靖	4487
柳	4488
薮	4489
鑓	4490
【ゆ】	
愉	4491
愈	4492
油	4493
癒	4494
諭	4501
輸	4502
唯	4503
佑	4504
優	4505
勇	4506
友	4507
宥	4508
幽	4509
悠	4510
憂	4511
揖	4512
有	4513
柚	4514
湧	4515
涌	4516
猶	4517
猷	4518
由	4519
祐	4520
裕	4521
誘	4522
遊	4523
邑	4524
郵	4525
雄	4526
融	4527
夕	4528
【よ】	
予	4529
余	4530
与	4531
誉	4532
輿	4533
預	4534
傭	4535
幼	4536
妖	4537
容	4538
庸	4539
揚	4540
揺	4541
擁	4542
曜	4543
楊	4544
様	4545
洋	4546
溶	4547
熔	4548
用	4549
窯	4550
羊	4551
耀	4552
葉	4553
蓉	4554
要	4555
謡	4556
踊	4557
遥	4558
陽	4559
養	4560
慾	4561
抑	4562
欲	4563
沃	4564
浴	4565
翌	4566
翼	4567
淀	4568
【ら】	
羅	4569
螺	4570
裸	4571
来	4572
莱	4573
頼	4574
雷	4575
洛	4576
絡	4577
落	4578
酪	4579
乱	4580
卵	4581
嵐	4582
欄	4583
濫	4584
藍	4585
蘭	4586
覧	4587
【り】	
利	4588
吏	4589
履	4590
李	4591
梨	4592
理	4593
璃	4594
痢	4601
裏	4602
裡	4603
里	4604
離	4605
陸	4606
律	4607
率	4608
立	4609
葎	4610
掠	4611
略	4612
劉	4613
流	4614
溜	4615
琉	4616
留	4617
硫	4618
粒	4619
隆	4620
竜	4621
龍	4622
侶	4623
慮	4624
旅	4625
虜	4626
了	4627
亮	4628
僚	4629
両	4630
凌	4631
寮	4632
料	4633
梁	4634
涼	4635
猟	4636
療	4637
瞭	4638
稜	4639
糧	4640
良	4641
諒	4642
遼	4643
量	4644
陵	4645
領	4646
力	4647
緑	4648
倫	4649
厘	4650
林	4651
淋	4652
燐	4653
琳	4654
臨	4655
輪	4656
隣	4657
鱗	4658
麟	4659
【る】	
瑠	4660
塁	4661
涙	4662
累	4663
類	4664
【れ】	
令	4665
伶	4666
例	4667
冷	4668
励	4669
嶺	4670
怜	4671
玲	4672
礼	4673
苓	4674
鈴	4675
隷	4676
零	4677
霊	4678
麗	4679
齢	4680
暦	4681
歴	4682
列	4683
劣	4684
烈	4685
裂	4686
廉	4687
恋	4688
憐	4689
漣	4690
煉	4691
簾	4692
練	4693
聯	4694
蓮	4701
連	4702
錬	4703
【ろ】	
呂	4704
魯	4705
櫓	4706
炉	4707
賂	4708
路	4709
露	4710
労	4711
婁	4712
廊	4713
弄	4714
朗	4715
楼	4716
榔	4717
浪	4718
漏	4719
牢	4720
狼	4721
篭	4722
老	4723
聾	4724
蝋	4725
郎	4726
六	4727
麓	4728
禄	4729
肋	4730
録	4731
論	4732
【わ】	
倭	4733
和	4734
話	4735
歪	4736
賄	4737
脇	4738
惑	4739
枠	4740
鷲	4741
亙	4742
亘	4743
鰐	4744
詫	4745
藁	4746
蕨	4747
椀	4748
湾	4749
碗	4750
腕	4751
	4752
	4753
	4754
	4755
	4756
	4757
	4758
	4759
	4760
	4761
	4762
	4763
	4764
	4765
	4766
	4767
	4768
	4769
	4770
	4771
	4772
	4773
	4774
	4775
	4776
	4777
	4778
	4779
	4780
	4781
	4782
	4783
	4784
	4785
	4786
	4787
	4788
	4789
	4790
	4791
	4792
	4793
	4794
弌	4801
丐	4802
丕	4803
个	4804
丱	4805
丶	4806
丼	4807
丿	4808
乂	4809
乖	4810
乘	4811
亂	4812
亅	4813
豫	4814
亊	4815
舒	4816
弍	4817
于	4818
亞	4819
亟	4820
亠	4821
亢	4822
亰	4823
亳	4824
亶	4825
从	4826
仍	4827
仄	4828
仆	4829
仂	4830
仗	4831
仞	4832
仭	4833
仟	4834
价	4835
伉	4836
佚	4837
估	4838
佛	4839
佝	4840
佗	4841
佇	4842
佶	4843
侈	4844
侏	4845
侘	4846
佻	4847
佩	4848
佰	4849
侑	4850
佯	4851
來	4852
侖	4853
儘	4854
俔	4855
俟	4856
俎	4857
俘	4858
俛	4859
俑	4860
俚	4861
俐	4862
俤	4863
俥	4864
倚	4865
倨	4866
倔	4867
倪	4868
倥	4869
倅	4870
伜	4871
俶	4872
倡	4873
倩	4874
倬	4875
俾	4876
俯	4877
們	4878
倆	4879
偃	4880
假	4881
會	4882
偕	4883
偐	4884
偈	4885
做	4886
偖	4887
偬	4888
偸	4889
傀	4890
傚	4891
傅	4892
傴	4893
傲	4894
僉	4901
僊	4902
傳	4903
僂	4904
僖	4905
僞	4906
僥	4907
僭	4908
僣	4909
僮	4910
價	4911
僵	4912
儉	4913
儁	4914
儂	4915
儖	4916
儕	4917
儔	4918
儚	4919
儡	4920
儺	4921
儷	4922
儼	4923
儻	4924
儿	4925
兀	4926
兒	4927
兌	4928
兔	4929
兢	4930
竸	4931
兩	4932
兪	4933
兮	4934
冀	4935
冂	4936
囘	4937
册	4938
冉	4939
冏	4940
冑	4941
冓	4942
冕	4943
冖	4944
冤	4945
冦	4946
冢	4947
冩	4948
冪	4949
冫	4950
决	4951
冱	4952
冲	4953
冰	4954
况	4955
冽	4956
凅	4957
凉	4958
凛	4959
几	4960
處	4961
凩	4962
凭	4963
凰	4964
凵	4965
凾	4966
刄	4967
刋	4968
刔	4969
刎	4970
刧	4971
刪	4972
刮	4973
刳	4974
刹	4975
剏	4976
剄	4977
剋	4978
剌	4979
剞	4980
剔	4981
剪	4982
剴	4983
剩	4984
剳	4985
剿	4986
剽	4987
劍	4988
劔	4989
劒	4990
剱	4991
劈	4992
劑	4993
辨	4994
辧	5001
劬	5002
劭	5003
劼	5004
劵	5005
勁	5006
勍	5007
勗	5008
勞	5009
勣	5010
勦	5011
飭	5012
勠	5013
勳	5014
勵	5015
勸	5016
勹	5017
匆	5018
匈	5019
甸	5020
匍	5021
匐	5022
匏	5023
匕	5024
匚	5025
匣	5026
匯	5027
匱	5028
匳	5029
匸	5030
區	5031
卆	5032
卅	5033
丗	5034
卉	5035
卍	5036
凖	5037
卞	5038
卩	5039
卮	5040
夘	5041
卻	5042
卷	5043
厂	5044
厖	5045
厠	5046
厦	5047
厥	5048
厮	5049
厰	5050
厶	5051
參	5052
簒	5053
雙	5054
叟	5055
曼	5056
燮	5057
叮	5058
叨	5059
叭	5060
叺	5061
吁	5062
吽	5063
呀	5064
听	5065
吭	5066
吼	5067
吮	5068
吶	5069
吩	5070
吝	5071
呎	5072
咏	5073
呵	5074
咎	5075
呟	5076
呱	5077
呷	5078
呰	5079
咒	5080
呻	5081
咀	5082
呶	5083
咄	5084
咐	5085
咆	5086
哇	5087
咢	5088
咸	5089
咥	5090
咬	5091
哄	5092
哈	5093
咨	5094
咫	5101
哂	5102
咤	5103
咾	5104
咼	5105
哘	5106
哥	5107
哦	5108
唏	5109
唔	5110
哽	5111
哮	5112
哭	5113
哺	5114
哢	5115
唹	5116
啀	5117
啣	5118
啌	5119
售	5120
啜	5121
啅	5122
啖	5123
啗	5124
唸	5125
唳	5126
啝	5127
喙	5128
喀	5129
咯	5130
喊	5131
喟	5132
啻	5133
啾	5134
喘	5135
喞	5136
單	5137
啼	5138
喃	5139
喩	5140
喇	5141
喨	5142
嗚	5143
嗅	5144
嗟	5145
嗄	5146
嗜	5147
嗤	5148
嗔	5149
嘔	5150
嗷	5151
嘖	5152
嗾	5153
嗽	5154
嘛	5155
嗹	5156
噎	5157
噐	5158
營	5159
嘴	5160
嘶	5161
嘲	5162
嘸	5163
噫	5164
噤	5165
嘯	5166
噬	5167
噪	5168
嚆	5169
嚀	5170
嚊	5171
嚠	5172
嚔	5173
嚏	5174
嚥	5175
嚮	5176
嚶	5177
嚴	5178
囂	5179
嚼	5180
囁	5181
囃	5182
囀	5183
囈	5184
囎	5185
囑	5186
囓	5187
囗	5188
囮	5189
囹	5190
圀	5191
囿	5192
圄	5193
圉	5194
圈	5201
國	5202
圍	5203
圓	5204
團	5205
圖	5206
嗇	5207
圜	5208
圦	5209
圷	5210
圸	5211
坎	5212
圻	5213
址	5214
坏	5215
坩	5216
埀	5217
垈	5218
坡	5219
坿	5220
垉	5221
垓	5222
垠	5223
垳	5224
垤	5225
垪	5226
垰	5227
埃	5228
埆	5229
埔	5230
埒	5231
埓	5232
堊	5233
埖	5234
埣	5235
堋	5236
堙	5237
堝	5238
塲	5239
堡	5240
塢	5241
塋	5242
塰	5243
毀	5244
塒	5245
堽	5246
塹	5247
墅	5248
墹	5249
墟	5250
墫	5251
墺	5252
壞	5253
墻	5254
墸	5255
墮	5256
壅	5257
壓	5258
壑	5259
壗	5260
壙	5261
壘	5262
壥	5263
壜	5264
壤	5265
壟	5266
壯	5267
壺	5268
壹	5269
壻	5270
壼	5271
壽	5272
夂	5273
夊	5274
夐	5275
夛	5276
梦	5277
夥	5278
夬	5279
夭	5280
夲	5281
夸	5282
夾	5283
竒	5284
奕	5285
奐	5286
奎	5287
奚	5288
奘	5289
奢	5290
奠	5291
奧	5292
奬	5293
奩	5294
奸	5301
妁	5302
妝	5303
佞	5304
侫	5305
妣	5306
妲	5307
姆	5308
姨	5309
姜	5310
妍	5311
姙	5312
姚	5313
娥	5314
娟	5315
娑	5316
娜	5317
娉	5318
娚	5319
婀	5320
婬	5321
婉	5322
娵	5323
娶	5324
婢	5325
婪	5326
媚	5327
媼	5328
媾	5329
嫋	5330
嫂	5331
媽	5332
嫣	5333
嫗	5334
嫦	5335
嫩	5336
嫖	5337
嫺	5338
嫻	5339
嬌	5340
嬋	5341
嬖	5342
嬲	5343
嫐	5344
嬪	5345
嬶	5346
嬾	5347
孃	5348
孅	5349
孀	5350
孑	5351
孕	5352
孚	5353
孛	5354
孥	5355
孩	5356
孰	5357
孳	5358
孵	5359
學	5360
斈	5361
孺	5362
宀	5363
它	5364
宦	5365
宸	5366
寃	5367
寇	5368
寉	5369
寔	5370
寐	5371
寤	5372
實	5373
寢	5374
寞	5375
寥	5376
寫	5377
寰	5378
寶	5379
寳	5380
尅	5381
將	5382
專	5383
對	5384
尓	5385
尠	5386
尢	5387
尨	5388
尸	5389
尹	5390
屁	5391
屆	5392
屎	5393
屓	5394
屐	5401
屏	5402
孱	5403
屬	5404
屮	5405
乢	5406
屶	5407
屹	5408
岌	5409
岑	5410
岔	5411
妛	5412
岫	5413
岻	5414
岶	5415
岼	5416
岷	5417
峅	5418
岾	5419
峇	5420
峙	5421
峩	5422
峽	5423
峺	5424
峭	5425
嶌	5426
峪	5427
崋	5428
崕	5429
崗	5430
嵜	5431
崟	5432
崛	5433
崑	5434
崔	5435
崢	5436
崚	5437
崙	5438
崘	5439
嵌	5440
嵒	5441
嵎	5442
嵋	5443
嵬	5444
嵳	5445
嵶	5446
嶇	5447
嶄	5448
嶂	5449
嶢	5450
嶝	5451
嶬	5452
嶮	5453
嶽	5454
嶐	5455
嶷	5456
嶼	5457
巉	5458
巍	5459
巓	5460
巒	5461
巖	5462
巛	5463
巫	5464
已	5465
巵	5466
帋	5467
帚	5468
帙	5469
帑	5470
帛	5471
帶	5472
帷	5473
幄	5474
幃	5475
幀	5476
幎	5477
幗	5478
幔	5479
幟	5480
幢	5481
幤	5482
幇	5483
幵	5484
并	5485
幺	5486
麼	5487
广	5488
庠	5489
廁	5490
廂	5491
廈	5492
廐	5493
廏	5494
廖	5501
廣	5502
廝	5503
廚	5504
廛	5505
廢	5506
廡	5507
廨	5508
廩	5509
廬	5510
廱	5511
廳	5512
廰	5513
廴	5514
廸	5515
廾	5516
弃	5517
弉	5518
彝	5519
彜	5520
弋	5521
弑	5522
弖	5523
弩	5524
弭	5525
弸	5526
彁	5527
彈	5528
彌	5529
彎	5530
弯	5531
彑	5532
彖	5533
彗	5534
彙	5535
彡	5536
彭	5537
彳	5538
彷	5539
徃	5540
徂	5541
彿	5542
徊	5543
很	5544
徑	5545
徇	5546
從	5547
徙	5548
徘	5549
徠	5550
徨	5551
徭	5552
徼	5553
忖	5554
忻	5555
忤	5556
忸	5557
忱	5558
忝	5559
悳	5560
忿	5561
怡	5562
恠	5563
怙	5564
怐	5565
怩	5566
怎	5567
怱	5568
怛	5569
怕	5570
怫	5571
怦	5572
怏	5573
怺	5574
恚	5575
恁	5576
恪	5577
恷	5578
恟	5579
恊	5580
恆	5581
恍	5582
恣	5583
恃	5584
恤	5585
恂	5586
恬	5587
恫	5588
恙	5589
悁	5590
悍	5591
惧	5592
悃	5593
悚	5594
悄	5601
悛	5602
悖	5603
悗	5604
悒	5605
悧	5606
悋	5607
惡	5608
悸	5609
惠	5610
惓	5611
悴	5612
忰	5613
悽	5614
惆	5615
悵	5616
惘	5617
慍	5618
愕	5619
愆	5620
惶	5621
惷	5622
愀	5623
惴	5624
惺	5625
愃	5626
愡	5627
惻	5628
惱	5629
愍	5630
愎	5631
慇	5632
愾	5633
愨	5634
愧	5635
慊	5636
愿	5637
愼	5638
愬	5639
愴	5640
愽	5641
慂	5642
慄	5643
慳	5644
慷	5645
慘	5646
慙	5647
慚	5648
慫	5649
慴	5650
慯	5651
慥	5652
慱	5653
慟	5654
慝	5655
慓	5656
慵	5657
憙	5658
憖	5659
憇	5660
憬	5661
憔	5662
憚	5663
憊	5664
憑	5665
憫	5666
憮	5667
懌	5668
懊	5669
應	5670
懷	5671
懈	5672
懃	5673
懆	5674
憺	5675
懋	5676
罹	5677
懍	5678
懦	5679
懣	5680
懶	5681
懺	5682
懴	5683
懿	5684
懽	5685
懼	5686
懾	5687
戀	5688
戈	5689
戉	5690
戍	5691
戌	5692
戔	5693
戛	5694
戞	5701
戡	5702
截	5703
戮	5704
戰	5705
戲	5706
戳	5707
扁	5708
扎	5709
扞	5710
扣	5711
扛	5712
扠	5713
扨	5714
扼	5715
抂	5716
抉	5717
找	5718
抒	5719
抓	5720
抖	5721
拔	5722
抃	5723
抔	5724
拗	5725
拑	5726
抻	5727
拏	5728
拿	5729
拆	5730
擔	5731
拈	5732
拜	5733
拌	5734
拊	5735
拂	5736
拇	5737
抛	5738
拉	5739
挌	5740
拮	5741
拱	5742
挧	5743
挂	5744
挈	5745
拯	5746
拵	5747
捐	5748
挾	5749
捍	5750
搜	5751
捏	5752
掖	5753
掎	5754
掀	5755
掫	5756
捶	5757
掣	5758
掏	5759
掉	5760
掟	5761
掵	5762
捫	5763
捩	5764
掾	5765
揩	5766
揀	5767
揆	5768
揣	5769
揉	5770
插	5771
揶	5772
揄	5773
搖	5774
搴	5775
搆	5776
搓	5777
搦	5778
搶	5779
攝	5780
搗	5781
搨	5782
搏	5783
摧	5784
摯	5785
摶	5786
摎	5787
攪	5788
撕	5789
撓	5790
撥	5791
撩	5792

漢字	区点
撈	5793
撼	5794
擄	5801
擒	5802
擅	5803
擇	5804
撻	5805
擘	5806
擂	5807
擱	5808
擧	5809
舉	5810
擠	5811
擡	5812
抬	5813
擣	5814
擯	5815
攬	5816
擶	5817
擴	5818
擲	5819
擺	5820
攀	5821
擽	5822
攘	5823
攜	5824
攅	5825
攤	5826
攣	5827
攫	5828
攴	5829
攵	5830
攷	5831
收	5832
攸	5833
畋	5834
效	5835
敖	5836
敕	5837
敍	5838
敘	5839
敞	5840
敝	5841
敲	5842
數	5843
斂	5844
斃	5845
變	5846
斛	5847
斟	5848
斫	5849
斷	5850
旃	5851
旆	5852
旁	5853
旄	5854
旌	5855
旒	5856
旛	5857
旙	5858
无	5859
旡	5860
旱	5861
杲	5862
昊	5863
昃	5864
旻	5865
杳	5866
昵	5867
昶	5868
昴	5869
昜	5870
晏	5871
晄	5872
晉	5873
晁	5874
晞	5875
晝	5876
晤	5877
晧	5878
晨	5879
晟	5880
晢	5881
晰	5882
暃	5883
暈	5884
暎	5885
暉	5886
暄	5887
暘	5888
暝	5889
曁	5890
暹	5891
曉	5892
暾	5893
暼	5894
曄	5901
暸	5902
曖	5903
曚	5904
曠	5905
昿	5906
曦	5907
曩	5908
曰	5909
曵	5910
曷	5911
朏	5912
朖	5913
朞	5914
朦	5915
朧	5916
霸	5917
朮	5918
朿	5919
朶	5920
杁	5921
朸	5922
朷	5923
杆	5924
杞	5925
杠	5926
杙	5927
杣	5928
杤	5929
枉	5930
杰	5931
枩	5932
杼	5933
杪	5934
枌	5935
枋	5936
枦	5937
枡	5938
枅	5939
枷	5940
柯	5941
枴	5942
柬	5943
枳	5944
柩	5945
枸	5946
柤	5947
柞	5948
柝	5949
柢	5950
柮	5951
枹	5952
柎	5953
柆	5954
柧	5955
檜	5956
栞	5957
框	5958
栩	5959
桀	5960
桍	5961
栲	5962
桎	5963
梳	5964
栫	5965
桙	5966
档	5967
桷	5968
桿	5969
梟	5970
梏	5971
梭	5972
梔	5973
條	5974
梛	5975
梃	5976
檮	5977
梹	5978
桴	5979
梵	5980
梠	5981
梺	5982
椏	5983
梍	5984
桾	5985
椁	5986
棊	5987
椈	5988
棘	5989
椢	5990
椦	5991
棡	5992
椌	5993
棍	5994
棔	6001
棧	6002
棕	6003
椶	6004
椒	6005
椄	6006
棗	6007
棣	6008
椥	6009
棹	6010
棠	6011
棯	6012
椨	6013
椪	6014
椚	6015
椣	6016
椡	6017
棆	6018
楹	6019
楷	6020
楜	6021
楸	6022
楫	6023
楔	6024
楾	6025
楮	6026
椹	6027
楴	6028
椽	6029
楙	6030
椰	6031
楡	6032
楞	6033
楝	6034
榁	6035
楪	6036
榲	6037
榮	6038
槐	6039
榿	6040
槁	6041
槓	6042
榾	6043
槎	6044
寨	6045
槊	6046
槝	6047
榻	6048
槃	6049
榧	6050
樮	6051
榑	6052
榠	6053
榜	6054
榕	6055
榴	6056
槞	6057
槨	6058
樂	6059
樛	6060
槿	6061
權	6062
槹	6063
槲	6064
槧	6065
樅	6066
榱	6067
樞	6068
槭	6069
樔	6070
槫	6071
樊	6072
樒	6073
櫁	6074
樣	6075
樓	6076
橄	6077
樌	6078
橲	6079
樶	6080
橸	6081
橇	6082
橢	6083
橙	6084
橦	6085
橈	6086
樸	6087
樢	6088
檐	6089
檍	6090
檠	6091
檄	6092
檢	6093
檣	6094
檗	6101
蘗	6102
檻	6103
櫃	6104
櫂	6105
檸	6106
檳	6107
檬	6108
櫞	6109
櫑	6110
櫟	6111
檪	6112
櫚	6113
櫪	6114
櫻	6115
欅	6116
蘖	6117
櫺	6118
欒	6119
欖	6120
鬱	6121
欟	6122
欸	6123
欷	6124
盜	6125
欹	6126
飮	6127
歇	6128
歃	6129
歉	6130
歐	6131
歙	6132
歔	6133
歛	6134
歟	6135
歡	6136
歸	6137
歹	6138
歿	6139
殀	6140
殄	6141
殃	6142
殍	6143
殘	6144
殕	6145
殞	6146
殤	6147
殪	6148
殫	6149
殯	6150
殲	6151
殱	6152
殳	6153
殷	6154
殼	6155
毆	6156
毋	6157
毓	6158
毟	6159
毬	6160
毫	6161
毳	6162
毯	6163
麾	6164
氈	6165
氓	6166
气	6167
氛	6168
氤	6169
氣	6170
汞	6171
汕	6172
汢	6173
汪	6174
沂	6175
沍	6176
沚	6177
沁	6178
沛	6179
汾	6180
汨	6181
汳	6182
沒	6183
沐	6184
泄	6185
泱	6186
泓	6187
沽	6188
泗	6189
泅	6190
泝	6191
沮	6192
沱	6193
沾	6194
沺	6201
泛	6202
泯	6203
泙	6204
泪	6205
洟	6206
衍	6207
洶	6208
洫	6209
洽	6210
洸	6211
洙	6212
洵	6213
洳	6214
洒	6215
洌	6216
浣	6217
涓	6218
浤	6219
浚	6220
浹	6221
浙	6222
涎	6223
涕	6224
濤	6225
涅	6226
淹	6227
渕	6228
渊	6229
涵	6230
淇	6231
淦	6232
涸	6233
淆	6234
淬	6235
淞	6236
淌	6237
淨	6238
淒	6239
淅	6240
淺	6241
淙	6242
淤	6243
淕	6244
淪	6245
淮	6246
渭	6247
湮	6248
渮	6249
渙	6250
湲	6251
湟	6252
渾	6253
渣	6254
湫	6255
渫	6256
湶	6257
湍	6258
渟	6259
湃	6260
渺	6261
湎	6262
渤	6263
滿	6264
渝	6265
游	6266
溂	6267
溪	6268
溘	6269
滉	6270
溷	6271
滓	6272
溽	6273
溯	6274
滄	6275
溲	6276
滔	6277
滕	6278
溏	6279
溥	6280
滂	6281
溟	6282
潁	6283
漑	6284
灌	6285
滬	6286
滸	6287
滾	6288
漿	6289
滲	6290
漱	6291
滯	6292
漲	6293
滌	6294
漾	6301
漓	6302
滷	6303
澆	6304
潺	6305
潸	6306
澁	6307
澀	6308
潯	6309
潛	6310
濳	6311
潭	6312
澂	6313
潼	6314
潘	6315
澎	6316
澑	6317
濂	6318
潦	6319
澳	6320
澣	6321
澡	6322
澤	6323
澹	6324
濆	6325
澪	6326
濟	6327
濕	6328
濬	6329
濔	6330
濘	6331
濱	6332
濮	6333
濛	6334
瀉	6335
瀋	6336
濺	6337
瀑	6338
瀁	6339
瀏	6340
濾	6341
瀛	6342
瀚	6343
潴	6344
瀝	6345
瀘	6346
瀟	6347
瀰	6348
瀾	6349
瀲	6350
灑	6351
灣	6352
炙	6353
炒	6354
炯	6355
烱	6356
炬	6357
炸	6358
炳	6359
炮	6360
烟	6361
烋	6362
烝	6363
烙	6364
焉	6365
烽	6366
焜	6367
焙	6368
煥	6369
煕	6370
熈	6371
煦	6372
煢	6373
煌	6374
煖	6375
煬	6376
熏	6377
燻	6378
熄	6379
熕	6380
熨	6381
熬	6382
燗	6383
熹	6384
熾	6385
燒	6386
燉	6387
燔	6388
燎	6389
燠	6390
燬	6391
燧	6392
燵	6393
燼	6394
燹	6401
燿	6402
爍	6403
爐	6404
爛	6405
爨	6406
爭	6407
爬	6408
爰	6409
爲	6410
爻	6411
爼	6412
爿	6413
牀	6414
牆	6415
牋	6416
牘	6417
牴	6418
牾	6419
犂	6420
犁	6421
犇	6422
犒	6423
犖	6424
犢	6425
犧	6426
犹	6427
犲	6428
狃	6429
狆	6430
狄	6431
狎	6432
狒	6433
狢	6434
狠	6435
狡	6436
狹	6437
狷	6438
倏	6439
猗	6440
猊	6441
猜	6442
猖	6443
猝	6444
猴	6445
猯	6446
猩	6447
猥	6448
猾	6449
獎	6450
獏	6451
默	6452
獗	6453
獪	6454
獨	6455
獰	6456
獸	6457
獵	6458
獻	6459
獺	6460
珈	6461
玳	6462
珎	6463
玻	6464
珀	6465
珥	6466
珮	6467
珞	6468
璢	6469
琅	6470
瑯	6471
琥	6472
珸	6473
琲	6474
琺	6475
瑕	6476
琿	6477
瑟	6478
瑙	6479
瑁	6480
瑜	6481
瑩	6482
瑰	6483
瑣	6484
瑪	6485
瑶	6486
瑾	6487
璋	6488
璞	6489
璧	6490
瓊	6491
瓏	6492
瓔	6493
珱	6494
瓠	6501
瓣	6502
瓧	6503
瓩	6504
瓮	6505
瓲	6506
瓰	6507
瓱	6508
瓸	6509
瓷	6510
甄	6511
甃	6512
甅	6513
甌	6514
甎	6515
甍	6516
甕	6517
甓	6518
甞	6519
甦	6520
甬	6521
甼	6522
畄	6523
畍	6524
畊	6525
畉	6526
畛	6527
畆	6528
畚	6529
畩	6530
畤	6531
畧	6532
畫	6533
畭	6534
畸	6535
當	6536
疆	6537
疇	6538
畴	6539
疊	6540
疉	6541
疂	6542
疔	6543
疚	6544
疝	6545
疥	6546
疣	6547
痂	6548
疳	6549
痃	6550
疵	6551
疽	6552
疸	6553
疼	6554
疱	6555
痍	6556
痊	6557
痒	6558
痙	6559
痣	6560
痞	6561
痾	6562
痿	6563
痼	6564
瘁	6565
痰	6566
痺	6567
痲	6568
痳	6569
瘋	6570
瘍	6571
瘉	6572
瘟	6573
瘧	6574
瘠	6575
瘡	6576
瘢	6577
瘤	6578
瘴	6579
瘰	6580
瘻	6581
癇	6582
癈	6583
癆	6584
癜	6585
癘	6586
癡	6587
癢	6588
癨	6589
癩	6590
癪	6591
癧	6592
癬	6593
癰	6594
癲	6601
癶	6602
癸	6603
發	6604
皀	6605
皃	6606
皈	6607
皋	6608
皎	6609
皖	6610
皓	6611
皙	6612
皚	6613
皰	6614
皴	6615
皸	6616
皹	6617
皺	6618
盂	6619
盍	6620
盖	6621
盒	6622
盞	6623
盡	6624
盥	6625
盧	6626
盪	6627
蘯	6628
盻	6629
眈	6630
眇	6631
眄	6632
眩	6633
眤	6634
眞	6635
眥	6636
眦	6637
眛	6638
眷	6639
眸	6640
睇	6641
睚	6642
睨	6643
睫	6644
睛	6645
睥	6646
睿	6647
睾	6648
睹	6649
瞎	6650
瞋	6651
瞑	6652
瞠	6653
瞞	6654
瞰	6655
瞶	6656
瞹	6657
瞿	6658
瞼	6659
瞽	6660
瞻	6661
矇	6662
矍	6663
矗	6664
矚	6665
矜	6666
矣	6667
矮	6668
矼	6669
砌	6670
砒	6671
礦	6672
砠	6673
礪	6674
硅	6675
碎	6676
硴	6677
碆	6678
硼	6679
碚	6680
碌	6681
碣	6682
碵	6683
碪	6684
碯	6685
磑	6686
磆	6687
磋	6688
磔	6689
碾	6690
碼	6691
磅	6692
磊	6693
磬	6694
磧	6701
磚	6702
磽	6703
磴	6704
礇	6705
礒	6706
礑	6707
礙	6708
礬	6709
礫	6710
祀	6711
祠	6712
祗	6713
祟	6714
祚	6715
祕	6716
祓	6717
祺	6718
祿	6719
禊	6720
禝	6721
禧	6722
齋	6723
禪	6724
禮	6725
禳	6726
禹	6727
禺	6728
秉	6729
秕	6730
秧	6731
秬	6732
秡	6733
秣	6734
稈	6735
稍	6736
稘	6737
稙	6738
稠	6739
稟	6740
禀	6741
稱	6742
稻	6743
稾	6744
稷	6745
穃	6746
穗	6747
穉	6748
穡	6749
穢	6750
穩	6751
龝	6752
穰	6753
穹	6754
穽	6755
窈	6756
窗	6757
窕	6758
窘	6759
窖	6760
窩	6761
竈	6762
窰	6763
窶	6764
竅	6765
竄	6766
窿	6767
邃	6768
竇	6769
竊	6770
竍	6771
竏	6772
竕	6773
竓	6774
站	6775
竚	6776
竝	6777
竡	6778
竢	6779
竦	6780
竭	6781
竰	6782
笂	6783
笏	6784
笊	6785
笆	6786
笳	6787
笘	6788
笙	6789
笞	6790
笵	6791
笨	6792
笶	6793
筐	6794
筺	6801
笄	6802
筍	6803
笋	6804
筌	6805
筅	6806
筵	6807
筥	6808
筴	6809
筧	6810
筰	6811
筱	6812
筬	6813
筮	6814
箝	6815
箘	6816
箟	6817
箍	6818
箜	6819
箚	6820
箋	6821
箒	6822
箏	6823
筝	6824
箙	6825
篋	6826
篁	6827
篌	6828
篏	6829
箴	6830
篆	6831
篝	6832
篩	6833
簑	6834
簔	6835
篦	6836
篥	6837
籠	6838
簀	6839
簇	6840
簓	6841
篳	6842
篷	6843
簗	6844
簍	6845
篶	6846
簣	6847
簧	6848
簪	6849
簟	6850
簷	6851
簫	6852
簽	6853
籌	6854
籃	6855
籔	6856
籏	6857
籀	6858
籐	6859
籘	6860
籟	6861
籤	6862
籖	6863
籥	6864
籬	6865
籵	6866
粃	6867
粐	6868
粤	6869
粭	6870
粢	6871
粫	6872
粡	6873
粨	6874
粳	6875
粲	6876
粱	6877
粮	6878
粹	6879
粽	6880
糀	6881
糅	6882
糂	6883
糘	6884
糒	6885
糜	6886
糢	6887
鬻	6888
糯	6889
糲	6890
糴	6891
糶	6892
糺	6893
紆	6894
紂	6901
紜	6902
紕	6903
紊	6904
絅	6905
絋	6906
紮	6907
紲	6908
紿	6909
紵	6910
絆	6911
絳	6912
絖	6913
絎	6914
絲	6915
絨	6916
絮	6917
絏	6918
絣	6919
經	6920
綉	6921
絛	6922
綏	6923
絽	6924
綛	6925
綺	6926
綮	6927
綣	6928
綵	6929
緇	6930
綽	6931
綫	6932
總	6933
綢	6934
綯	6935
緜	6936
綸	6937
綟	6938
綰	6939
緘	6940
緝	6941
緤	6942
緞	6943
緻	6944
緲	6945
緡	6946
縅	6947
縊	6948
縣	6949
縡	6950
縒	6951
縱	6952
縟	6953
縉	6954
縋	6955
縢	6956
繆	6957
繦	6958
縻	6959
縵	6960
縹	6961
繃	6962
縷	6963
縲	6964
縺	6965
繧	6966
繝	6967
繖	6968
繞	6969
繙	6970
繚	6971
繹	6972
繪	6973
繩	6974
繼	6975
繻	6976
纃	6977
緕	6978
繽	6979
辮	6980
繿	6981
纈	6982
纉	6983
續	6984
纒	6985
纐	6986
纓	6987
纔	6988
纖	6989
纎	6990
纛	6991
纜	6992
缸	6993
缺	6994
罅	7001
罌	7002
罍	7003
罎	7004
罐	7005
网	7006
罕	7007
罔	7008
罘	7009
罟	7010
罠	7011
罨	7012
罩	7013
罧	7014
罸	7015
羂	7016
羆	7017
羃	7018
羈	7019
羇	7020
羌	7021
羔	7022
羞	7023
羝	7024
羚	7025
羣	7026
羯	7027
羲	7028
羹	7029
羮	7030
羶	7031
羸	7032
譱	7033
翅	7034
翆	7035
翊	7036
翕	7037
翔	7038
翡	7039
翦	7040
翩	7041
翳	7042
翹	7043
飜	7044
耆	7045
耄	7046
耋	7047
耒	7048
耘	7049
耙	7050
耜	7051
耡	7052
耨	7053
耿	7054
耻	7055
聊	7056
聆	7057
聒	7058
聘	7059
聚	7060
聟	7061
聢	7062
聨	7063
聳	7064
聲	7065
聰	7066
聶	7067
聹	7068
聽	7069
聿	7070
肄	7071
肆	7072
肅	7073
肛	7074
肓	7075
肚	7076
肭	7077
冐	7078
肬	7079
胛	7080
胥	7081
胙	7082
胝	7083
胄	7084
胚	7085
胖	7086
脉	7087
胯	7088
胱	7089
脛	7090
脩	7091
脣	7092
脯	7093
腋	7094
隋	7101
腆	7102
脾	7103
腓	7104
腑	7105
胼	7106
腱	7107
腮	7108
腥	7109
腦	7110
腴	7111
膃	7112
膈	7113
膊	7114
膀	7115
膂	7116
膠	7117
膕	7118
膤	7119
膣	7120
腟	7121
膓	7122
膩	7123
膰	7124
膵	7125
膾	7126
膸	7127
膽	7128
臀	7129
臂	7130
膺	7131
臉	7132
臍	7133
臑	7134
臙	7135
臘	7136
臈	7137
臚	7138
臟	7139
臠	7140
臧	7141
臺	7142
臻	7143
臾	7144
舁	7145
舂	7146
舅	7147
與	7148
舊	7149
舍	7150
舐	7151
舖	7152
舩	7153
舫	7154
舸	7155
舳	7156
艀	7157
艙	7158
艘	7159
艝	7160
艚	7161
艟	7162
艤	7163
艢	7164
艨	7165
艪	7166
艫	7167
舮	7168
艱	7169
艷	7170
艸	7171
艾	7172
芍	7173
芒	7174
芫	7175
芟	7176
芻	7177
芬	7178
苡	7179
苣	7180
苟	7181
苒	7182
苴	7183
苳	7184
苺	7185
莓	7186
范	7187
苻	7188
苹	7189
苞	7190
茆	7191
苜	7192
茉	7193
苙	7194
茵	7201
茴	7202
茖	7203
茲	7204
茱	7205
荀	7206
茹	7207
荐	7208
荅	7209
茯	7210
茫	7211
茗	7212
茘	7213
莅	7214
莚	7215
莪	7216
莟	7217
莢	7218
莖	7219
茣	7220
莎	7221
莇	7222
莊	7223
荼	7224
莵	7225
荳	7226
荵	7227
莠	7228
莉	7229
莨	7230
菴	7231

文字	区点
萓	7232
菫	7233
菎	7234
菽	7235
萃	7236
菘	7237
萋	7238
菁	7239
菷	7240
萇	7241
菠	7242
菲	7243
萍	7244
萢	7245
萠	7246
莽	7247
萸	7248
蔆	7249
菻	7250
葭	7251
萪	7252
萼	7253
蕚	7254
蒄	7255
葷	7256
葫	7257
蒭	7258
葮	7259
蒂	7260
葩	7261
葆	7262
萬	7263
葯	7264
葹	7265
萵	7266
蓊	7267
葢	7268
蒹	7269
蒿	7270
蒟	7271
蓙	7272
蓍	7273
蒻	7274
蓚	7275
蓐	7276
蓁	7277
蓆	7278
蓖	7279
蒡	7280
蔡	7281
蓿	7282
蓴	7283
蔗	7284
蔘	7285
蔬	7286
蔟	7287
蔕	7288
蔔	7289
蓼	7290
蕀	7291
蕣	7292
蕘	7293
蕈	7294
蕁	7301
蘂	7302
蕋	7303
蕕	7304
薀	7305
薤	7306
薈	7307
薑	7308
薊	7309
薨	7310
蕭	7311
薔	7312
薛	7313
藪	7314
薇	7315
薜	7316
蕷	7317
蕾	7318
薐	7319
藉	7320
薺	7321
藏	7322
薹	7323
藐	7324
藕	7325
藝	7326
藥	7327
藜	7328
藹	7329
蘊	7330
蘓	7331
蘋	7332
藾	7333
藺	7334
蘆	7335
蘢	7336
蘚	7337
蘰	7338
蘿	7339
虍	7340
乕	7341
虔	7342
號	7343
虧	7344
虱	7345
蚓	7346
蚣	7347
蚩	7348
蚪	7349
蚋	7350
蚌	7351
蚶	7352
蚯	7353
蛄	7354
蛆	7355
蚰	7356
蛉	7357
蠣	7358
蚫	7359
蛔	7360
蛞	7361
蛩	7362
蛬	7363
蛟	7364
蛛	7365
蛯	7366
蜒	7367
蜆	7368
蜈	7369
蜀	7370
蜃	7371
蛻	7372
蜑	7373
蜉	7374
蜍	7375
蛹	7376
蜊	7377
蜴	7378
蜿	7379
蜷	7380
蜻	7381
蜥	7382
蜩	7383
蜚	7384
蝠	7385
蝟	7386
蝸	7387
蝌	7388
蝎	7389
蝴	7390
蝗	7391
蝨	7392
蝮	7393
蝙	7394
蝓	7401
蝣	7402
蝪	7403
蠅	7404
螢	7405
螟	7406
螂	7407
螯	7408
蟋	7409
螽	7410
蟀	7411
蟐	7412
雖	7413
螫	7414
蟄	7415
螳	7416
蟇	7417
蟆	7418
螻	7419
蟯	7420
蟲	7421
蟠	7422
蠏	7423
蠍	7424
蟾	7425
蟶	7426
蟷	7427
蠎	7428
蟒	7429
蠑	7430
蠖	7431
蠕	7432
蠢	7433
蠡	7434
蠱	7435
蠶	7436
蠹	7437
蠧	7438
蠻	7439
衄	7440
衂	7441
衒	7442
衙	7443
衞	7444
衢	7445
衫	7446
袁	7447
衾	7448
袞	7449
衵	7450
衽	7451
袵	7452
衲	7453
袂	7454
袗	7455
袒	7456
袮	7457
袙	7458
袢	7459
袍	7460
袤	7461
袰	7462
袿	7463
袱	7464
裃	7465
裄	7466
裔	7467
裘	7468
裙	7469
裝	7470
裹	7471
褂	7472
裼	7473
裴	7474
裨	7475
裲	7476
褄	7477
褌	7478
褊	7479
褓	7480
襃	7481
褞	7482
褥	7483
褪	7484
褫	7485
襁	7486
襄	7487
褻	7488
褶	7489
褸	7490
襌	7491
褝	7492
襠	7493
襞	7494
襦	7501
襤	7502
襭	7503
襪	7504
襯	7505
襴	7506
襷	7507
襾	7508
覃	7509
覈	7510
覊	7511
覓	7512
覘	7513
覡	7514
覩	7515
覦	7516
覬	7517
覯	7518
覲	7519
覺	7520
覽	7521
覿	7522
觀	7523
觚	7524
觜	7525
觝	7526
觧	7527
觴	7528
觸	7529
訃	7530
訖	7531
訐	7532
訌	7533
訛	7534
訝	7535
訥	7536
訶	7537
詁	7538
詛	7539
詒	7540
詆	7541
詈	7542
詼	7543
詭	7544
詬	7545
詢	7546
誅	7547
誂	7548
誄	7549
誨	7550
誡	7551
誑	7552
誥	7553
誦	7554
誚	7555
誣	7556
諄	7557
諍	7558
諂	7559
諚	7560
諫	7561
諳	7562
諧	7563
諤	7564
諱	7565
謔	7566
諠	7567
諢	7568
諷	7569
諞	7570
諛	7571
謌	7572
謇	7573
謚	7574
諡	7575
謖	7576
謐	7577
謗	7578
謠	7579
謳	7580
鞫	7581
謦	7582
謫	7583
謾	7584
謨	7585
譁	7586
譌	7587
譏	7588
譎	7589
證	7590
譖	7591
譛	7592
譚	7593
譫	7594
譟	7601
譬	7602
譯	7603
譴	7604
譽	7605
讀	7606
讌	7607
讎	7608
讒	7609
讓	7610
讖	7611
讙	7612
讚	7613
谺	7614
豁	7615
谿	7616
豈	7617
豌	7618
豎	7619
豐	7620
豕	7621
豢	7622
豬	7623
豸	7624
豺	7625
貂	7626
貉	7627
貅	7628
貊	7629
貍	7630
貎	7631
貔	7632
豼	7633
貘	7634
戝	7635
貭	7636
貪	7637
貽	7638
貲	7639
貳	7640
貮	7641
貶	7642
賈	7643
賁	7644
賤	7645
賣	7646
賚	7647
賽	7648
賺	7649
賻	7650
贄	7651
贅	7652
贊	7653
贇	7654
贏	7655
贍	7656
贐	7657
齎	7658
贓	7659
賍	7660
贔	7661
贖	7662
赧	7663
赭	7664
赱	7665
赳	7666
趁	7667
趙	7668
跂	7669
趾	7670
趺	7671
跏	7672
跚	7673
跖	7674
跌	7675
跛	7676
跋	7677
跪	7678
跫	7679
跟	7680
跣	7681
跼	7682
踈	7683
踉	7684
跿	7685
踝	7686
踞	7687
踐	7688
踟	7689
蹂	7690
踵	7691
踰	7692
踴	7693
蹊	7694
蹇	7701
蹉	7702
蹌	7703
蹐	7704
蹈	7705
蹙	7706
蹤	7707
蹠	7708
踪	7709
蹣	7710
蹕	7711
蹶	7712
蹲	7713
蹼	7714
躁	7715
躇	7716
躅	7717
躄	7718
躋	7719
躊	7720
躓	7721
躑	7722
躔	7723
躙	7724
躪	7725
躡	7726
躬	7727
躰	7728
軆	7729
躱	7730
躾	7731
軅	7732
軈	7733
軋	7734
軛	7735
軣	7736
軼	7737
軻	7738
軫	7739
軾	7740
輊	7741
輅	7742
輕	7743
輒	7744
輙	7745
輓	7746
輜	7747
輟	7748
輛	7749
輌	7750
輦	7751
輳	7752
輻	7753
輹	7754
轅	7755
轂	7756
輾	7757
轌	7758
轉	7759
轆	7760
轎	7761
轗	7762
轜	7763
轢	7764
轣	7765
轤	7766
辜	7767
辟	7768
辣	7769
辭	7770
辯	7771
辷	7772
迚	7773
迥	7774
迢	7775
迪	7776
迯	7777
邇	7778
迴	7779
逅	7780
迹	7781
迺	7782
逑	7783
逕	7784
逡	7785
逍	7786
逞	7787
逖	7788
逋	7789
逧	7790
逶	7791
逵	7792
逹	7793
迸	7794
遏	7801
遐	7802
遑	7803
遒	7804
逎	7805
遉	7806
逾	7807
遖	7808
遘	7809
遞	7810
遨	7811
遯	7812
遶	7813
隨	7814
遲	7815
邂	7816
遽	7817
邁	7818
邀	7819
邊	7820
邉	7821
邏	7822
邨	7823
邯	7824
邱	7825
邵	7826
郢	7827
郤	7828
扈	7829
郛	7830
鄂	7831
鄒	7832
鄙	7833
鄲	7834
鄰	7835
酊	7836
酖	7837
酘	7838
酣	7839
酥	7840
酩	7841
酳	7842
酲	7843
醋	7844
醉	7845
醂	7846
醢	7847
醫	7848
醯	7849
醪	7850
醵	7851
醴	7852
醺	7853
釀	7854
釁	7855
釉	7856
釋	7857
釐	7858
釖	7859
釟	7860
釡	7861
釛	7862
釼	7863
釵	7864
釶	7865
鈞	7866
釿	7867
鈔	7868
鈬	7869
鈕	7870
鈑	7871
鉞	7872
鉗	7873
鉅	7874
鉉	7875
鉤	7876
鉈	7877
銕	7878
鈿	7879
鉋	7880
鉐	7881
銜	7882
銖	7883
銓	7884
銛	7885
鉚	7886
鋏	7887
銹	7888
銷	7889
鋩	7890
錏	7891
鋺	7892
鍄	7893
錮	7894
錙	7901
錢	7902
錚	7903
錣	7904
錺	7905
錵	7906
錻	7907
鍜	7908
鍠	7909
鍼	7910
鍮	7911
鍖	7912
鎰	7913
鎬	7914
鎭	7915
鎔	7916
鎹	7917
鏖	7918
鏗	7919
鏨	7920
鏥	7921
鏘	7922
鏃	7923
鏝	7924
鏐	7925
鏈	7926
鏤	7927
鐚	7928
鐔	7929
鐓	7930
鐃	7931
鐇	7932
鐐	7933
鐶	7934
鐫	7935
鐵	7936
鐡	7937
鐺	7938
鑁	7939
鑒	7940
鑄	7941
鑛	7942
鑠	7943
鑢	7944
鑞	7945
鑪	7946
鈩	7947
鑰	7948
鑵	7949
鑷	7950
鑽	7951
鑚	7952
鑼	7953
鑾	7954
钁	7955
鑿	7956
閂	7957
閇	7958
閊	7959
閔	7960
閖	7961
閘	7962
閙	7963
閠	7964
閨	7965
閧	7966
閭	7967
閼	7968
閻	7969
閹	7970
閾	7971
闊	7972
濶	7973
闃	7974
闍	7975
闌	7976
闕	7977
闔	7978
闖	7979
關	7980
闡	7981
闥	7982
闢	7983
阡	7984
阨	7985
阮	7986
阯	7987
陂	7988
陌	7989
陏	7990
陋	7991
陷	7992
陜	7993
陞	7994
陝	8001
陟	8002
陦	8003
陲	8004
陬	8005
隍	8006
隘	8007
隕	8008
隗	8009
險	8010
隧	8011
隱	8012
隲	8013
隰	8014
隴	8015
隶	8016
隸	8017
隹	8018
雎	8019
雋	8020
雉	8021
雍	8022
襍	8023
雜	8024
霍	8025
雕	8026
雹	8027
霄	8028
霆	8029
霈	8030
霓	8031
霎	8032
霑	8033
霏	8034
霖	8035
霙	8036
霤	8037
霪	8038
霰	8039
霹	8040
霽	8041
霾	8042
靄	8043
靆	8044
靈	8045
靂	8046
靉	8047
靜	8048
靠	8049
靤	8050
靦	8051
靨	8052
勒	8053
靫	8054
靱	8055
靹	8056
鞅	8057
靼	8058
鞁	8059
靺	8060
鞆	8061
鞋	8062
鞏	8063
鞐	8064
鞜	8065
鞨	8066
鞦	8067
鞣	8068
鞳	8069
鞴	8070
韃	8071
韆	8072
韈	8073
韋	8074
韜	8075
韭	8076
齏	8077
韲	8078
竟	8079
韶	8080
韵	8081
頏	8082
頌	8083
頸	8084
頤	8085
頡	8086
頷	8087
頽	8088
顆	8089
顏	8090
顋	8091
顫	8092
顯	8093
顰	8094
顱	8101
顴	8102
顳	8103
颪	8104
颯	8105
颱	8106
颶	8107
飄	8108
飃	8109
飆	8110
飩	8111
飫	8112
餃	8113
餉	8114
餒	8115
餔	8116
餘	8117
餡	8118
餝	8119
餞	8120
餤	8121
餠	8122
餬	8123
餮	8124
餽	8125
餾	8126
饂	8127
饉	8128
饅	8129
饐	8130
饋	8131
饑	8132
饒	8133
饌	8134
饕	8135
馗	8136
馘	8137
馥	8138
馭	8139
馮	8140
馼	8141
駟	8142
駛	8143
駝	8144
駘	8145
駑	8146
駭	8147
駮	8148
駱	8149
駲	8150
駻	8151
駸	8152
騁	8153
騏	8154
騅	8155
駢	8156
騙	8157
騫	8158
騷	8159
驅	8160
驂	8161
驀	8162
驃	8163
騾	8164
驕	8165
驍	8166
驛	8167
驗	8168
驟	8169
驢	8170
驥	8171
驤	8172
驩	8173
驫	8174
驪	8175
骭	8176
骰	8177
骼	8178
髀	8179
髏	8180
髑	8181
髓	8182
體	8183
髞	8184
髟	8185
髢	8186
髣	8187
髦	8188
髯	8189
髫	8190
髮	8191
髴	8192
髱	8193
髷	8194
髻	8201
鬆	8202
鬘	8203
鬚	8204
鬟	8205
鬢	8206
鬣	8207
鬥	8208
鬧	8209
鬨	8210
鬩	8211
鬪	8212
鬮	8213
鬯	8214
鬲	8215
魄	8216
魃	8217
魏	8218
魍	8219
魎	8220
魑	8221
魘	8222
魴	8223
鮓	8224
鮃	8225
鮑	8226
鮖	8227
鮗	8228
鮟	8229
鮠	8230
鮨	8231
鮴	8232
鯀	8233
鯊	8234
鮹	8235
鯆	8236
鯏	8237
鯑	8238
鯒	8239
鯣	8240
鯢	8241
鯤	8242
鯔	8243
鯡	8244
鰺	8245
鯲	8246
鯱	8247
鯰	8248
鰕	8249
鰔	8250
鰉	8251
鰓	8252
鰌	8253
鰆	8254
鰈	8255
鰒	8256
鰊	8257
鰄	8258
鰮	8259
鰛	8260
鰥	8261
鰤	8262
鰡	8263
鰰	8264
鱇	8265
鰲	8266
鱆	8267
鰾	8268
鱚	8269
鱠	8270
鱧	8271
鱶	8272
鱸	8273
鳧	8274
鳬	8275
鳰	8276
鴉	8277
鴈	8278
鳫	8279
鴃	8280
鴆	8281
鴪	8282
鴦	8283
鶯	8284
鴣	8285
鴟	8286
鵄	8287
鴕	8288
鴒	8289
鵁	8290
鴿	8291
鴾	8292
鵆	8293
鵈	8294
鵝	8301
鵞	8302
鵤	8303
鵑	8304
鵐	8305
鵙	8306
鵲	8307
鶉	8308
鶇	8309
鶫	8310
鵯	8311
鵺	8312
鶚	8313
鶤	8314
鶩	8315
鶲	8316
鷄	8317
鷁	8318
鶻	8319
鶸	8320
鶺	8321
鷆	8322
鷏	8323
鷂	8324
鷙	8325
鷓	8326
鷸	8327
鷦	8328
鷭	8329
鷯	8330
鷽	8331
鸚	8332
鸛	8333
鸞	8334
鹵	8335
鹹	8336
鹽	8337
麁	8338
麈	8339
麋	8340
麌	8341
麒	8342
麕	8343
麑	8344
麝	8345
麥	8346
麩	8347
麸	8348
麪	8349
麭	8350
靡	8351
黌	8352
黎	8353
黏	8354
黐	8355
黔	8356
黜	8357
點	8358
黝	8359
黠	8360
黥	8361
黨	8362
黯	8363
黴	8364
黶	8365
黷	8366
黹	8367
黻	8368
黼	8369
黽	8370
鼇	8371
鼈	8372
皷	8373
鼕	8374
鼡	8375
鼬	8376
鼾	8377
齊	8378
齒	8379
齔	8380
齣	8381
齟	8382
齠	8383
齡	8384
齦	8385
齧	8386
齬	8387
齪	8388
齷	8389
齲	8390
齶	8391
龕	8392
龜	8393
龠	8394
堯	8401
槇	8402
遙	8403
瑤	8404
凜	8405
熙	8406
	8407
	8408
	8409
	8410
	8411
	8412
	8413
	8414
	8415
	8416
	8417
	8418
	8419
	8420
	8421
	8422
	8423
	8424
	8425
	8426
	8427
	8428
	8429
	8430
	8431
	8432
	8433
	8434
	8435
	8436
	8437
	8438
	8439
	8440
	8441
	8442
	8443
	8444
	8445
	8446
	8447
	8448
	8449
	8450
	8451
	8452
	8453
	8454
	8455
	8456
	8457
	8458
	8459
	8460
	8461
	8462
	8463
	8464
	8465
	8466
	8467
	8468
	8469
	8470
	8471
	8472
	8473
	8474
	8475
	8476
	8477
	8478
	8479
	8480
	8481
	8482
	8483
	8484
	8485
	8486
	8487
	8488
	8489
	8490
	8491
	8492
	8493
	8494

登録／設定早見表

親機では次の登録／設定、機能選択が行えます。

親機登録／設定項目一覧表

◯（登録/機能）を押したあと、ダイヤルボタンを押して登録・設定の項目を選ぶことができます。

（例）「発信元番号」の項目を選ぶには

「発信元番号」の設定画面が表示されます。

	機能名／機能の説明	操作	参照ページ
初期登録	**日付・時刻** 日付と時刻を登録できます。	◯（登録 / 機能） 1 1	24
	発信元番号 ファクスを送ったときに記録される発信元番号を登録できます。	◯（登録 / 機能） 1 2	45
	発信元名 ファクスを送ったときに記録される発信元名を登録できます。	◯（登録 / 機能） 1 3	46
	回線種別選択 電話回線の種別を設定できます。	◯（登録 / 機能） 1 4	29
音の設定	**子機音量調整　子機送話音量切替** 子機でお話し中に相手の方に聞こえるこちらの声の大きさを変更できます。	◯（登録 / 機能） 2 1 1	171
	子機音量調整　子機受話音量切替 子機でお話し中にこちらに聞こえる相手の方の声の大きさを変更できます。	◯（登録 / 機能） 2 1 2	171
	親機着信音　親機着信音選択 親機の着信音を設定できます。	◯（登録 / 機能） 2 2 1	42
	親機着信音　親機着信音量 親機の着信音量を設定できます。	◯（登録 / 機能） 2 2 2	42
	親機着信音　在宅時コール回数 在宅モード時の着信音の回数を設定できます。	◯（登録 / 機能） 2 2 3	101
	親機着信音　留守時コール回数 留守モード時の着信音の回数を設定できます。	◯（登録 / 機能） 2 2 4	83
	FAX／コピー終了音 ファクス送信やコピー終了後に鳴る終了音を設定できます。	◯（登録 / 機能） 2 3	136
	キータッチ音 ボタンを押したときの「ピッ」という音（キータッチトーン）の有無を設定できます。	◯（登録 / 機能） 2 4	136

	機能名／機能の説明	操作	参照ページ
電話帳	**一覧表示** 親機の電話帳に登録されている相手先の一覧を見ることができます。	◯（登録 / 機能）3 1	66
電話帳	**新規登録** 親機の電話帳に登録できます。	◯（登録 / 機能）3 2	65
電話帳	**子機転送** 親機の電話帳の内容を子機の電話帳にコピーできます。	◯（登録 / 機能）3 3	79
電話帳	**外部メモリーへの一括保存** 親機からメモリーカードへ電話帳データを一括で保存することができます。	◯（登録 / 機能）3 4	66
電話帳	**外部メモリーから一括読込** メモリーカードから親機へ「外部メモリーへの一括保存」で保存した電話帳データを一括で読み込むことができます。	◯（登録 / 機能）3 5	130
画面設定	**バックライト明るさ調整** 親機のディスプレイの明るさを調整できます。	◯（登録 / 機能）4 1	20
画面設定	**省電力モード移行時間** 親機のディスプレイが消灯するまでの時間を設定できます。	◯（登録 / 機能）4 2	20
画面設定	**配色設定** 親機のディスプレイの色を変更できます。	◯（登録 / 機能）4 3	20
プリンタメンテナンス	**インク残量確認** インクの残量を確認することができます。	◯（登録 / 機能）5 1	173
プリンタメンテナンス	**カートリッジクリーニング** インクカートリッジのクリーニングを行います。	◯（登録 / 機能）5 2	172
プリンタメンテナンス	**プリンタ位置調整** プリントヘッドの位置を調整できます。	◯（登録 / 機能）5 3	172
プリンタメンテナンス	**診断ページプリント** 印刷品質の診断ページをプリントできます。	◯（登録 / 機能）5 4	173
プリンタメンテナンス	**プリンタリセット** プリンタの設定を初期状態に戻すことができます。	◯（登録 / 機能）5 5	173
着信記録 着信記録を一覧表示できます。		◯（登録 / 機能）6	160
留守録再生 留守録音されたメッセージを再生できます。		◯（登録 / 機能）7	85

	機能名／機能の説明	操作	参照ページ
FAX設定	**FAX受信方法　見てからFAX受信プリント** ファクスを受信したあとに、内容を確認してから印刷するように設定できます。	◯（登録 / 機能）8(TUV や) 1(@./-_ あ) 1(@./-_ あ)	103
	FAX受信方法　受信後自動プリント ファクスを受信したあとに、自動でプリントするように設定できます。	◯（登録 / 機能）8(TUV や) 1(@./-_ あ) 2(ABC か)	107
	受信メモリー選択 受信ファクスを保存する場所を、本体メモリー・外部メモリーのどちらかに設定できます。	◯（登録 / 機能）8(TUV や) 2(ABC か)	137
	受信後自動プリント　用紙種別 「受信後自動プリント」でプリントするときの用紙種別を設定できます。	◯（登録 / 機能）8(TUV や) 3(DEF さ) 1(@./-_ あ)	107
	受信後自動プリント　プリント画質 「受信後自動プリント」でプリントするときの画質を設定できます。	◯（登録 / 機能）8(TUV や) 3(DEF さ) 2(ABC か)	107
	受信後自動プリント　プリント後本体メモリー自動消去 「受信後自動プリント」でプリントしたあと、メモリーからデータを自動で消去する・しないの設定ができます。	◯（登録 / 機能）8(TUV や) 3(DEF さ) 3(DEF さ)	107
	FAX自動再ダイヤル ファクスを送信できなかったときに、自動的に再ダイヤルで送信する・しないの設定ができます。	◯（登録 / 機能）8(TUV や) 4(GHI た)	95
詳細設定	**リストプリント　着信記録リスト** 記録されている着信記録のリストをプリントできます。	◯（登録 / 機能）9(WXYZ ら) 1(@./-_ あ) 1(@./-_ あ)	160
	リストプリント　電話帳リスト 親機の電話帳に登録した電話番号や相手名（宛名）のリストをプリントできます。	◯（登録 / 機能）9(WXYZ ら) 1(@./-_ あ) 2(ABC か)	66
	リストプリント　通信結果リスト ファクス送受信の通信結果表をプリントすることができます。	◯（登録 / 機能）9(WXYZ ら) 1(@./-_ あ) 3(DEF さ)	94
	リストプリント　同報送信結果リスト 同報送信の結果表をプリントすることができます。	◯（登録 / 機能）9(WXYZ ら) 1(@./-_ あ) 4(GHI た)	98
	リストプリント　リストプリント画質 「リストプリント」でプリントするときの画質を設定できます。	◯（登録 / 機能）9(WXYZ ら) 1(@./-_ あ) 5(JKL な)	137

	機能名／機能の説明	操作	参照ページ
詳細設定	**ナンバー・ディスプレイ　着信鳴り分け** 着信鳴り分けをする・しないの設定ができます。	◯（登録 / 機能）9 2 1	165
	ナンバー・ディスプレイ　鳴り分け時の着信音 着信鳴り分け時の着信音を設定できます。	◯（登録 / 機能）9 2 2	166
	ナンバー・ディスプレイ　非通知お断り 「非通知お断り」をする・しないの設定ができます。	◯（登録 / 機能）9 2 3	169
	ナンバー・ディスプレイ　公衆電話お断り 「公衆電話お断り」をする・しないの設定ができます。	◯（登録 / 機能）9 2 4	169
	ナンバー・ディスプレイ　表示圏外お断り 「表示圏外お断り」をする・しないの設定ができます。	◯（登録 / 機能）9 2 5	169
	ナンバー・ディスプレイ　お断り番号設定 「お断り番号」を登録できます。	◯（登録 / 機能）9 2 6	170
	ナンバー・ディスプレイ　キャッチホン・ディスプレイ キャッチホン・ディスプレイの利用設定ができます。	◯（登録 / 機能）9 2 7	157
	ナンバー・ディスプレイ　着信あり表示 応答できなかったり、留守録音される前に切れてしまった着信があったときに、画面表示でお知らせする・しないの設定ができます。	◯（登録 / 機能）9 2 8	160
	留守録暗証番号　登録 外出先からリモート操作をするための暗証番号が登録できます。	◯（登録 / 機能）9 3 1	139
	留守録暗証番号　消去 暗証番号を消去できます。	◯（登録 / 機能）9 3 2	139
	メモリー残量表示 ファクスの受信件数、留守録音の件数、メモリーの残量（%）を表示することができます。	◯（登録 / 機能）9 4	104
	電話帳以外初期化 親機の登録／設定を初期設定（工場出荷時）に戻すことができます。	◯（登録 / 機能）9 5	195
	全消去メニュー　一般録音 録音されている内容をすべて消去することができます。	◯（登録 / 機能）9 6 1	87
	全消去メニュー　着信記録 着信記録をすべて消去することができます。	◯（登録 / 機能）9 6 2	160
	全消去メニュー　お断り番号 登録したお断り番号をすべて消去することができます。	◯（登録 / 機能）9 6 3	170
	全消去メニュー　電話帳 親機の電話帳の内容をすべて消去することができます。	◯（登録 / 機能）9 6 4	195

	機能名／機能の説明	操作	参照ページ
詳細設定	**携帯とくとくダイヤル　NTT東日本0036** 事業者識別番号をNTT東日本（0036）に設定できます。 ※対象は、NTT東日本サービス提供エリア内のみです。	◯（登録 / 機能）⑨⑦①	148
	携帯とくとくダイヤル　NTT西日本0039 事業者識別番号をNTT西日本（0039）に設定できます。 ※対象は、NTT西日本サービス提供エリア内のみです。	◯（登録 / 機能）⑨⑦②	148
	携帯とくとくダイヤル　その他事業者 NTT東日本、NTT西日本以外のその他の事業者識別番号を登録することができます。	◯（登録 / 機能）⑨⑦③	148
	携帯とくとくダイヤル　設定なし 携帯とくとくダイヤル機能の設定解除ができます。	◯（登録 / 機能）⑨⑦④	148
パソコン関連設定	**ネットワーク設定　DHCPによる自動取得** 本機をパソコンに接続したとき、IPアドレスなどを自動で取得するかを設定できます。	◯（登録 / 機能）⓪①①	55
	ネットワーク設定　IPアドレス パソコンとの接続時に必要なIPアドレスを入力できます。	◯（登録 / 機能）⓪①②	54
	ネットワーク設定　サブネットマスク パソコンとの接続時に必要なサブネットマスクの番号を入力できます。	◯（登録 / 機能）⓪①③	54
	ネットワーク設定　デフォルトゲートウェイ パソコンとの接続時に必要なデフォルトゲートウェイの番号を入力できます。	◯（登録 / 機能）⓪①④	54
	ネットワーク設定　DNS（プライマリ） DNSサーバーの番号を入力できます。	◯（登録 / 機能）⓪①⑤	54
	ネットワーク設定　DNS（セカンダリ） DNSサーバーの番号を入力できます。	◯（登録 / 機能）⓪①⑥	54
	ネットワーク情報表示 ネットワーク関連の設定内容を表示できます。	◯（登録 / 機能）⓪②	55
	ネットワーク設定初期化 ネットワーク関連の設定内容を初期化できます。	◯（登録 / 機能）⓪③	55
	パソコン接続設定 お使いの状況に合わせて、パソコンに接続する・しないの設定ができます。	◯（登録 / 機能）⓪④	55
	外部メモリー書き込み設定 本機に取り付けているメモリーカードなどに、パソコンからのデータ書き込みを禁止する・許可するの設定ができます。	◯（登録 / 機能）⓪⑤	56
	外部メモリーアクセス設定 本機に取り付けているメモリーカードなどを、USB接続のパソコンからのみ読み込めるようにするか、LAN接続のパソコンからのみ読み込めるようにするかの設定ができます。	◯（登録 / 機能）⓪⑥	56
	ネットワークアクセス制限 本機に取り付けているメモリーカードなどを、本機のドライバをインストールしたパソコンからのみ読み込めるようにするか、ネットワーク上のすべてのパソコンから読み込めるようにするかの設定ができます。	◯（登録 / 機能）⓪⑦	56

子機機能項目一覧表

機能ボタンを押したあと、操作できる項目です。

機能名	機能の説明	参照ページ
ヨウケンサイセイ	親機に録音されている用件を再生できます。	85
ユウセンヨビダシ	子機に優先呼出を設定できます。	58
チャクシンオンリョウ	着信音量を設定できます。	43
チャクシンネイロ	着信音を設定できます。	43
チャクシンナリワケ	着信の種類ごとに着信音を設定できます。	167
チャクシンキロククリア	着信記録をすべて消去できます。	163
サイダイヤルクリア	再ダイヤルをすべて消去できます。	60
デンワチョウテンソウ	子機に登録されている電話帳を親機に転送できます。	79
トケイトウロク	時間を登録できます。	41
アラームセッテイ	アラームの時刻、設定／解除を設定できます。	135
クイックツウワ	クイック通話の使用を設定／解除できます。	138
キータッチトーン	ボタンの操作音を設定／解除できます。	138
マチウケジカン	待ち受け時間「ヒョウジュン」、「チョウジカン」を設定できます。	138

さくいん

【つ】

【て】

【と】

【な】

【に】

【ね】

【の】

【は】

【ひ】

【ふ】

保証とアフターサービス（よくお読みください）

保証書（別添）

- 保証書は「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
  保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
- 保証期間
  お買いあげの日から１年間です。
  保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は、カラー液晶ファクシミリ複合機の補修用性能部品を製品の製造打切後、７年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口（☞223 ～ 224 ページ）にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　出張修理

- こんなときは（☞176 ～ 190 ページ）を調べてください。
  それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

品　　名：カラー液晶ファクシミリ複合機
形　　名：UX-MF30CL ／ UX-MF30CW
　　　　　UX-MF40CL ／ UX-MF40CW
お買いあげ日（年月日）
故障の状況（できるだけ具体的に）
ご　住　所（付近の目印も合わせてお知らせください。）
お　名　前
電話番号
ご訪問希望日

便利メモ　お客様へ…
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年　月　日	電話（　　）　－

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

愛情点検

長年ご使用のカラー液晶ファクシミリ複合機の点検を！

このような症状はありませんか？

- 電源コードが異常に熱い
- コゲくさい臭いがする
- 電源コードに深いキズや変形がある
- その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源コードをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、
お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

- 製品の故障や部品のご購入に関するご相談は・・・・・ **修理相談センター** へ
- 製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は・・・・・・ **お客様相談センター** へ (☞224 ページ)

修理相談センター

● **修理相談センター(沖縄･奄美地区を除く)**

■ 受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

0570-02-4649

当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
呼出音の前に、NTTより通話料金の目安をお知らせ致します。
（注）携帯電話・PHSからは、下記電話におかけください。

		<東日本地区>	<西日本地区>
○ 携帯電話／PHS でのご利用は･･･	(一般電話)	043-299-3863	06-6792-5511
○ FAX を送信される場合は･･･････	(FAX)	043-299-3865	06-6792-3221

○ 沖縄･奄美地区 については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

◎ **持込修理 および 部品購入のご相談** は、上記「修理相談センター」のほか、
下記地区別窓口にても承っております。

■ 受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）
〔但し、沖縄･奄美地区〕は････＊月曜～金曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

担当地区	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札幌　サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北地区	仙台　サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	さいたま　サービスセンター	048-666-7987	〒331-0812	さいたま市北区宮原町2-107-2
	宇都宮　サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京　テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多摩　サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千葉　サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稔台295-1
	横浜　テクニカルセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
東海地区	静岡　サービスセンター	0543-44-5781	〒424-0067	静岡市清水区鳥坂1170-1
	名古屋　サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
北陸地区	金沢　サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚4-103
近畿地区	京都　サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大阪　テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	阪神　サービスセンター	06-6422-0455	〒661-0981	兵庫県尼崎市猪名寺3-2-10
中国地区	広島　サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高松　サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福岡　サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄･奄美地区	那覇　サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

お客様相談センター

■ 受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

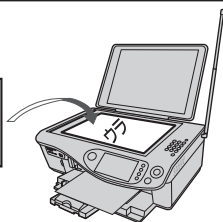
東日本相談室	TEL 043-299-8021	FAX 043-299-8280	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	TEL 06-6794-8021	FAX 06-6792-5993	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

●所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。

操作早見表／リモート操作手順カード

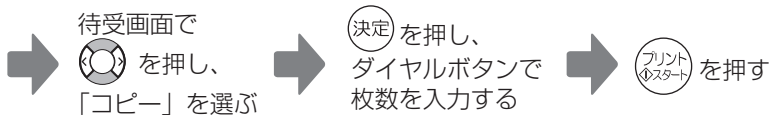
親機の操作

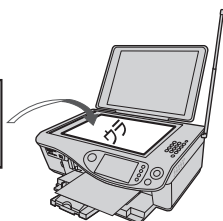
コピーする（☞92ページ）

ウラ

原稿カバーを開き、コピーしたい原稿をウラ向きにセットする

→ 待受画面で（十字キー）を押し、「コピー」を選ぶ

→ （決定）を押し、ダイヤルボタンで枚数を入力する

→ （プリント/スタート）を押す

ファクスを送信する（☞93ページ）

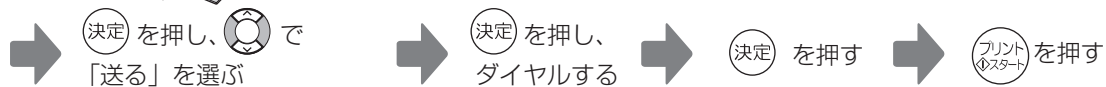
ウラ

原稿カバーを開き、送信したい原稿をウラ向きにセットする

→ 待受画面で（十字キー）を押し、「ファクス」を選ぶ

→ （決定）を押し、（十字キー）で「送る」を選ぶ

→ （決定）を押し、ダイヤルする

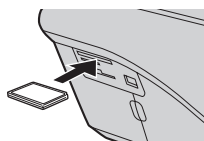
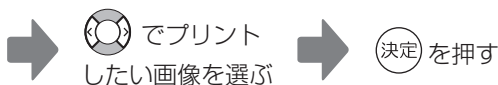
→ （決定）を押す

→ （プリント/スタート）を押す

かんたんフォトプリントで画像をプリントする（☞114ページ）

メモリーカードを取り付ける

を押す

（十字キー）でプリントしたい画像を選ぶ

（決定）を押す

リモート操作手順カード

〈暗証番号記入欄〉

■外出先から一般録音をリモート操作するには

1.電話をかける

2.応答メッセージが聞こえたら→ # を押す

3.応答メッセージが止まったら

→ □□□□（暗証番号）と # を押す

4.応答メッセージにつづいてリモート操作番号を押す

●リモート操作には暗証番号を使います。
●リモート操作は、プッシュホンまたはトーン信号の出せる電話機から行います。（ダイヤル回線でトーン信号の出せる電話機の場合は電話をかけてからトーン信号に切り替えます。）
●詳しい操作方法は、取扱説明書をご覧ください。

SHARP

子機の操作

電話をかける（☞57ページ）

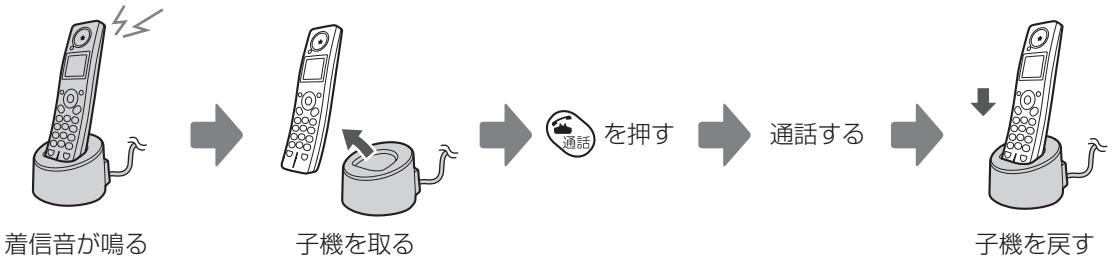
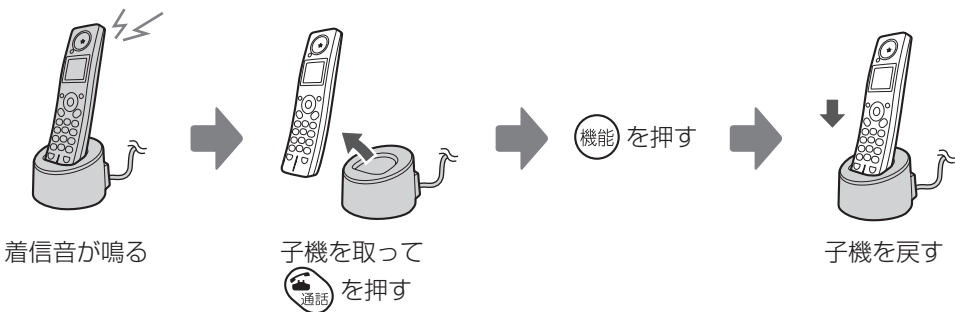
子機を取る → ダイヤルする → 通話 を押す → 通話する → 子機を戻す

電話帳を使ってかける　子機を取る → で相手の方を選ぶ → 通話 を押す

電話を受ける（☞57ページ）

着信音が鳴る → 子機を取る → 通話 を押す → 通話する → 子機を戻す

ファクスを受ける（☞ 102ページ）

着信音が鳴る → 子機を取って 通話 を押す → 機能 を押す → 子機を戻す

操作早見表／リモート操作手順カード

リモート操作番号

録音内容を聞くには	1 #
早聞きや遅聞きをするには	再生中に 1 #（早聞き）↓ 1 #（遅聞き）↓ 1 #（元に戻る）
今聞いている録音内容を聞き直すには	再生中に 3 #

今聞いている録音内容の1件前を聞くには	再生中に 3 # 3 #
次の録音内容を聞くには	再生中に 4 #
止めるには	再生中に 5 #
再生済み録音内容を消すには	停止中に 0 1 #
録音内容をすべて消すには	停止中に 0 2 #
留守を設定／解除するには	停止中に 6 #

●製品についてのお問い合わせは‥			
お客様相談センター	東日本相談室	TEL **043-299-8021**	FAX **043-299-8280**
	西日本相談室	TEL **06-6794-8021**	FAX **06-6792-5993**
《受付時間》　月～土曜：午前9時～午後6時　日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）			

●ナンバー・ディスプレイサービスに関するお問い合わせ、お申し込みは…	**NTT窓口** TEL：局番なしの **116**（通話無料） 受付時間　午前９時～午後９時　土・日・祝も受付（年末・年始を除く）

●修理のご相談は‥	223～224 ページに記載の『**お客様ご相談窓口のご案内**』をご参照ください。

サポート・お問い合わせ	http://www.sharp.co.jp/support/mirakuru/ Q&A情報や各種ドライバ、アップデートソフト、取扱説明書などのダウンロード情報を提供しています。

インターネットをご利用の方は、上記ホームページをご活用ください。

シャープ株式会社

本　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
通信システム事業本部　〒739-0192　東広島市八本松飯田2丁目13番１号
ＩＰ通信事業部

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品がエネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

お客様へ‥‥お買いあげ日、販売店名を記入されますと、修理などの依頼のときに便利です。

お買いあげ日	年　　月　　日
お買いあげ店名	
	電話　（　　　）　－

Printed in China
UX-MF30CL/UX-MF30CW　UX-MF40CL/UX-MF40CW　TINSJ4507SCKC④